


市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-00	表紙・図面リスト	A-26	B・C棟 1, 2階平面図	S-01	特記仕様書	M-01	凡例・器具表(改修前・改修後)
A-01	特記仕様書(1)	A-27	B・C棟 3, R階平面図	S-02	構造規準図1	M-02	A棟 1, 2階平面図
A-02	特記仕様書(2)	A-28	B棟1階 ハンコナー・倉庫 平面詳細図・展開図(改修前)	S-03	構造規準図2	M-03	A棟 3, 4階平面図
A-03	特記仕様書(3)	A-29	B棟1階 荷受室兼配膳室 平面詳細図・展開図(改修後)	S-04	A棟 1・2階床伏図	M-04	衛生設備 A棟1階荷受室兼配膳室平面詳細図(改修前・改修後)
A-04	特記仕様書(4)	A-30	B棟1階 ハンコナー・倉庫・荷受室兼配膳室 天井伏図(改修前・改修後)	S-05	A棟 3・4・R階床伏図	M-05	衛生設備 A棟2階配膳室平面詳細図(改修前・改修後)
A-05	特記仕様書(5)	A-31	B棟2階 ボランティア室 平面詳細図・展開図(改修前)	S-06	A棟 断面図	M-06	衛生設備 A棟3~4階配膳室平面詳細図(改修前・改修後)
A-06	案内図・配置図	A-32	B棟2階 配膳室・少人数教室 平面詳細図・展開図(改修後)	S-07	A棟 配筋詳細図	M-07	B棟 1, 2階平面図
A-07	仕上表(A棟)	A-33	B棟2階 ボランティア室・配膳室・少人数教室 天井伏図(改修前・改修後)	S-08	A棟 鉄骨詳細図	M-08	B棟 3, 屋上階平面図
A-08	A棟 1・2階平面図	A-34	B棟3階 普通教室 平面詳細図・展開図(改修前)	S-09	B棟 1・2階床伏図	M-09	衛生設備 B棟1階荷受室兼配膳室平面詳細図(改修前・改修後)
A-09	A棟 3・4階平面図	A-35	B棟3階 配膳室・少人数教室 平面詳細図・展開図(改修後)	S-10	B棟 3・4・R階床伏図	M-10	衛生設備 B棟2階配膳室・少人数教室平面詳細図(改修前・改修後)
A-10	A棟 1階倉庫 平面詳細図・展開図(改修前)	A-36	B棟3階 普通教室・配膳室・少人数教室 天井伏図(改修前・改修後)	S-11	B棟 断面図	M-11	衛生設備 B棟3階配膳室・少人数教室平面詳細図(改修前・改修後)
A-11	A棟 1階荷受室兼配膳室 平面詳細図・展開図(改修後)	A-37	B棟 矩計図(改修前・改修後)	S-12	B棟 配筋詳細図	M-12	空調換気設備 機器表・換気計算表・空調配管系統図
A-12	A棟 1階体育倉庫・荷受室兼配膳室 天井伏図(改修前・改修後)	A-38	B棟 小荷物昇降路詳細図	S-13	B棟 鉄骨詳細図	M-13	空調換気設備 A棟1~4階荷受室兼配膳室平面詳細図(改修後)
A-13	A棟 2階女子更衣室 平面詳細図・展開図(改修前)	A-39	B棟 建具表	S-14	B棟 プラットフォーム詳細図	M-14	空調換気設備 B棟1階荷受室兼配膳室平面詳細図(改修後)
A-14	A棟 2階配膳室 平面詳細図・展開図(改修後)	A-40	B棟 外構図(改修前)			M-15	空調換気設備 B棟2~3階配膳室・少人数教室平面詳細図(改修前・改修後)
A-15	A棟 2階女子更衣室・配膳室 天井伏図(改修前・改修後)	A-41	B棟 外構図(改修後)			M-16	空調換気設備 B棟屋上階平面詳細図(改修前・改修後)
A-16	A棟 3, 4階図書準備室・西倉庫 平面詳細図・展開図(改修前)	A-42	既存建物改修図1(A棟)				
A-17	A棟 3, 4階配膳室 平面詳細図・展開図(改修後)	A-43	既存建物改修図2(B棟・体育館)				
A-18	A棟 3階図書準備室・配膳室 天井伏図(改修前・改修後)						
A-19	A棟 4階西倉庫・配膳室 天井伏図(改修前・改修後)						
A-20	A棟 矩計図(改修前・改修後)						
A-21	A棟 小荷物昇降路詳細図						
A-22	A棟 建具表						
A-23	雑詳細図						
A-24	A棟 外構図(改修前・改修後)						
A-25	仕上表(B棟)						

公共建築課長	主査	担当者
		

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

Ⓐ ー 〇 〇

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

表紙・図面リスト

縮尺

特記仕様書	
1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。	
2. 本特記仕様書における採用事項	
① 項目欄は番号等に○印を付したものを適用する。	
② 項目欄に○印を付し特記事項欄に○印を付していない場合は標準仕様書による。	
③ 特記事項は○印を付したものを適用する。但し○印の付かない場合は※印の付した事項を採用する。	
④ ○印と○印を付した場合は共に適用する。	
3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。	
○国土交通省大臣官房長官官舎修繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版	
○国土交通省大臣官房長官官舎修繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版	
○国土交通省大臣官房長官官舎修繕部監修 建築物解体工事共通仕様書 平成24年版	
○「改正建築基準法に対応した建築物のシックハウス対策マニュアル」(編集:国土交通省住宅局建築指導課)	
4. その他事項	
○各項目欄の番号(例:1.4 ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に照合する	
○各項目欄の番号(例:1.* ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に該当しない項目とする	
○各項目欄の番号(例:●公○章***、公***、●公***)は公共建築工事標準仕様書の各項目に相当する	
1.4 工事実績情報登録	登録: ○適用 ・不適用
1.* 建築基準法の風圧	基準風速: ・V ₀ =36(m/s) 平成12年建築第1454号第2
積雪に関する規定	積雪に関する規定: ・I ・II ・III ・IV 積雪区分: ・区域=(32) / α=0.0009 / β=0.00 / γ=0.21 / R=0 平成12年建築第1445号 別表
3.3 電気保安技術者	技術者の適用: ・適用 ・不適用
① 施工条件	施工順序等の制約: ・無し ・有り【・現場説明書による ・図示 ・ 工事車両の駐車場所: ・図示 ・現場説明書による 資材、機材置場: ・図示 ・現場説明書による 発生土仮置場: ・図示 ・現場説明書による その他の施工条件: ・図示 ・現場説明書による ・発注者への引渡発生材; ・特別管理産業廃棄物; ・リサイクル発生材; ひ素・カドミウム含有せつこうボードの処理: ・製業者回収委託処理 ・管理型最終処分場埋立処理 標準仕様書1.3.8(b)(5)(i)及び(ii)以外のせつこうボードの処理: ・管理型最終処分場埋立処理 ・再資源化 PCB含有シーリングの調査方法: ・図示 PCB含有シーリングの撤去方法: ・図示
③ 12 発生材の処理等	○仮設材以外の全ての建築材料(仕上材、下地材、副資材)のホルムアルデヒド放散量はJIS等の材料規格において放散量が規定されている場合は原則として☆☆☆☆とする。但し使用予定材料に☆☆☆☆が存在しない場合は監督員と協議のうえ決定する。
④ 使用材料	調査範囲: ・図示 調査方法: ・非破壊検査 ・破壊検査 補修方法: ・破壊検査後の復旧に関しては監督員と協議の上決定する ・図示
5.2 施工数量調査	見本施工の実施: ・実施しない ・実施する【実施箇所等: ・図示 ・
5.3 調査のための	濃度測定: ・未実施 ・実施
6.5 施工の検査等	化学物質濃度を下記のとおり測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し報告すること。 測定対象物質: ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・ステレン ・パラジクロロベンゼン 測定方法: ・簡易法 ・バッチ型採取機器 ・アクティブ法 測定対象量: ・図示 ・現場説明書による 測定箇所数: ・図示 ・2箇所 ・厚生労働省の標準的測定方法による場合の測定者は、環境計量証明事業所として登録を行っている者、又は作業環境測定事業所の有機溶剤の登録を行っている者とする。
6.9 化学物質の濃度測定	完成図: ・必要 ・不要 保全に関する資料: ・必要 ・不要
⑧ 1 完成時の提出図書	提出部数: ※各2部 ・部 種類: ※表1.8.1 ・一般図 ・実施設計図一式 記入内容: ※表1.8.1 ・図示 提出要領: ・A3原稿2つ折り製本 ・A3版原図(CAD作図による) ・CADデータ 施工計画書: ○監督員の承諾を受けたもの 施工図: ・A3原稿2つ折り製本 ・A3縮小版第2原図 ・CADデータ ○監督員の承諾を受けたもの 保全に関する資料 提出部数: ※各2部 ・部
⑧ 2 完成図	
⑧ 3 保全に関する資料	
④ 足場その他	内部足場の種類: ○脚立 ○足場板 ・ローラック 外部足場の設置、種別: ・設置しない ○設置する【○枠組足場 ・単管足場 ・ 保護シートの設置: ○設置する ・設置しない 材料等の運搬方法: ・A種 ・B種 ・C種 ○D種 ・E種 既存部分養生材料: ・ビニールシート ○その他: 施工者にて適材適所を選択する 既存家具養生材料: ・ビニールシート ○その他: 施工者にて適材適所を選択する 既存ブラインド、カーテンの養生方法:

項目	特記事項
① 仮設間仕切り	・指定場所に保管し再設置 ・指定場所に保管し清掃の上再設置 仮設間仕切り: ・有り 設置箇所: ○図示 種別: ・A種 ○B種 ・C種 仮設扉: ・不要 ○必要【設置箇所: ○図示 ・任意の場所 ・ 仮設扉の種類: ・鋼製 ○木製 ・図示 監督員事務所の設置: ・必要 ・不要
4.1 監督員事務所、受注者事務所等	○監督員事務所の規模、設備、備品等 ・()号(会議室()m ² を含む) ・()号に会議室()m ² を加えた規模 ・専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚 ・検査用具 ・その他; 受注者事務所の設置: ・必要 ・不要 ○受注者事務所の規模、設備、備品等 ・()号(会議室()m ² を含む) ・()号に会議室()m ² を加えた規模 ・専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚 ・検査用具 ・その他; 構内既存の用水施設: ・利用できない ○利用できる(・有償 ○無償) 構内既存の電力施設: ・利用できない ・利用できる(・有償 ○無償) ○動力以外利用できる(・有償 ○無償)
② 工事用水及び電力	
3 防水改修工事	
① 適用範囲	1. 一般事項 防水工事の保証書の提出及び保証年限 ・保証年限10年;7571防水 ・合成高分子ルーフィング 防水 ○保証年限3年:塗膜防水 ○その他:ケイ酸系塗布防水 (c-up) <保証書(請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証)は各2通提出する。防水施工者は、防水材料製造所の施工者とし、監督員の承諾を受ける> 降雨等による養生方法: ※標準仕様書3.1.3(e)による ・図示 ○防水改修工法の種類 施工部位 工法の種類 備考(特記工程) ・屋上防水押え PIB工法 ・メーカ防水押え POS機械工法 *1工程有り ・浴室防水押え *2工程無し M4SI工法
1.3 施工一般	
1.4 改修工法の種類及び工程	①シーリング改修工法の種類 施工部位 工法の種類 備考 ・外壁コンクリート打継目地 シーリング充填工法 ・外壁コンクリート露目地 シーリング再充填工法 ・外壁開口部建具廻り目地 シーリング再充填工法
1.4 改修工法の種類及び工程	
2.5 67の処理	
2.6 既存下地の補修及び処置	2. 既存防水層の処理 2重ドレンの設置: ・行わない ・行う(施工箇所) 補修箇所の形状、長さ、数量等: ・下表による ・図示 施工部位 形状・長さ数量等 備考 ・脆弱部の補修 m ・既存目地の欠損部補修 m ・欠損部の補修 m ・防水層表面の仕上げ塗装の除去 m 既存防水層表面の仕上げ塗装の除去: ・行わない ・行う 設備架台等防水層取り合い部の処置: ・協議による ・図示 立上り防水層の処置: ・撤去する ・撤去しない【補修方法: ・標準仕様書3.2.6(d)による ・図示】
3.2 材料	3. アスファルト防水 改質アスファルトルーフィングシートの種類・厚さ: ※標準仕様書3.2.2(e)(6)による ・メーカ仕様による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類・厚さ: ※標準仕様書3.2.2(e)(7)による ・メーカ仕様による 保護防水断熱工法の断熱材の材質: ※標準仕様書3.2.2(h)による ・メーカ仕様による 保護防水断熱工法の断熱材の厚さ: ・図示 露出防水断熱工法の断熱材の材質: ※標準仕様書3.2.2(i)による ・メーカ仕様による 露出防水断熱工法の断熱材の厚さ: ・図示 絶縁シートの材料の指定: ※標準仕様書3.2.2(j)による ・メーカ仕様による 保護コンクリートの設計基準強度: ※18N/mm ² ・21N/mm ² 保護コンクリートのスランプ: ※18cm ・15cm 防水立上り部の保護: ・湿式 ・乾式 立上り部の保護レンガの材料: ※標準仕様書3.2.2(o)による ○屋根保護防水 防水立上りの保護コンクリートの適用: ・適用しない ・適用する 防水立上りの保護コンクリートの工法: ・図示
3.3 種別及び工程	

項目	特記事項
3 防水改修工事	
3.3 種別及び工程	①屋根露出防水 施工部位 工法/種別 備考 ・PIR階屋上 ・PIB/・B-1 ※B-2 ・B-3 ・R階屋上 ・PIB/・B-1 ※B1-2 ・B1-3 断熱材: t= ・TIB1/・B1-1 ※B1-2 ・B1-3 断熱材: t= ・P2A1/・A1-1 ※A1-2 ・A1-3 断熱材: t= ・P2A/・A-1 ※A-2 ・A-3
3.3 種別及び工程	②屋根露出防水 施工部位 工法/種別 備考 ・PIR階屋上 ・M4C/・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4 仕上塗料; ・R階屋上 ・M3D/・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4 仕上塗料; ・POD/・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4 仕上塗料; ○M3D工法及びPOD工法の脱気装置 脱気装置の種類: ※製造メーカ仕様による ・図示 脱気装置の設置数量: ※製造メーカ仕様による ・図示 ○屋根露出防水絶縁断熱工法 施工部位 工法/種別 備考 ・PIR階屋上 ・POD1/・D1-1 ※D1-2 仕上塗料; ・R階屋上 ・M3D1/・D1-1 ※D1-2 仕上塗料; ・M4D1/・D1-1 ※D1-2 仕上塗料; 脱気装置の種類: ※製造メーカ仕様による ・図示 脱気装置の設置数量: ※製造メーカ仕様による ・図示 ○屋内防水 施工部位 工法/種別 備考 ・浴室 ・PIE/・E-1 ※E-2 保護層: 普通コンクリート ・機械室 ・P2E/・E-1 ※E-2 保護層: 普通コンクリート 保護層: 軽量コンクリート 保護層: 砂かけ=30 防水立上り部の保護: ・露出 ・コンクリート ・レンガ押え ・乾式保護材; 屋上排水溝: ・設置する ・設置しない
3.5 保護層等の施工	4. 改質アスファルトシート防水 改質アスファルトシートの種類・厚さ: ※標準仕様書3.4.1~3.4.3による ・メーカ仕様による 粘着層付改質アスファルトシートの種類・厚さ: ※標準仕様書3.4.1~3.4.3による ・メーカ仕様による 露出防水断熱工法の断熱材の材質・厚さ: ※標準仕様書3.4.2(c)による ・メーカ仕様による
4.2 材料	①屋根露出防水密着工法 施工部位 工法/種別 備考 ・PIR階屋上 ・MAAS/・AS-T1・AS-T2・AS-U2 ・R階屋上
4.3 種別及び工法	②屋根露出防水絶縁工法 施工部位 工法/種別 備考 ・PIR階屋上 ・M3AS/・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3 脱気装置: ・設置 ・R階屋上 ・POAS/・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3 脱気装置: ・設置 ③屋根露出防水絶縁断熱工法 施工部位 工法/種別 備考 ・PIR階屋上 ・M3ASI/・ASI-T1・ASI-J1 防湿層: ・設置 脱気装置: ・設置 ・R階屋上 ・MAASI/・ASI-T1・ASI-J1 防湿層: ・設置 脱気装置: ・設置 ・POASI/・ASI-T1・ASI-J1 防湿層: ・設置 脱気装置: ・設置
5.2 材料	5. 合成高分子ルーフィングシート防水 ルーフィングシートの種類・厚さ: ※標準仕様書3.5.1~3.5.3による 絶縁シート: ※発泡ポリスチレンシート ・図示 断熱工法に用いる断熱材: ※標準仕様書3.5.2(c)(3)による ・図示 工法種別 種類/種別 厚さ(mm) S-F1(S1-F1) ・加硫ゴム系/・均質シート・複合シート ※1.2 ・1.5 ・2.0 S-F2(S1-F2) ・エポキシ樹脂系/・均質シート ・1.2 ・1.5 ※2.0 S-M1(S1-M1) ・加硫ゴム系/・均質シート・複合シート ・1.2 ※1.5 ・2.0 S-M2(S1-M2) ・エポキシ樹脂系/・均質シート ・1.2 ※1.5 ・2.0 S-M3(S1-M3) ・塩化ビニル樹脂系/・均質シート・複合シート ※1.2 ・1.5 ・2.0
5.3 種別及び工程	施工部位 工法/種別 備考 ・PIR階屋上 ・POS/・S-F1(S1-F1)・S-F2(S1-F2) ・R階屋上 ・POS/・S-M1(S1-M1)・S-M2(S1-M2)・S-M3 ・POSI/・S-F1(S1-F1)・S-F2(S1-F2) ・POSI/・S-M1(S1-M1)・S-M2(S1-M2)・S-M3 ・S4S/・S-F1(S1-F1)・S-F2(S1-F2) ・S4S/・S-M1(S1-M1)・S-M2(S1-M2)・S-M3 ・S4SI/・S-F1(S1-F1)・S-F2(S1-F2)

項目	特記事項
5.4 施工	・S4SI/・S-M1(S1-M1)・S-M2(S1-M2)・S-M3 ・S3S/・S-F1(S1-F1)・S-F2(S1-F2) ・S3SI/・S-F1(S1-F1)・S-F2(S1-F2) 備考 ・M4S/・S-M1(S1-M1)・S-M2(S1-M2)・S-M3 ・M4SI/・S-M1(S1-M1)・S-M2(S1-M2)・S-M3 ・PIS/・S-C1 脱気装置: ・設置 断熱材の種類: ・押出法ポリスチレンB(む付) ・図示 断熱工法の断熱材の厚さ: ・25mm ・35mm ・50mm 目地処理(防水種別S-C1の場合): PCコンクリート下地の場合: ・図示 ALON [®] 下地の場合: ・図示 入隅部の増張り(防水種別S-C1の場合): PCコンクリート下地の場合: ・図示 ALON [®] 下地の場合: ・図示 機械的固定工法の場合の風圧力に対応した工法: ・メーカ仕様による 保護層の施工(防水種別S-C1の場合): 平場の砂利床塗り工法: ※標準仕様書6.15.6(b)(2,3)による ・図示 平場の砂利床塗り厚さ: ・30mm 平場のコンクリートの厚さ: ・60mm ・80mm 立上りの砂利床塗り厚さ: ※7mm以下
6.3 種別及び工程	6. 塗膜防水 施工部位 工法/種別 備考 ・POX/※X-1 ・X-2 脱気装置: ・設置 ・L4X/・X-1 ※X-2 脱気装置: ・設置 仕上塗料の種類: ・製造メーカ仕様による ・遮熱塗料 仕上塗料の使用量: ・ 7. シーリング 種類及び施工箇所: ・種類は標準仕様書3.7.1により施工箇所は下表による ノンブリードタイプシーリング材の適用: ※使用する ・使用しない 施工箇所: ・ボリリブシーリングで仕上げありの部位 施工箇所 シーリング材の種類 目地寸法(mm) 保証年限 ・各階打継部分 ※標準仕様書9.6.2による 15(W)x10(D) 3年 ・バルコニー目地 15(W)x10(D) 年 ○ 取止め付け シリコーン 5(W)x5(D) 年 ○ かつ通り 変成シリコーン 20(W)x10(D) 年 7.8 シーリング材の試験 7.* 保証年限 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 シーリング保証書: ・提出する ・提出しない ・保証書(請負人、材料製造所、シーリング施工者連帯保証)は各2通提出すること。 8. とい 軒どいの材質: ・7571H被覆鋼板 ・耐候性被覆鋼板 縦どいの材質: ・配管用鋼管 ・塩化ビニル管【・57-VF ・57-VU ・VP ・ 補綴口: ・有 ・無 飾り材: ・塩ビ製 ・鋼板製 とい受け金物: ・ステンレス製 ・亜鉛めっき鋼板製 ルーフレイン: ・ステンレス製 ・鋼鉄製 ・7571H製 既存といの撤去及び降雨時の養生: ・仮設のといを設置する ・図示 鋼管製といの防露: ・行う ・行わない 施工箇所: ※標準仕様書3.8.5による たてとい受金物の取付: ・図示 ・@2,000内外 ・@1,800内外 ルーフレインの取替え: ・行わない ・行う【・標準仕様書3.8.3(h)による ・ 9. アルミニウム製笠木 施工部位 工法/種別 備考 ・250形 ・300形 ・350形 ・オープン形式 ・シム形式 アルミニウム製笠木の厚み: ※2.0mm 笠木本体の表面処理: ・A-1 ・B-1 新規笠木の目地及び撤去後の補修: 板材折曲げ型笠木の取付方法: ・図示
9.2 材料	
9.3 工法	

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																					
4章 外壁改修工事	1.4 外壁改修工法の種類	<p>1. 一般事項</p> <p>◎コンクリート打放し仕上げ外壁</p> <p>ひび割れ部改修工法の種類： ※樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法</p> <p>欠損部改修工法の種類： ※充填工法</p> <p>◎モルタル塗り仕上げ外壁</p> <p>ひび割れ部改修工法の種類： ※樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法</p> <p>欠損部改修工法の種類： ・ 充填工法 ・ 樹脂塗替え工法</p> <p>浮き部改修工法の種類：</p> <p>・ アカビシ部分樹脂注入工法 ・ アカビシ全面樹脂注入工法</p> <p>・ アカビシ全面樹脂注入工法</p> <p>・ 注入口付アカビシ部分樹脂注入工法</p> <p>・ 注入口付アカビシ全面樹脂注入工法</p> <p>・ 注入口付アカビシ全面樹脂注入工法</p> <p>・ 充填工法 ・ 樹脂塗替え工法</p> <p>◎タイル張り仕上げ外壁</p> <p>ひび割れ部改修工法の種類： ・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法</p> <p>欠損部改修工法の種類： ・ 樹脂塗替え工法 ・ 樹脂貼り替え工法</p> <p>浮き部改修工法の種類：</p> <p>・ アカビシ部分樹脂注入工法 ・ アカビシ全面樹脂注入工法</p> <p>・ アカビシ全面樹脂注入工法</p> <p>・ 注入口付アカビシ部分樹脂注入工法</p> <p>・ 注入口付アカビシ全面樹脂注入工法</p> <p>・ 注入口付アカビシ全面樹脂注入工法</p> <p>・ 注入口付アカビシ全面樹脂注入工法</p> <p>・ 注入口付アカビシ全面樹脂注入工法</p> <p>・ 樹脂塗替え工法 ・ 樹脂貼り替え工法</p> <p>目地改修工法の種類： ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法</p>	4章 外壁改修工事	<p>種類（呼び名）</p> <p>仕上げの形状</p> <p>工法</p> <p>・ 外装厚塗材 C</p> <p>・ 吹出し・凸部処理</p> <p>吹付け</p> <p>・ 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落とし</p> <p>こて塗り</p> <p>・ 外装厚塗材 S i</p> <p>・ 吹出し・凸部処理</p> <p>吹付け</p> <p>・ 外装厚塗材 E</p> <p>・ 平たん状・凹凸状・ひき起し</p> <p>こて塗り</p> <p>・ 平たん状・凹凸状・ひき起し</p> <p>ロー塗り</p>	5章 樹脂注入工法	<p>5. タイル張り仕上げ外壁の改修</p> <p>注入工法の種類： ※自動式低圧樹脂注入工法 ・ 手動式樹脂注入工法</p> <p>・ 機械式樹脂注入工法</p> <p>◎自動式低圧樹脂注入工法</p> <p>注入間隔： ※200～300mm ・ 300～400mm</p> <p>注入量： ※約 cc/m</p> <p>◎手動式樹脂注入工法</p> <p>注入間隔： ※200～300mm ・ 300～400mm</p> <p>◎機械式樹脂注入工法</p> <p>注入間隔： ※200～300mm ・ 300～400mm</p> <p>コア抜き取り検査： ・ 行わない ・ 行う【回数： ※1個/500m】</p>	5章 建築改修工事	<p>② 性能及び構造</p> <p>遮音性の等級： ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4</p> <p>断熱ドアセット、サッシの適用： ・ 適用 ・ 適用しない ・ 図示</p> <p>断熱性の等級： ・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 ・ H-4 ・ H-5</p> <p>耐震ドアセットの適用： ・ 適用 ・ 適用しない ・ 図示</p> <p>内面形状追随性の等級： ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3</p> <p>防虫網の適用： ・ 適用 ・ 適用しない ・ 図示</p> <p>網の材質： ※合成樹脂製 ・ ナイロン製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製</p> <p>形式： ・ 外面納まり可動式 ・ 外面納まり固定式</p> <p>器具材の見込： ・ 図示 ・ 70 ・ 100</p> <p>外部に面する建具の表面処理： ・ B-1種 ・ B-2種</p> <p>屋内の建具の表面処理： ・ C-1種 ・ C-2種</p> <p>表面色： ・ 標準色 ・ 特注色</p> <p>引違い建具落下防止機構： ・ 採用する ・ 採用しない</p> <p>結露水の処理方法：</p> <p>水切り板： ・ 取付ける ・ 取付けない</p> <p>ぜん板： ・ 取付ける ・ 取付けない</p>																																								
		<p>◎塗り仕上げ外壁</p> <p>新設仕上げの種類：</p> <p>・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り</p> <p>・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗料塗り</p> <p>◎建築用塗膜防水材塗り JIS A6021（ローラーさざ波模様シリコン仕上げ）</p> <p>下地調整： 微弾性フィラー（既存活膜部）、C-2（既存脆弱塗膜除去部）</p> <p>2. 材料</p> <p>樹脂注入工法のエポキシ樹脂： ・ 低粘度形 ・ 中粘度形</p> <p>Uカットシール材充填工法用材料：</p> <p>・ シール材【※1成分形樹脂系 ※2成分形樹脂系</p> <p>・ 可とう性樹脂 ・ アカビシ樹脂</p> <p>シール工法用材料： ・ アカビシ樹脂 ・ 可とう性樹脂</p> <p>充填工法用材料： ・ 樹脂 ・ アカビシ樹脂</p> <p>アンカーピンニング（注入口付アンカーピンニング）注入工法用材料：</p> <p>ポリマーセメントスラリー： ・ 図示</p> <p>アンカーピンの材質： ※スチール（SUS304・φ4mm・全長） ・ 図示</p> <p>注入口付アンカーピンの材質： ※スチール（SUS304・φ6mm） ・ 図示</p> <p>モルタル塗替え工法の既製目地材の適用： ・ 適用しない ・ 適用する：</p> <p>・ アカビシ樹脂 ・ 樹脂 ・ 変成シリコン樹脂 ・ アカビシ樹脂 ・ シリコン樹脂</p> <p>タイル貼替え、及びタイル部分貼替え工法用接着剤：</p> <p>・ アカビシ樹脂 ・ 樹脂 ・ 変成シリコン樹脂 ・ アカビシ樹脂 ・ シリコン樹脂</p> <p>タイルの種類： ・ 図示 ・ 下表による</p>							<p>3. コンクリート打放し仕上げ外壁の改修</p> <p>注入工法の種類： ※自動式低圧樹脂注入工法 ・ 手動式樹脂注入工法</p> <p>・ 機械式樹脂注入工法</p> <p>◎自動式低圧樹脂注入工法</p> <p>注入間隔： ※200～300mm ・ 300～400mm</p> <p>注入量： ※約 cc/m</p> <p>◎手動式樹脂注入工法</p> <p>注入間隔： ※200～300mm ・ 300～400mm</p> <p>◎機械式樹脂注入工法</p> <p>注入間隔： ※200～300mm ・ 300～400mm</p> <p>コア抜き取り検査： ・ 行わない ・ 行う【回数： ※1個/500m】</p> <p>コア抜き取り部の補修方法： ・ 樹脂塗替え工法 ・ アカビシ樹脂塗替え工法</p> <p>◎充填</p> <p>充填材： ・ シール材用材充填 ・ シール材の上に樹脂塗替え工法</p> <p>・ 可とう性樹脂塗替え工法</p> <p>材料： ・ 樹脂塗替え工法 ・ アカビシ樹脂塗替え工法</p>	<p>6. 塗り仕上げ外壁等の改修</p> <p>工程ごとの所要量： ・ 標準仕様書表4.6.1による ・ メーカー仕様による ・ 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ シール材</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 高圧水洗工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 塗膜はく離剤工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 水洗い工法</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>サンダー工法の処理範囲： ・ 図示</p> <p>高圧水洗工法の処理範囲： ・ 図示</p> <p>塗膜はく離剤工法の処理範囲： ・ 図示</p> <p>水洗い工法の処理範囲： ・ 図示</p> <p>◎仕上塗材： 建築用塗膜防水材塗り JIS A6021（ローラーさざ波模様シリコン仕上げ）</p> <p>◎下地調整： 微弾性フィラー（既存活膜部）、C-2（既存脆弱塗膜除去部）</p> <p>7. マスチック塗材塗り仕上げ外壁等の改修</p> <p>種別： ・ A種 ・ B種</p>	施工部位	工法/種別	備考		・ シール材			・ 高圧水洗工法			・ 塗膜はく離剤工法			・ 水洗い工法		<p>③ 材料</p> <p>遮音性の等級： ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4</p> <p>断熱性の等級： ・ H-A ・ H-B ・ H-C</p> <p>ガラスの形式： ・ 複層ガラス ・ 単層ガラス ・ 三重ガラス</p> <p>建具の表面色： ・ 標準色 ・ 特注色</p> <p>水切り板： ・ 取付ける ・ 取付けない</p> <p>ぜん板： ・ 取付ける ・ 取付けない</p>																						
施工部位	工法/種別	備考																																														
	・ シール材																																															
	・ 高圧水洗工法																																															
	・ 塗膜はく離剤工法																																															
	・ 水洗い工法																																															
2.2 工法別仕様材料	<p>3.2 性能及び構造</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠の見込み寸法 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td>S-4</td> <td rowspan="3">A-4</td> <td>W-4</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>S-5</td> <td>W-5</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>S-6</td> <td>W-5</td> </tr> </tbody> </table> <p>防音ドアセット、サッシの適用： ・ 適用 ・ 適用しない ・ 図示</p> <p>遮音性の種別： ・ T-A ・ T-B</p> <p>断熱ドアセット、サッシの適用： ・ 適用 ・ 適用しない ・ 図示</p> <p>断熱性の種別： ・ H-A ・ H-B ・ H-C</p> <p>ガラスの形式： ・ 複層ガラス ・ 単層ガラス ・ 三重ガラス</p> <p>建具の表面色： ・ 標準色 ・ 特注色</p> <p>水切り板： ・ 取付ける ・ 取付けない</p> <p>ぜん板： ・ 取付ける ・ 取付けない</p>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法 (mm)	・ A種	S-4	A-4	W-4	70	・ B種	S-5	W-5	・ C種	S-6	W-5	<p>4章 外壁改修工事</p> <p>3.4 樹脂注入工法</p> <p>注入工法の種類： ※自動式低圧樹脂注入工法 ・ 手動式樹脂注入工法</p> <p>・ 機械式樹脂注入工法</p> <p>◎自動式低圧樹脂注入工法</p> <p>注入間隔： ※200～300mm ・ 300～400mm</p> <p>注入量： ※約 cc/m</p> <p>◎手動式樹脂注入工法</p> <p>注入間隔： ※200～300mm ・ 300～400mm</p> <p>◎機械式樹脂注入工法</p> <p>注入間隔： ※200～300mm ・ 300～400mm</p> <p>コア抜き取り検査： ・ 行わない ・ 行う【回数： ※1個/500m】</p> <p>コア抜き取り部の補修方法： ・ 樹脂塗替え工法 ・ アカビシ樹脂塗替え工法</p> <p>◎充填</p> <p>充填材： ・ シール材用材充填 ・ シール材の上に樹脂塗替え工法</p> <p>・ 可とう性樹脂塗替え工法</p> <p>材料： ・ 樹脂塗替え工法 ・ アカビシ樹脂塗替え工法</p>	<p>5章 建築改修工事</p> <p>6.2 一般事項</p> <p>6.3 既存塗膜等の除去</p> <p>下地処理及び下地調整</p>	<p>④ 形状及び仕上げ</p> <p>性能及び構造： ※JIS規格による</p> <p>断熱性能： ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6</p> <p>気密性： ・ A-1 ・ A-2 ※A-3</p> <p>水密性： ・ W-1</p> <p>鋼板の種類： ・ B種被覆鋼板 ・ 鋼板 ・ スチール鋼板 ・ 図示</p> <p>召合わせ、縦小口包み板等の材質： ※鋼板 ・ スチール鋼板 ・ 74M2合金鋼板</p>																												
		種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法 (mm)																																										
・ A種	S-4	A-4	W-4	70																																												
・ B種	S-5		W-5																																													
・ C種	S-6		W-5																																													
<p>4.2 性能及び構造</p> <p>性能及び構造： ※JIS規格による</p> <p>外部に面する鋼製建具の耐風圧性能： ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6</p> <p>亜鉛めっき鋼板の最小付着量（両面）： ・ Z12又はF12（120 g/m²）以上</p> <p>鋼板の厚さ： ※標準仕様書表5.4.2による ・ 図示</p> <p>鋼板の厚さ（H950mm、H2.100mmの場合）： ・ 図示</p> <p>防音ドアセット、サッシの適用： ・ 適用 ・ 適用しない ・ 図示</p> <p>遮音性の等級： ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4</p>	<p>5.9～5.15</p> <p>7. タイル張り工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法名称</th> <th colspan="2">アカビシ(㎡/㎡)</th> <th colspan="2">注入孔数(箇所/㎡)</th> <th rowspan="2">1箇所当り</th> </tr> <tr> <th>一般部分</th> <th>指定部分</th> <th>一般部分</th> <th>指定部分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ アカビシ部分樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・ アカビシ全面樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・ アカビシ全面樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・ 注入口付アカビシ部分樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・ 注入口付アカビシ全面樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・ 注入口付アカビシ全面樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>※50</td> </tr> </tbody> </table> <p>指定部分： 見上げ部、庇の鼻先、まぐさ隅部</p>	工法名称	アカビシ(㎡/㎡)		注入孔数(箇所/㎡)		1箇所当り	一般部分	指定部分	一般部分	指定部分	・ アカビシ部分樹脂注入工法	16	25	16	25	※25	・ アカビシ全面樹脂注入工法	13	20	12	20	※25	・ アカビシ全面樹脂注入工法	13	20	12	20	※50	・ 注入口付アカビシ部分樹脂注入工法	※9	※16	9	16	※25	・ 注入口付アカビシ全面樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・ 注入口付アカビシ全面樹脂注入工法	9	16	9	16	※50	<p>⑤ 材料</p> <p>性能及び構造： ※JIS規格による</p> <p>断熱性能： ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6</p> <p>気密性： ・ A-1 ・ A-2 ※A-3</p> <p>水密性： ・ W-1</p> <p>鋼板の種類： ・ B種被覆鋼板 ・ 鋼板 ・ スチール鋼板 ・ 図示</p> <p>召合わせ、縦小口包み板等の材質： ※鋼板 ・ スチール鋼板 ・ 74M2合金鋼板</p>
工法名称	アカビシ(㎡/㎡)		注入孔数(箇所/㎡)		1箇所当り																																											
	一般部分	指定部分	一般部分	指定部分																																												
・ アカビシ部分樹脂注入工法	16	25	16	25	※25																																											
・ アカビシ全面樹脂注入工法	13	20	12	20	※25																																											
・ アカビシ全面樹脂注入工法	13	20	12	20	※50																																											
・ 注入口付アカビシ部分樹脂注入工法	※9	※16	9	16	※25																																											
・ 注入口付アカビシ全面樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																											
・ 注入口付アカビシ全面樹脂注入工法	9	16	9	16	※50																																											
2.2 工法別仕様材料	<p>4.2 性能及び構造</p> <p>性能及び構造： ※JIS規格による</p> <p>断熱性能： ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6</p> <p>気密性： ・ A-1 ・ A-2 ※A-3</p> <p>水密性： ・ W-1</p> <p>鋼板の種類： ・ B種被覆鋼板 ・ 鋼板 ・ スチール鋼板 ・ 図示</p> <p>召合わせ、縦小口包み板等の材質： ※鋼板 ・ スチール鋼板 ・ 74M2合金鋼板</p>	<p>4.4 樹脂注入工法</p> <p>注入工法の種類： ※自動式低圧樹脂注入工法 ・ 手動式樹脂注入工法</p> <p>・ 機械式樹脂注入工法</p> <p>◎自動式低圧樹脂注入工法</p> <p>注入間隔： ※200～300mm ・ 300～400mm</p> <p>注入量： ※約 cc/m</p> <p>◎手動式樹脂注入工法</p> <p>注入間隔： ※200～300mm ・ 300～400mm</p> <p>◎機械式樹脂注入工法</p> <p>注入間隔： ※200～300mm ・ 300～400mm</p> <p>コア抜き取り検査： ・ 行わない ・ 行う【回数： ※1個/500m】</p> <p>コア抜き取り部の補修方法： ・ 樹脂塗替え工法 ・ アカビシ樹脂塗替え工法</p> <p>◎充填</p> <p>充填材： ・ シール材用材充填 ・ シール材の上に樹脂塗替え工法</p> <p>・ 可とう性樹脂塗替え工法</p> <p>材料： ・ 樹脂塗替え工法 ・ アカビシ樹脂塗替え工法</p>	<p>5章 建築改修工事</p> <p>7.2 鋼材塗料塗り</p> <p>1. 一般事項</p> <p>工法： ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法</p> <p>新規建具開口部の補修方法： ・ 図示</p> <p>新規建具開口部の範囲： ・ 図示</p> <p>防火戸の指定： ・ 図示</p> <p>・ 防火戸等の自動閉鎖装置は、日本建築センター評定品とする。</p> <p>建具見本の制作： ・ 必要 ・ 不要</p> <p>仮組の実施： ・ 行う ・ 行わない</p> <p>防犯建物部品の適用： ・ 図示 ・ 適用 ・ 適用しない</p>	<p>⑥ 性能及び構造</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠の見込み寸法 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td>S-4</td> <td rowspan="3">A-3</td> <td>W-4</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>S-5</td> <td>W-4</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>S-6</td> <td>W-5</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>防音ドアセット、サッシの適用： ・ 適用 ・ 適用しない ・ 図示</p>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法 (mm)	・ A種	S-4	A-3	W-4	70	・ B種	S-5	W-4	・ C種	S-6	W-5	100																											
					種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法 (mm)																																							
・ A種	S-4	A-3	W-4	70																																												
・ B種	S-5		W-4																																													
・ C種	S-6		W-5	100																																												
<p>5. 鋼製建具</p> <p>性能及び構造： ※JIS規格による</p> <p>断熱性能： ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6</p> <p>気密性： ・ A-1 ・ A-2 ※A-3</p> <p>水密性： ・ W-1</p> <p>鋼板の種類： ・ B種被覆鋼板 ・ 鋼板 ・ スチール鋼板 ・ 図示</p> <p>召合わせ、縦小口包み板等の材質： ※鋼板 ・ スチール鋼板 ・ 74M2合金鋼板</p>	<p>6.3 材料</p> <p>性能及び構造： ※JIS規格による</p> <p>断熱性能： ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6</p> <p>気密性： ・ A-1 ・ A-2 ※A-3</p> <p>水密性： ・ W-1</p> <p>鋼板の種類： ・ B種被覆鋼板 ・ 鋼板 ・ スチール鋼板 ・ 図示</p> <p>召合わせ、縦小口包み板等の材質： ※鋼板 ・ スチール鋼板 ・ 74M2合金鋼板</p>	<p>7.1 適用範囲</p> <p>適用範囲： ・ 建築製作所仕様以外の建具（</p> <p>金物の種類、材質： ・ 標準仕様書表5.7.1による</p> <p>軸吊りヒンジ： ・ 自閉装置付き ・ 自閉装置なし</p> <p>ドアクローザのディレーダクション（遅延閉）機能の適用： ・ 適用 ・ 適用しない</p> <p>戸当り： ・ あり止め（ワケ）付き ・ あり止め（ワケ）付きなし</p> <p>樹脂製建具の丁番： ※標準仕様書表5.7.3による</p> <p>握玉、レバーハンドル等の取付位置： ・ FL+900 ・ FL+950 ・ FL+1,000</p> <p>クレセント類の取付位置： ・ FL+900～FL+1,500迄</p> <p>マスターキー： ・ 製作する ・ 製作しない</p> <p>◎マスターキーの製作については施設管理者及び監督員と協議する。</p> <p>マスターキーの系統： ・ 系統</p> <p>指定建物錠の防犯性能の適用： ・ する ・ しない</p> <p>指定建物錠とは、建物の外部出入口に用いるワケ錠、ワケ錠/ワケ錠錠が該当</p> <p>耐ピッキング性能： ・ 5分未満 ・ 5分以上 ・ ※10分以上</p> <p>耐鍵穴壊し性能： ・ 5分未満 ・ 5分以上 ・ ※10分以上</p> <p>耐サムターン回し性能： なし（5分未満） ※あり（5分以上）</p> <p>耐カム送り解錠性能</p> <p>・ なし（5分未満） ※あり（5分以上）</p> <p>耐こじ破り性能</p> <p>・ なし（5分未満） ※あり（5分以上）</p> <p>出荷時の子鍵本数： ※3本 ・ 6本</p> <p>鍵筒の適用： ・ 必要 ・ 不必要</p>																																														


5章 建築改修工事	8.2 性能	8. 自動ドア開閉装置 スライディングドアの開閉性能: ・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSL-1 ・DSL-2	
	8.3 機構	スライディングドアの開閉性能: ・SND-1 ・SND-2 戸の開閉方法: センサーの種類: ・マフスイチ ・光線スイチ ・熱線スイチ ・音波スイチ ・光電スイチ ・タッチスイチ ・押しボタンスイチ ・ペダスイチ ・多機能便所スイチ 凍結防止装置: ・有 ・無	
	⑤ 性能等	9. 自閉式上吊り引戸装置 性能: ※標準仕様書表5.9.11による	
		10. 重量シャッター シャッターの種類: ・図示 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 耐風圧性能: ・50 ・80 ・120 開閉機能: ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 シャッターケース: ・図示 ※設ける ・設けない	
	11.2 形式及び機構	11. 軽量シャッター 開閉形式: ※手動式 ・上部電動式(手動併用) 開閉形式: ※手動式 ・上部電動式(手動併用) 耐風圧性能: ・50 ・80 ・120	
	11.3 材料	スラットの材質: ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・スチール鋼板 ※塗装溶融亜鉛57μm以上めっき鋼板 ・7μm押し型材 <パイプの材質>: ・スチール ・ステン <パイプ径>: ・図示 ・13mm ・16mm ・19mm <パイプ間隔>: ・図示 ・70mm <格子間隔>: ・図示 ・500mm	
	11.4 形状及び仕上げ	スラットの形状: ・ウレタン樹脂成形 ・ポリウレタン成形	
	12.2 形式及び機構	12. オーバーヘッドドア セクション材料による区別: ・図示 ・下表による セクション材料による区別 開閉方式による種類 収納形式による区分 ガイドレールの材料 ・スチール製 ・バラス式 ・スチール製 ・鋼製 ・7μm以上めっき鋼板 ・樹脂製 ・ステン製 ・ファイバーグラス製 ・電動式 ・ワイヤー形 ・バラス式	
	12.3 材料	耐風圧性能: ・50 ・75 ・100 ・125 ガイドレールの材質: ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・スチール鋼板	
	① 2材料	13. ガラス ガラスの種類: ●器具表による ガラス留め材 器具の種類 種類・材質 ①バネ製 ②樹脂製 ※ガラス材 ・バネ材(1種・2種) ③鋼製 ④樹脂製 ※ガラス材 ・バネ材(1種・2種) ・スチール製 ※樹脂材 ・バネ材(1種・2種) ・木製 ※樹脂材 ・バネ材(木製用)	
		③ 3ガラス溝の寸法、形状等	ガラス溝の大きさ: ※標準仕様書表5.13.11による 熱線反射ガラスの映像調整: ・行方 ・行わない 表面形状: ・図示 ・ブレン ・梨地 ・丸み 寸法、厚み: ・図示 ・190x190x95 ・145x145x95 型用金属材: ・図示 ・7μm以上めっき鋼板 ・ステン製 補強剤: ・図示 化粧目地の色: ・白 ・グレー ・黒 シーリング材: ・シリコン系 ・ウレタン系 ・シリコン系 金属製化粧カバー: ・図示 風圧力に対応した工法: 目地幅: ※標準仕様書による 伸縮調整目地の位置: ※標準仕様書による 伸縮調整目地の仕上げ: ※標準仕様書による
	6章 内装改修工事	④ 4 工法	1. 一般事項 既存間仕切り壁撤去に伴う天井、壁及び床の改修範囲: ※壁厚程度 ●図示 天井内の既存壁の撤去に伴う天井及び壁の改修範囲: ※両側600mm程度 ●図示 天井の撤去に伴う天井の改修範囲: ※既存のまま ●図示 既存部分の撤去工法: ●適用する【・標準仕様書6.2 ・標準仕様書6.3 ・標準仕様書6.4】 ●図示 新設下地の工法: ●適用する【・標準仕様書6.5 ・標準仕様書6.6 ・標準仕様書6.7】 ●図示 仕上げの工法: ※該当の有無により適用する ・図示

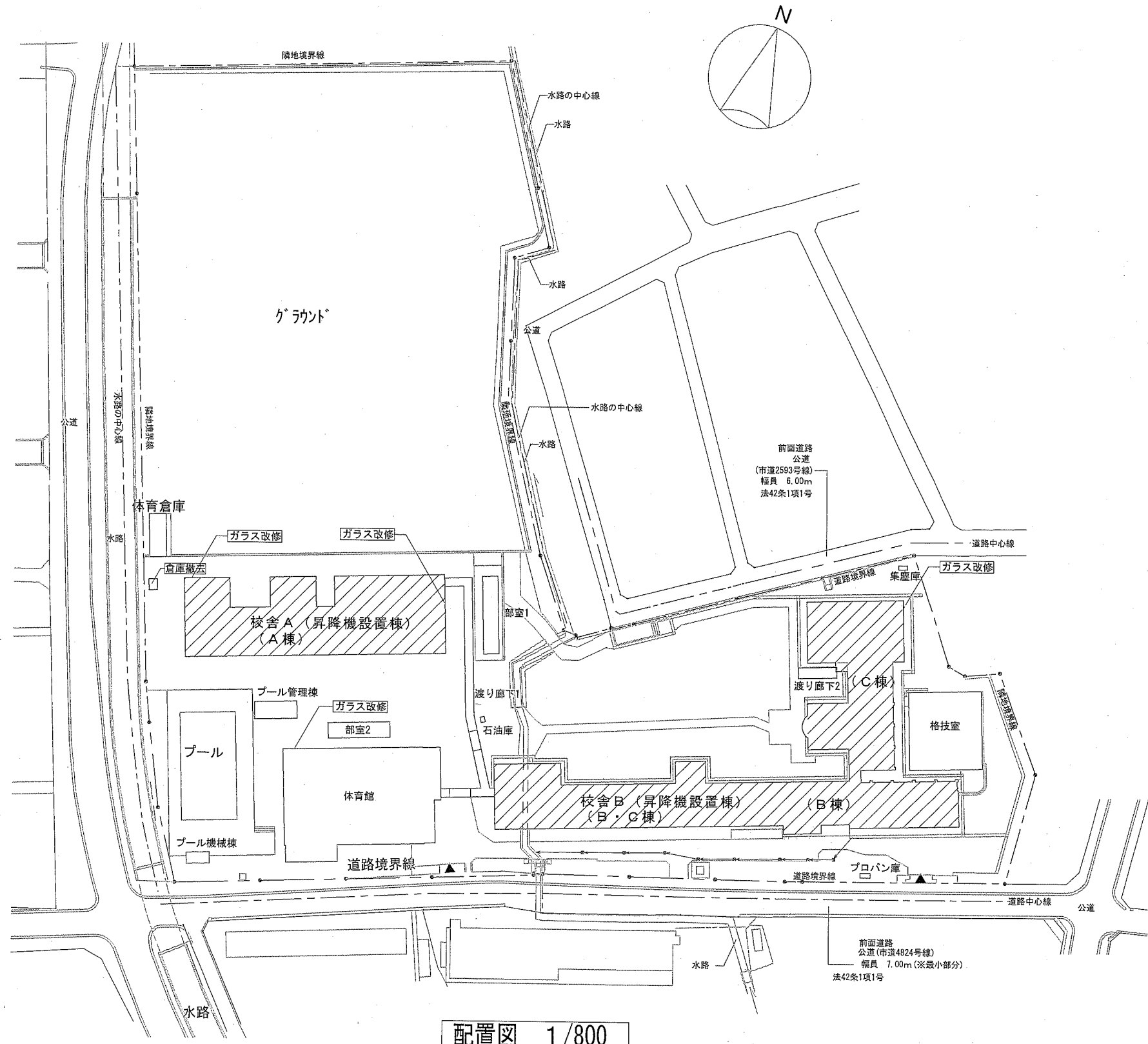
6章 内装改修工事	2.2 工法	2. 既存床の撤去並びに下地補修 合成樹脂塗料の除去: ・機械的除去工法 ・目荒工法 改修後の床の清掃範囲: ・影響範囲全て ・図示
	② 工法	3. 既存壁の撤去並びに下地補修 コンクリート間仕切り壁等の撤去に伴う構造体の補修: ●行う ・既存のまま ・珪藻土塗り(改修標準仕様書4.4.9による) ・図示
		5. 木下地等 ⑤ 見え掛り面の表面仕上げの適用箇所、種類: ・図示 ・下表による
	⑤ 1一般事項	適用箇所 種類 ・開口部縁 ●建具枠 ・笠木 ・A種 ・B種 ●C種 ・ブラインドボックス ●カーボックス 特記事項 ・A種 ・B種 ●C種 ・飾り柱 ・格子 ・吹抜け天板 ・衝立 ・A種 ・B種 ・C種 ・欄干 ・A種 ・B種 ・C種 ・梯子 ・A種 ・B種 ・C種
		⑤ 2 木 材
	⑤ 3 材 料	使用部位 樹種 区分等級 含水率 仕上げ 防腐防蟻処理 備考 全般 杉 1級 SD15 サグー なし 杉 ※2級 SD20 サグー なし D15 プレーナ なし D20 プレーナ なし
		⑤ JASによる造作用針葉樹製材: ●下表による(寸法は図示) ・図示
	⑤ 4 材 料	使用部位 樹種 化粧等級 含水率 仕上げ 防腐防蟻処理 備考 窓枠 杉 無節 SD15 サグー なし 床仕上げ板 ※上小節 SD18 サグー なし カーボックス ラワン ※小節 D15 プレーナ なし 段板 並 D18 プレーナ なし 巾木
		⑤ JASによる広葉樹製材: ・下表による(寸法は図示) ・図示
	⑤ 5 材 料	使用部位 樹種 材面の品質 含水率 寸法 防腐防蟻処理 備考 杉 ※A種 15% 図示 杉 B種 18% 図示 松 20%
		⑤ 造作用集成材 接着剤のM777放散量: ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・JASによる造作用集成材: 【・下表による(寸法は図示) ・図示 ・] ・JAS以外の造作用集成材: 【・下表による(寸法は図示) ・図示 ・]
	⑤ 6 材 料	使用部位 仕上げ 樹種 見付材 区分 備考 面 品質 等級 仕上有 1面 ※1等 1等 未仕上 2等 2等 塗装 4面
		・JASによる化粧ばり造作用集成材: 【・下表による(寸法は図示) ・図示 ・] ・JAS以外の化粧ばり造作用集成材: 【・下表による(寸法は図示) ・図示 ・]
⑤ 7 材 料	使用部位 強度等級 樹種 見付材 区分 備考 心材 化粧材/厚さ 面 品質 等級 E190-F615 1面 ※1等 1等 E105-F345 2等 2等 E65-F255 4面	
	⑤ 造作用単板積層材 接着剤のM777放散量: ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・JASによる造作用単板積層材: 【・下表による(寸法は図示) ・図示 ・] ・JAS以外の造作用単板積層材: 【・下表による(寸法は図示) ・図示 ・]	
⑤ 8 材 料	使用部位 含水率 仕上げ 表面の品質 防腐防蟻処理 備考 ※14% 仕上有 1等 なし 天然木化粧加工 仕上有 2等 塗装加工 未仕上 3等	

6章 内装改修工事	⑤ 9 材 料	⑤ 床張り用合板等 接着剤のM777放散量: ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ◇JASによる普通合板 使用部位 表板樹種名 厚さ(mm) 接合の程度 板面の品質 等級・処理・寸法等 ウレ 9 ※1類 ※2等 ●図示 ケ 9 2類 1等 12 ※C-D ◇JASによる構造用合板 使用部位 表板樹種名 等級 接合の程度 板面の品質 処理・寸法等 各室床下地捨て張り 針葉樹 1級 特種 A-B F☆☆☆☆/防虫処理材 ケ 2級 1類 B-C ケ 1等 D-D ◇パーティクルボード 使用部位 厚さ(mm) 曲げの区分 接合の区分 難燃性区分 等級・処理・寸法等 ※15 ※13P/M ●図示 18
	⑤ 10 材 料	⑤ 構造用パネル 曲げ等級: ・1級 ・2級 ・3級 ・4級 厚み: ・図示 ・25mm 接着剤のM777放散量: ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ 接着剤のM777放散量: ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ⑤ 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部位 性能区分 備考 ・K2 ・K3 ・K4 ・K2 ・K3 ・K4 加圧注入用木材の仕上がり: ・適用する ・調整しない 薬剤の塗布による防腐・防蟻処理の方法: ※標準仕様書による 「グ」原料接着剤への薬剤注入による防腐・防蟻処理の方法: ⑤ 防虫処理 木材の防虫処理: 樹種: ※下表を標準とし変更する場合は、事前に監督員の承諾を得る事。 使用箇所 材 種 ・RC造等の内部間仕切り 間仕切り軸組 ※杉 ・軸組及び床組 床組 ※杉又は松 ・窓、出入口、その他 ・吊元枠、水掛り 下枠及び敷居 ※杉 ・床板張り ・線甲板、上がり框 ※松 ・壁及び天井下地 ※杉又は松 樹種: ・杉 ・ケヤキ ・ササ ・ケ 杉 使用箇所: 種別: ・真物 ・貼物 樹種: 使用箇所:
	⑤ 11 材 料	5.3 接合具等 5.4 木ノコ 5.5 防蟻・防蟻 ・防虫処理
	⑤ 12 材 料	5.6~5.9
	⑤ 13 材 料	5.* 壁 木 5.* 銘 木
	⑤ 14 材 料	6. 軽量鉄骨天井下地 種類: ●標準仕様書表6.6.11による 屋外の野縁受け、吊りボルト、インサートの間隔: ・毎800mm 屋外の野縁の間隔: ※標準仕様書表6.6.21による あと施工アンカーの引抜き試験: ●行わない ・行う 試験法: ・標準仕様書表6.6.4(a)(3)による ・図示 屋外の引抜き試験の箇所: ・図示 ・屋内と同程度 切断された天井下地の補強方法: ・図示 屋外の軒天井、ピロティ天井の補強: ・図示 ・天井内配管類及びダクト等により、野縁受けを吊れない場合には、野縁受けの断面を大きくするか又は補強用チャンネル、アングル等を用いて十分補強を行う。 ・吊りボルトは配管類及びダクト等とは絶縁して取り付ける。
	⑤ 15 材 料	7. 軽量鉄骨壁下地 種類: ●O形 ●E形 ・90形 ・100形 スタッドの高さが5mを超える場合: ・図示
	⑤ 16 材 料	8. ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り ビニル床シートの材料: ●図示 ・下表による 種類 記号 色柄 厚さ(mm) ・発泡層のないビニル床シート ※FS ※無地 ※2.0 ・2.5(コイン) ・発泡層のあるビニル床シート(クッションフロア) ・DO ・ ※2.3 ・3.5

6章 内装改修工事	⑤ 17 材 料	⑤ ビニル床タイル、ゴム床タイルの材料: ・図示 ・下表による 種類 厚さ(mm) ・コバジヤンビニル床タイル 半硬質(GT) ※2.0 ・コバジヤンビニル床タイル 軟質(GTS) ※2.0 ・ネジコバジヤンビニル床タイル(HI) ※2.0 ・ゴム床タイル ・無地 ・4.0 ・マーブル ・4.0 接着剤のM777放散量: ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・帯電防止床シート張り ・帯電防止床タイル張り 種類: 性能: ・体積抵抗値(1.0x10 ¹⁰ Ω) 厚さ: ・2.0mm ・4.0mm ・4.5mm ●視覚障害者用床タイル張り 種類: ●合成ゴム貼付用 ・合成ゴム貼付用 ・合成ゴム裏面CON 厚み13+8 ●せつ器質タイル ・コケル 厚み13+5 厚み: ・2mm ・15mm ・20mm ・30mm ●耐熱耐衝撃性床シート張り: 種類()厚さ() ●ビニル床木の厚み: ※1.5mm以上 ●ビニル床木の長さ: ※60mm ●100mm ●300mm 下地の工法: ●珪藻土塗り下地 ※木下地 ●図示 熱溶接工法: ●適用する ・適用しない
	⑤ 18 材 料	9. カーペット敷き ⑤ 織じゅうたん 種別: ・A種 ・B種 ・C種 パイル形状: ・カットパイル ・ループパイル ・カットループ併用 色柄: ・無地 ・柄物 帯電性の適用: ・適用しない ・適用する【人体帯電圧: ※3kV以下 ・] ⑤ タフテッドカーペット パイル形状: ・ループ ・カット パイル長: ・図示 ・ mm ⑤ ニードルパンチカーペット 厚さ: ・4mm ・7mm ⑤ タイルカーペット パイル形状 種類 寸法(mm) 総厚さ(mm) ※第1種ループパイル ※第1種 ※500x500 ※6.5 ・第2種 ・カットパイル ・カットループ併用
	⑤ 19 材 料	⑤ 下敷き材 下敷き材: ※反毛フェルト第2種2号(厚8mm) 接着剤のM777放散量: ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ タフテッドカーペットの工法: ・「グ」工法 ・全面接着工法 タイルカーペットの敷き方(平場): ※市松敷き (階段部分): ※横溝敷き
	⑤ 20 材 料	10. 合成樹脂塗料 種類 仕上げ種類 備考 ・弾性ウレタン塗料 ※平滑 ・防汚 ・つや消し ・珪藻土珪酸系塗料 ・薄膜塗し層 ・厚膜塗し層: ※平滑 ・防汚 ・樹脂珪酸系: ・平滑 ・防汚
	⑤ 21 材 料	⑤ 11. フローリング張り 種類 材 種 工 法 形式寸法等(mm)LxWx t ・フローリング1等 ※行方 ・釘留め工法(根太張り) ・500(L)x75(W)x15(t)以上 ・フローリング2等 ・フローリング3等 ・フローリング4等 ・フローリング5等 ・フローリング6等 ・フローリング7等 ・フローリング8等 ・フローリング9等 ・フローリング10等 ・フローリング11等 ・フローリング12等 ・フローリング13等 ・フローリング14等 ・フローリング15等 ・フローリング16等 ・フローリング17等 ・フローリング18等 ・フローリング19等 ・フローリング20等
	⑤ 22 材 料	⑤ 12. 床タイル張り 種類 材 種 工 法 形式寸法等(mm)LxWx t ・床タイル1等 ※行方 ・釘留め工法(根太張り) ・500(L)x500(W)x15(t)以上 ・床タイル2等 ・床タイル3等 ・床タイル4等 ・床タイル5等 ・床タイル6等 ・床タイル7等 ・床タイル8等 ・床タイル9等 ・床タイル10等 ・床タイル11等 ・床タイル12等 ・床タイル13等 ・床タイル14等 ・床タイル15等 ・床タイル16等 ・床タイル17等 ・床タイル18等 ・床タイル19等 ・床タイル20等
	⑤ 23 材 料	⑤ 13. 床タイル張り 種類 材 種 工 法 形式寸法等(mm)LxWx t ・床タイル1等 ※行方 ・釘留め工法(根太張り) ・500(L)x500(W)x15(t)以上 ・床タイル2等 ・床タイル3等 ・床タイル4等 ・床タイル5等 ・床タイル6等 ・床タイル7等 ・床タイル8等 ・床タイル9等 ・床タイル10等 ・床タイル11等 ・床タイル12等 ・床タイル13等 ・床タイル14等 ・床タイル15等 ・床タイル16等 ・床タイル17等 ・床タイル18等 ・床タイル19等 ・床タイル20等
	⑤ 24 材 料	⑤ 14. 床タイル張り 種類 材 種 工 法 形式寸法等(mm)LxWx t ・床タイル1等 ※行方 ・釘留め工法(根太張り) ・500(L)x500(W)x15(t)以上 ・床タイル2等 ・床タイル3等 ・床タイル4等 ・床タイル5等 ・床タイル6等 ・床タイル7等 ・床タイル8等 ・床タイル9等 ・床タイル10等 ・床タイル11等 ・床タイル12等 ・床タイル13等 ・床タイル14等 ・床タイル15等 ・床タイル16等 ・床タイル17等 ・床タイル18等 ・床タイル19等 ・床タイル20等
	⑤ 25 材 料	⑤ 15. 床タイル張り 種類 材 種 工 法 形式寸法等(mm)LxWx t ・床タイル1等 ※行方 ・釘留め工法(根太張り) ・500(L)x500(W)x15(t)以上 ・床タイル2等 ・床タイル3等 ・床タイル4等 ・床タイル5等 ・床タイル6等 ・床タイル7等 ・床タイル8等 ・床タイル9等 ・床タイル10等 ・床タイル11等 ・床タイル12等 ・床タイル13等 ・床タイル14等 ・床タイル15等 ・床タイル16等 ・床タイル17等 ・床タイル18等 ・床タイル19等 ・床タイル20等
	⑤ 26 材 料	⑤ 16. 床タイル張り 種類 材 種 工 法 形式寸法等(mm)LxWx t ・床タイル1等 ※行方 ・釘留め工法(根太張り) ・500(L)x500(W)x15(t)以上 ・床タイル2等 ・床タイル3等 ・床タイル4等 ・床タイル5等 ・床タイル6等 ・床タイル7等 ・床タイル8等 ・床タイル9等 ・床タイル10等 ・床タイル11等 ・床タイル12等 ・床タイル13等 ・床タイル14等 ・床タイル15等 ・床タイル16等 ・床タイル17等 ・床タイル18等 ・床タイル19等 ・床タイル20等
	⑤ 27 材 料	⑤ 17. 床タイル張り 種類 材 種 工 法 形式寸法等(mm)LxWx t ・床タイル1等 ※行方 ・釘留め工法(根太張り) ・500(L)x500(W)x15(t)以上 ・床タイル2等 ・床タイル3等 ・床タイル4等 ・床タイル5等 ・床タイル6等 ・床タイル7等 ・床タイル8等 ・床タイル9等 ・床タイル10等 ・床タイル11等 ・床タイル12等 ・床タイル13等 ・床タイル14等 ・床タイル15等 ・床タイル16等 ・床タイル17等 ・床タイル18等 ・床タイル19等 ・床タイル20等

6章 内装改修工事	11.6 現場塗装仕上げ	仕上がり： ※カカ樹脂カス塗り ・既製仕上げ	6章 内装改修工事	16.1 一般事項	16. タイル張り 伸縮調整目地の位置： ※64mm(縦・横共) ・図示	7章 塗装改修工事	7.2 塗料塗り	7. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) 種類： ・A種 ※B種	9章 環境配慮改修工事	5.2 断熱材打込工法	5. 断熱・防露改修工事
	12.2 材料	12. 量敷き 種類： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-X ・KT-N)		16.3 セメントモルタル	による陶磁器質タイル張り タイルの種類： ・図示 ・下表による		①2~8.4 ***塗料塗り	8. 耐水性塗料塗り (DP) 鉄鋼面の種類： ・A種 ※B種 ・C種 ①上塗り等級：1級(ふっ素樹脂) 亜鉛めっき鋼面の種類： ・A種 ・B種 ・C種 コンクリート面の種類： ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種 押出成形セメント板の種類： ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種		9.2 現場吹付発泡断熱材	5.3 現場吹付発泡断熱材
13.2 材料	13. セッコウボードその他ボード及び板張り	規格名称	種類	記号	厚さ(mm)	②2~9.5 ***塗料塗り	9. つや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) コンクリート面及びモルタル面の種類： ・A種 ※B種 ・C種 プラスター面の種類： ・A種 ※B種 ・C種 セッコウボード、及びその他のボード面の種類： ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合のしきり止め： ・標準仕様書7.9.2(b)による ・図示 屋内木部の種類(新規)： ※A種 ・B種 ・C種 ②下地調整RA種 屋内木部の種類(多孔質広葉樹)： ・A種 ・B種 ・C種 屋内木部の種類(塗替え)： ・A種 ※B種 ・C種 ②下地調整RB種 屋内鉄鋼面の種類： ・A種 ※B種 ・C種 屋内亜鉛めっき鋼面の種類： ・A種 ※B種 ・C種	5.4 断熱材後張り工法	5.4 断熱材後張り工法		
13.3 工法	木質系材の板	・木毛材の板 ・木片材の板	・HW ・NW ・HF ・NF		・25 ・50 ・	10.2 ***塗料塗り	10. 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) 種類： ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合のしきり止め： ・標準仕様書7.13.2(b)による ・図示	6.2 材料	6.2 材料		
13.3 工法	せッコウボード製品	・せッコウボード ・シジツグせッコウボード ①強化せッコウボード ②せッコウボード ③化粧せッコウボード(1層・2層) ・化粧せッコウボード	GB-R GB-S GB-F GB-L GB-D		・9.5 ・12.5 ・9.5 ・12.5 ①12.5 ・15.0 ②1 ※9.5 ・7 ③9.5 ・12.5 ・9.5 ・12.5	11.2 ***塗料塗り	11. 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T) コンクリート面及びモルタル面の種類： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 プラスター面の種類： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 せッコウボード等の種類： ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種	6.3 工法	6.3 工法		
	繊維強化セメント板	①繊維強化セメント板(1層・2層) ②化粧繊維強化セメント板	①0.8FK ②1.0FK		①6.0 ・10 ②6.0 ・10	12.2 ***塗料塗り	12. ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) 種類： ・A種 ※B種	6.4 枯積	6.4 枯積		
13.3 工法	パネリング材(繊維板)			・RS ・VS ・DV ・DD ・DC		12.2 ***塗料塗り	13. ラッカーエナメル塗り (LE) 種類： ・A種 ※B種	7.2 既存舗装の撤去及び再利用	7.2 既存舗装の撤去及び再利用		
	火山性ガラス質複層板(VSボード)					13.2 ***塗料塗り	15. 木材保護塗料塗り (WP) 種類： ・A種 ※B種	7.3 路床	7.3 路床		
13.3 工法	材料の熱安定性試験放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆	③合板	材種	樹種など	厚さ(mm)	工法	17.2 材料	7.4 路盤	7.4 路盤		
	・難燃合板	生地そのまま又は透明塗料塗りの場合 ・ワッ 不透明塗料塗りの場合 ・シ【1級・2級】			・4 ・5.5 ・6	・A種 ※B種	1. 一般事項 塗料の防火材料の指定： ・図示 ・無 ・有()	7.5 舗装の構成及び仕上り	7.5 舗装の構成及び仕上り		
13.3 工法	・普通合板	①ワッ ・シ			・4 ⑤5.5 ⑥6.0 ⑦12	・A種 ※B種	2. 下地調整	7.9 試験	7.9 試験		
	・捨張り用合板	・南洋材 ・針葉樹	・型枠用 ・構造用		・9 ・12 ・	・A種 ※B種	塗装面の種類				
13.3 工法	・有孔合板	・シ			・4 ・6 ・	・A種 ※B種	木部(不透明塗料塗り部) ※RA種 ・RB種 ・RC種 木部(透明塗料塗り部) ・RA種 ※RB種 ・RC種 鉄鋼面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 亜鉛メッキ鋼面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 モルタル、プラスター ・RA種 ※RB種 ・RC種 コンクリート、ALCパネル ・RA種 ※RB種 ・RC種 押出成形セメント板 ・RA種 ・RB種 ・RC種 せッコウその他ボード 縦目処理工法の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種 その他の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種				
	・天然木化粧合板	化粧単板のそば包み ・行方 ※行わない 化粧単板の厚さ ※0.3未満			・4.2	・A種 ※B種	3. 鉄鋼面錆止め塗料塗り				
13.3 工法	・特殊加工化粧合板	表面仕上げの種類 ・ワッ ・シ			・4.0 ・3.0	・A種 ※B種	亜鉛メッキ鋼面屋外： ※A種 ・B種 ・C種 亜鉛メッキ鋼面屋内： ※A種 ・B種 ・C種 亜鉛メッキ鋼面EP-G塗装下地： ・A種 ・B種 ※C種 鉄鋼面見え掛り部分新規塗り工法： ※A種 ・B種 ・C種 鉄鋼面見え隠れ部分新規塗り工法： ・A種 ③B種 ・C種 鉄鋼面塗替え部分工法： ・A種 ・B種 ※C種				
	材料の熱安定性試験放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆	普通合板の防虫処理： ※行わない ・行方 天然木化粧合板の防虫処理： ※行わない ・行方 特殊加工化粧合板の防虫処理： ※行わない ・行方 接着剤の熱安定性試験放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ せッコウボードの目地処理： ・縦目処理工法 ①目隠し工法 ②突付け工法 遮音シート材： ・ワッ系シート材 ・シヨントマト						4. 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)			
14.2 材料	14. 壁紙張り	防火性能の指定： ・下表による ・図示	品質	検定区分	施工箇所		4.2 塗料の種類				
	・ワッ系	・1級 ・2級					4.3~4.5 ***塗料塗り				
14.2 材料	・繊維系	・1級 ・3級 ・4級					5. クリヤーラッカー塗り (CL)				
	・ワッ系	・1級 ・2級					種類： ・A種 ※B種				
14.2 材料	材料の熱安定性試験放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆	14.3 施工	モルタル面及びプラスター面の下地調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種 コンクリート面の下地調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種 せッコウボード及びその他ボード面の下地調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種								
	15.3 材料	15. モルタル塗り	既製目地： ・適用 ・不適用 既製目地の形状寸法等： ・図示 床の目地： ・設ける ・設けない 工法： ※押し目地 ・切り目地								
14.2 材料	15.6 工法										

公共建築課長	主査	担当者
		



配置図 1/800



工事場所
市立久里浜中学校
横須賀市久里浜2丁目11番1号

案内図

- 工事概要
- 昇降機設置に伴う建築工事
 - ・ A棟1階体育倉庫を荷受室兼配膳室への改修工事
 - ・ A棟2～4階女子更衣室、図書準備室、倉庫を配膳室への改修工事
 - ・ B棟1階バンコナー、倉庫を荷受室兼配膳室への改修工事
 - ・ B棟2階ボランティア室、3階普通教室を配膳室と少人数教室への改修工事
 - ・ 上記に伴う内装・外構改修工事
 - ・ その他工事（既存アルミ建具ガラス交換、倉庫撤去）
 - 機械設備工事
 - 電気設備工事（別途工事）

公共建築課長	主査	担当者

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

Ⓐ — 06

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月


案内図・配置図

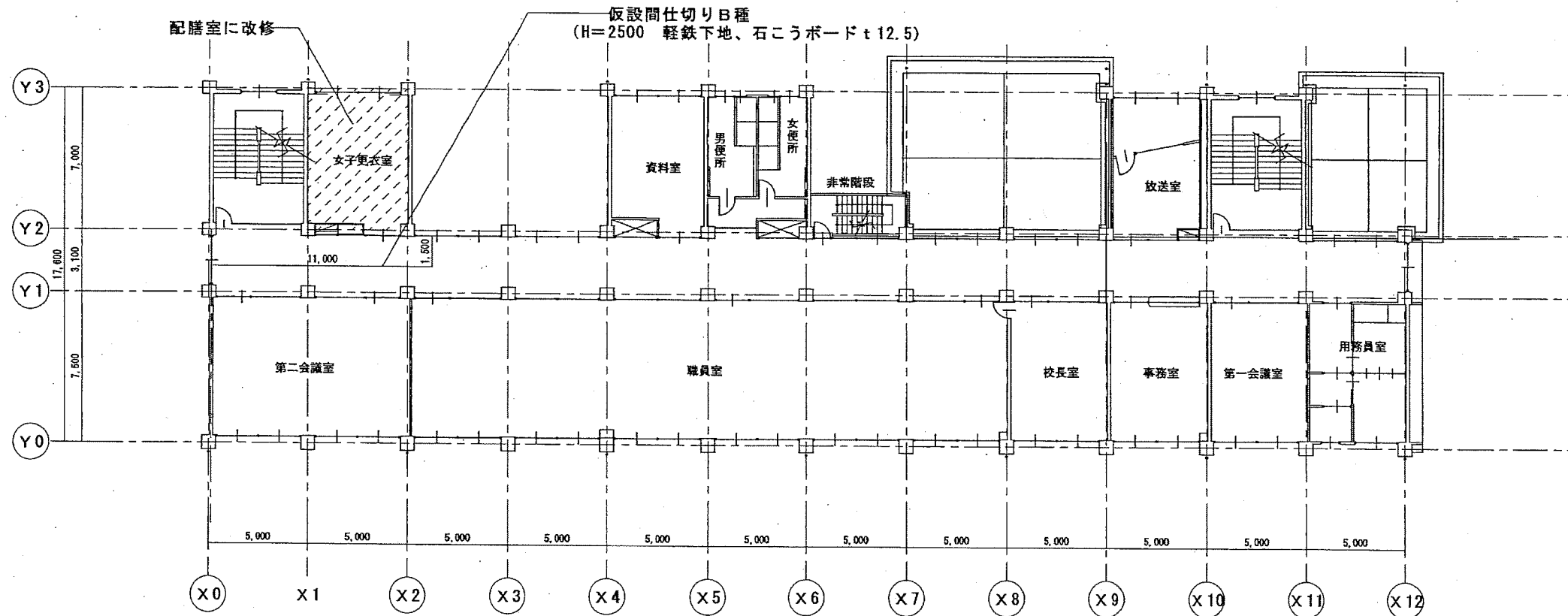
縮尺 1/800

① 外部仕上表				既 存				改 修 後			
屋 根	(アスファルト防水)			屋 根	(アスファルト防水)			屋 根	(アスファルト防水)		
外 壁	(モルタル刷毛引き アクリル系リシン吹付)	犬 走 り	(コンクリート金ゴテ)	外 壁	(モルタル刷毛引き アクリル系リシン吹付)	犬 走 り	(コンクリート金ゴテ)	外 壁	(モルタル刷毛引き アクリル系リシン吹付)	犬 走 り	(コンクリート金ゴテ)
梁 型・柱 型	(コンクリート打放、アクリル系リシン吹付)	豎 樋	(VPφ100)	梁 型・柱 型	(コンクリート打放、アクリル系リシン吹付)	豎 樋	(VPφ100)	梁 型・柱 型	(コンクリート打放、アクリル系リシン吹付)	豎 樋	(VPφ100)
巾 木	(モルタル金ゴテ)			巾 木	(モルタル金ゴテ)			巾 木	(モルタル金ゴテ)		

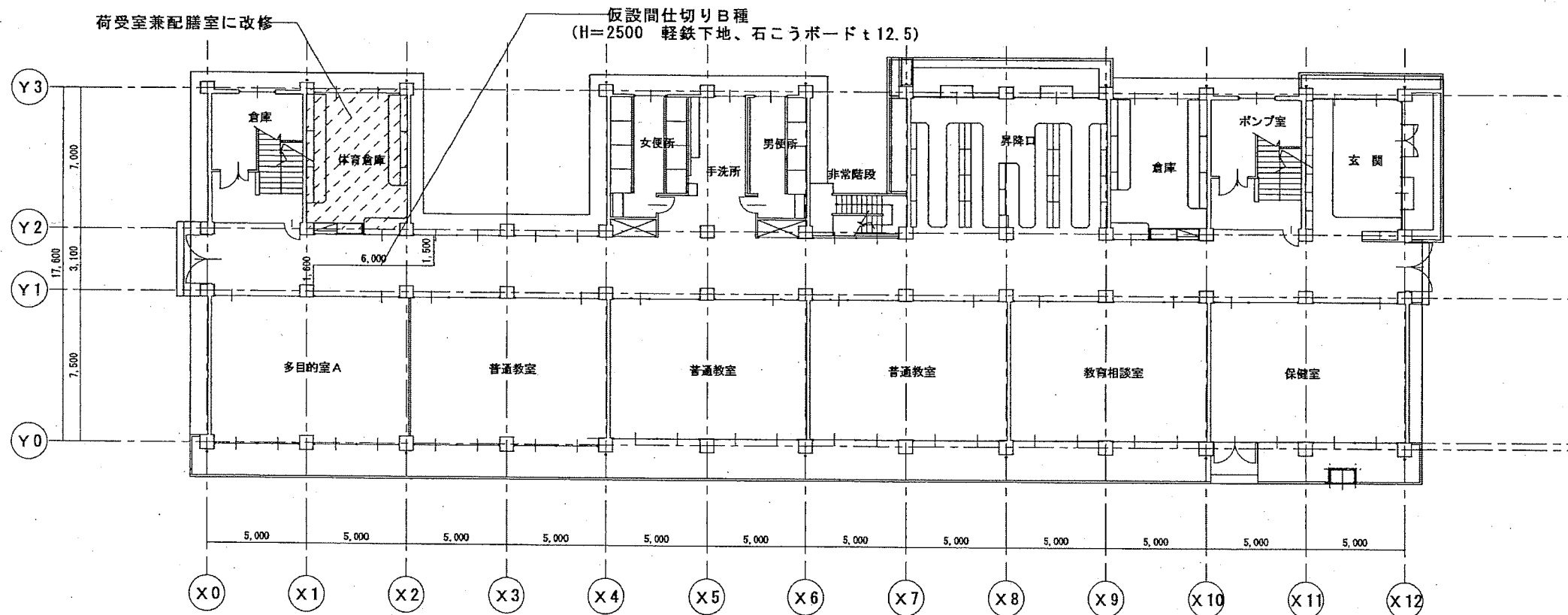
② 内部仕上表															
階	(改修前 室名) 改修後室名	改修 前後	床		巾 木		腰 壁		壁		見切縁	天 井	天井高	備 考	
				Hmm		Hmm		塗装		塗装					
1階	(体育倉庫) 荷受室兼配膳室	前	A部：塩化ビニルシートt2.5撤去 B部：一部フローリングt15撤去		ラワン	100	(モルタル金ゴテ)		(VP)	(プaster)		塩ビ撤去	石こうボードt9撤去(LGS下地共)	2500	
		後	A部：ビニルシートt2.0(抗菌・耐動荷重性) - ポリマーセメントペースト B部：ビニルシートt2.0(抗菌・耐動荷重性) -モルタルt48		ビニル巾木	300	化粧けい酸カルシウム板t6-下地は壁詳細による			化粧けい酸カルシウム板t6-下地は壁詳細による		塩ビ	化粧石こうボードt9.5準不燃突付け(LGS下地)	2670	室名札
2階	(女子更衣室) 配膳室	前	フローリングブロックt15撤去		ラワン	100	(モルタル金ゴテ)		(VP)	(プaster)		塩ビ撤去	石こうボードt9撤去(LGS下地共)	2500	
		後	ビニルシートt2.0(抗菌・耐動荷重性) - モルタルt48		ビニル巾木	300	化粧けい酸カルシウム板t6-下地は壁詳細による			化粧けい酸カルシウム板t6-下地は壁詳細による		塩ビ	化粧石こうボードt9.5準不燃突付け(LGS下地)	2670	室名札
3階	(図書準備室) 配膳室	前	フローリングブロックt15撤去		ラワン	100	(モルタル金ゴテ)		(VP)	(プaster)		塩ビ撤去	石こうボードt9撤去(LGS下地共)	2500	
		後	ビニルシートt2.0(抗菌・耐動荷重性) - モルタルt48		ビニル巾木	300	化粧けい酸カルシウム板t6-下地は壁詳細による			化粧けい酸カルシウム板t6-下地は壁詳細による		塩ビ	化粧石こうボードt9.5準不燃突付け(LGS下地)	2670	室名札
4階	(倉庫) 配膳室	前	フローリングブロック撤去t15		ラワン	100	(モルタル金ゴテ)		(VP)	(プaster)		塩ビ撤去	石こうボードt9撤去(LGS下地共)	2500	
		後	ビニルシートt2.0(抗菌・耐動荷重性) - モルタルt48		ビニル巾木	300	化粧けい酸カルシウム板t6-下地は壁詳細による			化粧けい酸カルシウム板t6-下地は壁詳細による		塩ビ	化粧石こうボードt9.5準不燃突付け(LGS下地)	2670	室名札
共通	(廊下) 廊下	前	塩化ビニルシートt2.5(コイン)一部撤去		(モルタル金ゴテVP)	100	(モルタル金ゴテ)		(VP)	(プaster)		塩ビ一部撤去	石こうボードt9一部撤去	2500	
		後	塩化ビニルシートt2.5(コイン)撤去部復旧 - ポリマーセメントペースト		新規壁面：ビニル巾木	100	新規壁：強化石こうボードt12.5*2		EP-G	(プaster) 新規壁：強化石こうボードt12.5*2	EP-G	塩ビ撤去部復旧	(石こうボードt9) 撤去部復旧部分：EP-石こうボードt9.5	2500	

*廊下(床)一部撤去部取合カッター入れ

公共建築課長	主査	担当者
		



*仮設間仕切り位置は参考とする。



*仮設間仕切り位置は参考とする。

公共建築課長	主査	担当者

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

A — 08

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

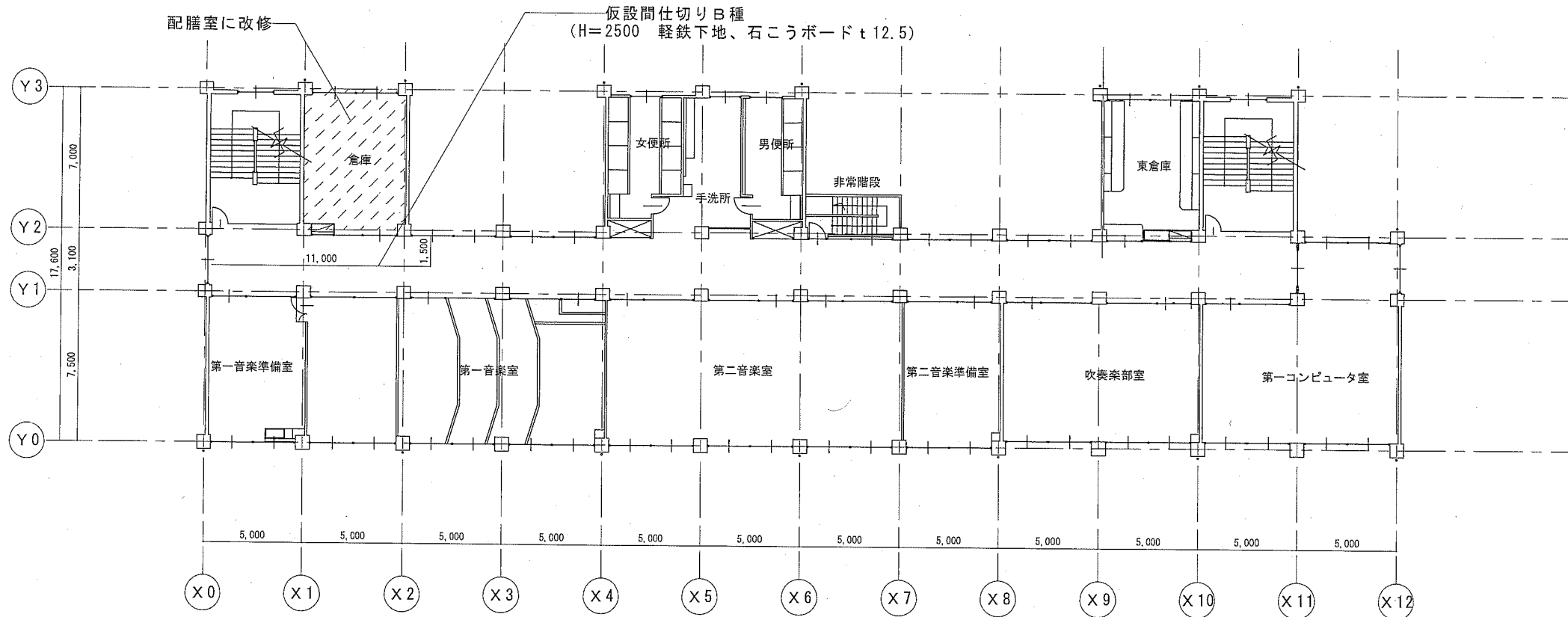
A棟 1、2階 平面図

縮尺 1/200

1

A棟 4階 平面図

1/200

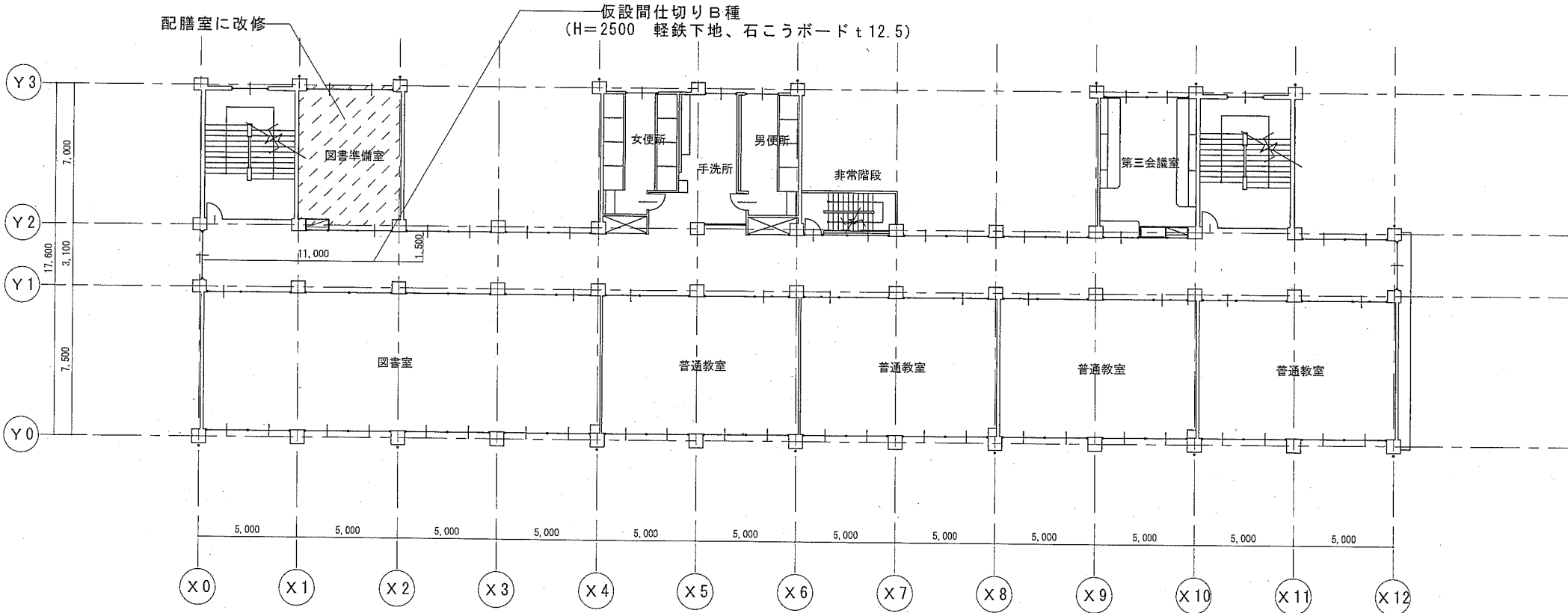


*仮設間仕切り位置は参考とする。

2

A棟 3階 平面図

1/200



*仮設間仕切り位置は参考とする。

公共建築課長	主査	担当者

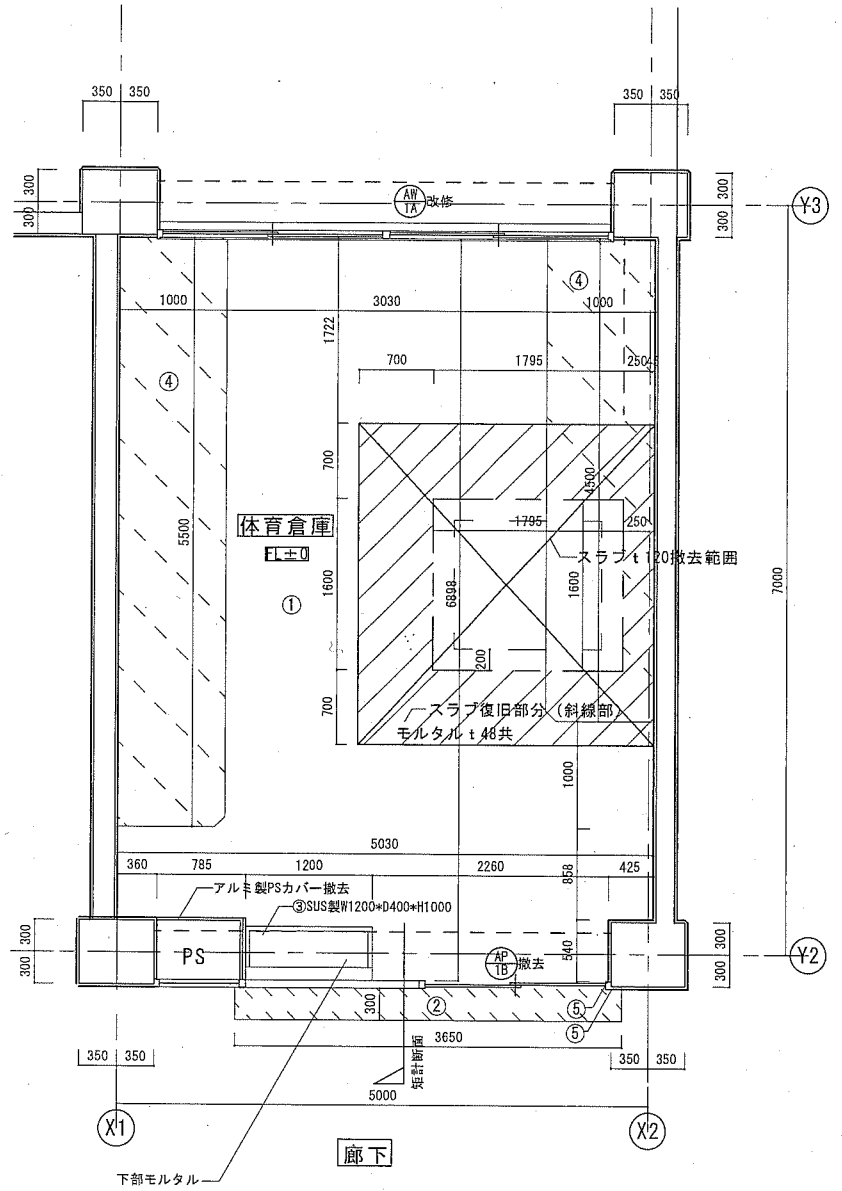
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

A 09

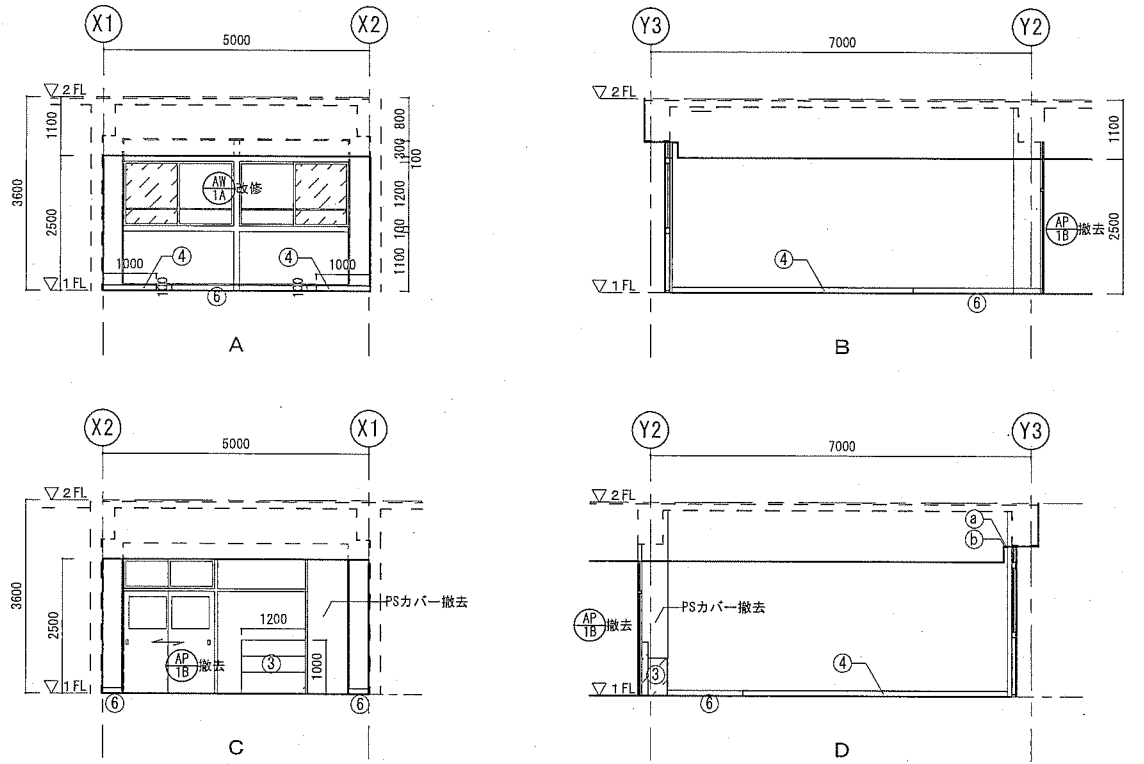
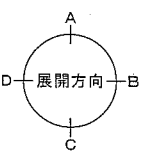
横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

A棟 3, 4階 平面図

縮尺 1/200



仕上表(改修前)	
部位	仕上
床	塩化ビニルシート t2.5 一部フローリング t15
巾木	ラワンH=100
腰壁	モルタル金網VP
壁	プラスター
廻縁	塩化ビニル製
天井	石膏ボード t9
備考	



撤去内容	
① 床ビニルシート t2.5撤去(下地未撤去)	⑥ ラワン巾木H=100撤去
② ビニル床シート(ノンスリップ t2.5)撤去(下地未撤去)	
③ SUS製シンク撤去	
④ フローリング t15撤去(木下地共)	
⑤ 柱型・巾木モルタルW100×H2500撤去・(カッター入れ共)	

公共建築課長	主査	担当者

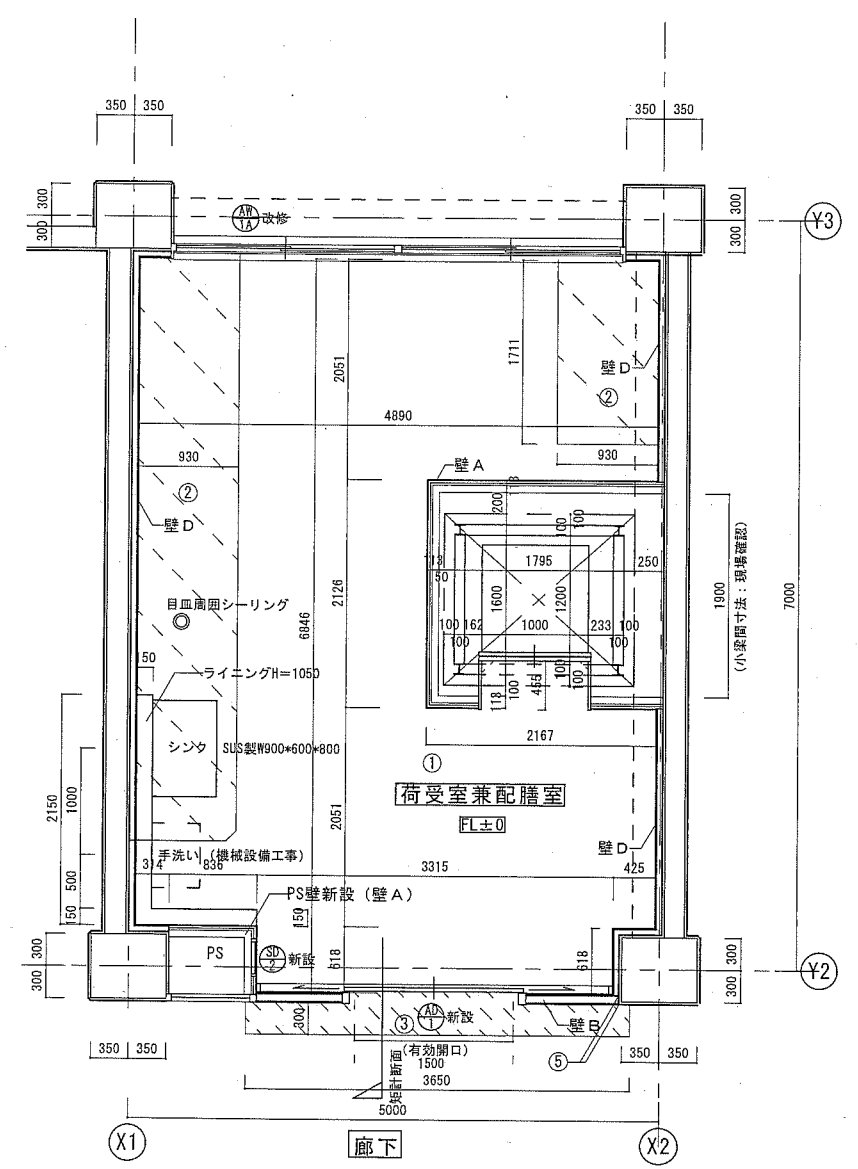
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

A 10

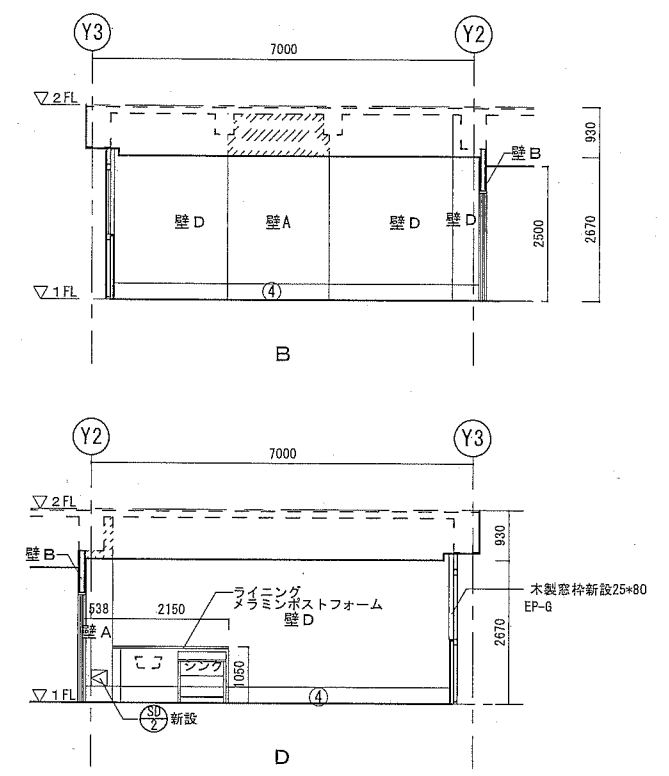
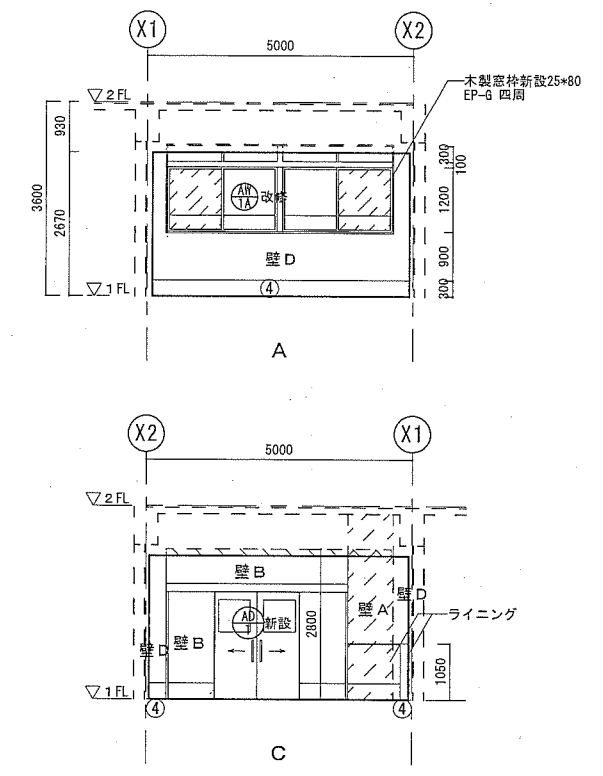
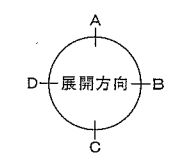
横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

A棟 1階 体育倉庫 平面詳細図・展開図(改修前)

縮尺 1/50、1/100



仕上表(改修後)	
部位	仕上
床	ビニル床シートt2.0(抗菌・耐動荷重性)
巾木	ビニル巾木H=300
腰壁	化粧けい酸カルシウム板 t=6
壁	化粧けい酸カルシウム板 t=6
廻縁	塩化ビニル製
天井	化粧石膏ボード t 9.5
備考	※廊下: 新設壁 ビニール巾木H=100



改修内容	
①	ビニル床シート張り(t2.0 抗菌・耐動荷重性)ーポリマーセメントペースト
②	ビニル床シート張り(t2.0 抗菌・耐動荷重性)ーモルタルt48
③	ビニル床シート(ノンスリップ コイン) t2.5張りーポリマーセメントペースト
④	ビニール巾木取付(H=300)
⑤	柱型・巾木モルタルW100×H2500補修の上、EP-G(室内:モルタル補修のみ)

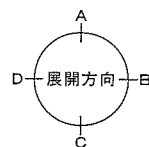
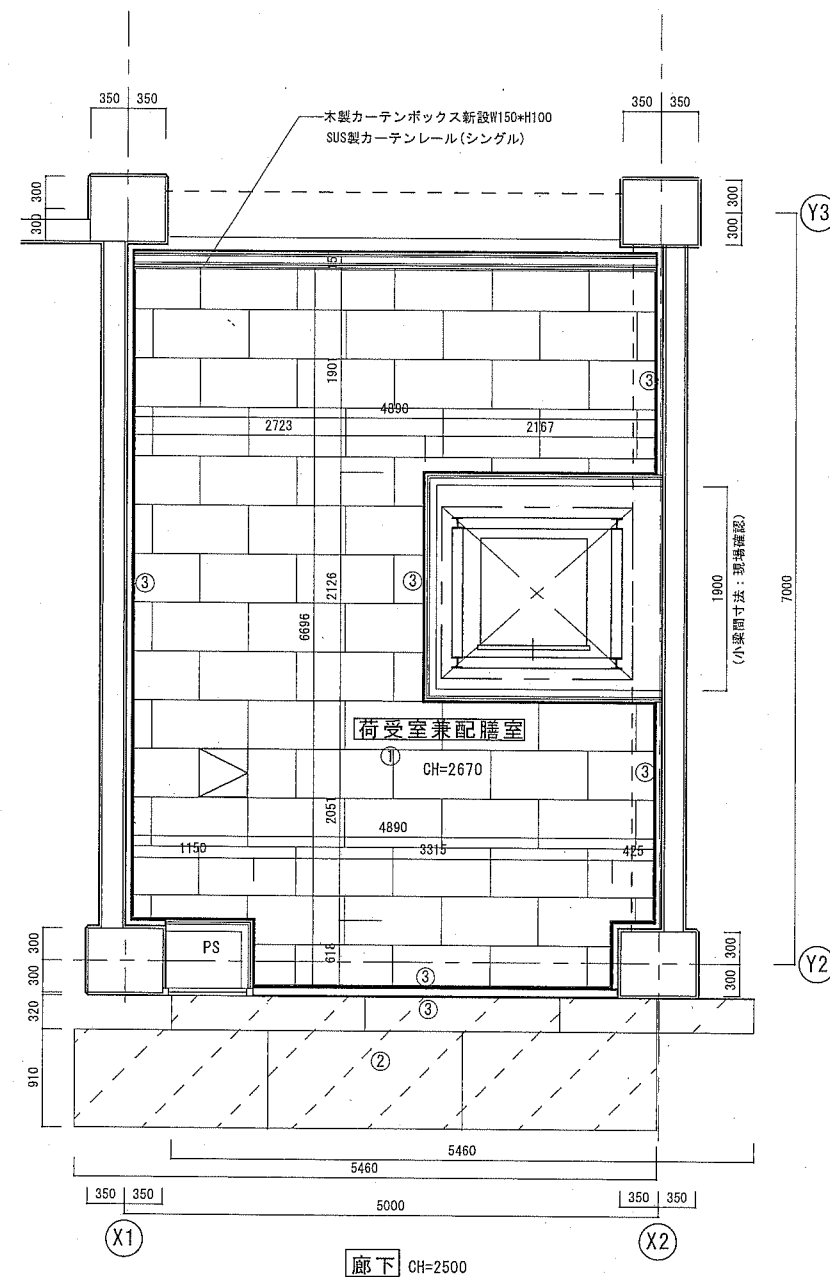
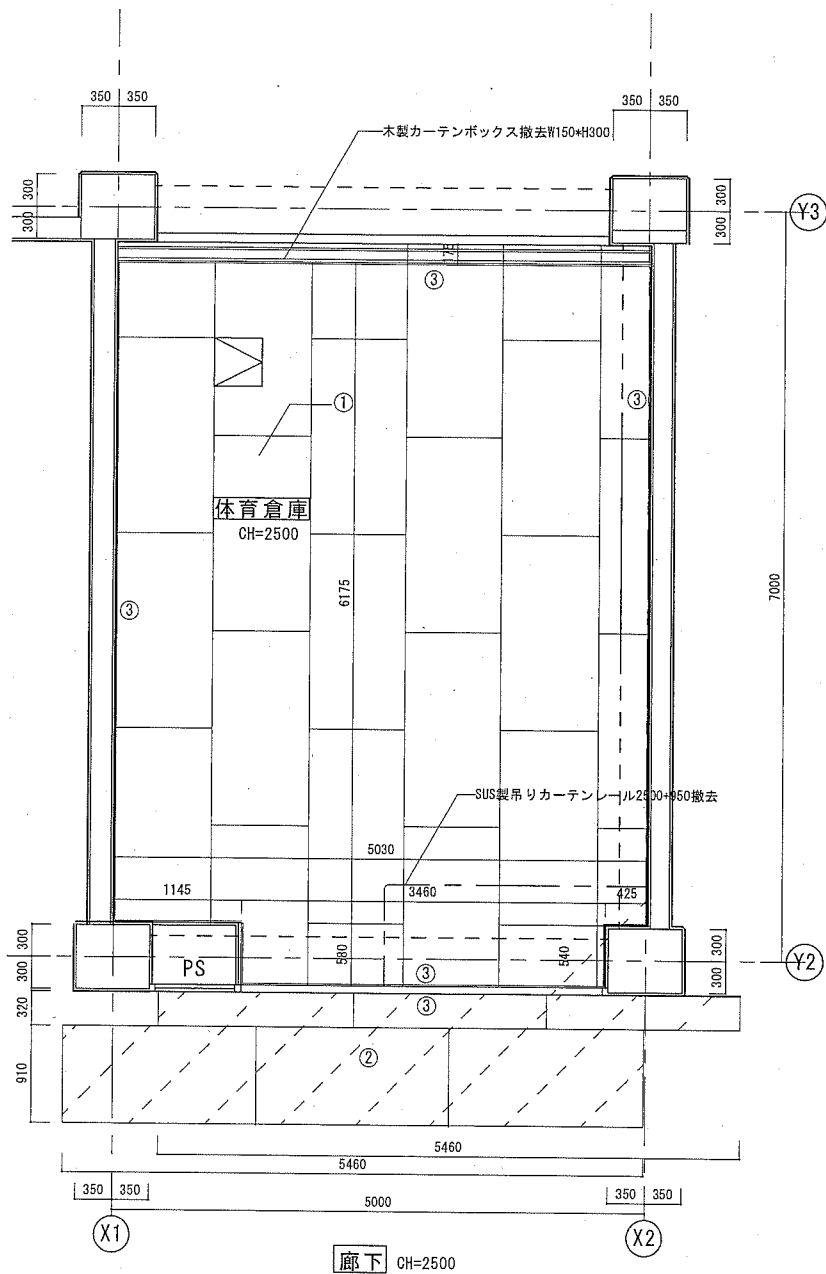
公共建築課長	主査	担当者

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

A 11

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

A棟 1階 荷受室兼配膳室 平面詳細図・展開図(改修後) 縮尺 1/50、1/100



アルミ製天井点検口450角(開口補強共)

公共建築課長	主査	担当者

撤去内容	改修内容
① 天井：石こうボードt9.0撤去（吊りボルト、軽量鉄骨天井下地共）	① 天井：化粧石こうボードt9.5張り（吊りボルト、軽量鉄骨天井下地@225）
② 天井：石こうボードt9.0撤去（吊りボルト、軽量鉄骨天井下地共）	② 天井：EP-石こうボードt9.5張り（吊りボルト、軽量鉄骨天井下地@300）
③ 廻り縁：塩化ビニル製撤去（天井材撤去部）	③ 廻り縁：塩化ビニル製（張替、新設周り）

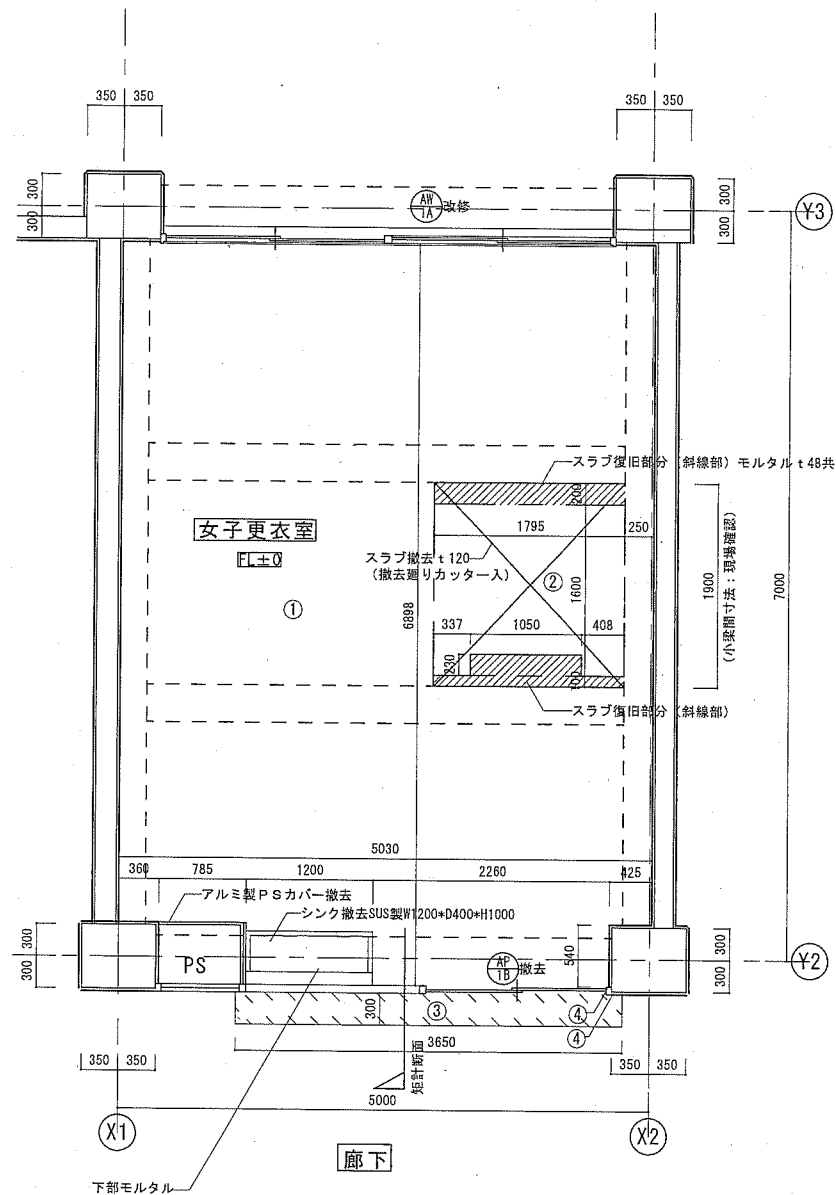
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

A — 12

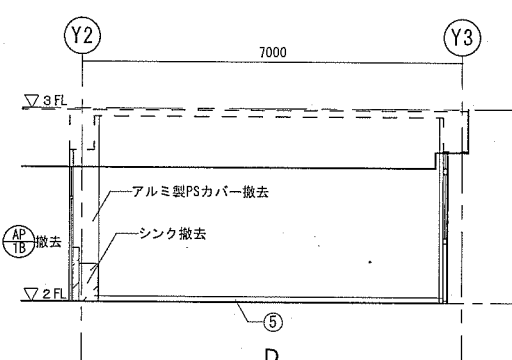
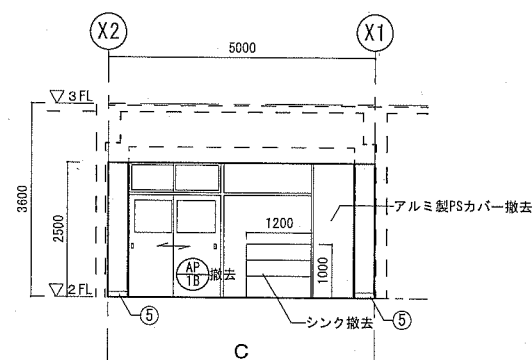
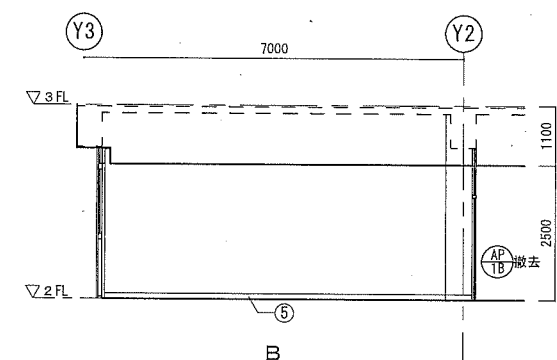
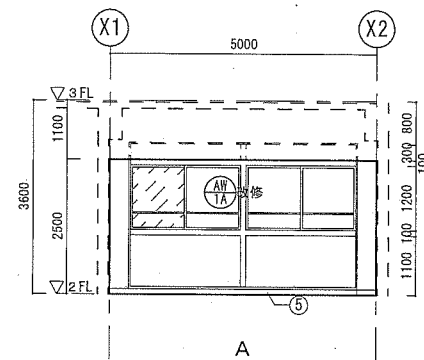
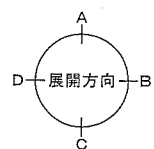
横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

A棟 1階 体育倉庫・荷受室兼配膳室 天井伏図
(改修前・改修後)

縮尺 1/50



仕上表 (改修前)	
部位	仕上
床	フローリングブロック t15
巾木	ラワンH=100
腰壁	モルタル金網VP
壁	プラスター
廻縁	塩化ビニル製
天井	石膏ボード t9
備考	



撤去内容	
①	フローリングブロック t15-モルタル t35撤去
②	フローリングブロック t15-モルタル t35-スラブ t120撤去
③	ビニル床シート張り t2.5撤去 (下地未撤去)
④	柱型・巾木モルタルW100*H2500撤去 (カッター入れ)
⑤	ラワン巾木H=100撤去

公共建築課長	主査	担当者

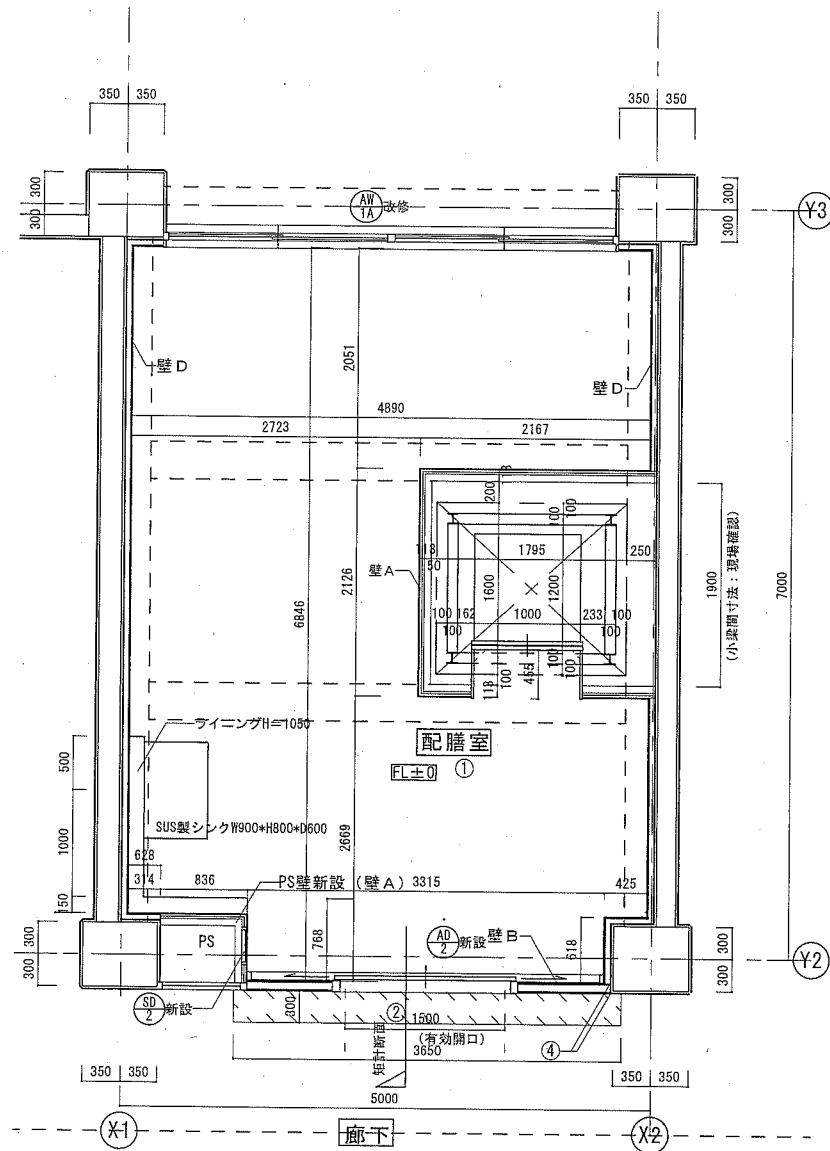
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

A — 13

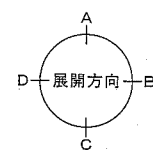
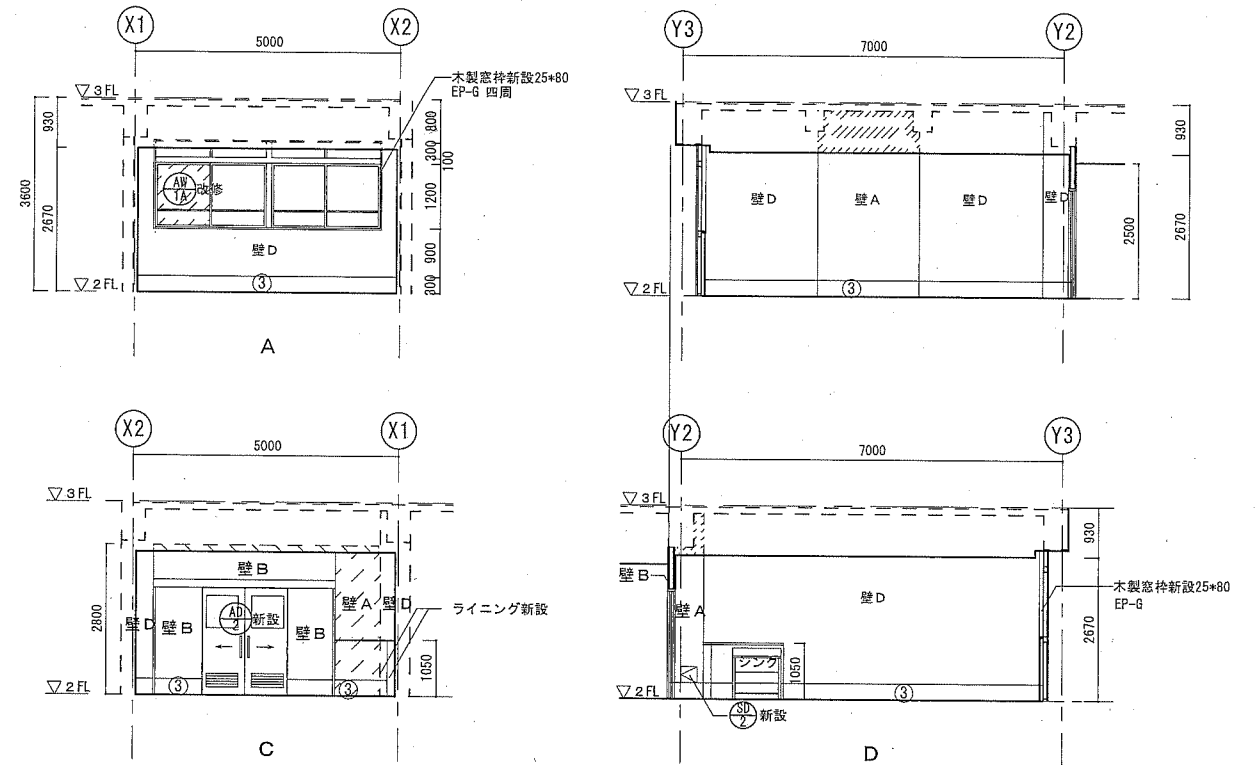
横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

A棟 2階 女子更衣室 平面詳細図・展開図(改修前)

縮尺 1/50、1/100



仕上表 (改修後)	
部位	仕上
床	ビニル床シート t2.0 (抗菌・耐動荷重性) - モルタル t48
巾木	ビニル巾木H=300
腰壁	化粧けい酸カルシウム板 t6.0
壁	化粧けい酸カルシウム板 t6.0
廻縁	塩化ビニル製
天井	化粧石膏ボード t9.5
備考	※廊下: 新設壁 ビニール巾木H=100



- 改修内容
- ① ビニル床シート張り (t2.0 抗菌・耐動荷重性) - モルタル t48
 - ② ビニル床シート張り (ノンスリップ、コイン) t2.5-ポリマーセメントペースト
 - ③ ビニール巾木取付 (H=300)
 - ④ 柱型・巾木モルタルW100×H2500補修の上、EP-G (室内 モルタル補修のみ)

公共建築課長	主査	担当者

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

A — 14

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

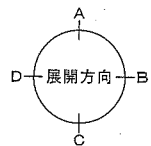
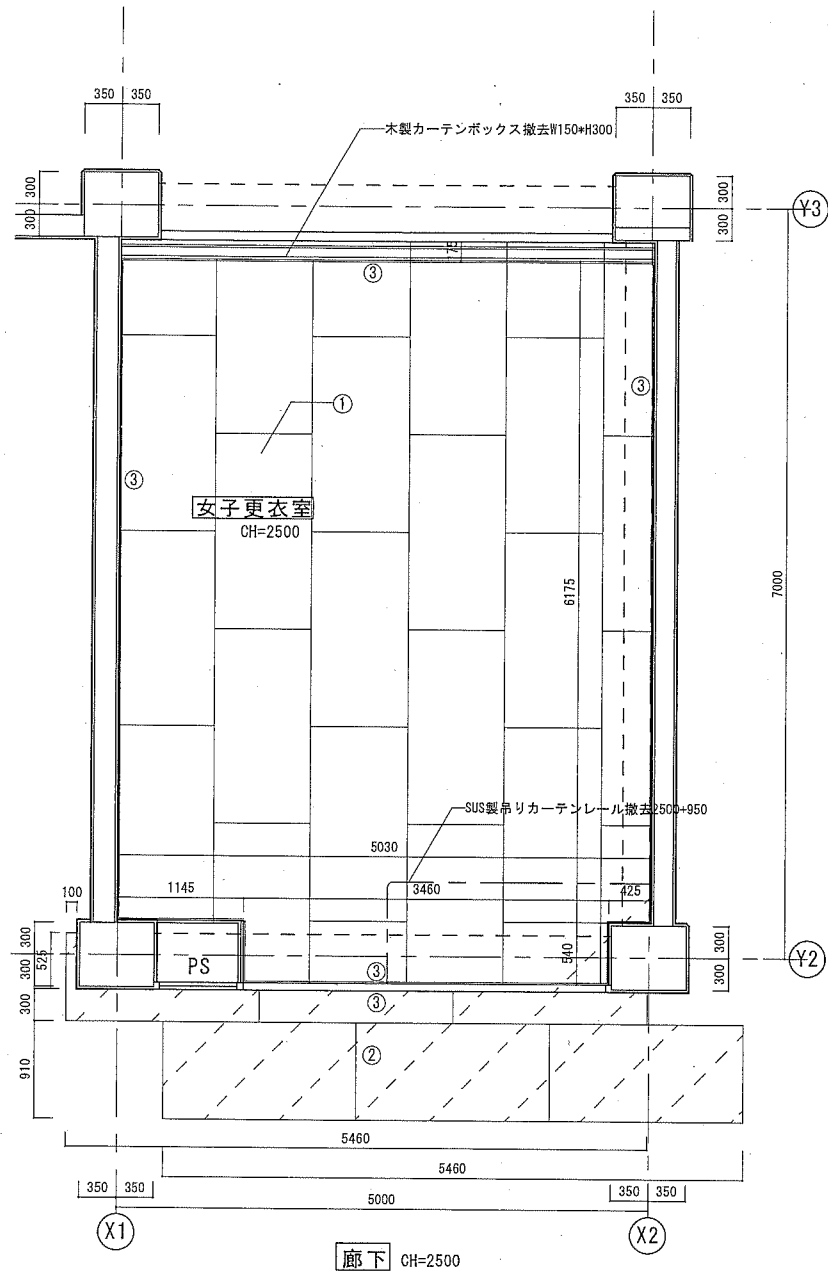
A棟 2階 配膳室 平面詳細図・展開図(改修後)

縮尺 1/50、1/100

1

A棟2階 女子更衣室 天井伏図(改修前)

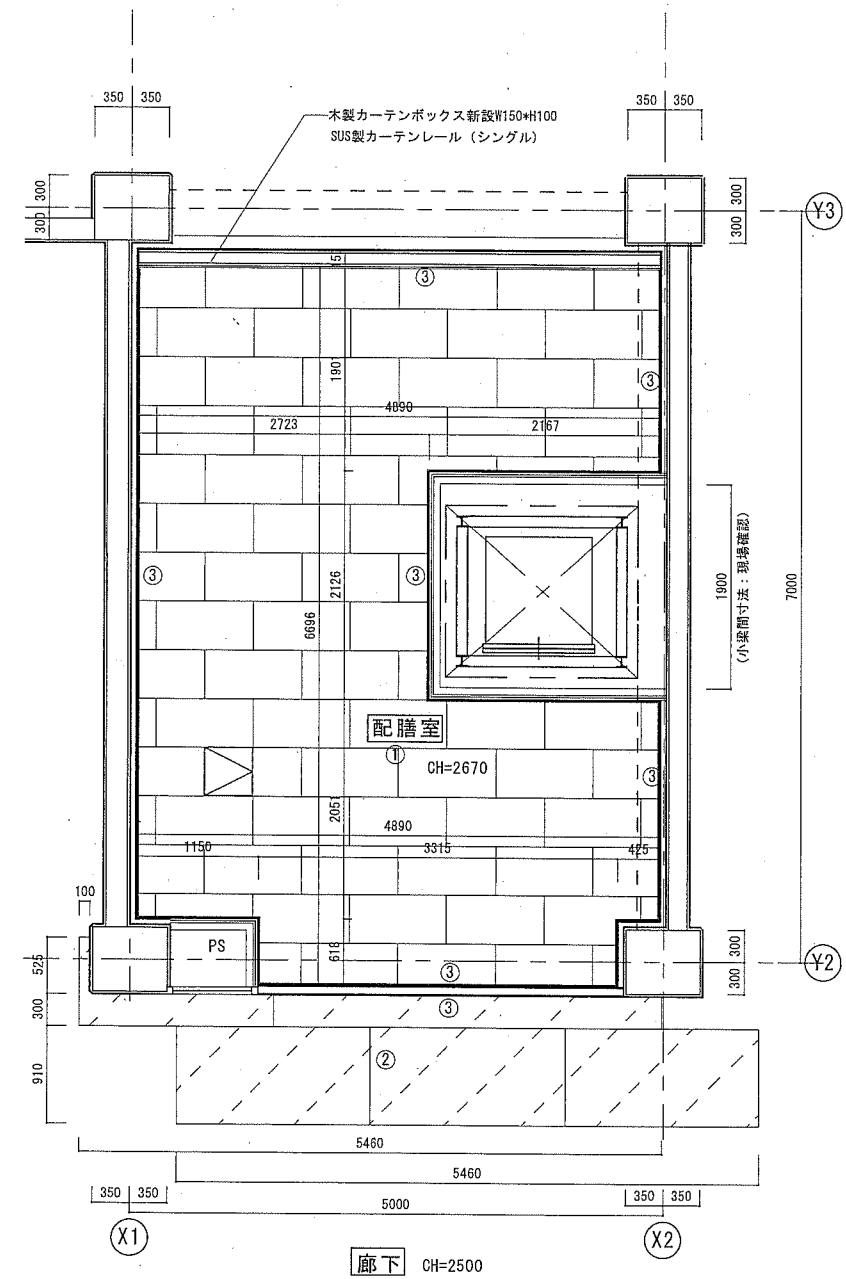
1/50





2

A棟2階 配膳室 天井伏図(改修後)

1/50



 アルミ製天井点検口45°角(開口補強)

公共建築課長	主査	担当者
		

撤去内容	改修内容
① 天井: 石こうボード t9.0撤去 (吊りボルト、軽量鉄骨天井下地共)	① 天井: 化粧石こうボード t9.5張り (吊りボルト、軽量鉄骨天井下地@225)
② 天井: 石こうボード t9.0撤去 (吊りボルト、軽量鉄骨天井下地共)	② 天井: EP-石こうボード t9.5張り (吊りボルト、軽量鉄骨天井下地@300)
③ 廻り縁: 塩化ビニル製撤去 (天井材撤去部)	③ 廻り縁: 塩化ビニル製 (張替、新設廻り)

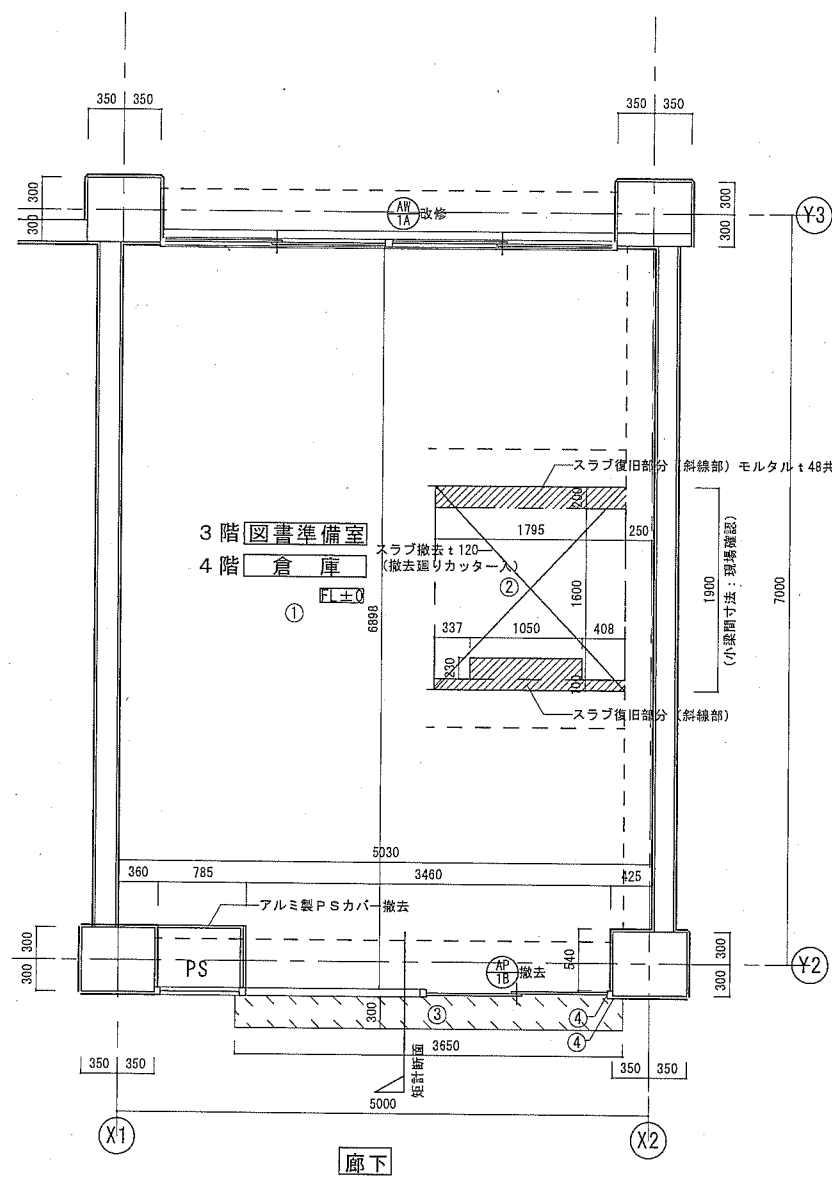
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

A 15

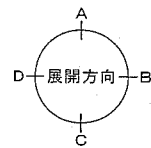
横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

A棟 2階女子更衣室・配膳室 天井伏図(改修前・改修後)

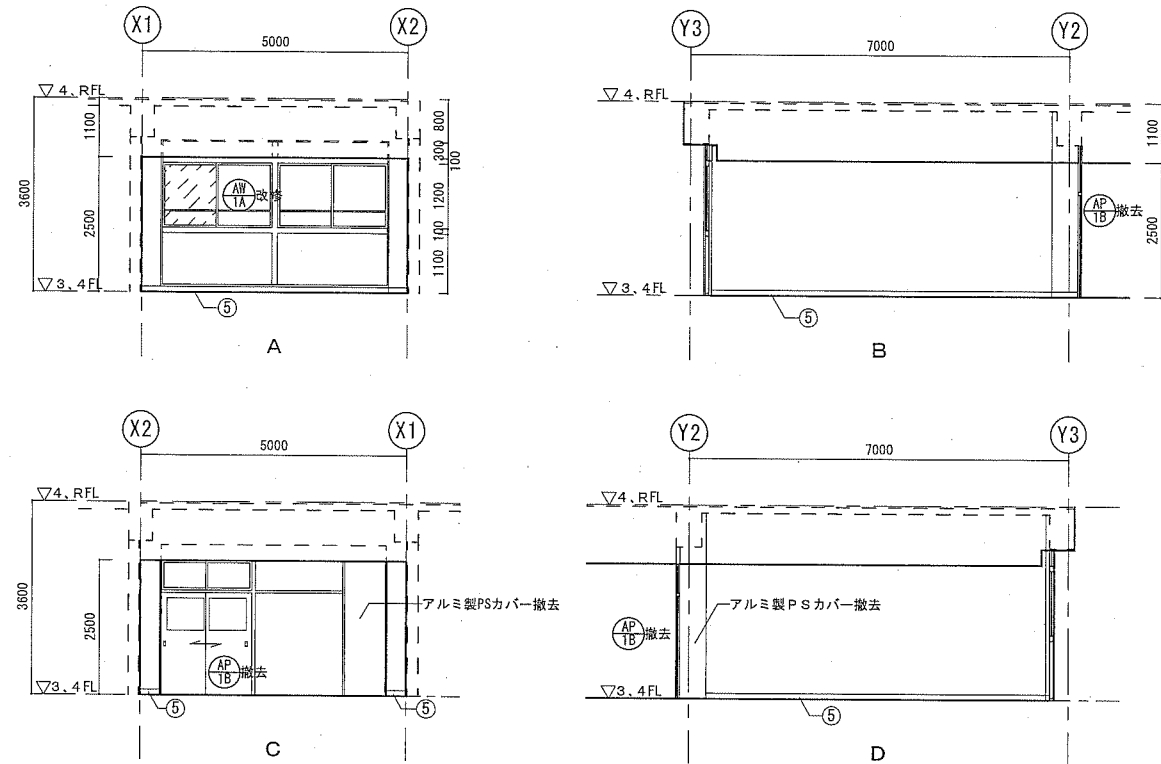
縮尺 1/50



仕上表 (改修前)	
部位	仕上
床	フローリングブロック t15
巾木	ラワンH=100
腰壁	モルタル金鍍VP
壁	プラスター
廻縁	塩化ビニル製
天井	石こうボード t9
備考	



撤去内容	
①	フローリングブロック t15-モルタル t35撤去
②	フローリングブロック t15-モルタル t35-スラブ t120撤去
③	ビニル床シート張り t2.5撤去 (下地未撤去)
④	柱型・巾木モルタルW100*H2500撤去 (カッター入れ共)
⑤	ラワン巾木H=100撤去



公共建築課長	主査	担当者

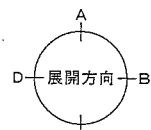
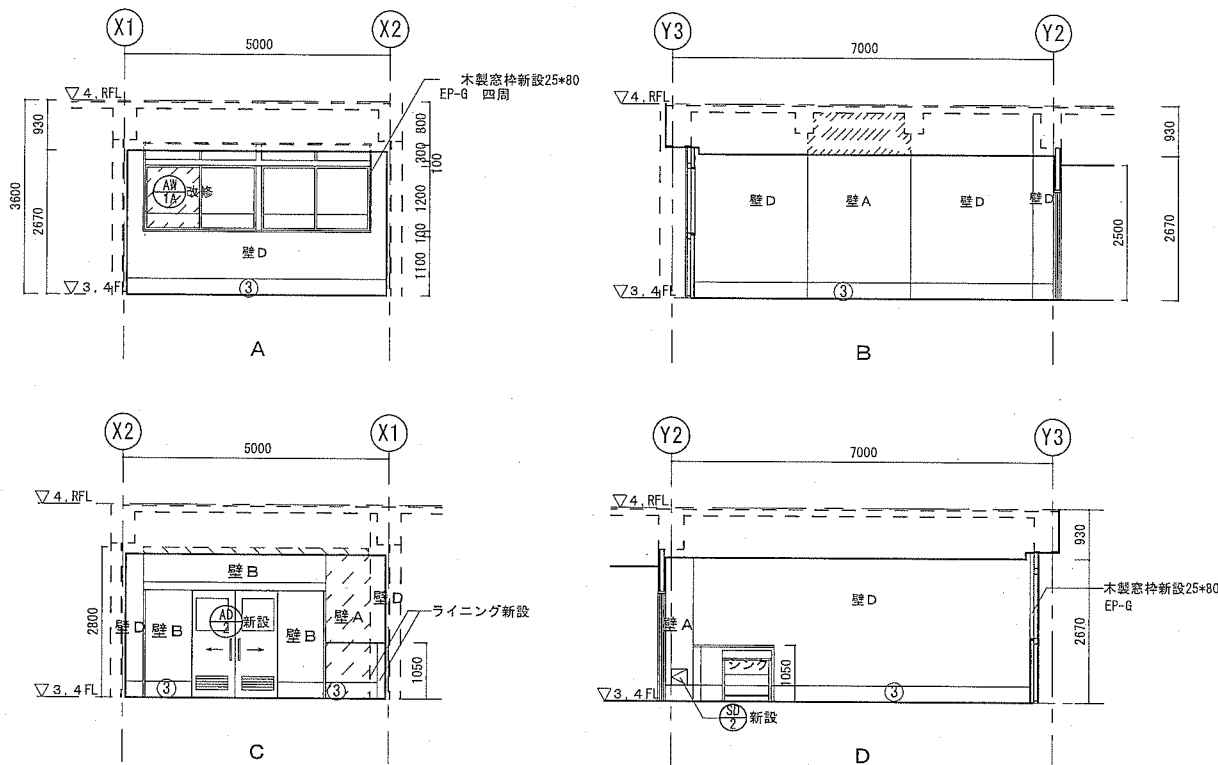
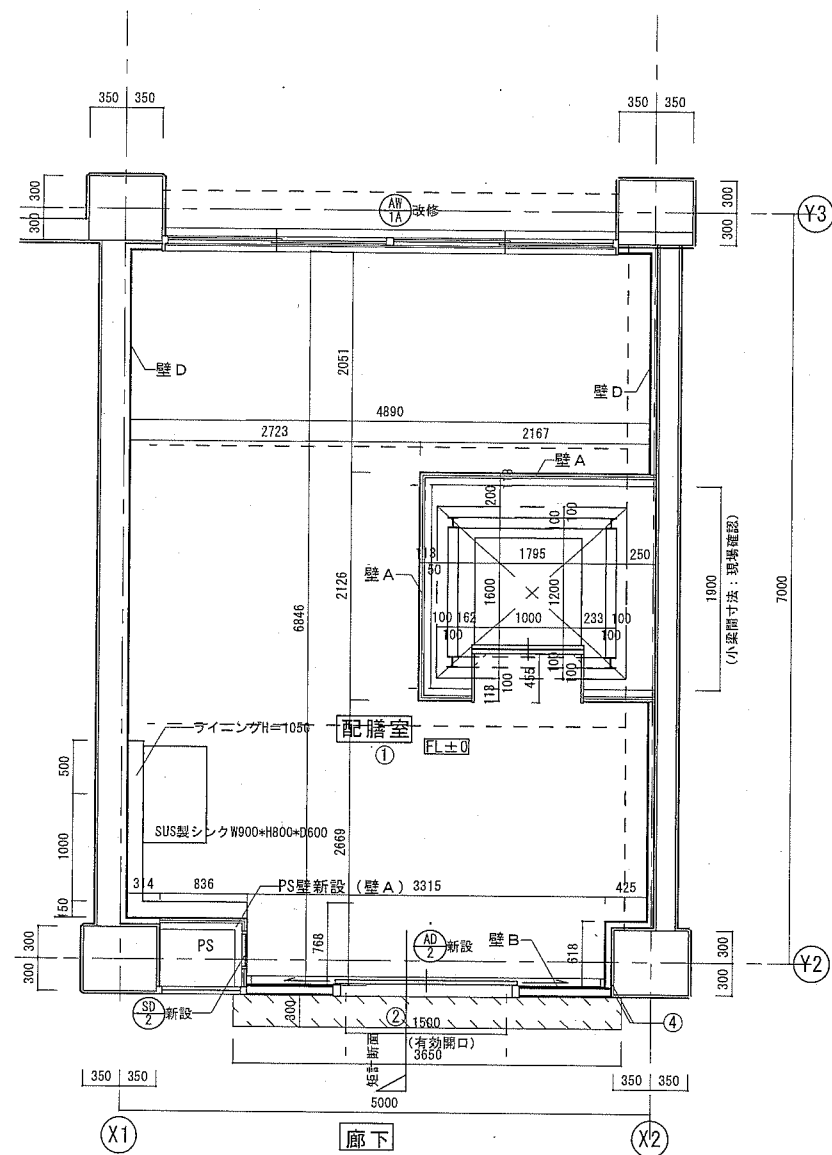
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

A — 16

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

A棟 3、4階 図書準備室 西倉庫
平面詳細図・展開図 (改修前)

縮尺 1/50 1/100



仕上表(改修後)	
部位	仕上
床	ビニル床シート t2.0 (抗菌・耐動荷重性)
巾木	ビニル巾木H=300
腰壁	化粧けい酸カルシウム板 t6.0
壁	化粧けい酸カルシウム板 t6.0
廻縁	塩化ビニル製
天井	化粧石膏ボード t9.5
備考	※廊下: 新設壁 ビニール巾木H=100

改修内容	
①	ビニル床シート張り (t2.0 抗菌・耐動荷重性) -モルタル t48
②	ビニル床シート張り (ノンスリップ、コイン) t2.5-ポリマーセメントペースト
③	ビニル巾木取付 (H=300)
④	柱型・巾木モルタルW100+H2500補修の上、EP-G (室内モルタル補修のみ)

公共建築課長	主査	担当者

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

A — 17

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

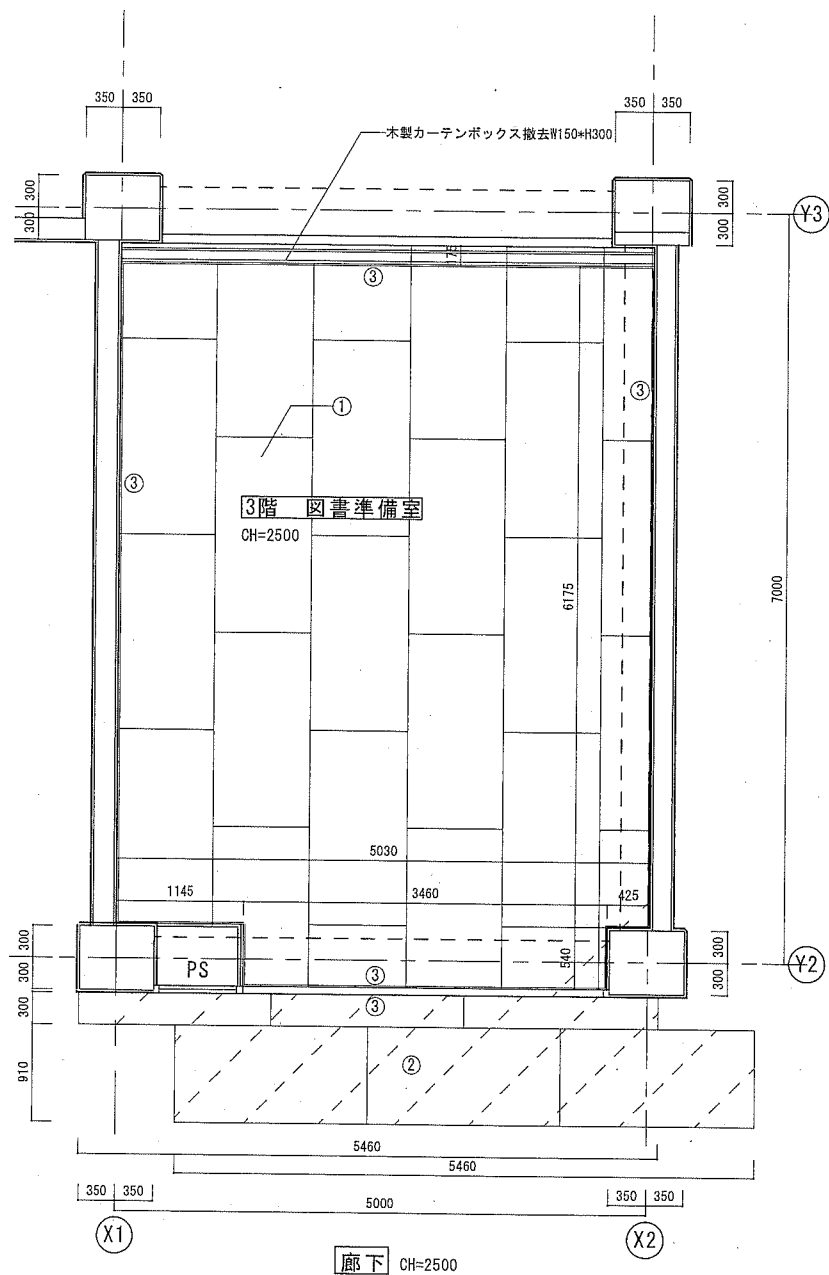
A棟 3, 4階 配膳室 平面詳細図・展開図(改修後)

縮尺 1/50 1/100

1

A棟3階 図書準備室 天井伏図(改修前)

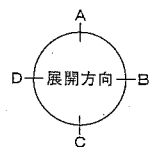
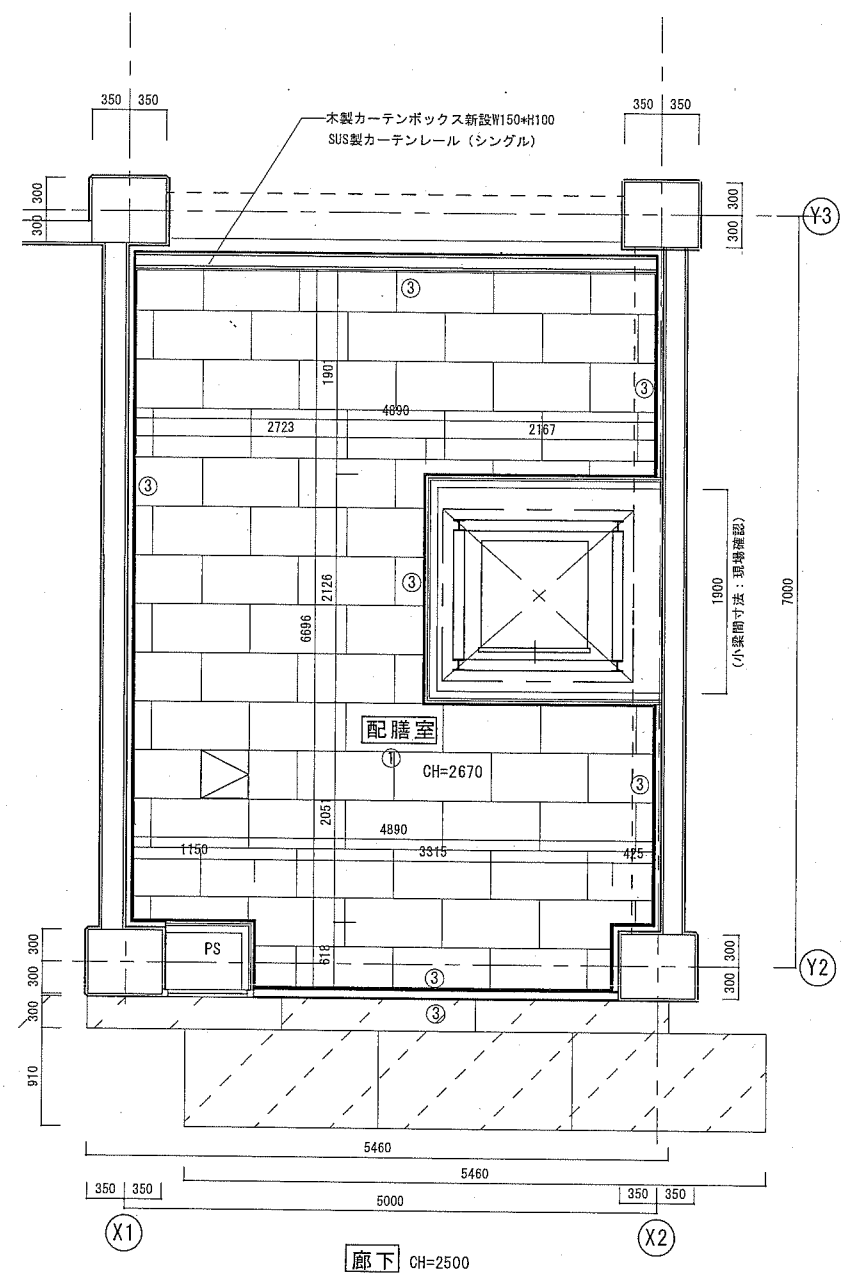
1/50





2

A棟3階 配膳室 天井伏図(改修後)

1/50



 アルミ製天井点接合450角 (開口補強共)

公共建築課長	主査	担当者
		

撤去内容	改修内容
① 天井：石こうボードt9.0撤去 (吊りボルト、軽量鉄骨天井下地共)	① 天井：化粧石膏ボードt9.5張り (吊りボルト、軽量鉄骨天井下地@225)
② 天井：石こうボードt9.0撤去 (吊りボルト、軽量鉄骨天井下地共)	② 天井：EP-石膏ボードt9.5張り (吊りボルト、軽量鉄骨天井下地@300)
③ 廻り縁：塩化ビニル製撤去 (天井材撤去部)	③ 廻り縁：塩化ビニル製 (張替、新設廻り)

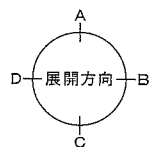
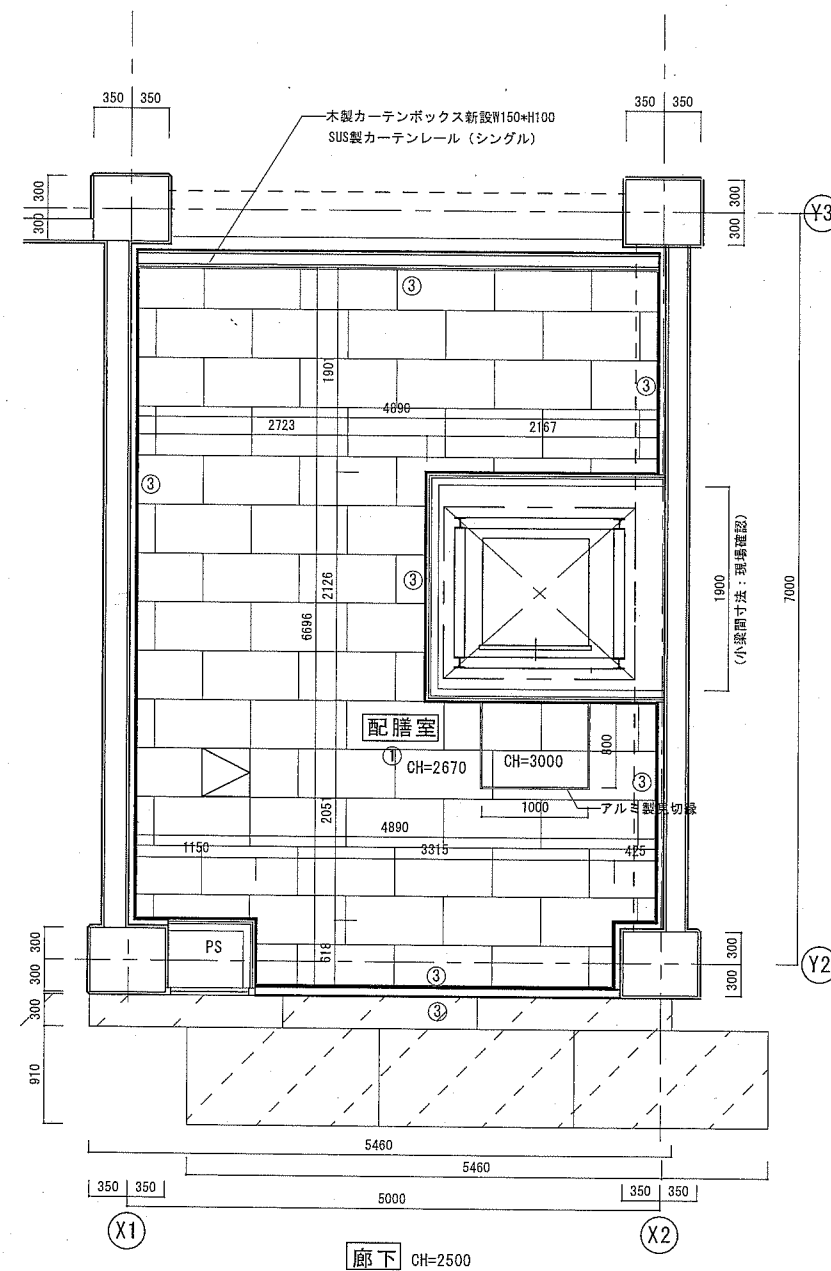
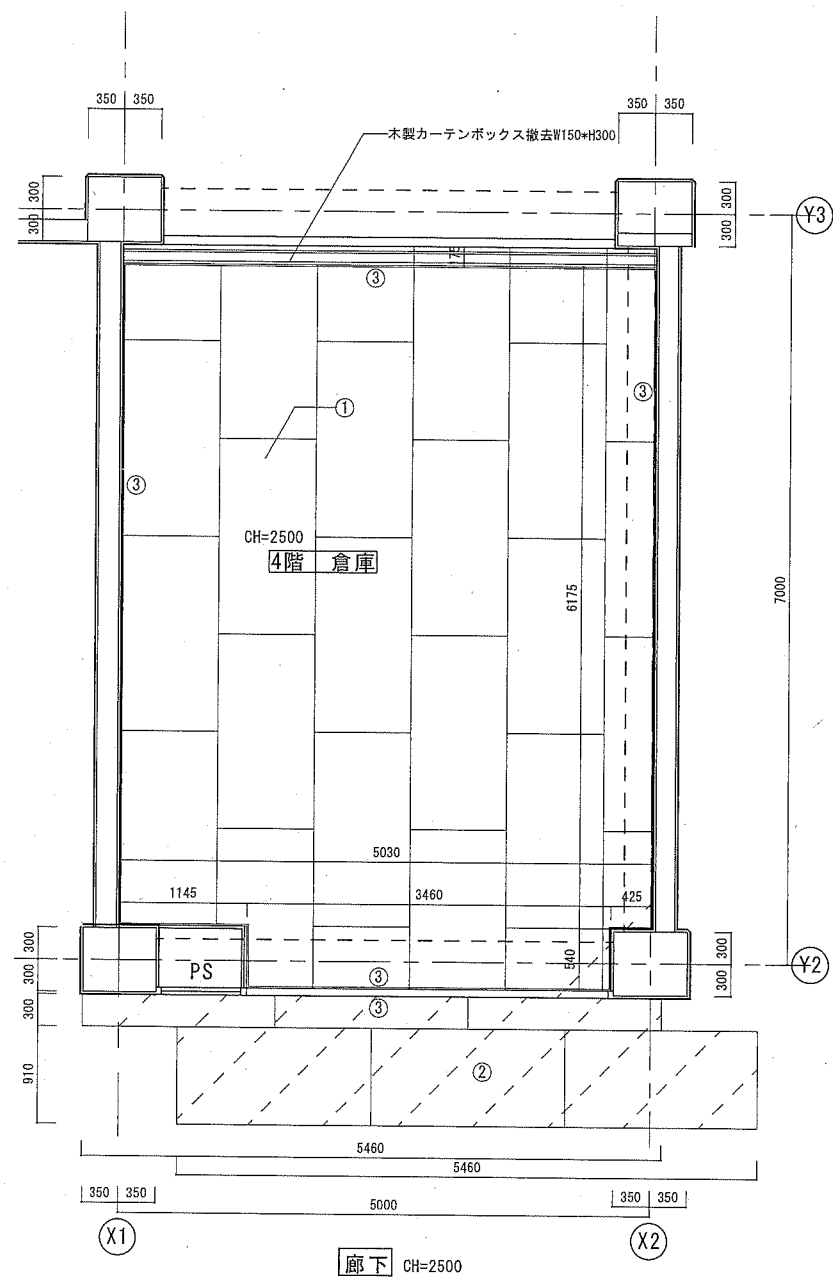
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

A — 18

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

A棟 3階図書準備室・配膳室 天井伏図(改修前・改修後)

縮尺 1/50



アルミ製天井点検口450角(開口補強共)

公共建築課長	主査	担当者

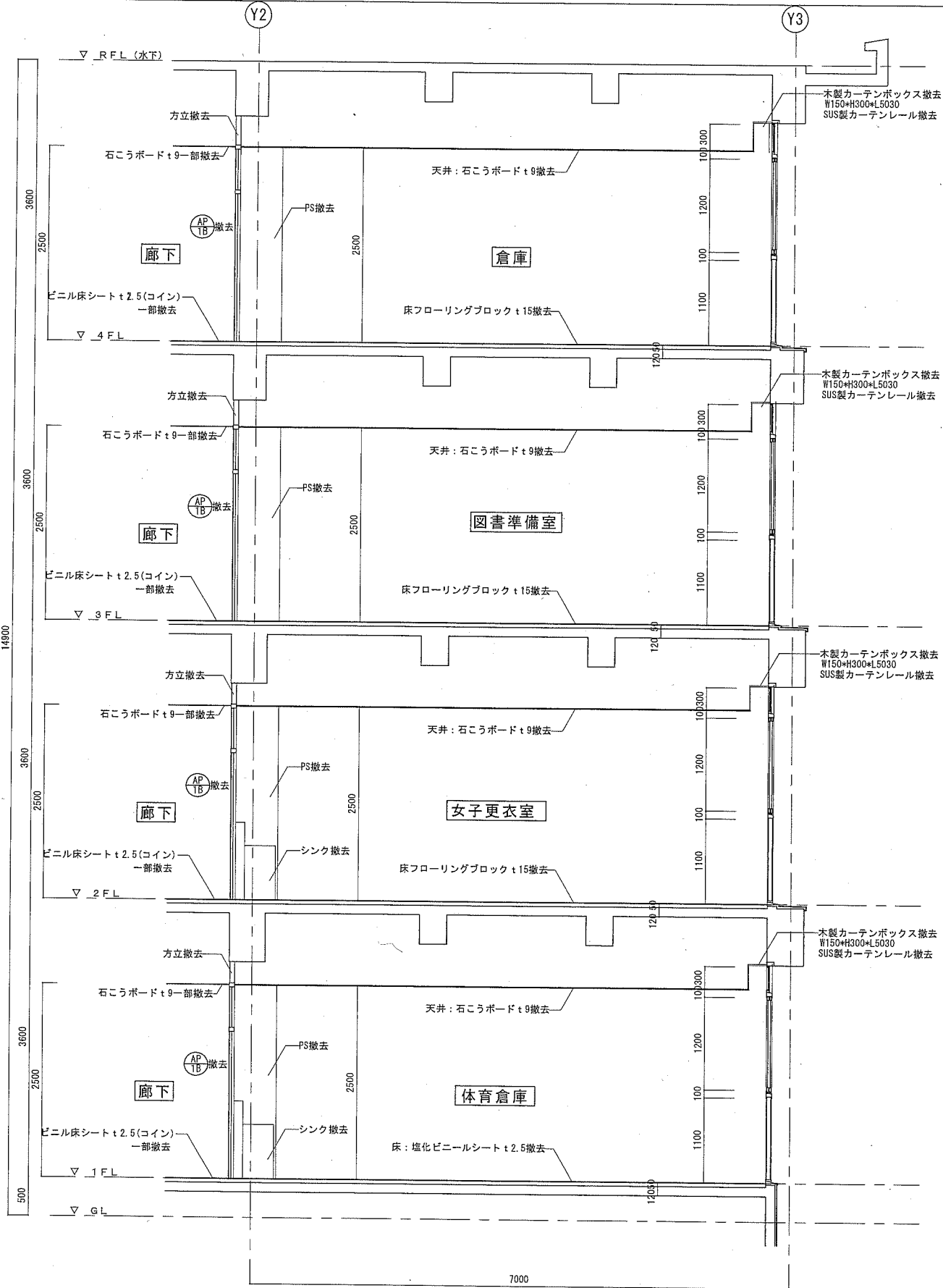
撤去内容	改修内容
① 天井: 石こうボードt9.0撤去(吊りボルト、軽量鉄骨天井下地共)	① 天井: 化粧石こうボードt9.5張り(吊りボルト、軽量鉄骨天井下地@225)
② 天井: 石こうボードt9.0撤去(吊りボルト、軽量鉄骨天井下地共)	② 天井: EP-石こうボードt9.5張り(吊りボルト、軽量鉄骨天井下地@300)
③ 廻り縁: 塩化ビニル製撤去(天井材撤去部)	③ 廻り縁: 塩化ビニル製(張替、新設廻り)

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事	
A	
— 19	

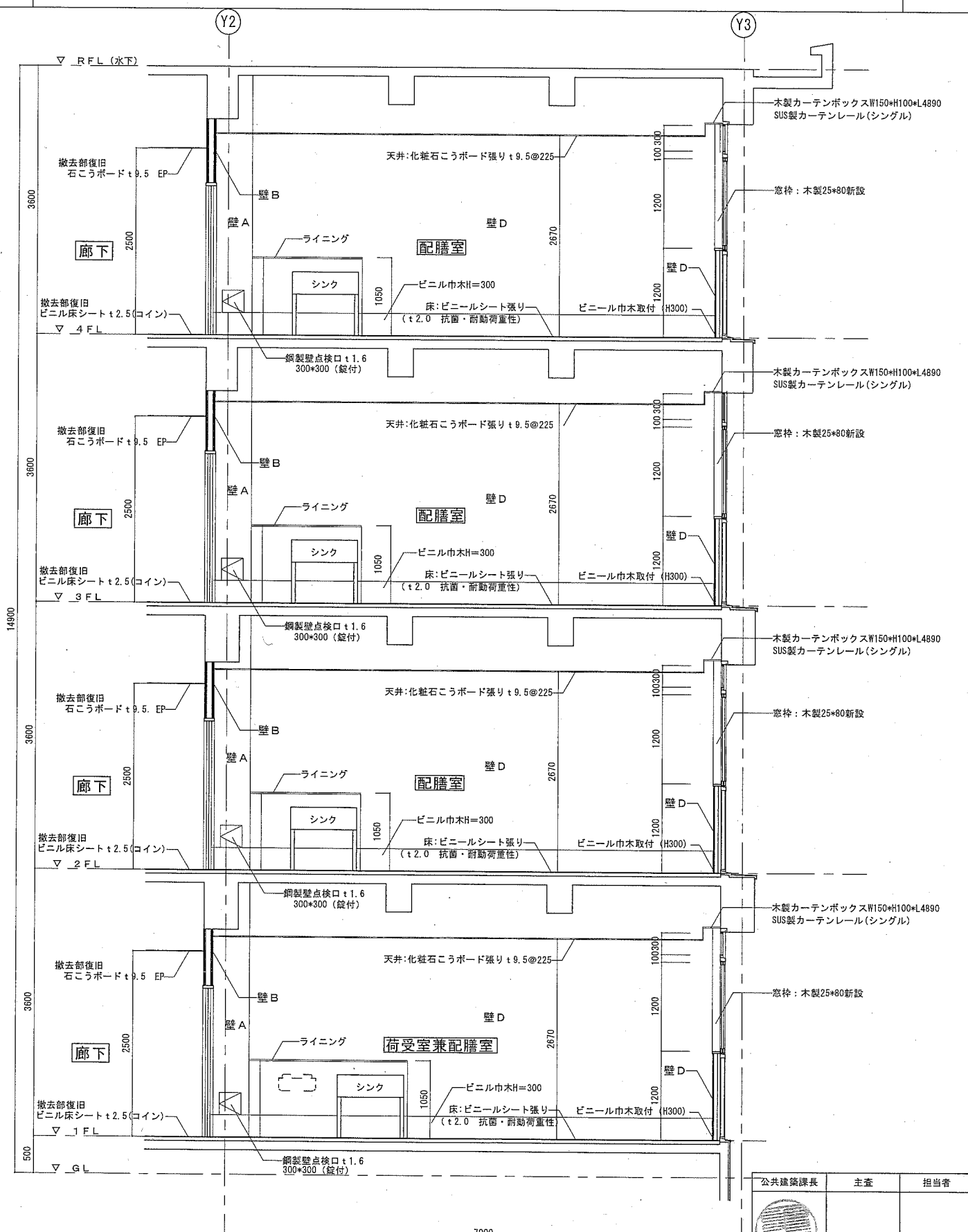
横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

A棟 4階倉庫・配膳室 天井伏図(改修前・改修後)

縮尺 1/50



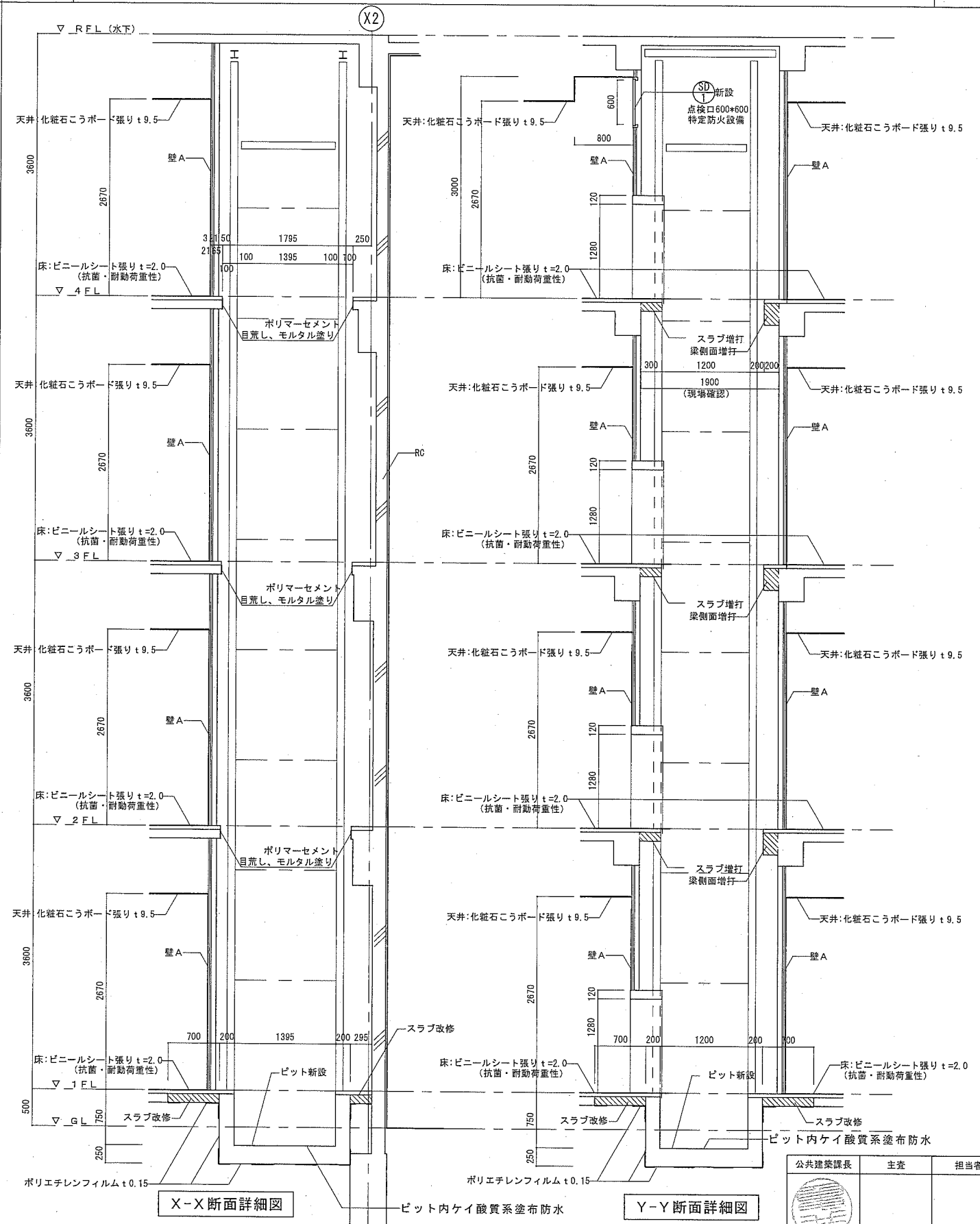
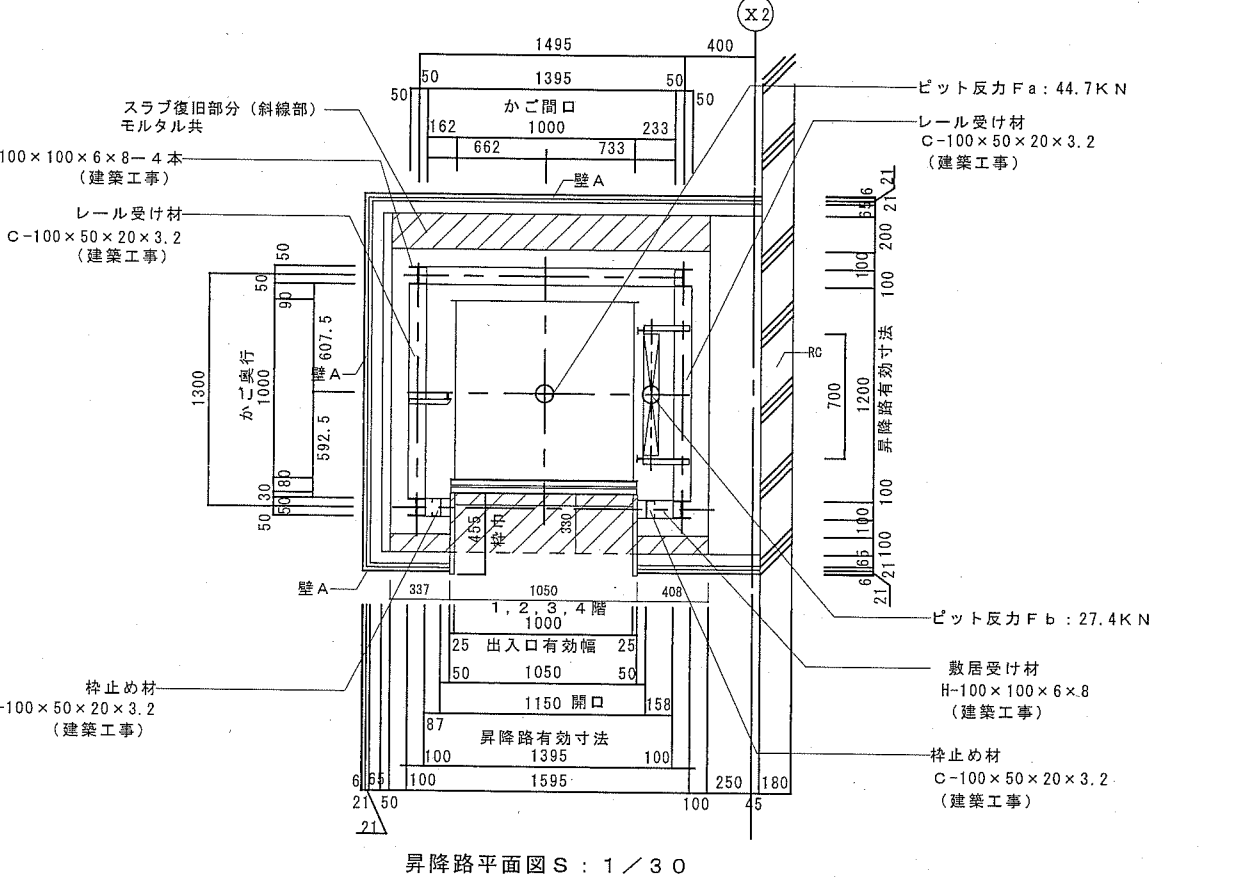
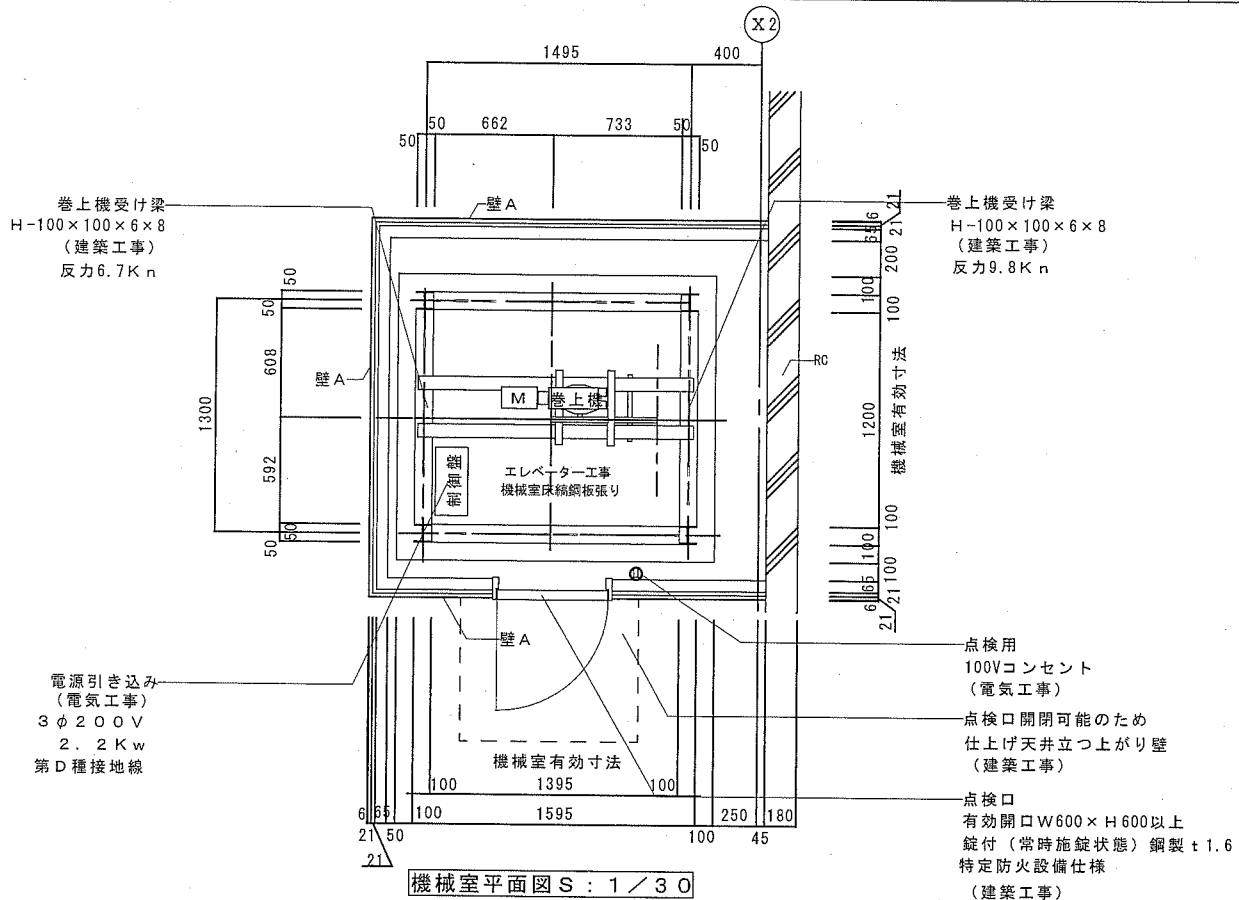
*既存土間下砕石t100



公共建築課長	主査	担当者

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

A - 20



壁仕様
壁A : 化粧ケイ酸カルシウム板t6.0-強化石膏ボードt21*2-LGS65

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事 (A) 21

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月
A棟 小荷物昇降路詳細図
縮尺 1/30、1/50

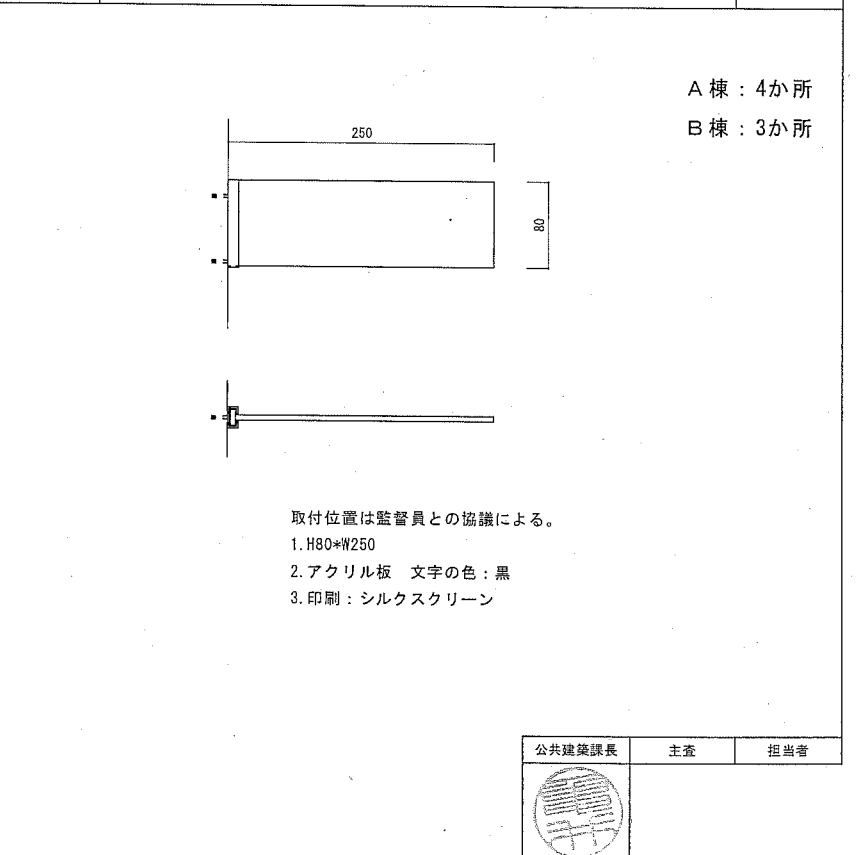
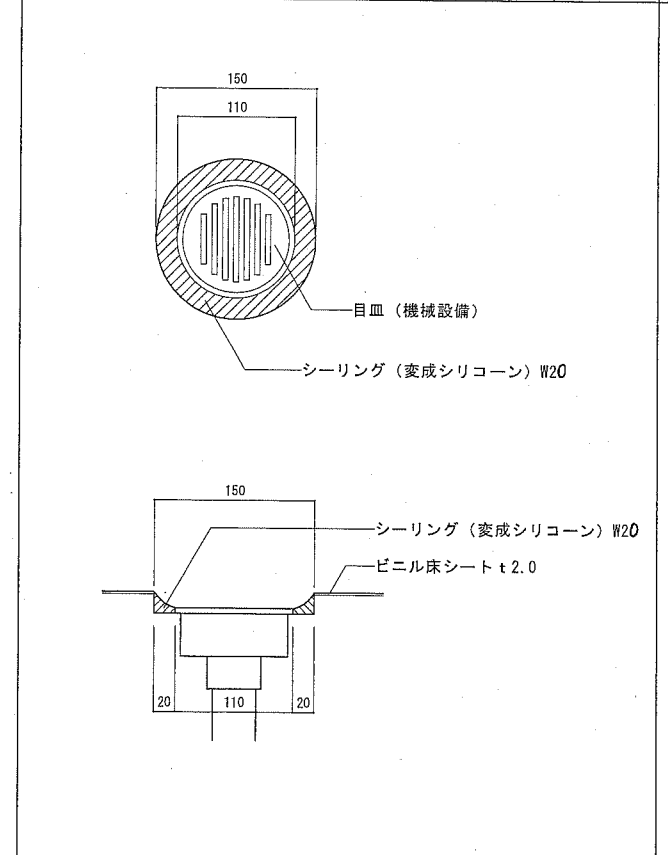
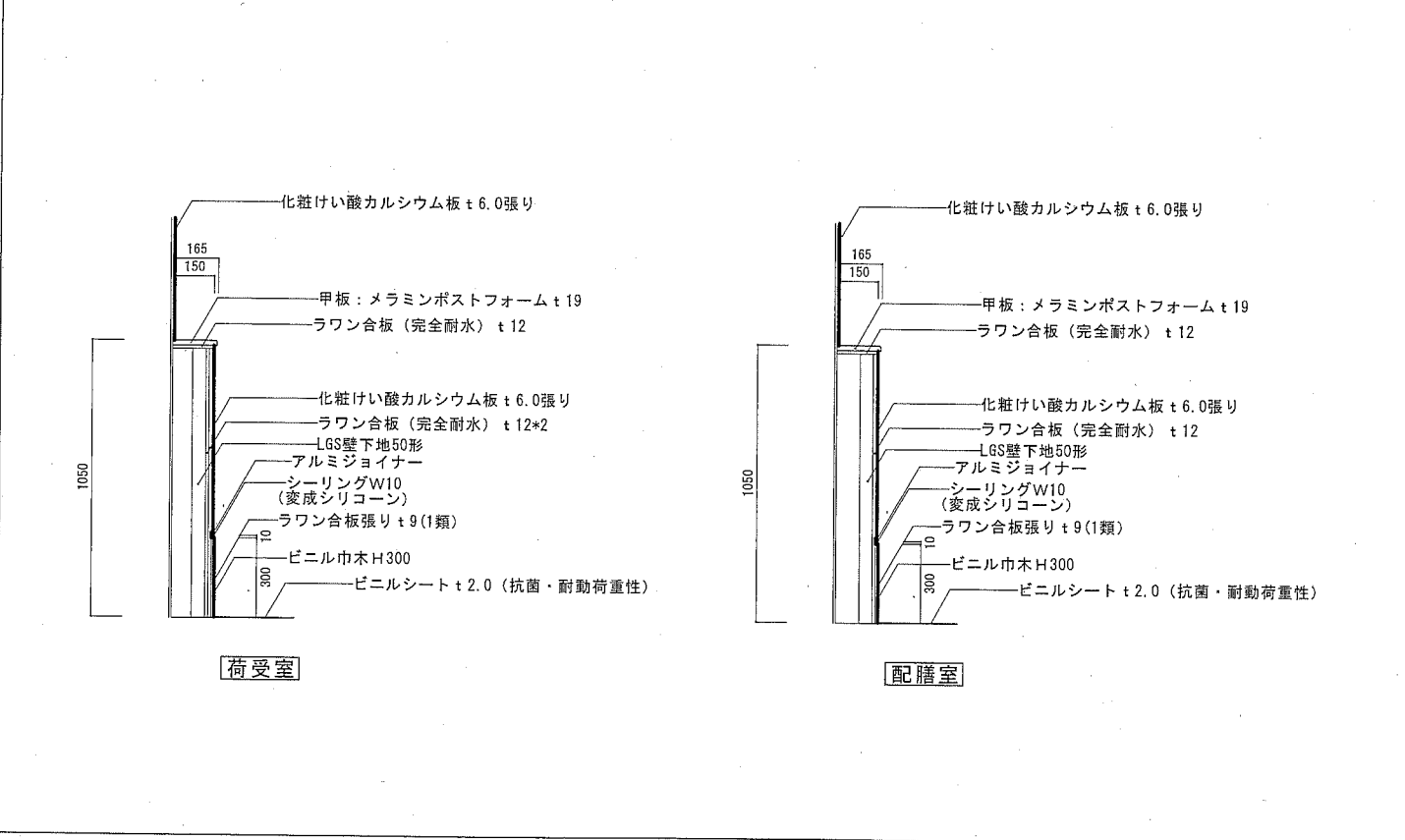
記号・数量	AP ₁₅ 撤去 4か所			
名称	アルミ製引き違い戸+FIX+パネル			
取付場所	1階 体育倉庫、2階 女子更衣室、3階 図書準備室、4階 倉庫			
形状				
内法 (W×H)	3460*2500			
硝子・見込	網入りトーマイ t 6.8、トーマイ t 3			
材質・塗装	アルミ			
金物				
備考				
記号・数量	AD ₁ 新設 1か所	AD ₂ 新設 3か所	SD ₁ 新設 1か所	SD ₂ 新設 4か所
名称	アルミ製ハンガー引分け戸 (自閉)	アルミ製ハンガー引分け戸 (自閉)	鋼製片開き戸	鋼製片開き戸
取付場所	A棟1階 荷受室兼配膳室	A棟 2~4階 配膳室	A棟4階 配膳室	A棟1階 荷受室兼配膳室、2~4階配膳室
形状				
内法 (W×H)	1700*2000	1700*2000	600*600	300*300
硝子・見込	網入り型板ガラス t 6.8			
材質・塗装	アルミ		鋼製 t 1.6 焼付塗装	鋼製 t 1.6 焼付塗装
金物	シリンダー錠、クローザー、引手、枠、沓摺		ケースロック、ドアクローザ (ストップなし)、丁番	ケースロック、ドアクローザ (ストップなし)、丁番
備考	額入窓		特定防火設備	特定防火設備
記号・数量	AT ₁ 改修 4か所			
名称	アルミ製引違戸			
取付場所	A棟1階 荷受室兼配膳室、2~4階配膳室			
形状				
内法 (W×H)	4200*2800			
硝子・見込	(1,2階) 型板ガラス t 4.0をアルミパネル t 3.0に取替 (開口加工、シーリング共) (3,4階) トーマイガラス t 3.0をアルミパネル t 3.0に取替 (開口加工、シーリング共)			
材質・塗装	アルミ			
金物				
備考				

公共建築課長	主査	担当者

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

A — 22

壁タイプ	A	B	C	D
納まり図	(梁下またはスラブ下まで) 	(梁下またはスラブ下まで) 	(梁下またはスラブ下まで) 	
使用か所	エレベータシャフト、PS	防火上主要な間仕切壁	教室との間仕切壁（遮音性仕様TLD43程度）	既存モルタル面のフカシ壁等
備考	(GB-F片面21mm2枚) 耐火構造認定番号 FP060NP-0007 (GB-F片面21mm2枚) 耐火構造認定番号 FP060NP-0192	(GB-F両面12.5mm2枚) 耐火構造認定番号 FP060NP-0289 (GB-F両面12.5mm2枚) 耐火構造認定番号 FP060NP-0307	(GB-F両面12.5mm2枚) 耐火構造認定番号 FP060NP-0174 (GB-F両面12.5mm2枚) 耐火構造認定番号 FP060NP-0246	

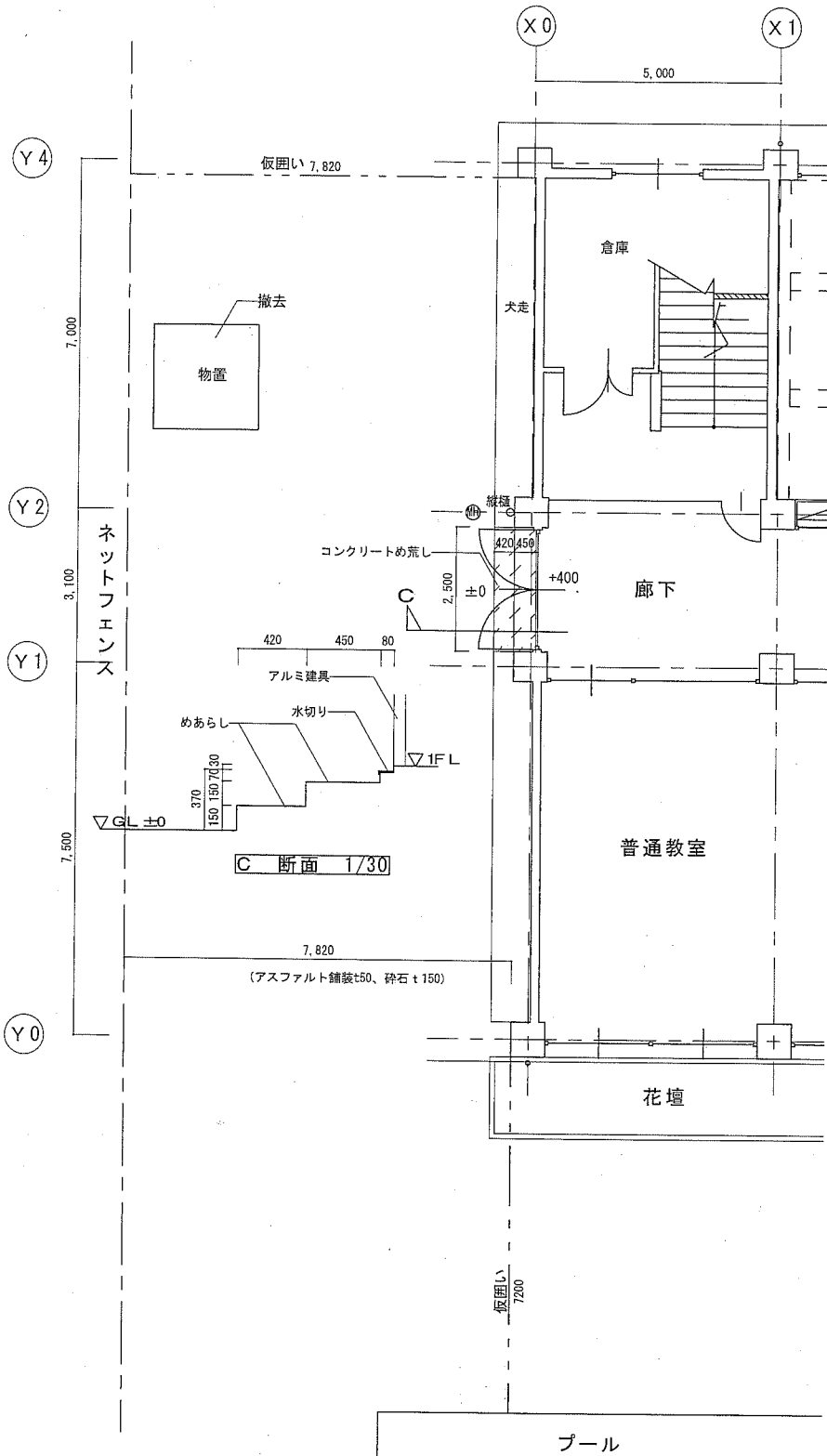


公共建築課長	主査	担当者

1

A棟 西側外構平面図(改修前)

1/100

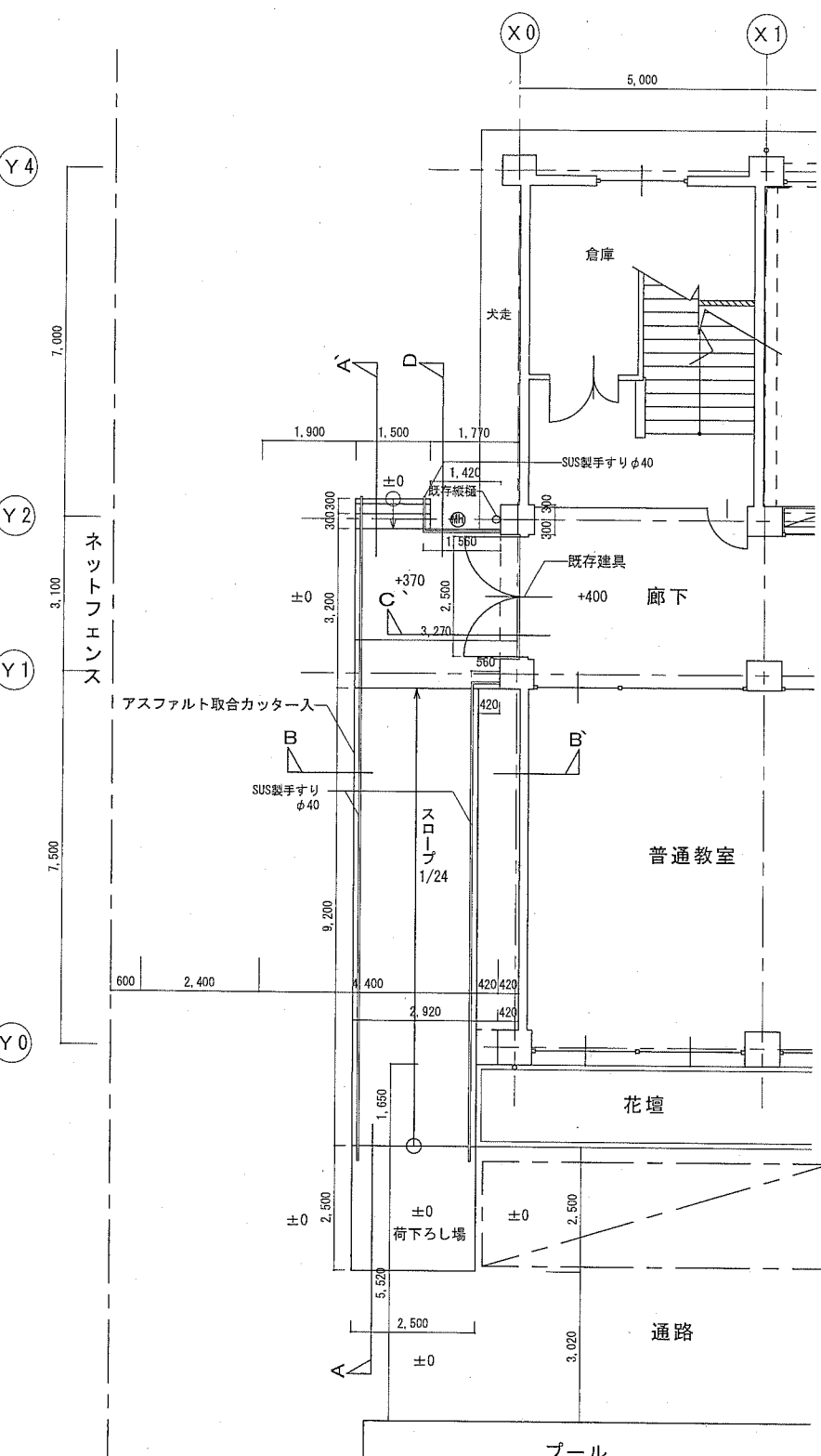


*仮囲い位置は参考とする。

2

A棟 西側外構平面図(改修後)

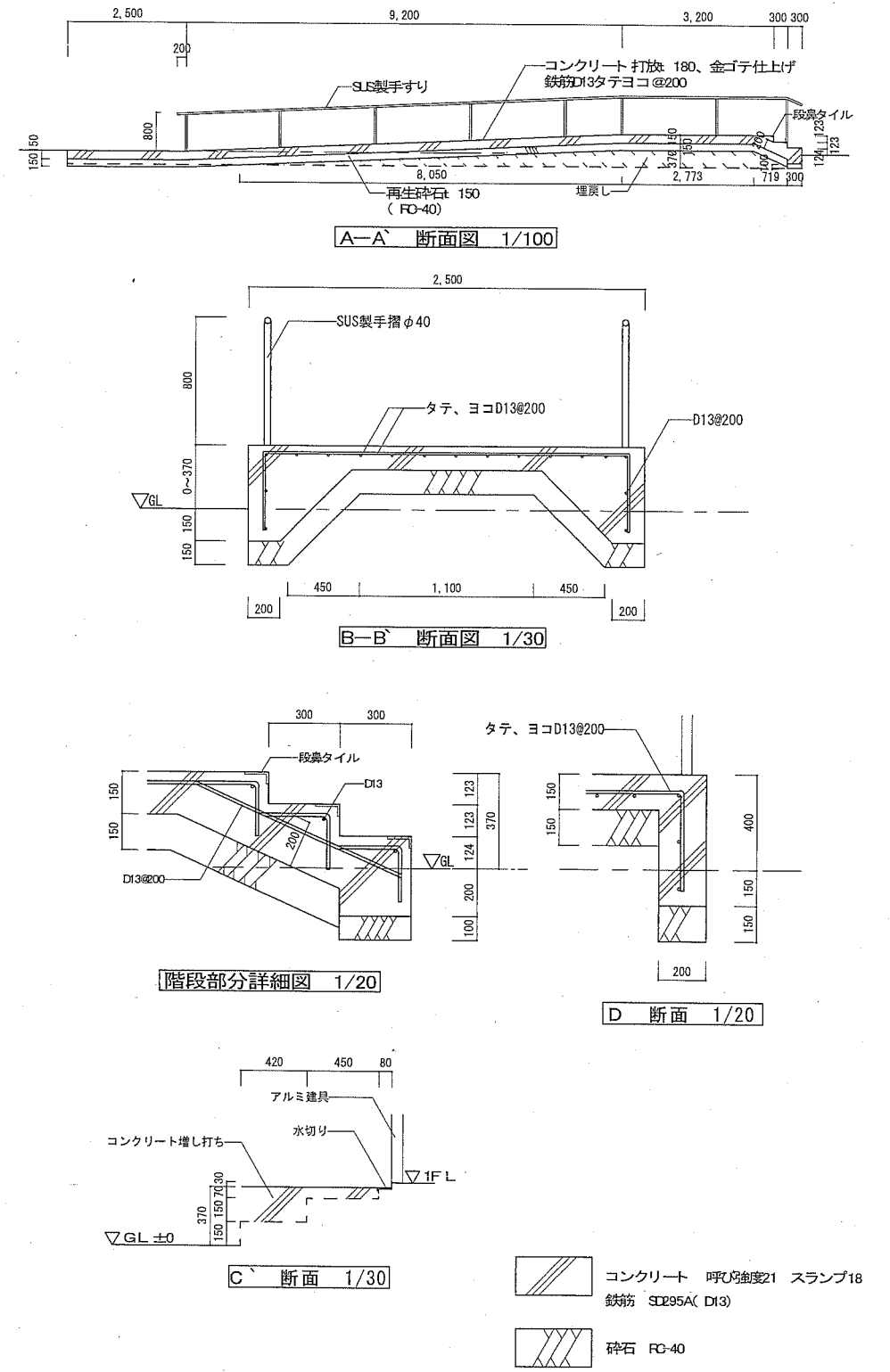
1/100



3

A棟 西側外構断面図(改修後)

1/100、30
1/20



公共建築課長	主査	担当者

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

A — 24

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月


A棟 外構図(改修前・改修後)

縮尺 1/20, 1/30, 1/100

① 外部仕上表							
既存				改修後			
屋根	(アスファルト防水)	犬走り	(コンクリート金ゴテ)	屋根	(アスファルト防水)	犬走り	(コンクリート金ゴテ)
庇裏	(コンクリート打放、アクリル系リシン吹付)			庇裏	(コンクリート打放、アクリル系リシン吹付)		
外壁・柱型	(コンクリート打放、複層塗材吹付) (下地調整材 アスベスト含有)			外壁・柱型	外部建具撤去部 建築用塗膜防水塗り (下地調整C-1)		

② 内部仕上表														
階	(改修前 室名) 改修後室名	改修 前後	床		巾木		腰壁		壁		見切縁	天井	天井高	備考
				Hmm		Hmm		塗装		塗装				
1階	(パンコーナー)	前	ブナフローリングブロック t15撤去		ラワン ビニル巾木	100	(モルタル金ゴテ)		(VP)	プaster 一部メラミン化粧板 t3		木毛板 t24打込み	直天	
	荷受室兼配膳室	後	ビニルシート (抗菌・耐動荷重性) t2.0- モルタル t48		ビニル巾木	300	化粧けい酸カルシウム板 t6.0-下地は壁詳細による			化粧けい酸カルシウム板 t6.0-下地は壁詳細による	塩ビ	化粧石膏ボード t9.5準不燃突付け (LGS下地)	2670	室名札
	(倉庫)	前	ブナフローリングブロック t15撤去		ラワン ビニル巾木	100	(モルタル金ゴテ)		(VP)	プaster 一部メラミン化粧板 t3		木毛板 t24打込み	直天	
	荷受室兼配膳室	後	ビニルシート (抗菌・耐動荷重性) t2.0- モルタル t48		ビニル巾木	300	化粧けい酸カルシウム板 t6.0-下地は壁詳細による			化粧けい酸カルシウム板 t6.0-下地は壁詳細による	塩ビ	化粧石膏ボード t9.5準不燃突付け (LGS下地)	2670	
2階	(ボランティア)	前	ブナフローリングブロック t15撤去		ラワン	100	(モルタル金ゴテ)		(VP)	(プaster)		(木毛板 t24打込み)	直天	
	配膳室	後	ビニルシート (抗菌・耐動荷重性) t2.0- モルタル t48		ビニル巾木	300	化粧けい酸カルシウム板 t6.0-下地は壁詳細による			化粧けい酸カルシウム板 t6.0-下地は壁詳細による	塩ビ	化粧石膏ボード t9.5準不燃突付け (LGS下地)	2670	室名札
	(ボランティア)	前	ブナフローリングブロック t15一部撤去		ラワン一部撤去	100	(モルタル金ゴテ)		(VP)	(プaster)		(木毛板 t24打込み)	直天	
	少人数教室	後	ブナフローリングブロック t15撤去部復旧 -モルタル t35		(ラワン) 新設壁面、撤去部: ビニル巾木	100 100	(モルタル金ゴテ)		(VP)	(プaster) 新規壁: 強化石膏ボード t12.5*2	EP-G	(木毛板 t24打込み)	直天	
3階	(普通教室)	前	ブナフローリングブロック t15撤去		ラワン	100	(モルタル金ゴテ)		(VP)	(プaster)		木製 石膏ボード t9撤去 (LGS下地共)	3000	
	配膳室	後	ビニルシート (抗菌・耐動荷重性) t2.0- モルタル t48		ビニル巾木	300	化粧けい酸カルシウム板 t6.0-下地は壁詳細による			化粧けい酸カルシウム板 t6.0-下地は壁詳細による	塩ビ	化粧石膏ボード t9.5準不燃突付け (LGS下地)	2670	室名札
	(普通教室)	前	ブナフローリングブロック t15一部撤去		ラワン一部撤去	100	(モルタル金ゴテ)		(VP)	(プaster)		木製 (石膏ボード t9)	3000	
	少人数教室	後	ブナフローリングブロック t15撤去部復旧 -モルタル t35		(ラワン) 新設壁面、撤去部: ビニル巾木	100 100	(モルタル金ゴテ)		(VP)	(プaster) 新規壁: 強化石膏ボード t12.5*2	EP-G	木製 (石膏ボード t9)	3000	
共通	(廊下)	前	塩化ビニルシート t2.5 (コイン) 一部撤去		(モルタル金ゴテVP)	100	(モルタル金ゴテ)		(VP)	(モルタル金ゴテ)		(塩ビ) 化粧石膏ボード t9一部撤去	2700	
	廊下	後	塩化ビニルシート t2.5 (コイン) 撤去部復旧- ポリマーセメントペースト		新設壁面: ビニル巾木	100	新規壁: 強化石膏ボード t12.5*2		EP-G	(モルタル金ゴテ) 新規壁: 強化石膏ボード t12.5*2	EP-G	(塩ビ) 化粧石膏ボード t9.5撤去部復旧	2700	

*廊下・少人数教室 (床) 一部撤去部取合カッター入れ

公共建築課長	主査	担当者
		

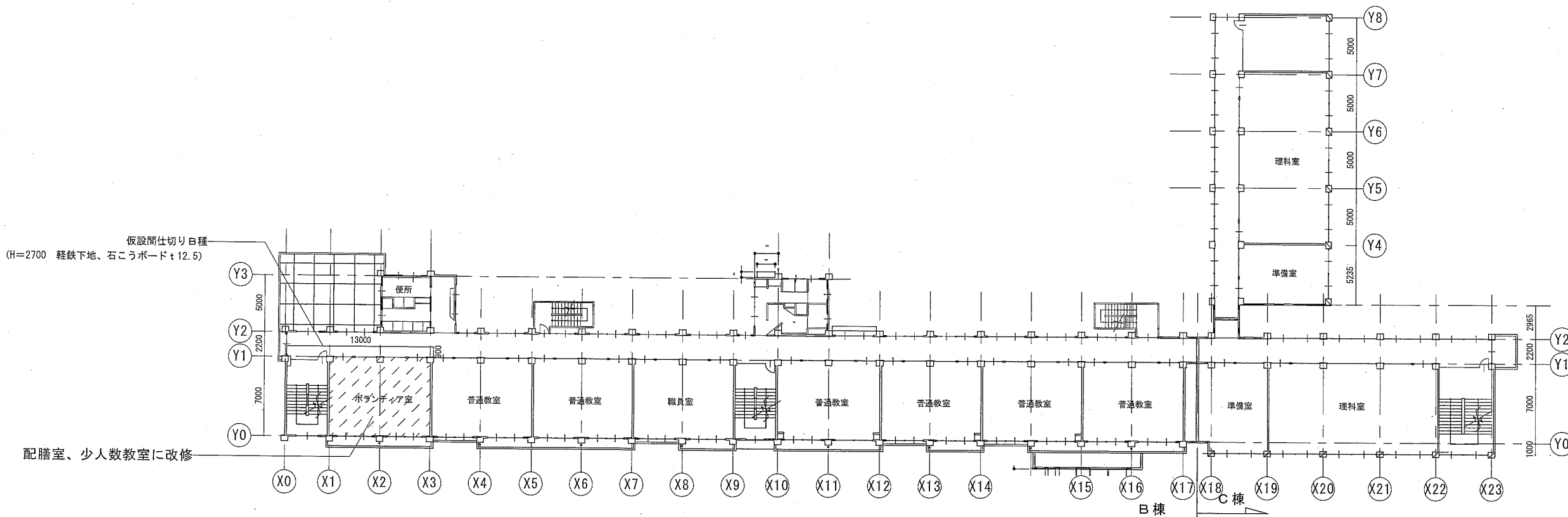
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

Ⓐ — 25

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

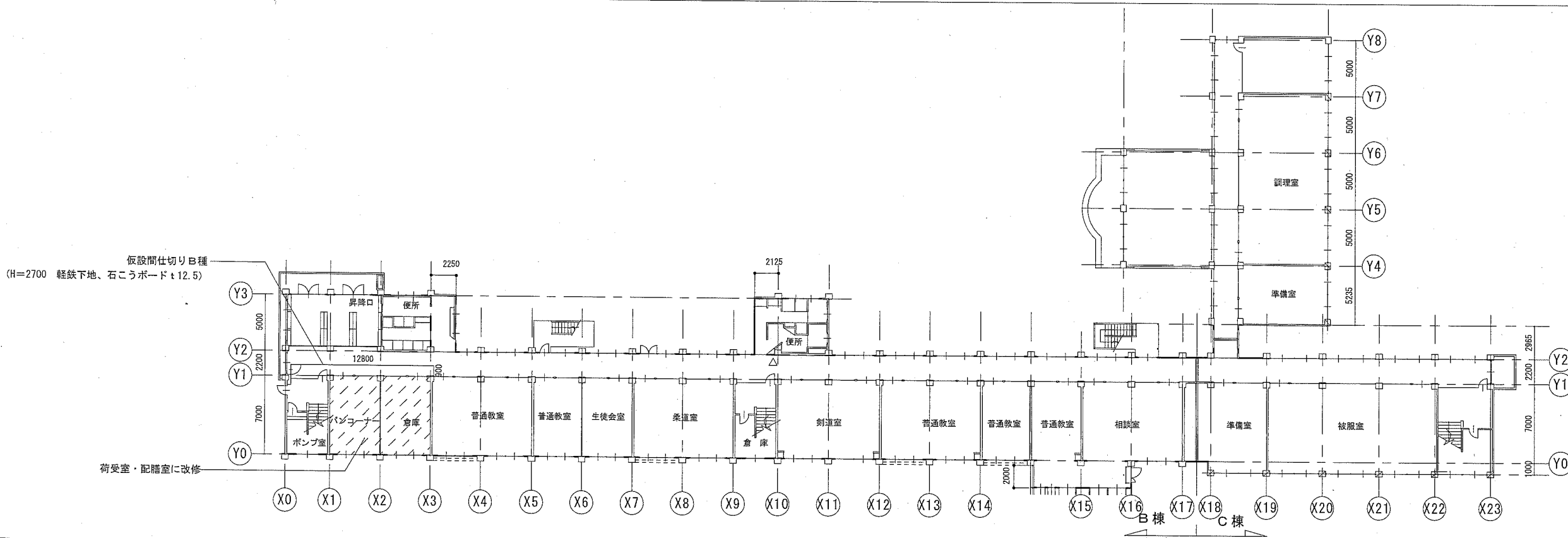
仕上表 (B棟)

縮尺



配膳室、少人数教室に改修

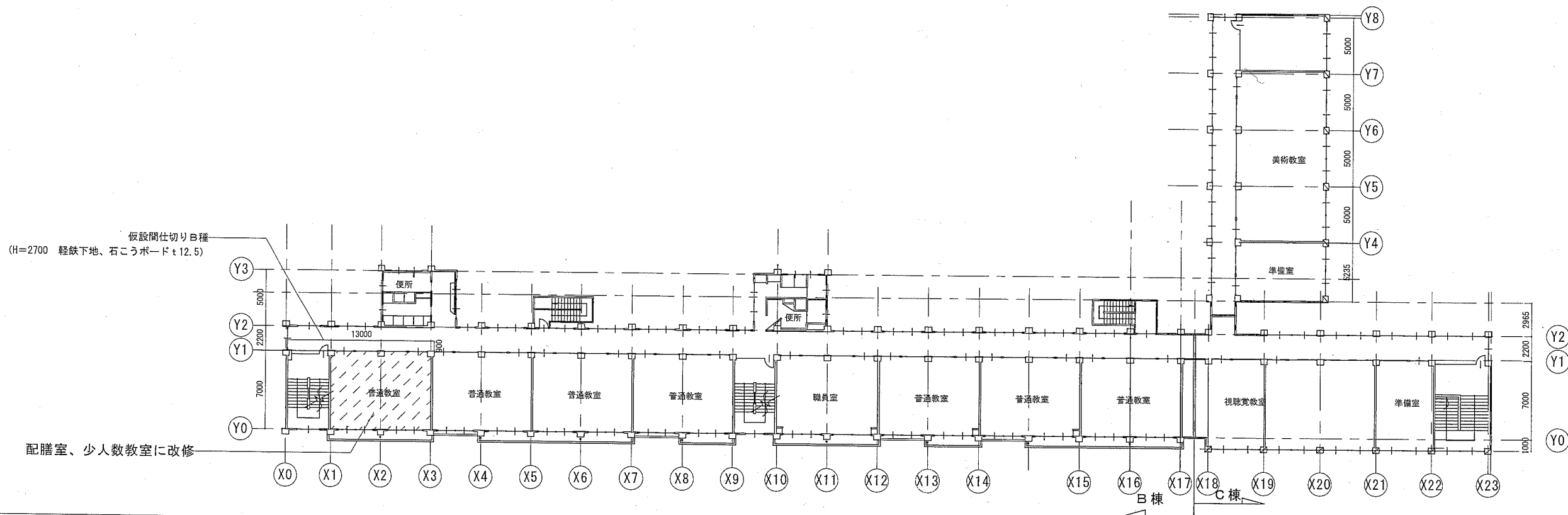
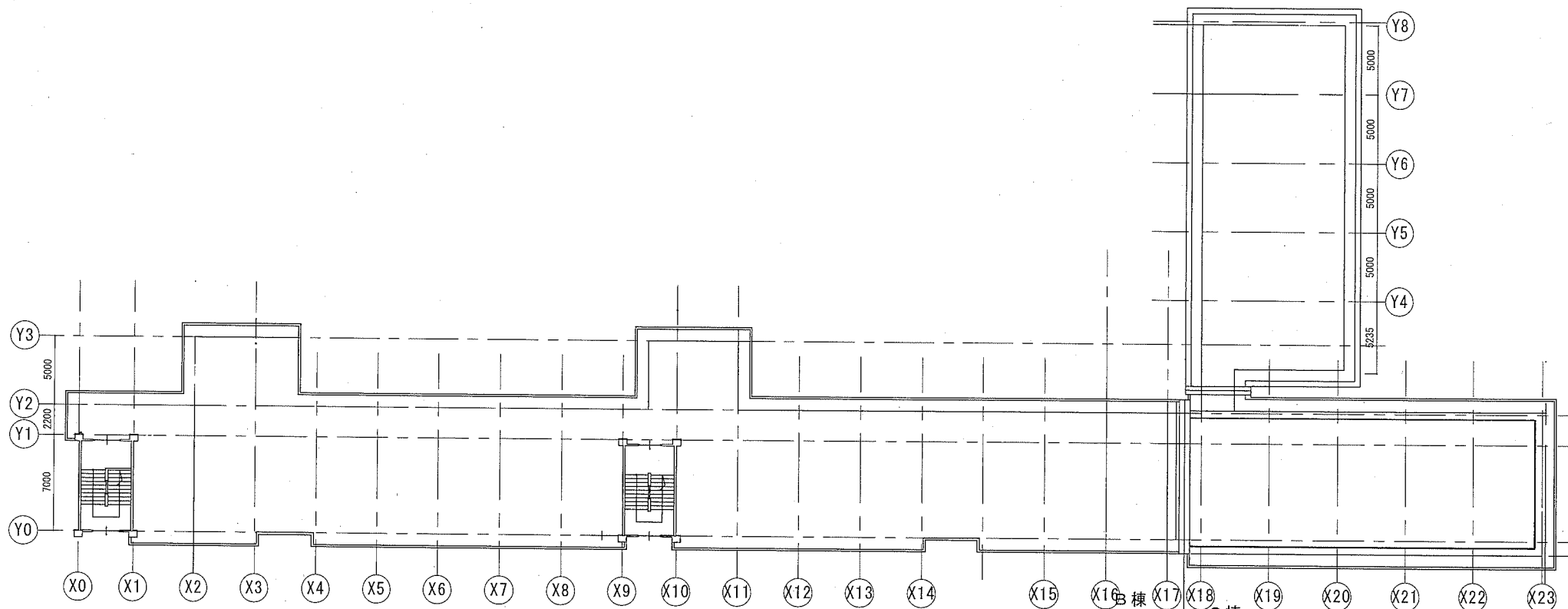
*仮設間仕切り位置は参考とする。



荷受室・配膳室に改修

*仮設間仕切り位置は参考とする。

公共建築課長	主査	担当者



* 仮設間仕切り位置は参考とする。

公共建築課長	主査	担当者

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

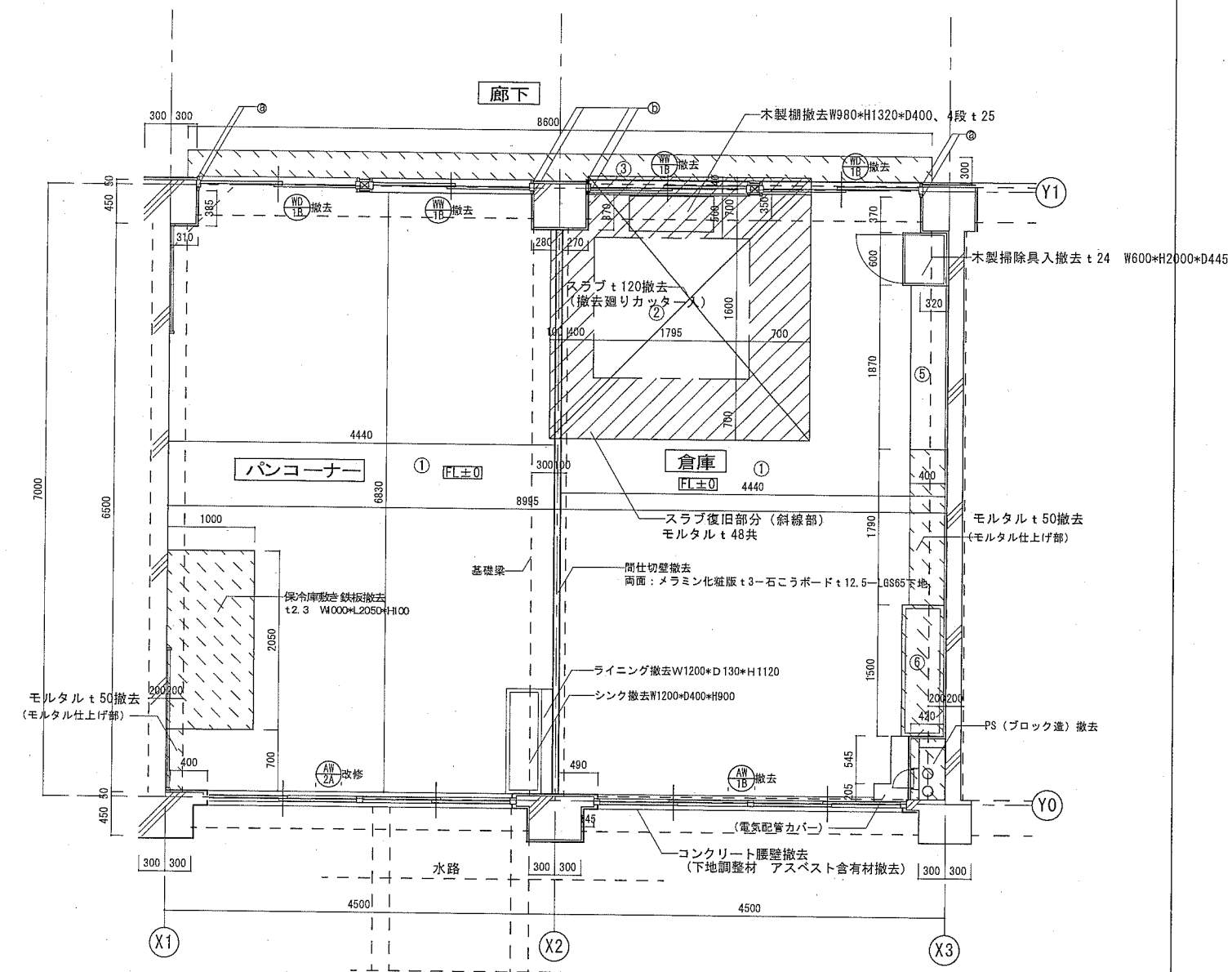
A — 27

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

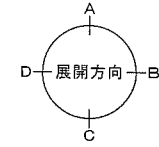
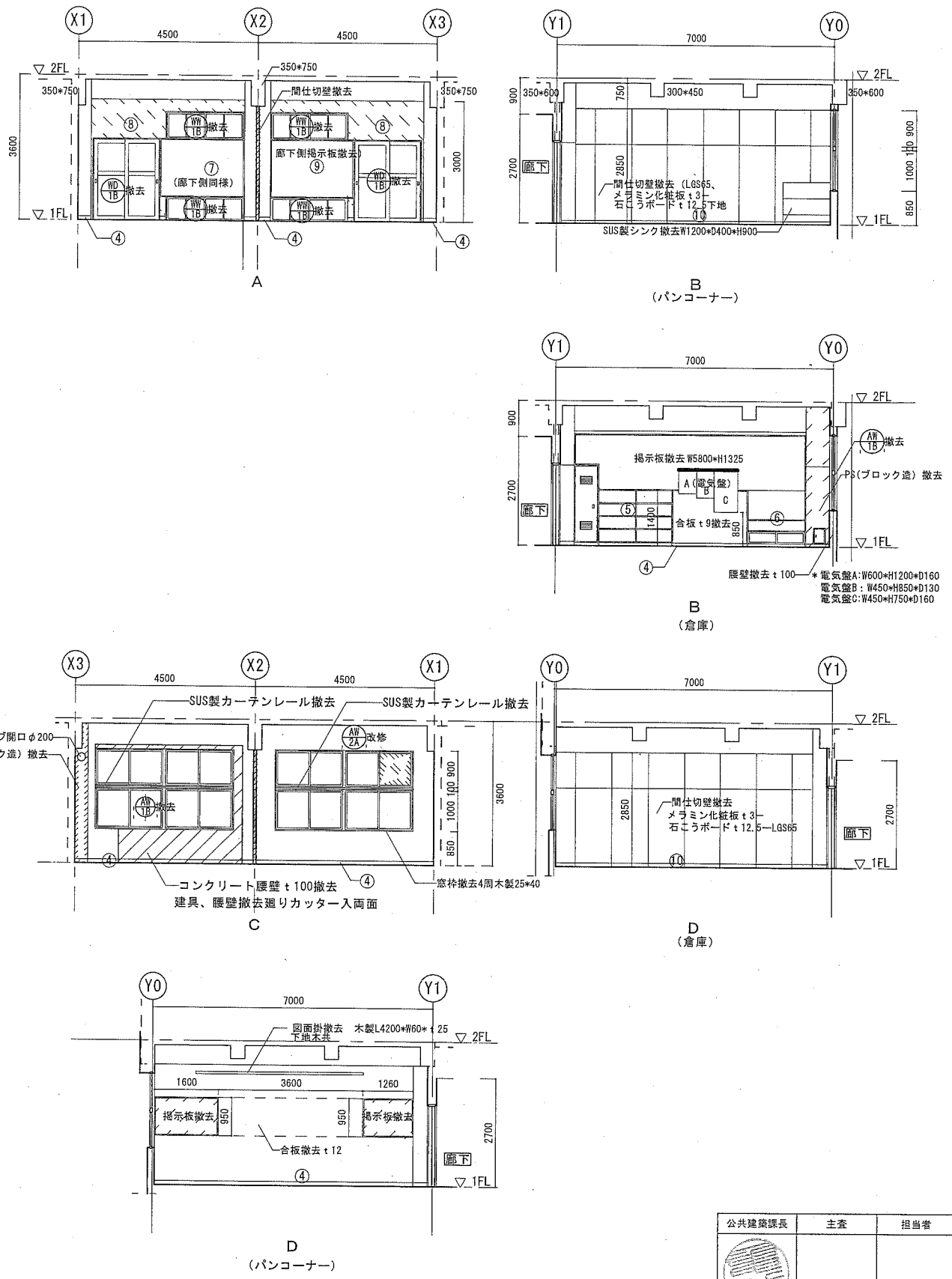
B・C棟 3, R階 平面図

縮尺 1/300

- Ⓐ : 建具周囲 (H2000)カッター入れ (床共)
- Ⓑ : 建具周囲 (H2700)カッター入れ (床共)

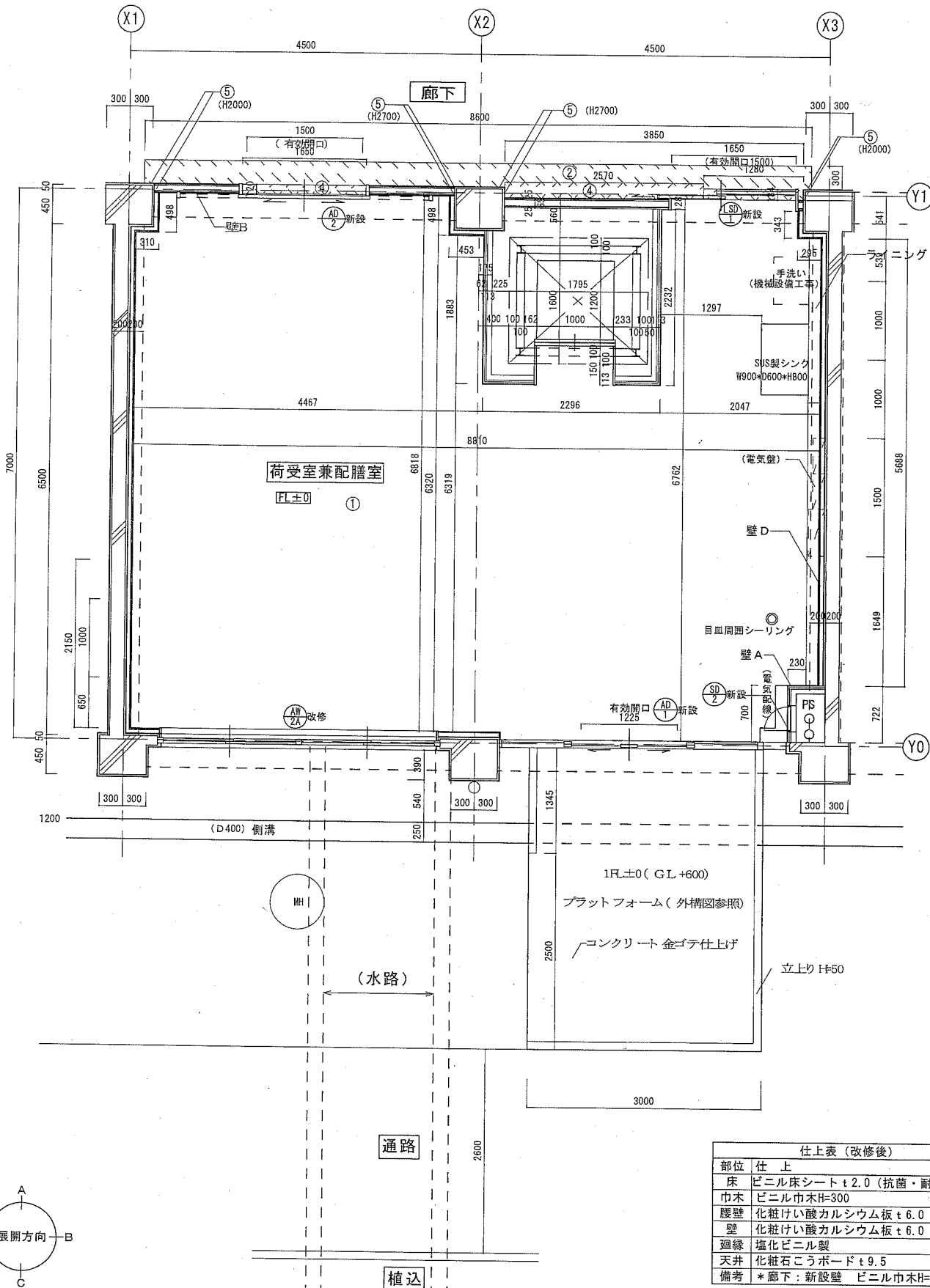


仕上表 (改修前)	
部位	仕上
床	フローリングブロック t15 一部モルタル金継
巾木	ランH=100、一部ビニル巾木
腰壁	モルタル金継VP
壁	プaster、一部メラミン化粧板 t3
廻縁	
天井	木毛板 t24
備考	

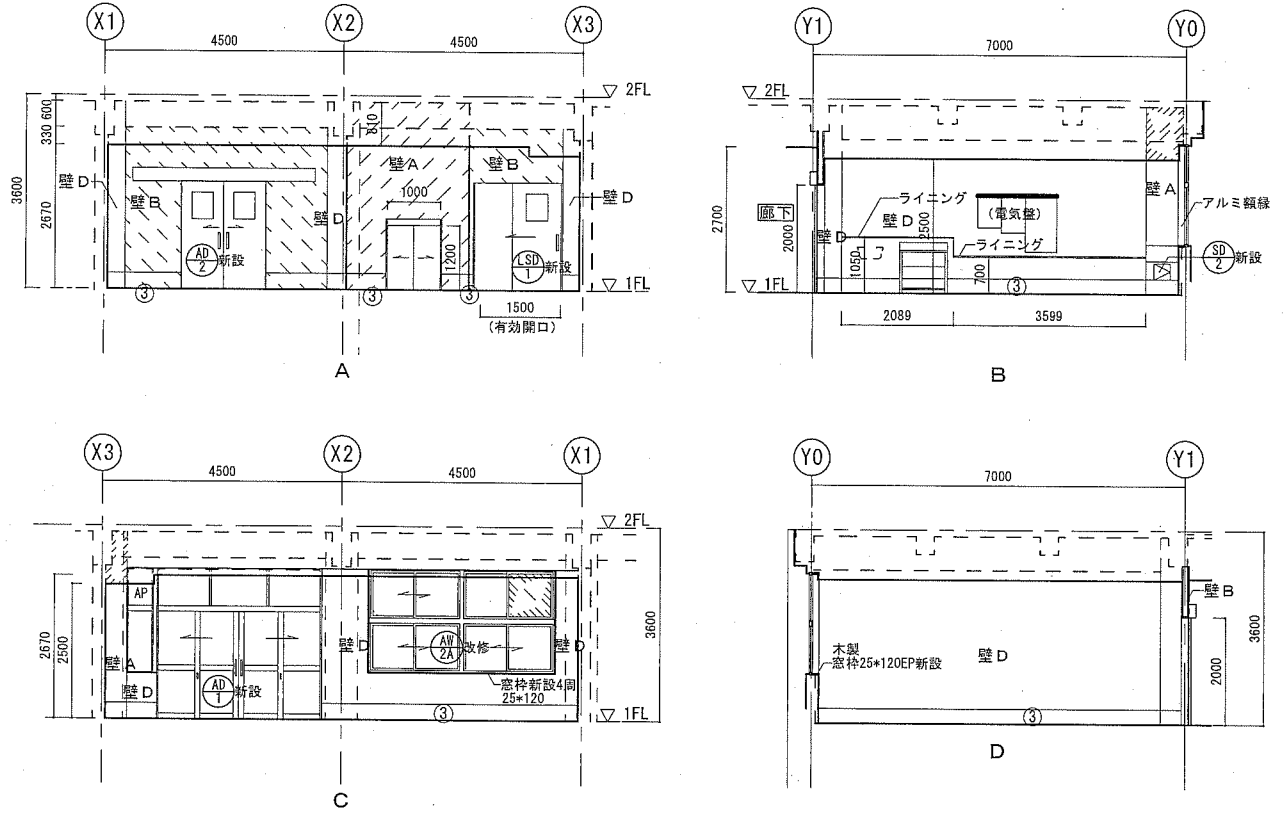


撤去内容	
① 床フローリングブロック t15-モルタルt35撤去	⑥ SUS製流し撤去W1500*D400*H1400
② 床フローリングブロック t15-モルタル35-RC120撤去	⑦ 掲示板撤去W1930*H1370
③ ビニル床タイル (t2.5コイン) 撤去 (下地未撤去)	⑧ 石こうボードt12.5撤去 (木造下地共)
④ 木製巾木H=100撤去	⑨ 黒板撤去W1930*H1370
⑤ 木製生徒用ロッカー撤去W1870*H1400*D400	⑩ ビニル巾木H100撤去

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月



仕上表(改修後)	
部位	仕上
床	ビニル床シート t2.0 (抗菌・耐動荷重性)
巾木	ビニル巾木H=300
腰壁	化粧けい酸カルシウム板 t6.0
壁	化粧けい酸カルシウム板 t6.0
廻縁	塩化ビニル製
天井	化粧石膏ボード t9.5
備考	*廊下: 新設壁 ビニル巾木H=100



- 改修内容
- ① ビニル床シート張り (t2.0 抗菌・耐動荷重性) -モルタル t48
 - ② ビニル床シート張り t2.5 (コイン) -ポリマーセメントペースト
 - ③ ビニル巾木取付 (H=300)
 - ④ ビニル床シート張り t2.5 (コイン) -モルタル t47.5
 - ⑤ 柱型・巾木モルタルW100補修の上、EP-G (室内 モルタル補修のみ)

公共建築課長	主査	担当者

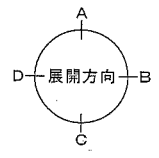
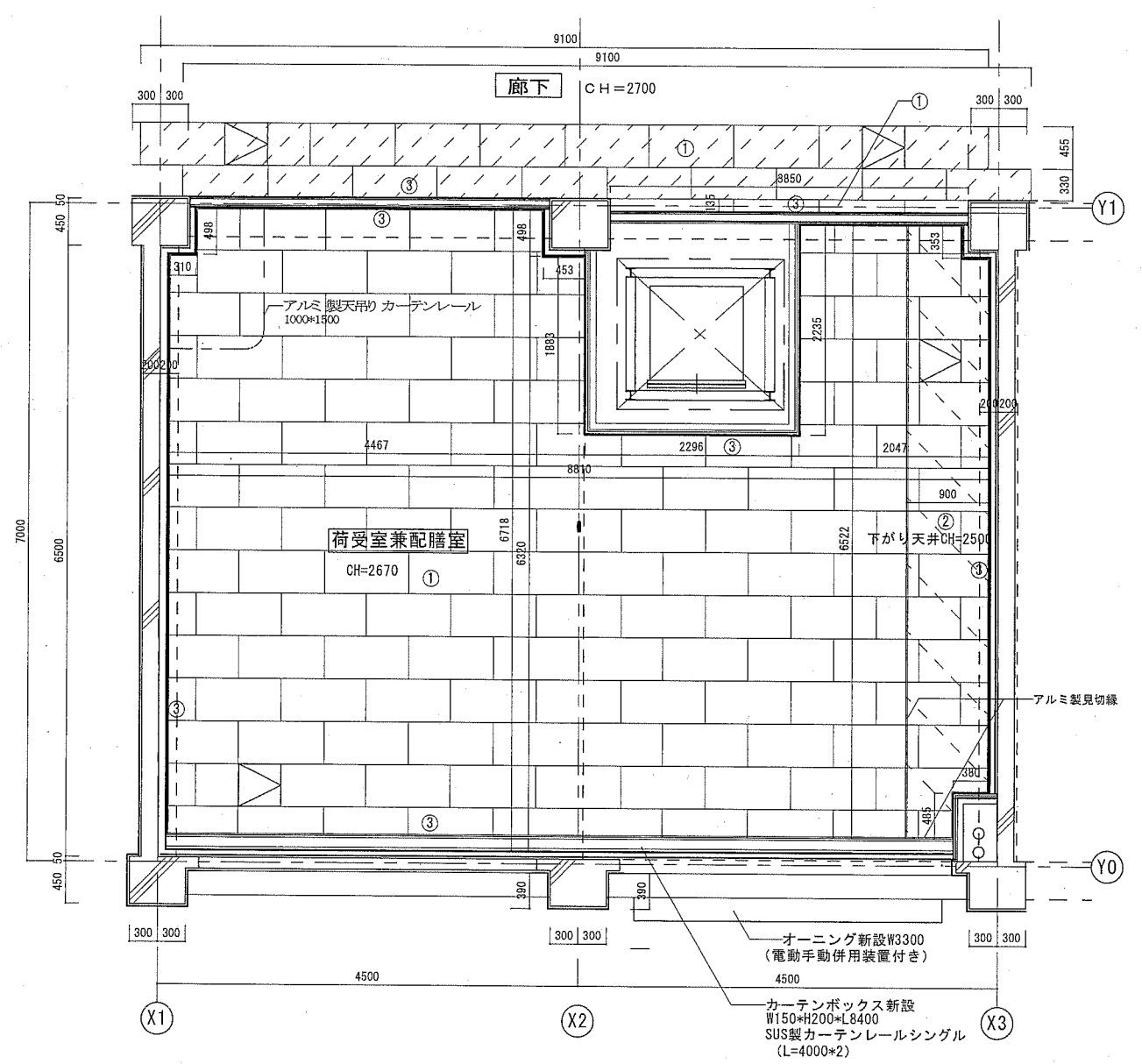
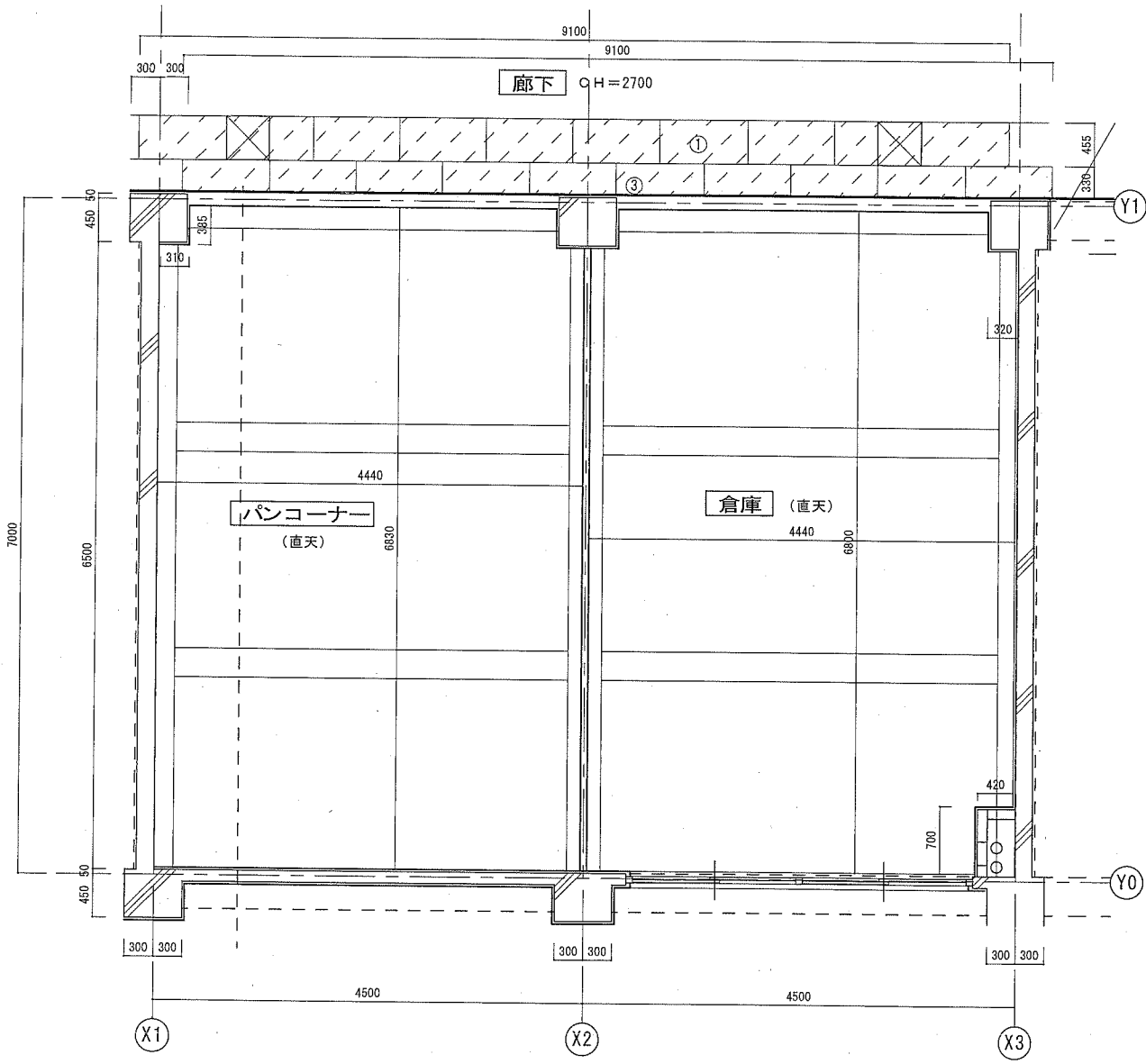
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

A - 29

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

B棟1階 荷受室兼配膳室 平面詳細図・展開図(改修後)

縮尺 1/50, 1/100



照明用天井開口補強 (150*1300) 6か所

アルミ製天井開口450角 (開口補強共)

公共建築課長	主査	担当者

撤去内容	改修内容
① 天井:化粧石膏ボードt9.0撤去 (吊りボルト、軽量鉄骨天井下地共)	① 天井:化粧石膏ボードt9.5 (吊りボルト、軽鉄天井下地共@225)
③ 廻り縁:塩化ビニル製 (天井撤去部)	② 下がり天井:化粧石膏ボードt9.5 (吊りボルト、軽鉄天井下地共@225) CH=2500
	③ 廻り縁:塩化ビニル製 (新設、張替部)

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

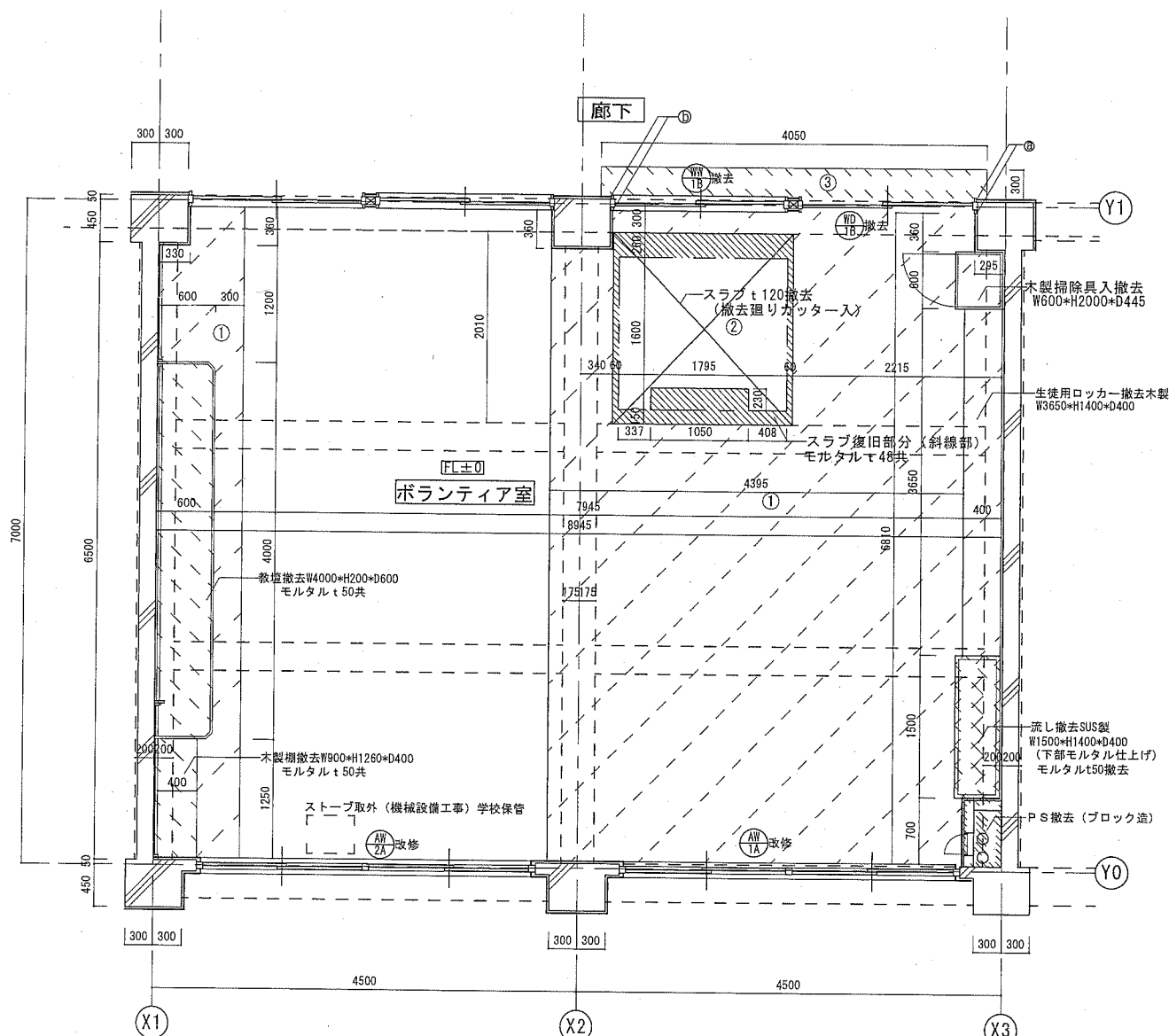
— 30

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

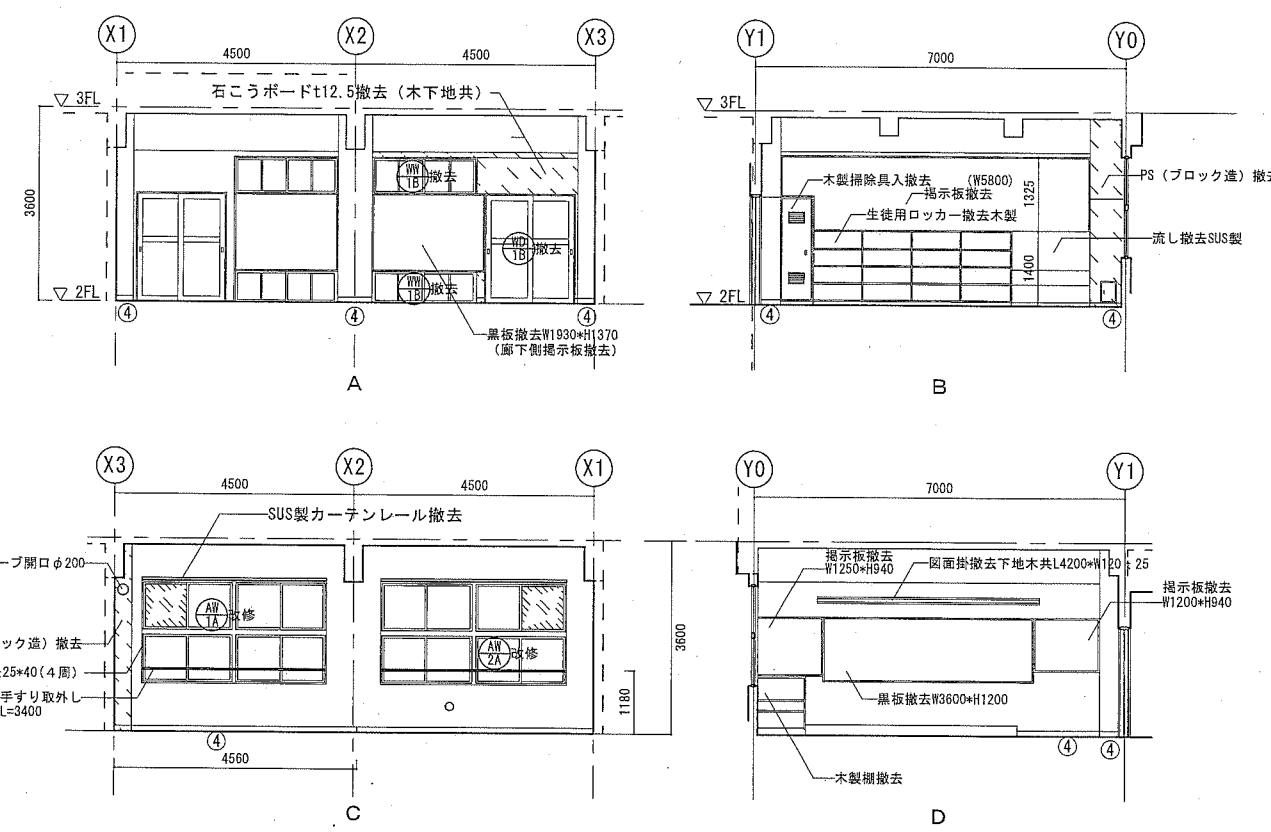
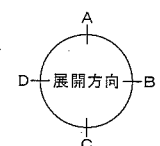
B棟1階 パンコーナー・倉庫・荷受室兼配膳室
天井伏図 (改修前・改修後)

縮尺 1/50

- Ⓐ : 建具周囲 (H2000)カッター入れ (床共)
- Ⓑ : 建具周囲 (H2700)カッター入れ (床共)



仕上表 (改修前)	
部位	仕上
床	フローリングブロック t15
巾木	ラワンH=100
腰壁	モルタル金鍍VP
壁	プaster
廻縁	塩化ビニル製
天井	木毛板 t24
備考	



撤去内容	
①	床フローリングブロック t15-モルタル t35撤去
②	床フローリングブロック t15-モルタル t35-コンクリート t120撤去
③	ビニル床シート t 2.5 (コイン) 撤去 (下地モルタル未撤去)
④	木製巾木H=100撤去

公共建築課長	主査	担当者

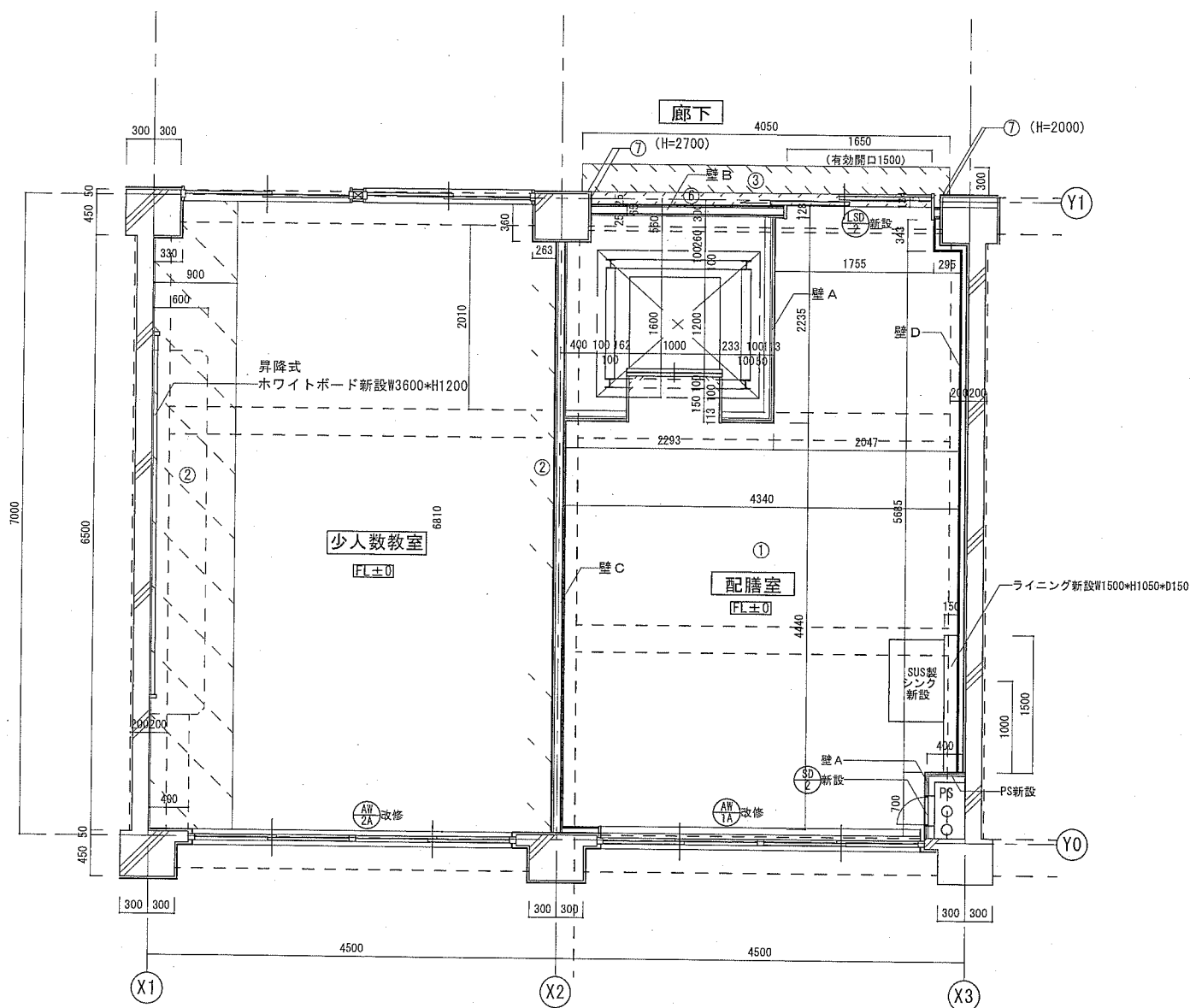
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

A — 3 1

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

B棟2階 ボランティア室 平面詳細図・展開図(改修前)

縮尺 1/50, 1/100

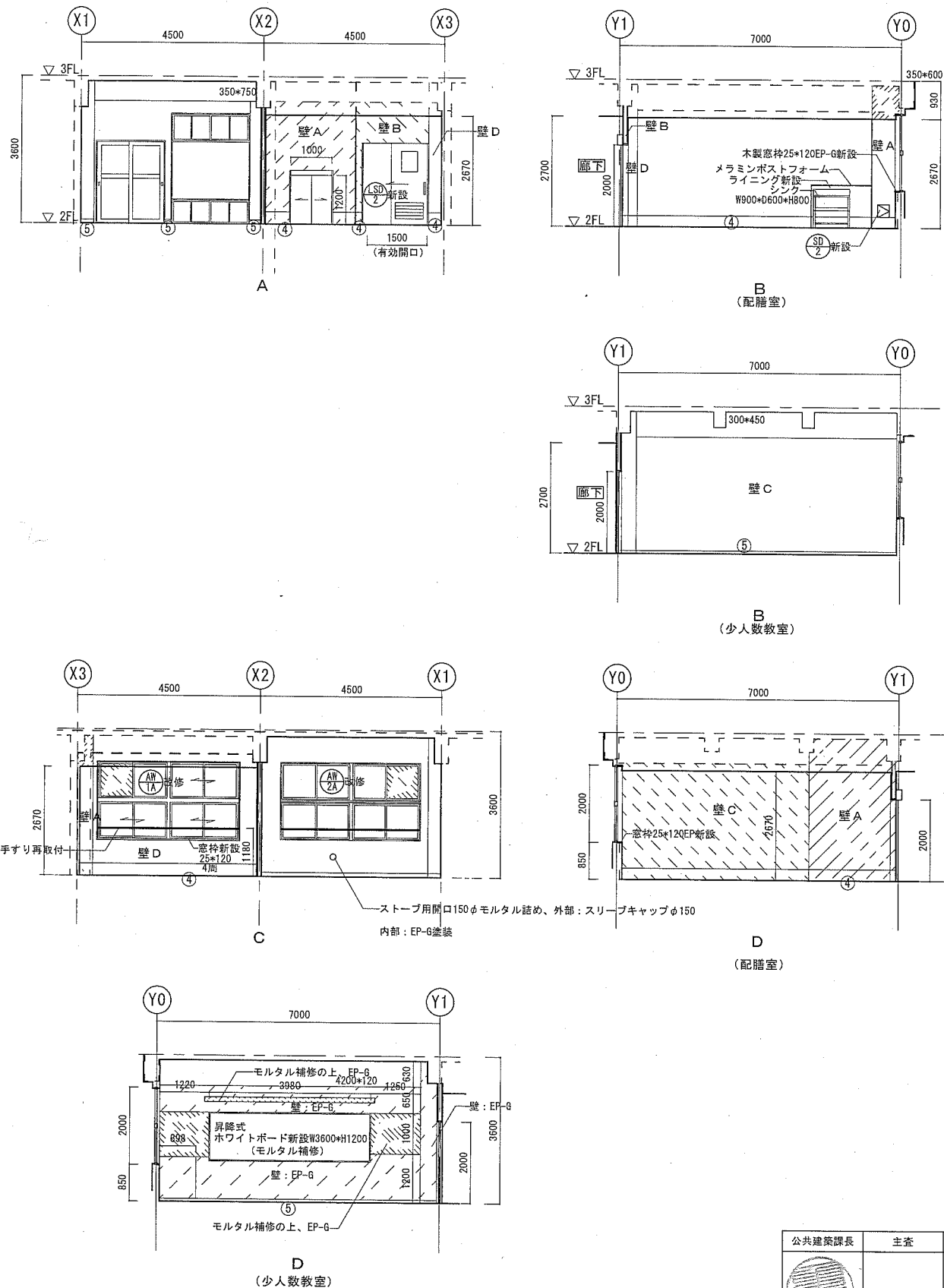
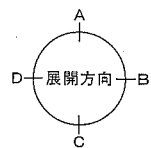


少人数教室

仕上表(改修後)	
部位	仕上
床	フローリングブロック t15-一部張替
巾木	(ラワン巾木)、ビニル巾木H=100
腰壁	(モルタル金ゴテVP)
壁	(プラスター)
廻縁	
天井	(木毛板 t24)
備考	

配膳室

仕上表(改修後)	
部位	仕上
床	ビニル床シート t2.0 (抗菌・耐動荷重性)
巾木	ビニル巾木H=300
腰壁	化粧けい酸カルシウム板 t6.0
壁	化粧けい酸カルシウム板 t6.0
廻縁	塩化ビニル製
天井	化粧石膏ボード t9.5
備考	*廊下:新設壁 ビニル巾木H=100



改修内容	
① ビニル床シート張り (t2.0 抗菌・耐動荷重性) -モルタル48	⑥ ビニル床シート張り t2.5 (コイン) -モルタル t47.5
② フローリングブロック t15-モルタル t35	⑦ 柱型・巾木モルタルW100補修の上、EP-G
③ ビニル床シート張り t2.5 (コイン) -ポリマーセメントペースト	
④ ビニル巾木取付 (H=300)	
⑤ ビニル巾木取付 (H=100)	

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

A 32

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

B棟2階 配膳室・少人数教室平面詳細図・展開図(改修後)

縮尺 1/50, 1/100

1

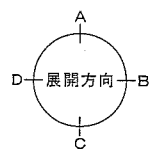
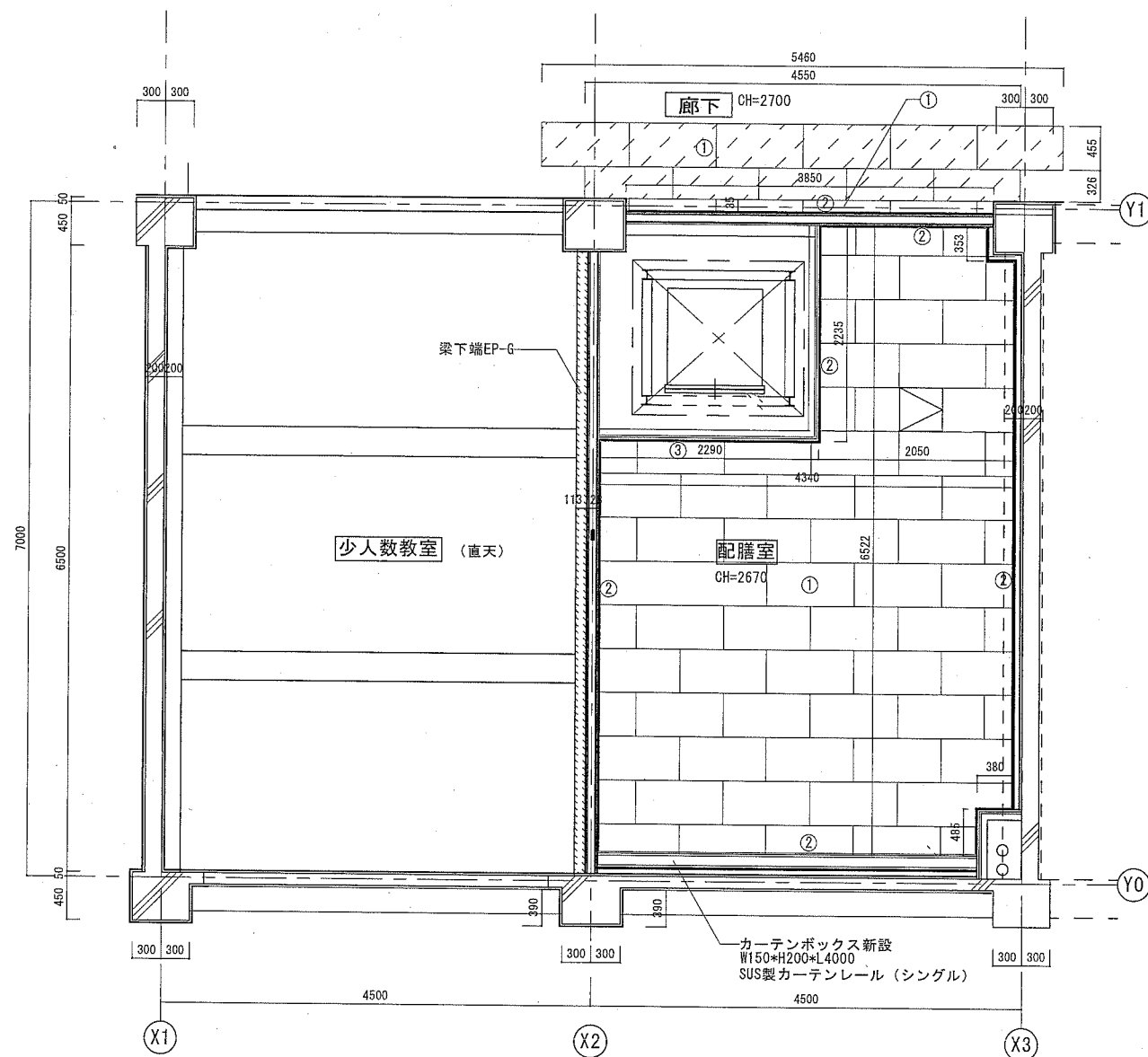
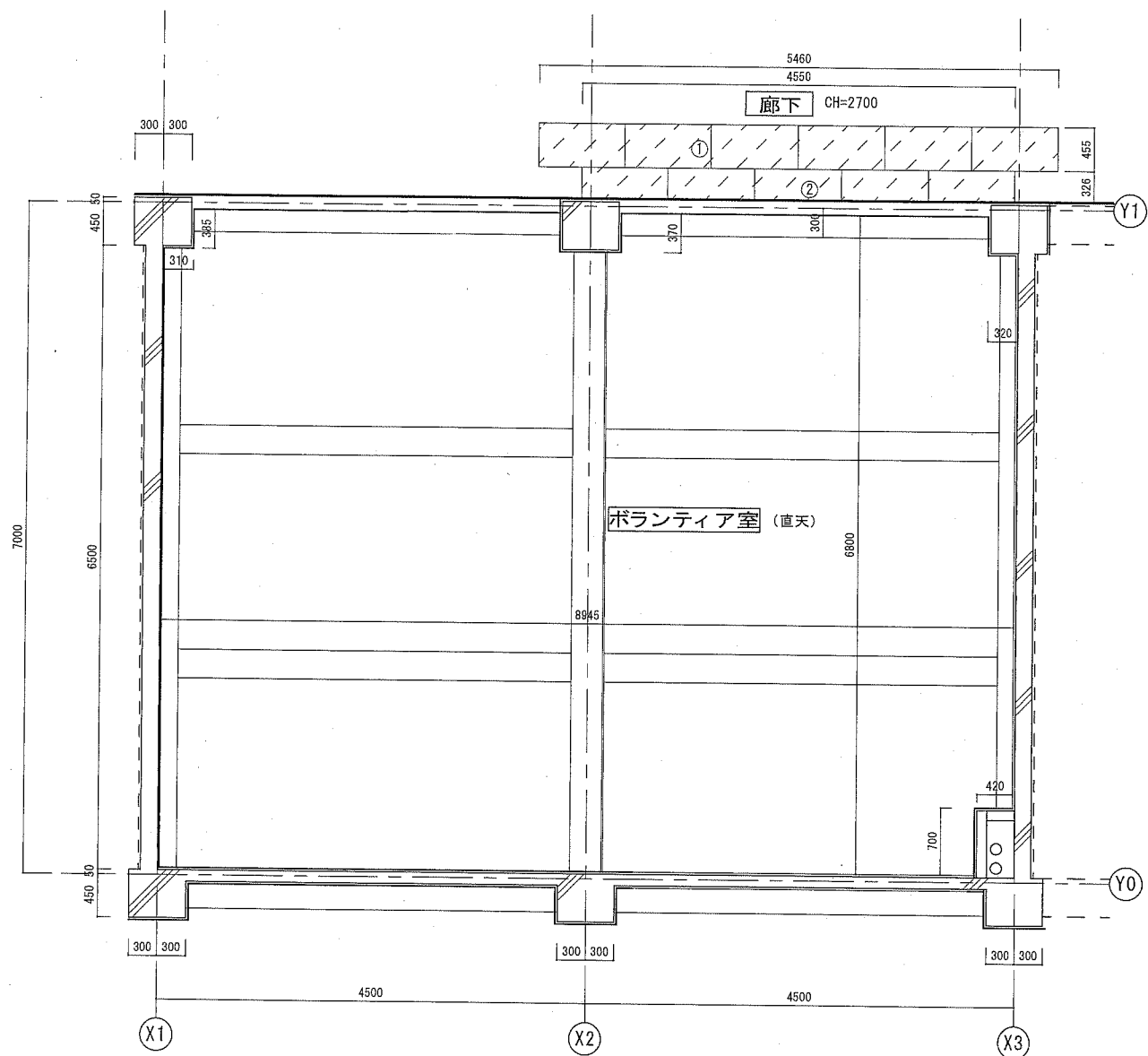
B棟2階 ボランティア室 天井伏図(改修前)

1/50

2

B棟2階 配膳室・少人数教室 天井伏図(改修後)

1/50



撤去内容	改修内容
① 天井: 化粧石膏ボードt9.0撤去 (吊りボルト、軽量鉄骨天井下地共)	① 天井: 化粧石膏ボードt9.5 (吊りボルト、軽鉄天井下地共@225)
② 廻り縁: 塩化ビニル製 (天井撤去部)	② 廻り縁: 塩化ビニル製 (張替、新設周り)

照明用天井開口補強 (150*1300) 3か所
 アルミ製天井点検口450角 (開口補強共)

公共建築課長	主査	担当者

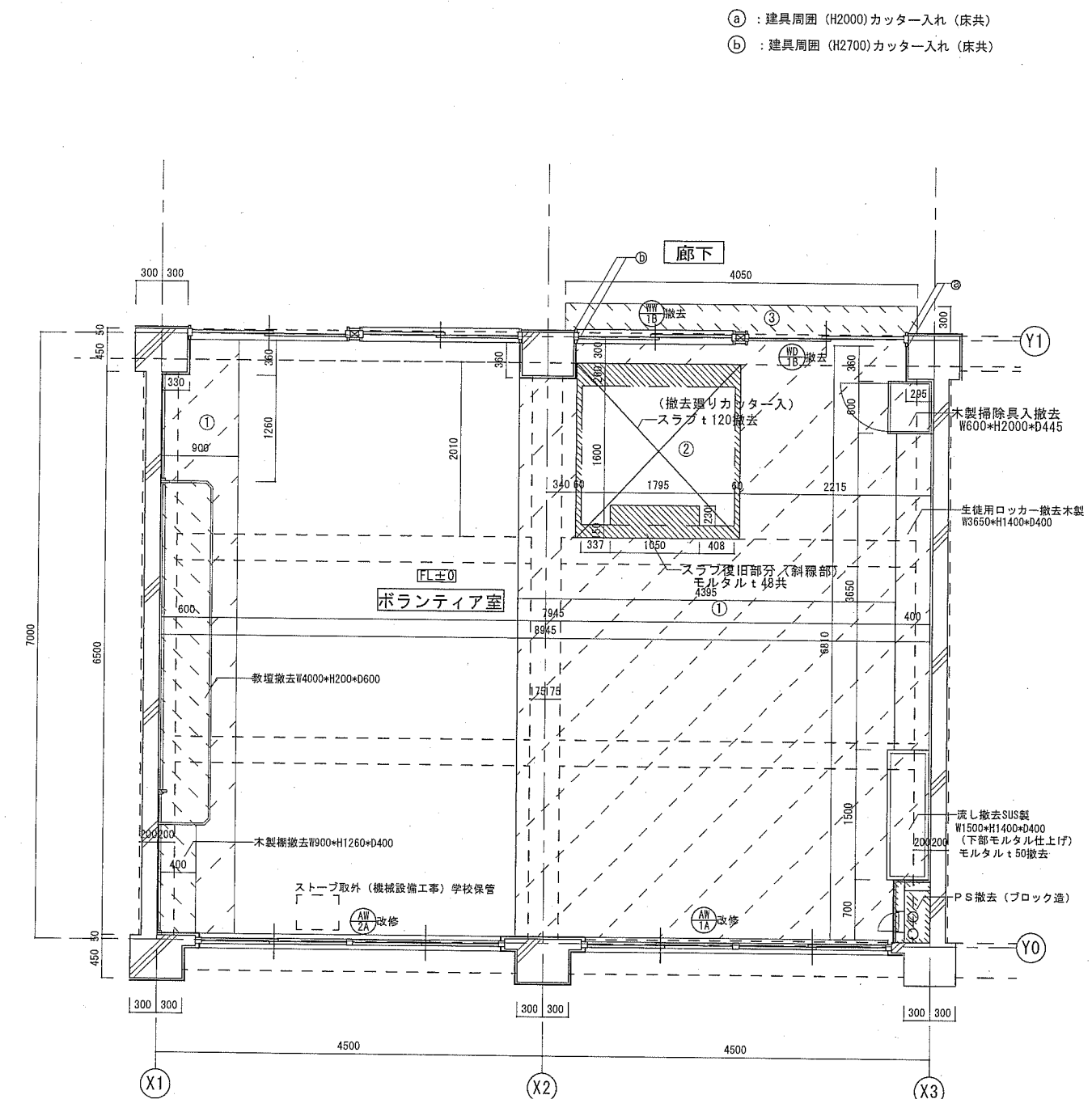
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

A 33

横須賀市 都市部 公共建築課
 設計年月日 平成31年2月

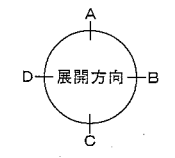
B棟2階 ボランティア室、配膳室・少人数教室
 天井伏図 (改修前・改修後)

縮尺 1/50

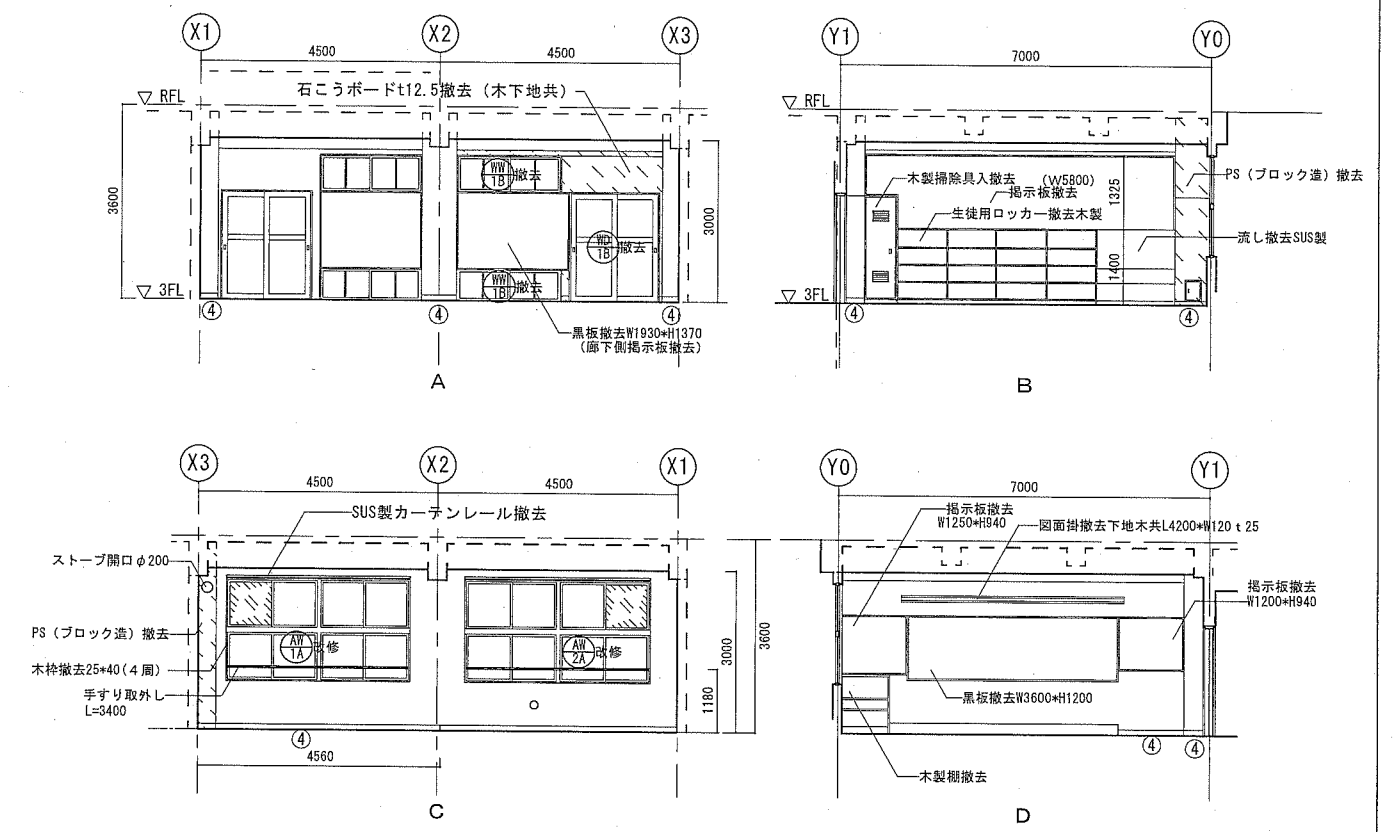


- Ⓐ : 建具周囲 (H2000)カッター入れ (床共)
- Ⓑ : 建具周囲 (H2700)カッター入れ (床共)

部位	仕上
床	フローリングブロック t15
巾木	ラワンH=100
腰壁	モルタル金鐘VP
壁	プラスター
廻縁	木製
天井	石こうボード t9 EP
備考	



①	床フローリングブロック t15-モルタル t35撤去
②	床フローリングブロック t15-モルタル t35-コンクリート t120撤去
③	ビニル床シート t2.5 (コイン) 撤去(下地モルタル未撤去)
④	木製巾木H=100撤去

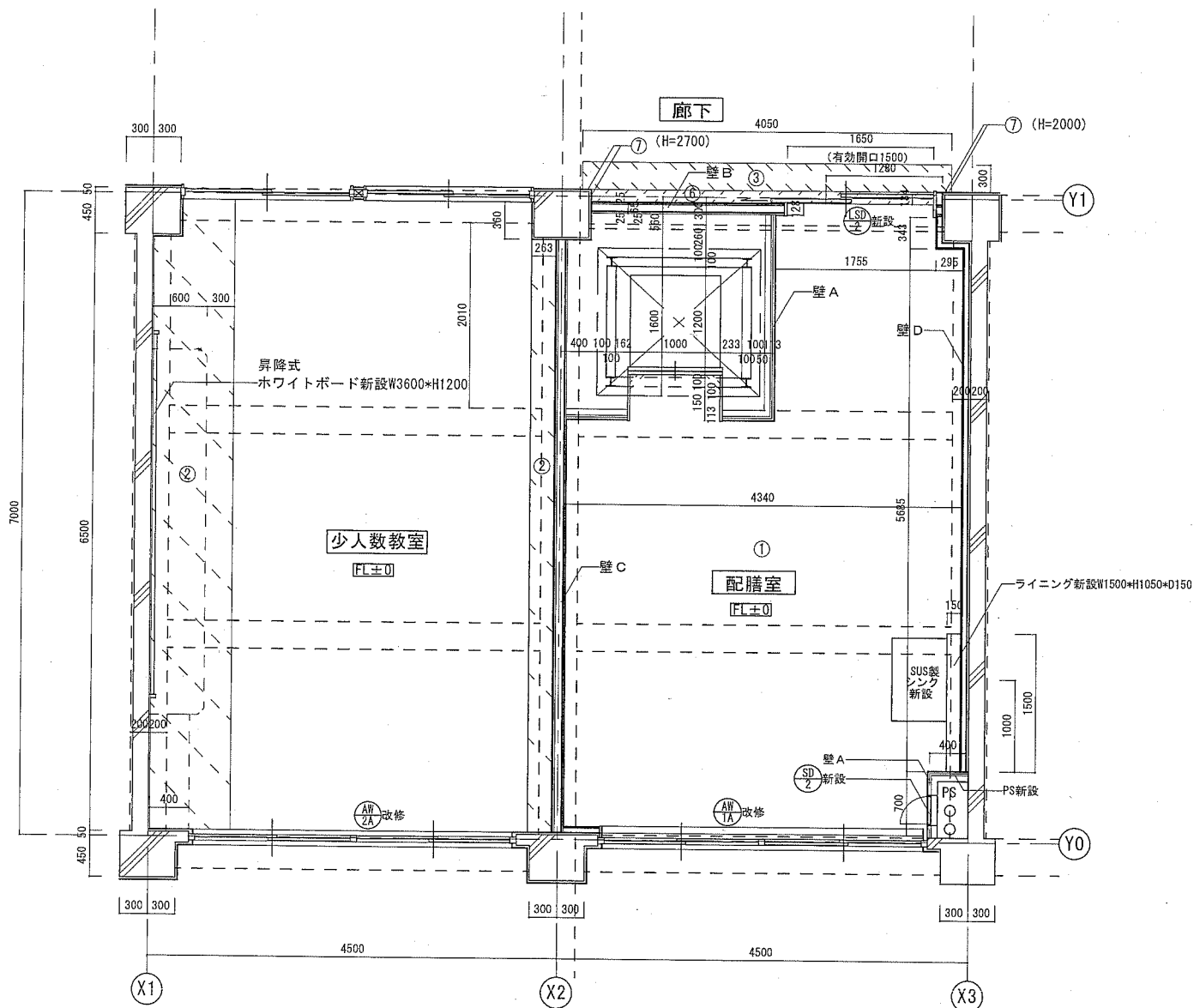


公共建築課長	主査	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事 A — 34

B棟3階 普通教室 平面詳細図・展開図(改修前) 縮尺 1/50, 1/100

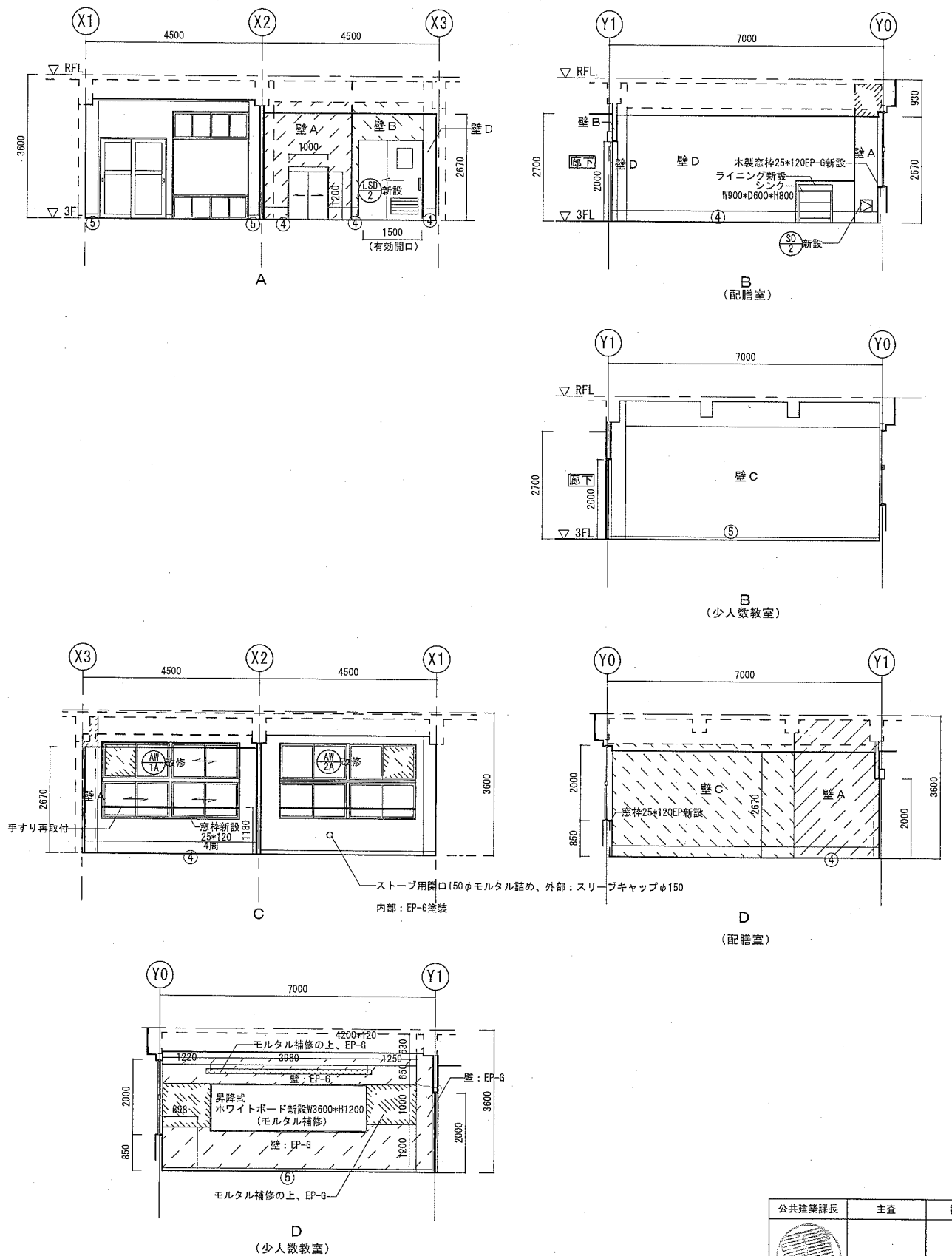
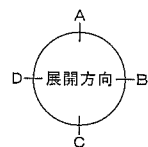


少人数教室 仕上表(改修後)

部位	仕上
床	フローリングブロック t15-一部張替
巾木	(ラワン巾木)、ビニル巾木H=100
腰壁	(モルタル金ゴテVP)
壁	(プラスター)
廻縁	塩化ビニル製復旧
天井	(石こうボード t9.0)
備考	

配膳室 仕上表(改修後)

部位	仕上
床	ビニル床シート t2.0 (抗菌・耐動荷重性)
巾木	ビニル巾木H=300
腰壁	化粧けい酸カルシウム板 t6.0
壁	化粧けい酸カルシウム板 t6.0
廻縁	塩化ビニル製
天井	化粧石こうボード t9.5
備考	*廊下:新設壁 ビニル巾木H=100



改修内容

①	ビニル床シート張り (t2.0 抗菌・耐動荷重性) -モルタル t48	⑥	ビニル床シート張り t2.5 (コイン) -モルタル t47.5
②	フローリングブロック t15-モルタル t35	⑦	柱型・巾木モルタルW100補修の上、EP-G
③	ビニル床シート張り t2.5 (コイン) -ポリマーセメントペースト		
④	ビニル巾木取付 (H=300)		
⑤	ビニル巾木取付 (H=100)		

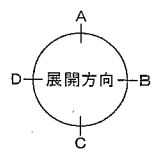
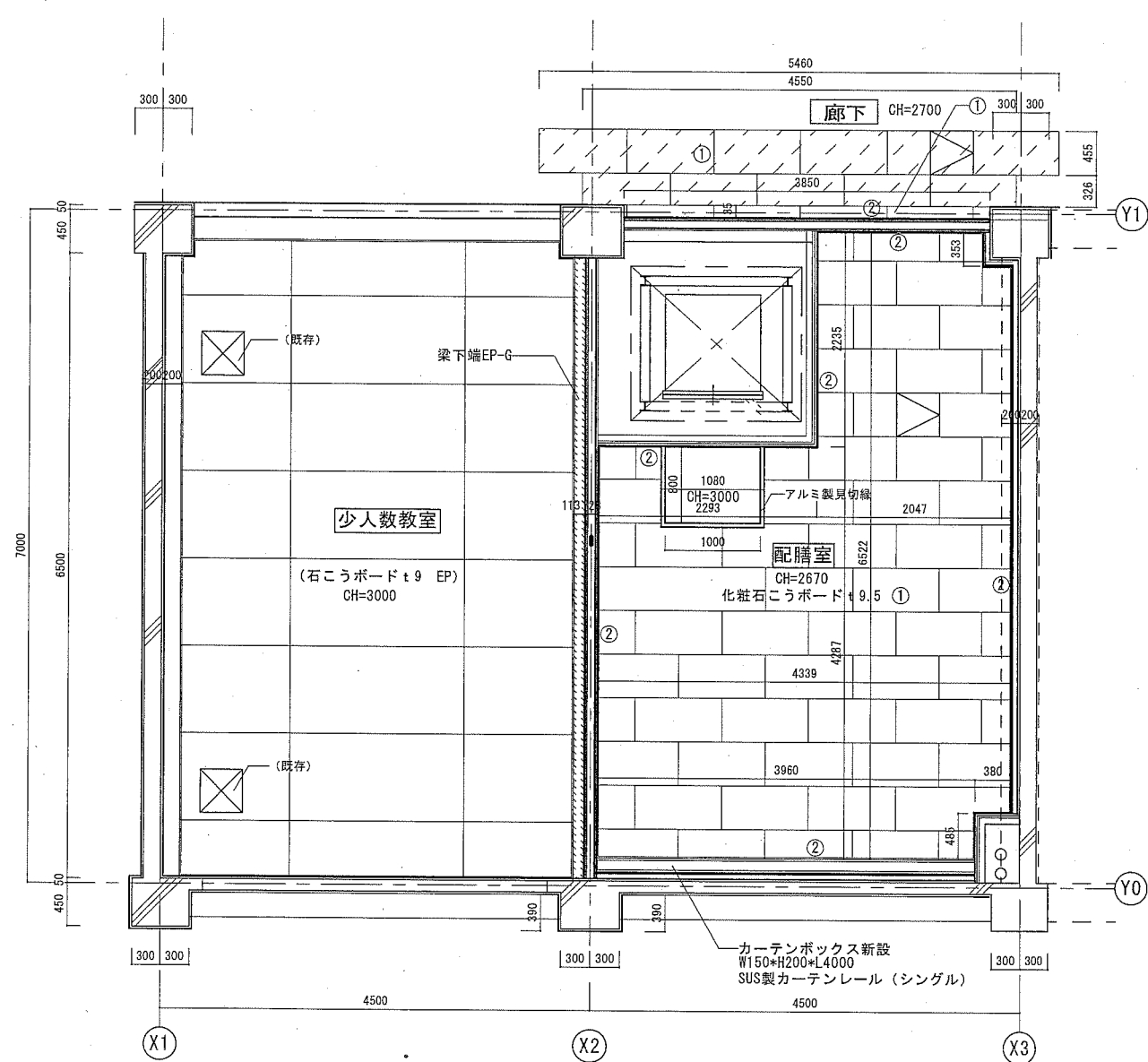
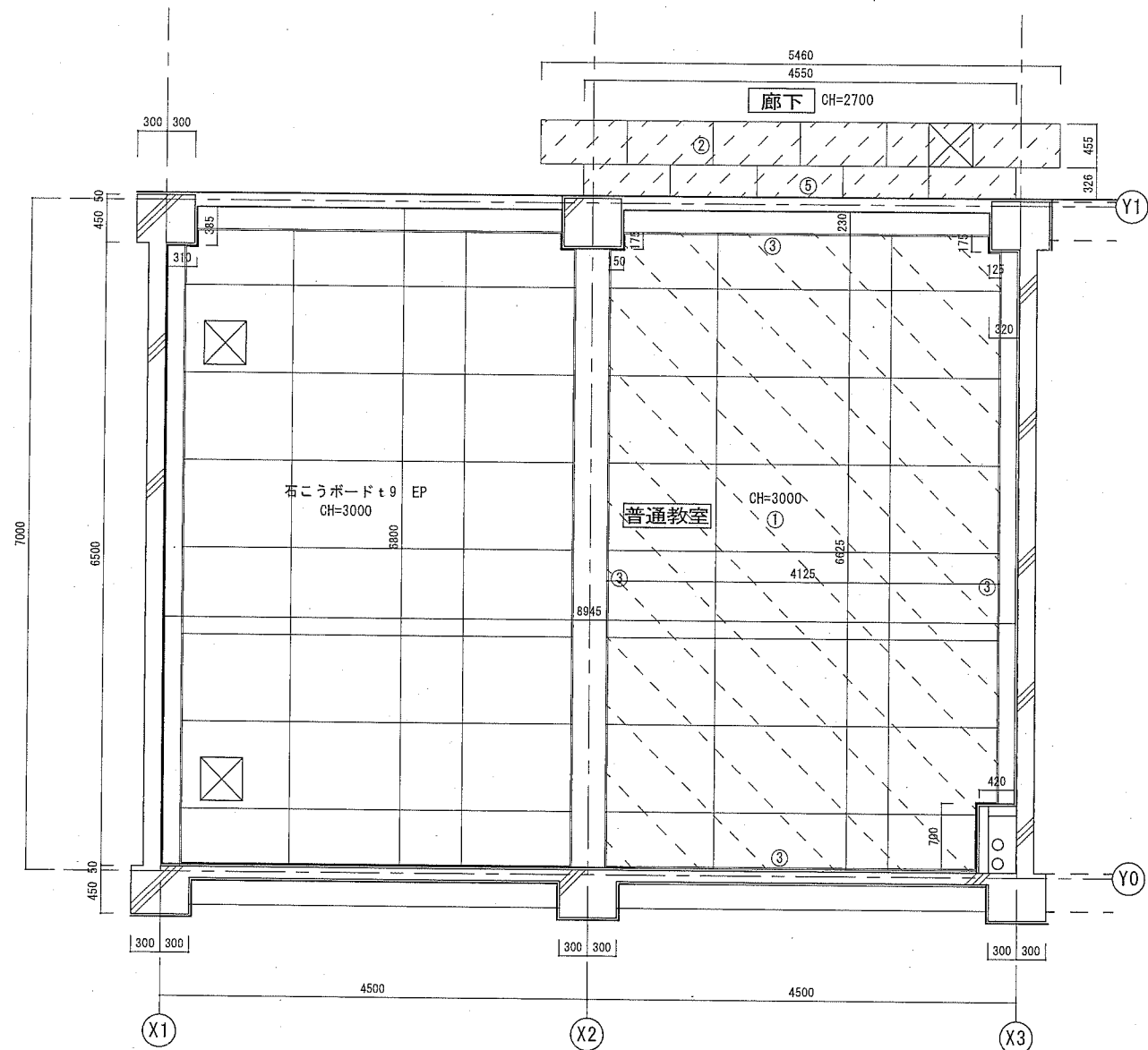
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事


A 35


横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

B棟3階 配膳室・小人数教室平面詳細図・展開図(改修後)

縮尺 1/50, 1/100



 アルミ製天井点検口450角


 アルミ製天井点検口450角 (開口補強共)

撤去内容	改修内容
① 天井：石こうボードt9 (吊りボルト、軽量鉄骨天井下地共)	① 天井：化粧石膏ボードt9.5 (吊りボルト、軽量鉄骨天井下地共@225)
② 天井：化粧石膏ボードt9撤去 (吊りボルト、軽量鉄骨天井下地共@225)	② 廻り縁：塩化ビニル製 (張替、新設周り)
③ 廻り縁：木製 (撤去部)	
⑤ 廻り縁：塩ビ (撤去部)	

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

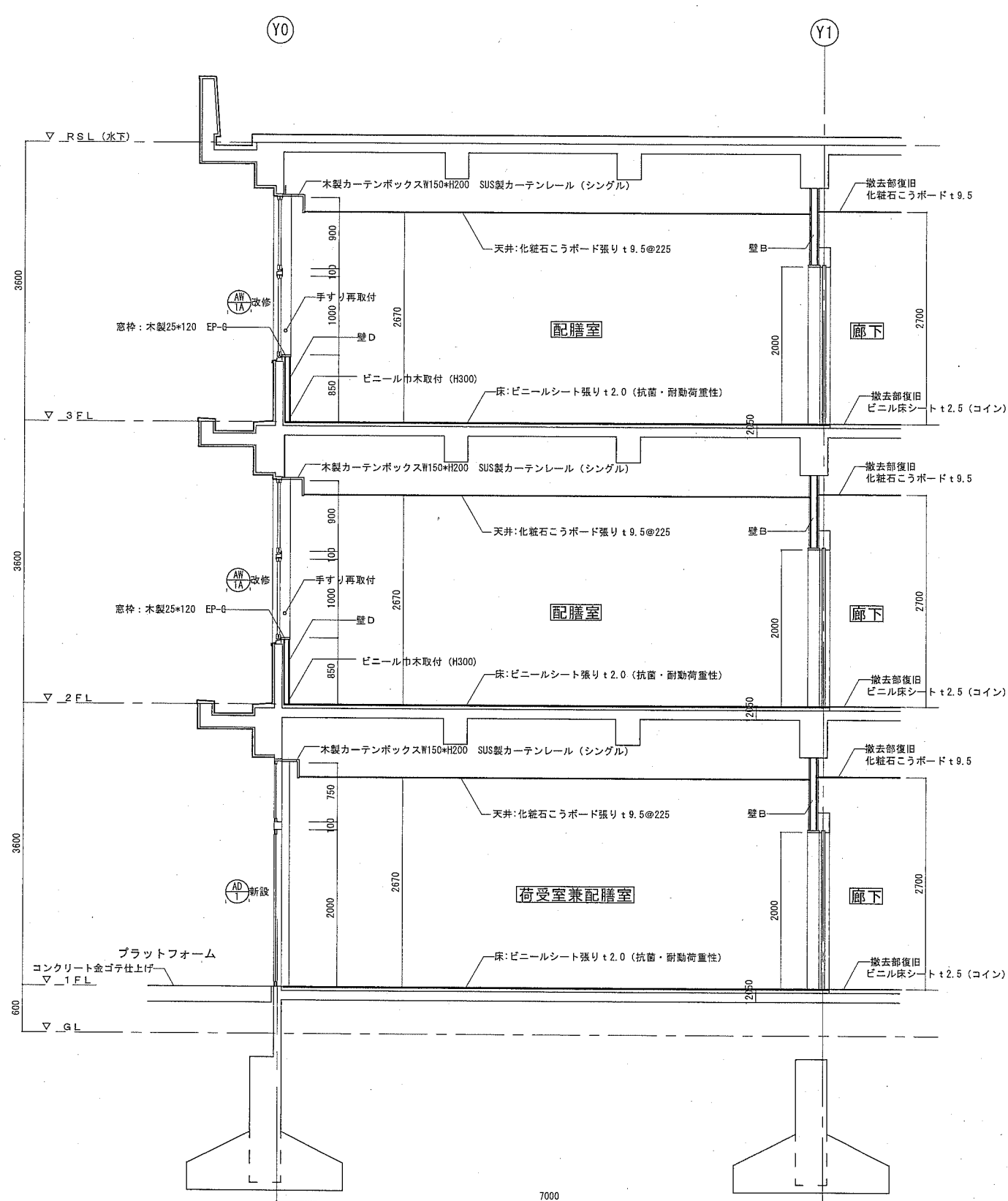
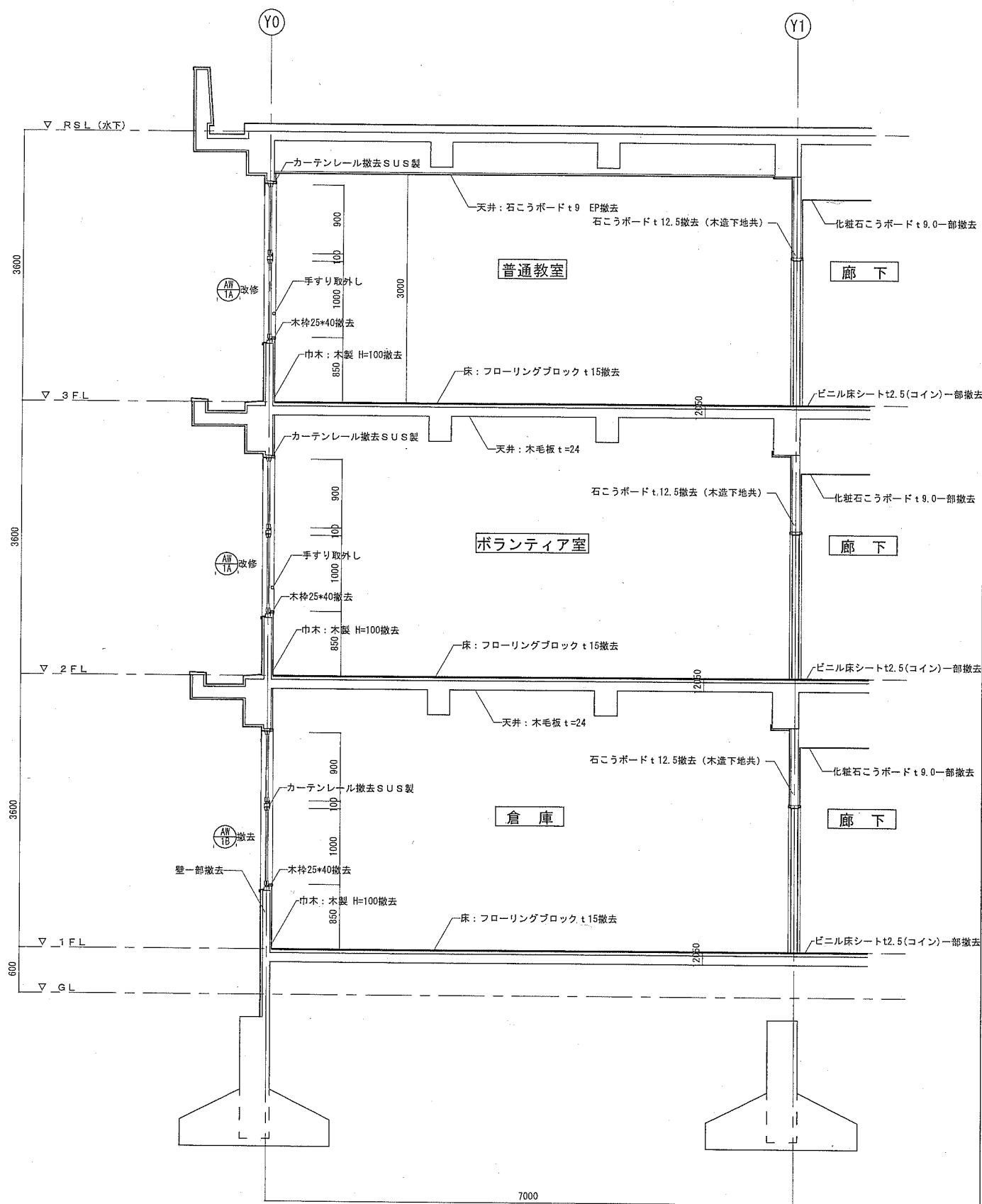
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

B棟3階 普通教室、配膳室・少人数教室
天井伏図(改修前・改修後)

公共建築課長	主査	担当者
		

A — 36

縮尺 1/50



* 既存土間下碎石 t100

公共建築課長	主査	担当者

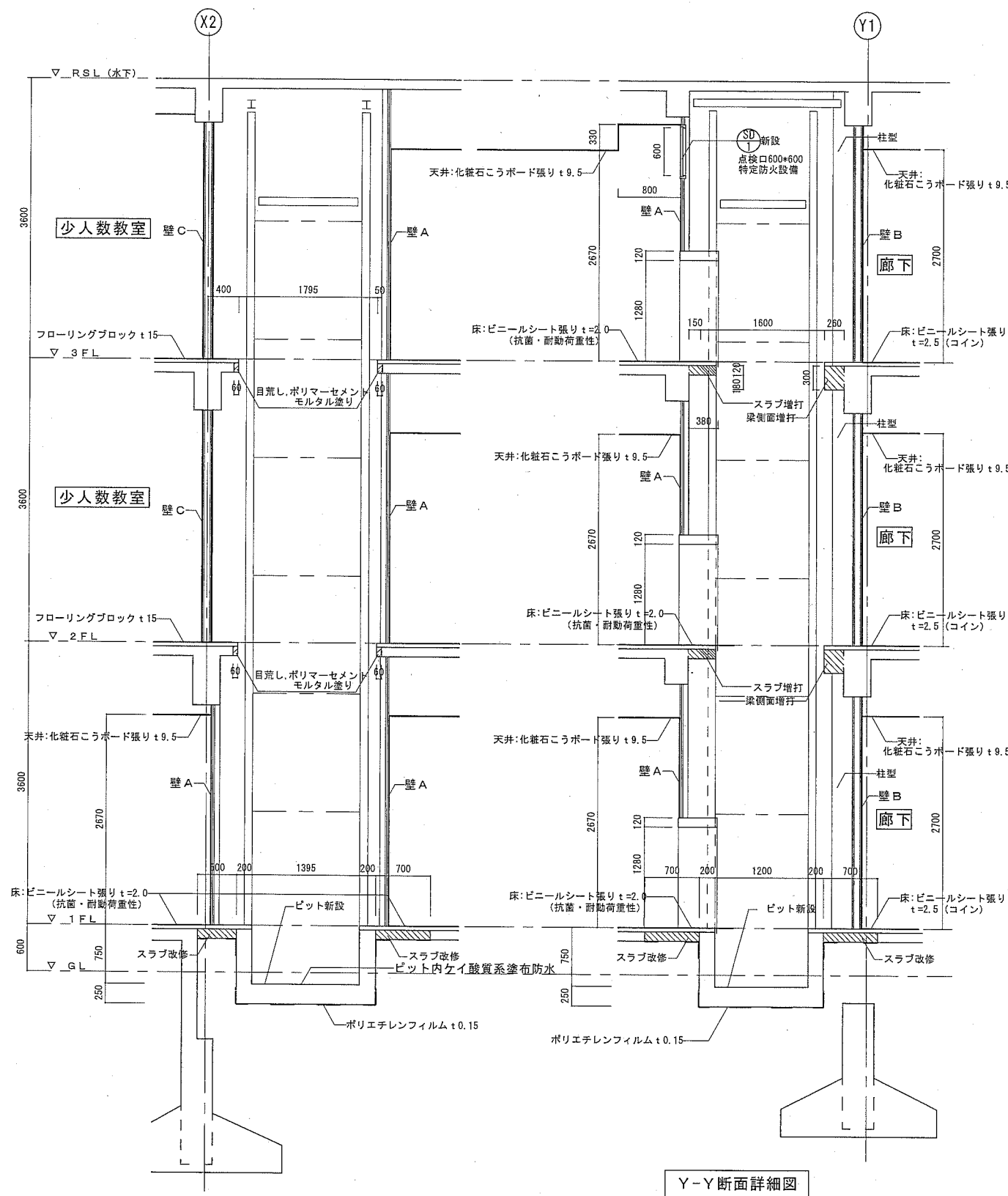
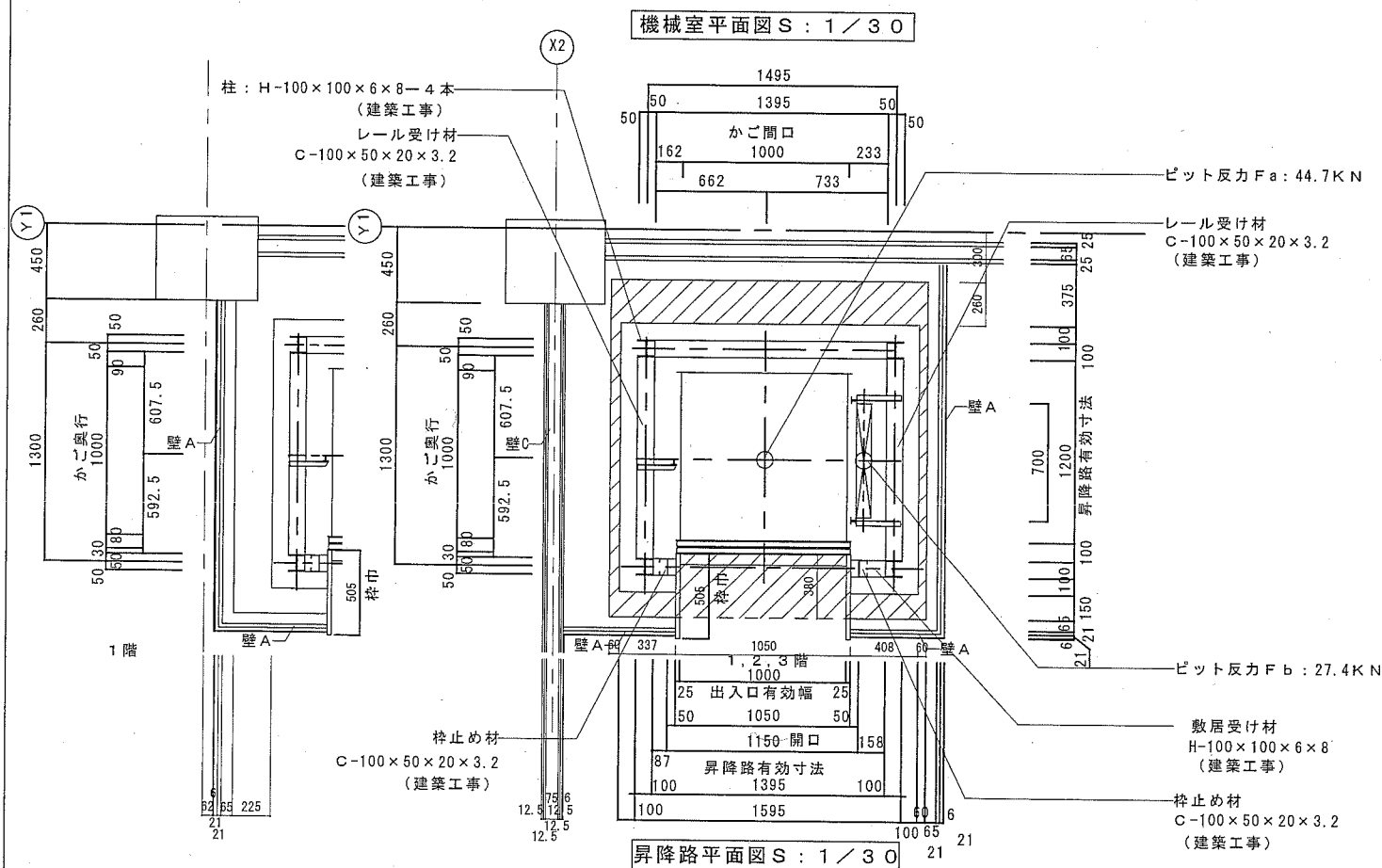
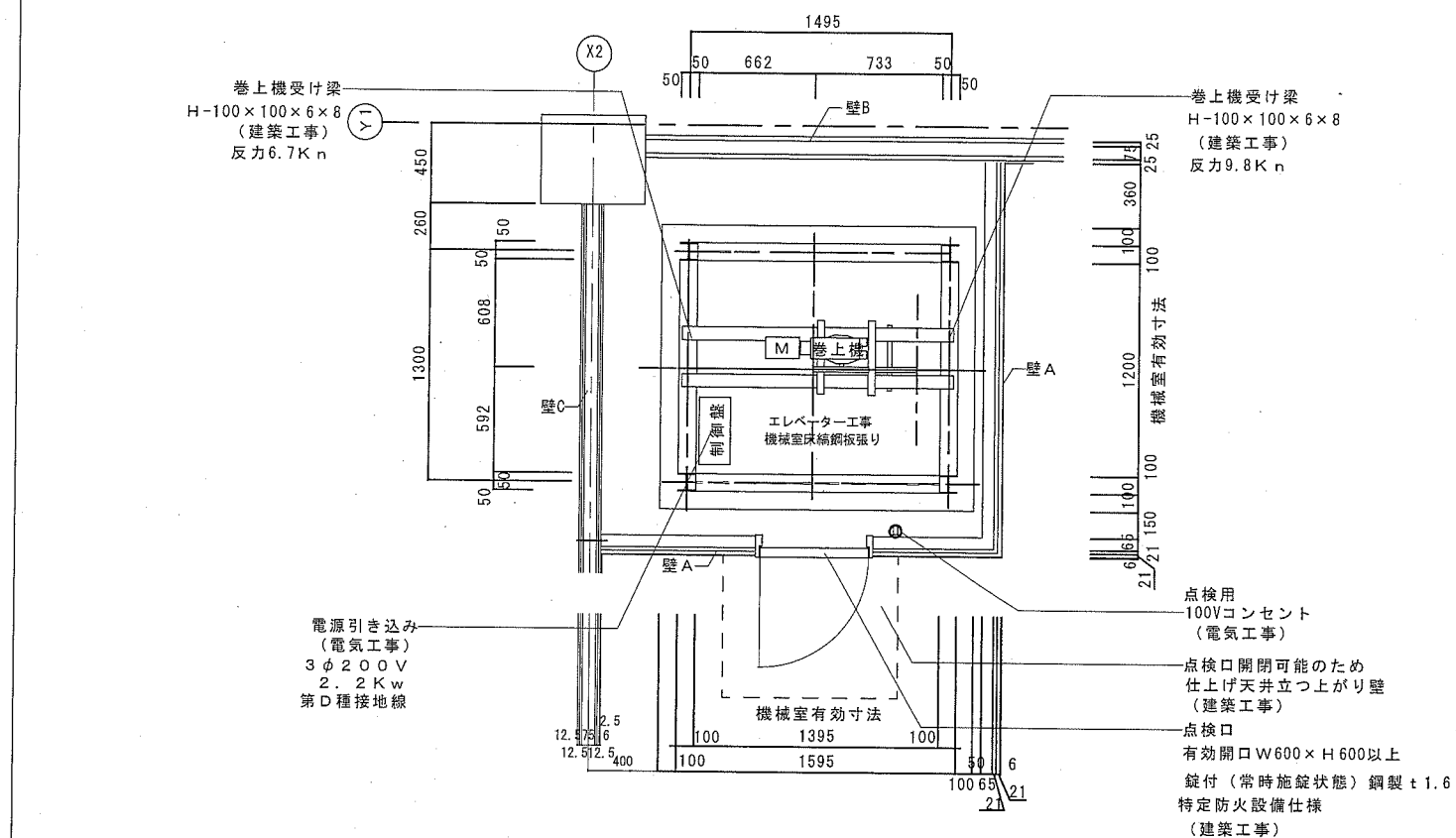
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

A - 37

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

B棟 矩計図(改修前・改修後)

縮尺 1/50



公共建築課長	主査	担当者

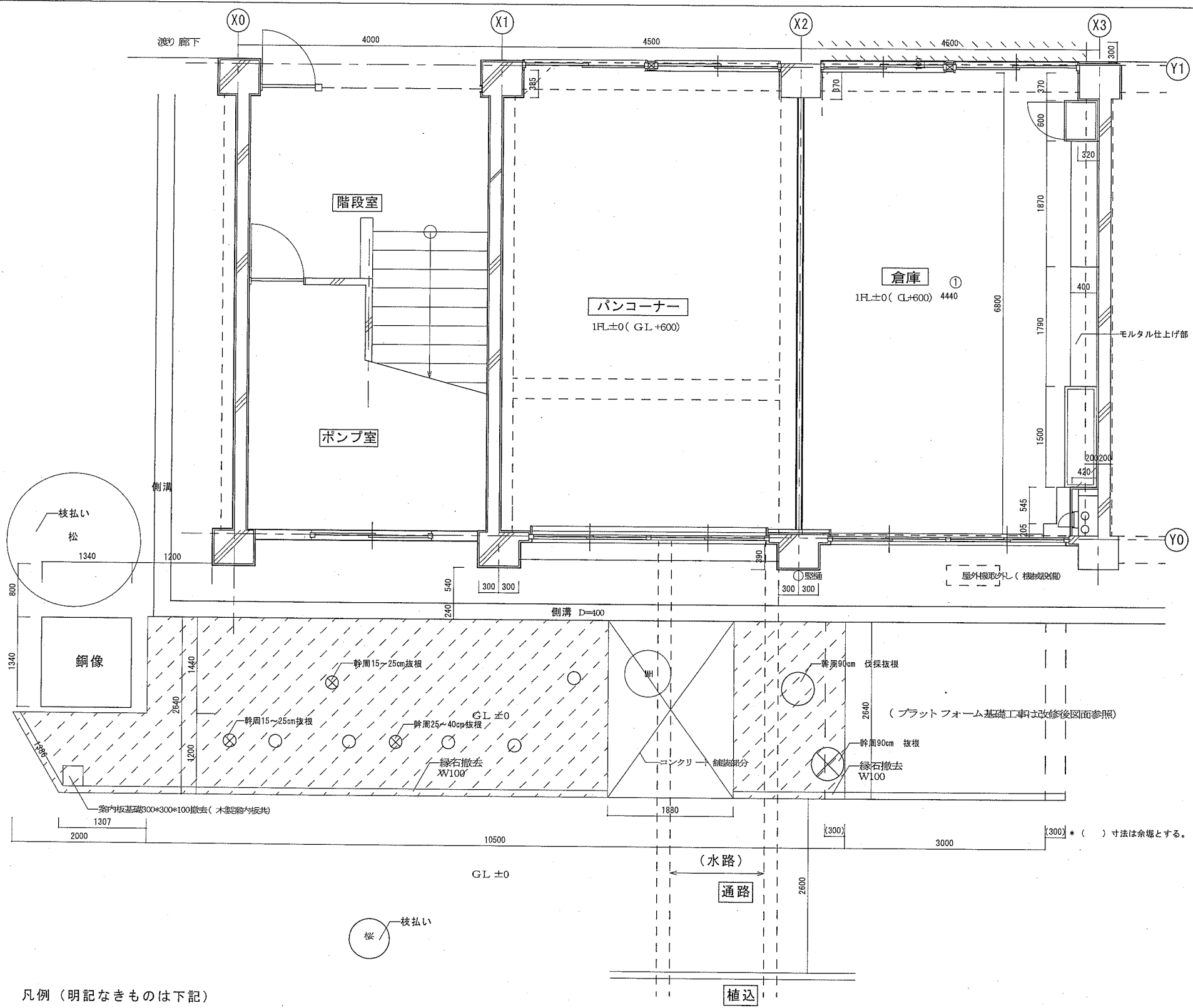
壁仕様

壁A : 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0-強化石膏ボード t21*2-LGS65

壁B : 強化石膏ボード t12.5*2-LGS65-強化石膏ボード t12.5*2-EP-G

壁C : 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0-強化石膏ボード t12.5*2-LGS65(千鳥)-強化石膏ボード t12.5*2-EP-G

記号・数量	AW16撤去 1か所	AW16撤去 4か所	AW16撤去 4か所		
名称	アルミ製引違窓	木製引違戸	木製引違掃出し、欄間		
取付場所	1階 倉庫	B棟1階 パンコーナー、倉庫 2階ポランティア室、3階普通教室	B棟1階 パンコーナー、倉庫 2階ポランティア室、3階普通教室		
形状					
内法 (W×H)	3180×2000	1650×2000	1900×600、1900×650		
硝子・見込	上部 型板ガラス t 4.0、下部 トーメイガラス t 3.0	網入りガラス t 6.8	トーメイ t 3		
材質・塗装					
金物					
備考					
記号・数量	AD1新設 1か所	AD2新設 1か所	LSD1新設 1か所	LSD2新設 2か所	SD1新設 1か所
名称	アルミ製両引き戸+FIX	アルミ製ハンガー引分け戸 (自閉)	軽量鋼製二重引きハンガー戸	軽量鋼製二重引きハンガー戸	鋼製片開き戸
取付場所	B棟1階 荷受室兼配膳室	B棟1階 荷受室兼配膳室	B棟1階 荷受室兼配膳室	B棟 2、3階配膳室	B棟3階 配膳室
形状					
内法 (W×H)	3610×2850	1700×2000	2553×2250	2553×2250	600×600
硝子・見込	合わせガラス: トーメイガラス t 3.0+透明フィルム30mil+トーメイ t 3.0	網入り型板ガラス t 6.8	網入り型板ガラス t 6.8	網入り型板ガラス t 6.8	
材質・塗装	アルミ製	アルミ	鋼製 焼付塗装	鋼製 焼付塗装	鋼製 t 1.6 焼付塗装
金物	引戸錠、戸車、ストッパー、フラットレール、三方枠	シリンダー錠、クローザー、引手、枠、杏摺	ロッド錠、引戸クローザー、引棒、エンドストッパー、枠、杏摺	ロッド錠、引戸クローザー、引棒、エンドストッパー、枠、杏摺	ケースロック、ドアクローザ (ストップなし)、丁番
備考	耐風圧性: S6、気密性: A4、水密性: B5 (豊和工業株式会社 HAA-100-G II-K同等品)	額入窓	額入窓	額入窓、ガラリ (開口率35%) ガラリ防虫SUS製24メッシュ	特定防火設備
記号・数量	SD2新設 3か所		AW1A改修 2か所	AW1A改修 3か所	
名称	鋼製片開き戸		アルミ製引違窓	アルミ製引違窓	
取付場所	B棟1階 荷受室兼配膳室、2~3階配膳室		2階、3階配膳室	1階 荷受室兼配膳室、2、3階 少人数教室	
形状					
内法 (W×H)	300×300		3180×2000	3180×2000	
硝子・見込			型板ガラス t 4.0をアルミパネル t 3.0に取替 (開口加工、シーリング共)	型板ガラス t 4.0をアルミパネル t 3.0に取替 (開口加工、シーリング共)	
材質・塗装	鋼製 t 1.6 焼付塗装		アルミ	アルミ	
金物	ケースロック、ドアクローザ (ストップなし)、丁番				
備考	特定防火設備				



凡例 (明記なきものは下記)

- 伐採抜根 幹周15cm未満
- ⊗ 抜根
- ▨ 根切 GL-300

公共建築課長	主査	担当者

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

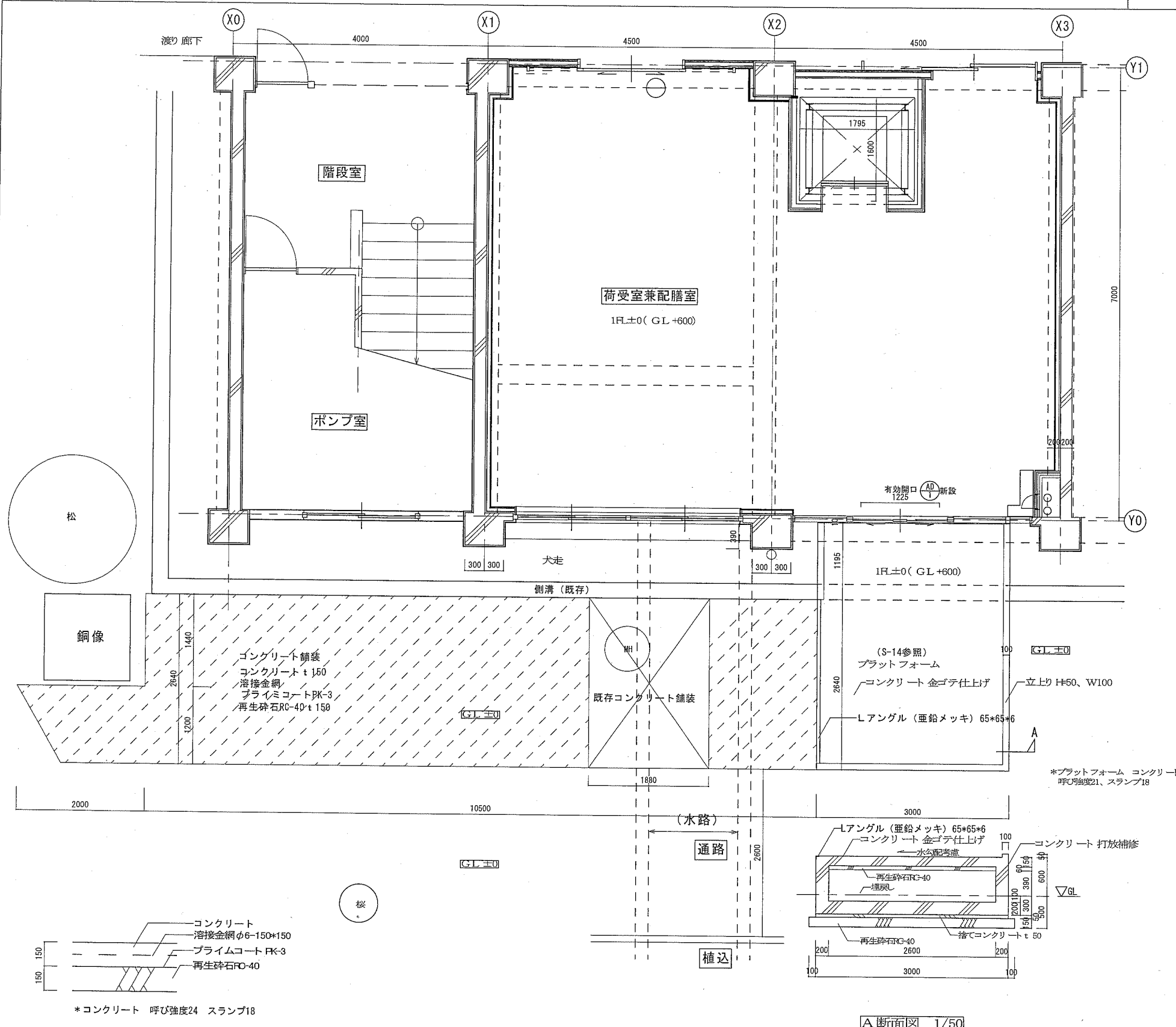
A — 40

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

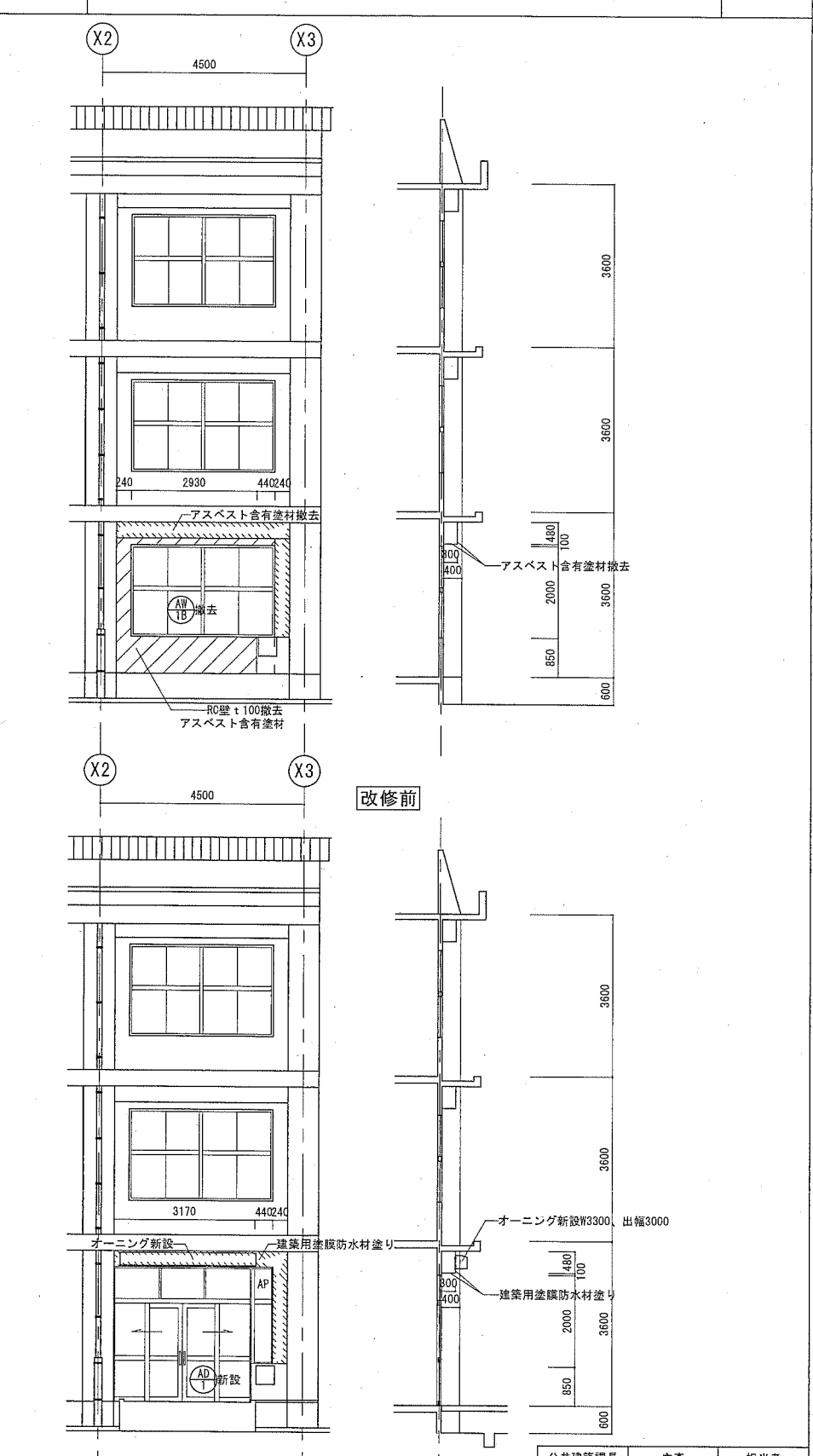
B棟 外構図(改修前)

縮尺

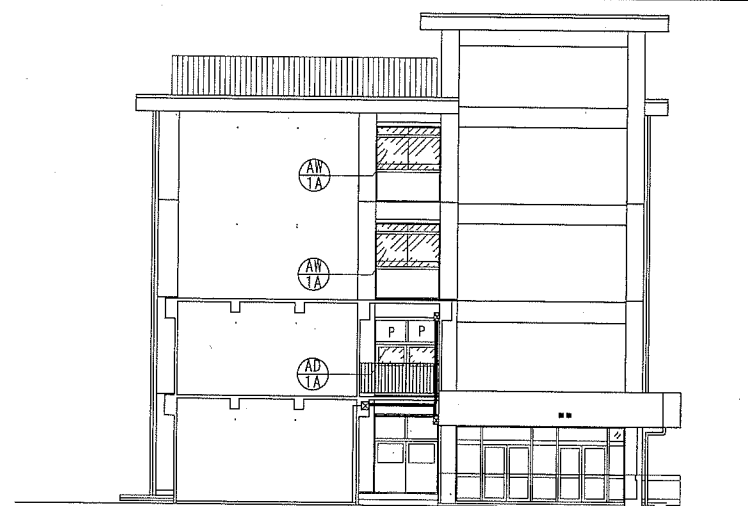
1/50



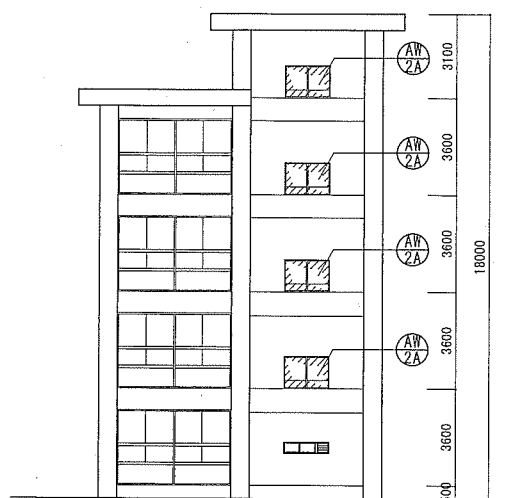
コンクリート 舗装詳細図 1/20



公共建築課長	主査	担当者

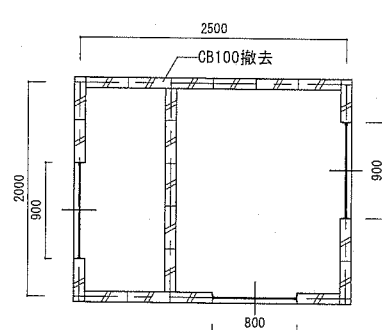


東立面図

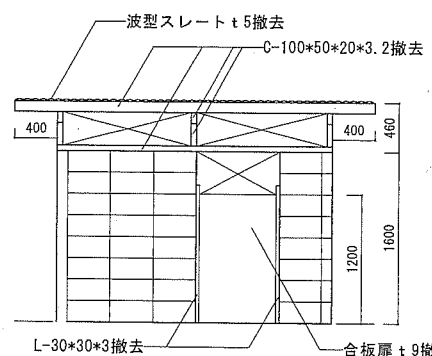


北立面図

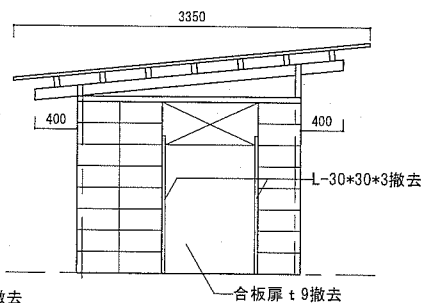
記号・数量	① ガラス改修 2か所	② ガラス改修 4か所	③ ガラス改修 1か所		
名称	アルミ製引違い	アルミ製引違い	アルミ製両開き		
取付場所	廊下	階段室	廊下		
形状					
内法 (W×H)	2400×1600	1700×1200	2400×2600		
硝子・見込	トーメイ t3→網入りトーメイ t6.8に変更 (ハッチ部分) 70	トーメイ t3→網入りトーメイ t6.8に変更 70	網入りトーメイ t6.8→網入りトーメイ t6.8に変更 (ハッチ部分)70		
材質・塗装	アルミ	アルミ	アルミ		
金物					
備考	防火設備用シーリング (両面)	防火設備用シーリング (両面)	防火設備用シーリング (両面)		



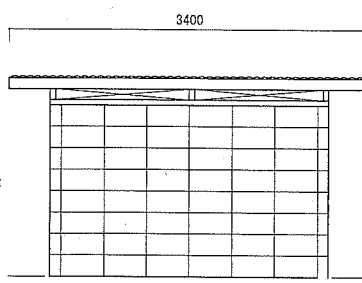
平面図 1/50



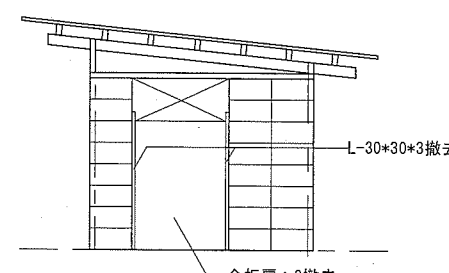
東立面図 1/50



南立面図 1/50



西立面図 1/50



北立面図 1/50

公共建築課長	主査	担当者

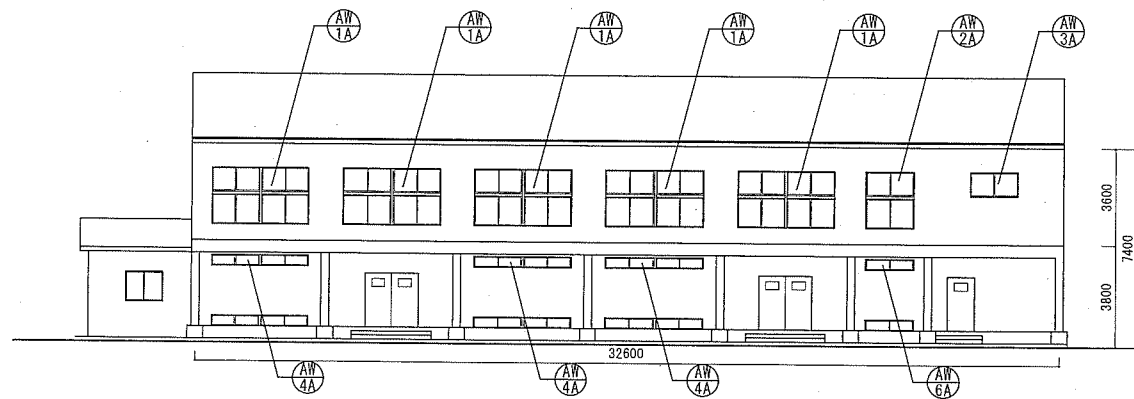
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

① — 42

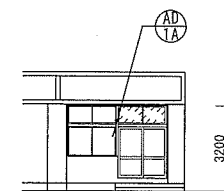
横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

既存建物改修図 1 (A棟)

縮尺 1/200, 1/50



体育館北側立面図 1/200



C棟東側立面図 1/200

記号・数量	AW 1A ガラス改修 5か所	AW 2A ガラス改修 1か所	AW 3A ガラス改修 1か所	AW 4A ガラス改修 3か所	
名称	アルミ製引違い	アルミ製引違い	アルミ製引違い	アルミ製引違い	
取付場所	体育館	体育館	体育館	体育館	
形状					
内法 (W×H)	3670, 2100	1800, 2100	1800, 900	3670, 400	
硝子・見込	トーメイ t 3→網入りトーメイ t 6.8に変更 70	トーメイ t 3→網入りトーメイ t 6.8に変更 70	トーメイ t 3→網入りトーメイ t 6.8に変更 70	トーメイ t 3→網入りトーメイ t 6.8に変更 70	
材質・塗装	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	
金物					
備考	防火設備用シーリング (両面)	防火設備用シーリング (両面)	防火設備用シーリング (両面)	防火設備用シーリング (両面)	
記号・数量	AW 6A ガラス改修 1か所	AD 1A ガラス改修 1か所			
名称	アルミ製引違い	アルミ製両引き戸			
取付場所	体育館	C棟金工室・木工室			
形状					
内法 (W×H)	1800, 400	3750, 2685			
硝子・見込	トーメイ t 3→網入りトーメイ t 6.8に変更 70	トーメイ t 3→網入りトーメイ t 6.8に変更 (ハッチ部分のみ) 70			
材質・塗装	アルミ	アルミ			
金物					
備考	防火設備用シーリング (両面)	防火設備用シーリング (両面)			

公共建築課長	主査	担当者

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

A — 43

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

既存建物改修図2 (B棟・体育館)

縮尺 1/200, 1/50

特記仕様書

1. 一般事項

- (1) 工事名称
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事
(2) 建築場所
横須賀市久里浜2丁目11番1号
(3) 特記仕様は、■印のついたものを適用する。
(4) 設計図書優先順位は次の通りとする。
1. 質疑回答書
2. 設計図
3. 「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」 H28年版(公共建築協会)
4. 「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」 H28年版(公共建築協会)
5. 日本建築学会各工事標準仕様書及び施工指針

2. 使用材料

- (1) コンクリートの種別(コンクリートの材料は、令72条による)
1. 骨材、水及び混和材料は、酸・塩・有機物又は泥土を含まない事。(鉄筋防錆・コンクリート凝結防止)
2. 骨材は、鉄筋相互間及び鉄筋とセキ板との間を容易に通る大きさとする事。
3. 骨材は、適切な粒度及び形状とする。
4. 上記及び下記のコンクリートは、必要な強度、耐久性及び耐火性を得る事。
5. 構造体コンクリートの調査管理強度は、下記の品質基準強度F_{ck}に構造体強度補正値mSnを加えた値とする。

Table with 5 columns: 使用箇所, コンクリートの種類, 設計基準強度, 品質基準強度, 所要スランプ. Rows include 捨コンクリート, 土間コンクリート, 躯体, デッキ上コンクリート, 経盤.

Table with 4 columns: 種類, 径, 備考. Rows include 異形鉄筋 (SD295A, SD345, SD390, KSS785) and 溶接金網 (ワイヤーメッシュ).

Table with 4 columns: 種類, 使用箇所, 備考. Rows include 鋼材 (SS400, BCR295, SSC400, SN490C, SN400B) and ボルト (高力ボルト, 中ボルト, アンカーボルト, シャコネクタ).

Table with 2 columns: 種類, 備考. Rows include 高力ボルト (トルシア型, JIS型), 中ボルト (M12), アンカーボルト (M12), シャコネクタ (φ16), and コンクリートブロック (A種, B種, C種).

- (6) 屋根、床
□ 母屋
□ ALC版 (厚さ t=)
□ 折版 (型式 厚さ t=)
□ デッキプレート (型式 厚さ t=)
□ 各設計施工標準図参照
(7) プレース
□ 建築用ターンバックル JIS A 5540, 5541 の規格品とする事
(8) 柱脚
□ ベースバック
□ ハイベースエコ
(9) 壁
□ ALC (厚さ t=100) 縦壁コンクリート工法
□ 鋼 緑 (C-100x50x20x2.3 @606@1818 ダブル)

3. 地業工事

Table with 4 columns: 使用箇所, 捨コンクリート, 敷砂利, 備考. Rows include 基礎下, 基礎ばり下, 基礎スラブ下, 土間コンクリート下.

Table with 4 columns: 種類, 材料, 工法, 備考. Rows include 既製杭 (PHC, 鋼管杭), 場所打ちコンクリート杭, 直接基礎 (ベタ基礎, 布基礎), 地盤改良 (法曹混合処理工法).

Table with 2 columns: 種類, 備考. Rows include 載荷試験 (要/不要), 杭仕様 (試験杭), and 鉄筋コンクリート工事 (コンクリート, 耐久設計基準強度).

4. 鉄筋コンクリート工事

- (1) コンクリート
■ 使用するコンクリートは、JIS A5308 (レディミクストコンクリート) に適合する JIS 認証工場の製品とし、施工に関しては設計図書に記載されている事項を除き、「仕様」による。
■ 耐久設計基準強度 F_d
■ 短期 □ 標準 □ 長期
■ セメントは、JIS R5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
■ 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
■ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
■ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として JASS 5 (T-502) により行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影したカラー写真を保管し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
注) コンクリート中に含まれる塩化物の含有量の基準
鉄筋コンクリート造などの構造耐力上主要な部分に用いられるコンクリートについては、原則として塩化物量は 0.3 kg/m³ 以下 (塩素イオン換算) とする。

- 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体 (JASS 5 T-603) は、標準養生、または現場水中養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。また、打ち込み量が 150 m³ をこえる場合は、150 m³ ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3回の運搬車からその必要本数を採取する。
供試体の数量 調査強度の管理 3本 (標準養生)
材令 28日 3本 (現場水中養生)
型枠取り外し用 本 (現場水中養生) (現場対応)
予備用 本
■ 構造体コンクリート強度の推定試験の判定は、現場水中養生供試体の材令28日圧縮強度試験の結果が、次の(1)又は(2)を満足すれば合格とする。
(1) 材令 28日までの平均気温が 20℃以上の場合、1回の試験結果が、調査管理強度以上とする。
(2) 材令 28日までの平均気温が 20℃未満の場合、1回の試験結果が、品質基準強度に 3 N/mm²を加えた値以上とする。
■ コンクリートの様子確認開始から打ち込み終了まで、またポンプ打ちコンクリートの打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が 25℃以下の場合には 120分、25℃を超える場合は 90分以内とする。

- (2) 鉄筋
■ 鉄筋は、JIS G 3112 の規格品とする。
■ 高強度せん断補強筋の加工等については使用する製品の仕様による。
■ 施工については設計図書に記載されている事項を除き「仕様」による。
■ 原則として D19 未満は、重ね継手とする。継手 (D19 以上) のガス圧接は、日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書 ガス圧接継手工事」による。
■ ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業箇所が同一日に施工した圧接箇所 (200箇所を超えるときは、200箇所ごと) を1検査ロットとする。1検査ロットごとの検査回数は
□ 外観検査 (検査率 100%)
□ 非破壊検査 □ 超音波探傷検査 (1検査ロットに30箇所)
□ 破壊検査 □ 引張試験 (1検査ロットごとに5個)
■ 柱の帯筋 (H00P) の加工方法は、□ H型 (タガ型) □ W型 (溶接型) □ SP型 (スパイラル型) とする。

- (3) 型枠
■ 材料、合板厚 12mm を標準とする。 □
■ コンクリートの養生 (令75条による)
コンクリート打ち込み中及び打ち込み後5日間は、コンクリートの温度が2度を下にならないようにし、かつ、乾燥、振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う事。
■ 型枠貯留期間 (令76条による)

Table showing temperature requirements for concrete curing. Columns: 部位 (基礎、梁、柱及び壁), セメントの種類 (早強ポルトランドセメント, 普通ポルトランドセメント, 混合セメントのB種, 混合セメントのA種), スラブ下、梁下, せき板, 支柱. Rows: 15℃以上, 5℃以上, 0℃以上, and 圧縮強度 (5N/mm²以上).

- 注) 1. 片持梁、庇、スパン 9.0m 以上の梁下は、工事監理者の指示による。
2. 支柱の盛りかえは原則として行わない。
3. 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

5. 鉄骨工事

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
■ 日本建築学会「JASS 6」 「鉄骨精度検査基準」 「鉄骨工事技術指針」
■ 鉄骨製作管理技術者登録機構「突き合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」
■ 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
(2) 工事監理者の承認を必要とするもの
■ 製作工場 ■ 製作要領書 ■ 工作図 ■ 施工計画書
■ 製作工場は (株)日本鉄骨評価センター又は (株)全国鉄骨評価機構による R グレード以上とする。
■ 材料規格証明書または試験成績書
■ 鋼材 ■ 高力ボルト □ スタッポルト
■ 社内検査表 □
(3) 工事監理者の指示をうけるもの
■ 現寸検査 ■ 組立・開先検査 ■ 製品検査 ■ 建方検査

- (4) 接合部の溶接は下記によること
■ 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロ
■ 日本建築学会 「溶接工作基準、同解説 I~IX」
□
(5) 接合部の検査
□ 溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)

Table with 4 columns: 検査箇所, 検査方法, 検査率 (社内, 第三者, 工事監理者), 備考. Rows include 突合せ溶接部 (超音波探傷試験), 外観検査, マクロ試験, and 第三者検査機関名.

- 高力ボルトの締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として2度締めとする。締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。
(6) 防錆塗装
■ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止め塗料は、
■ JIS K 5625 (シアナミド鉛及び亜鉛系)
■ JIS K 5674 (鉛クロムフリー及び亜鉛系)
□
■ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の赤錆調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。
■ 溶融亜鉛めっき 範囲及び仕様は要図による。
(7) 耐火被覆の材料
■ 範囲及び仕様は要図による。

6. 設備関係

- (1) 令第129条の2の4の事項
建築物に設ける建築設備については、構造耐力上安全なものとして以下の構造方法による。
■ 建築設備 (昇降機を除く。)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、高層又は腐朽のおそれがないものとする。
□ 屋上から突出する水櫃、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に緊結すること。
□ 煙突の屋上突出部の高さ、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄筋の支柱を設けたものを除き、90cm以下とする。
□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
■ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
■ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
■ 建築物の部分を通って配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
■ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
■ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の振動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
□ 給湯設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
□ 令第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水櫃、煙突その他これらに類するものについては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものであること。
(2) その他の事項
■ 標準以外の梁貫通孔は原則として設けず、設ける場合は設計者の承認を得ること。
■ 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
■ 床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚の1/3以下とし管の間隔は梁貫通孔に準ずる。

7. その他

- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い、工事監理者に報告すること。
□ 令第39条の規定 (歴積み材等) に関する取り付けについては、構造耐力上安全なものとする。

Table with 3 columns: 公共建築課長, 主査, 担当者. Includes a signature stamp.

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事 S 01

1. 一般共通事項

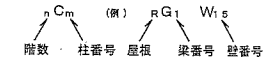
(1) 構造図面に記載された事項は、本標準配筋図に優先して適用する。

(2) 本図に該当しないものは適用しない。

(3) 記号

F-基礎 FG-基礎梁 FB-基礎小梁 FCG-基礎片持梁 FCB-基礎片持小梁
C-柱 P-間柱 G-梁 B-小梁 CG-片持梁 CB-片持小梁
W-壁 EW-耐震壁 RW-土圧壁 S-床版 CS-片持床版 FS-耐圧版

(4) 階数、部材番号記号



(5) 鉄筋の表示記号

異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記号	●	×	◇	●	○	◎	✕	◎

(6) 末端部の表示記号

9φ 13φ 90°フック	9φ 13φ 135°フック	16φ以上180°フック	異形鉄筋 フックなし

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋の折り曲げ形状及び寸法

曲げ角度	折曲げ図	すべてのコンクリート				
		SR235 SRR235	SD295A SD295B	SD345	SD390	
180°		D	3d以上	3d以上	4d以上	5d以上
135°		D	3d以上	3d以上	4d以上	5d以上
90°		D	3d以上	3d以上	4d以上	5d以上
135° 90° (両端折)		D	3d以上	3d以上	4d以上	5d以上

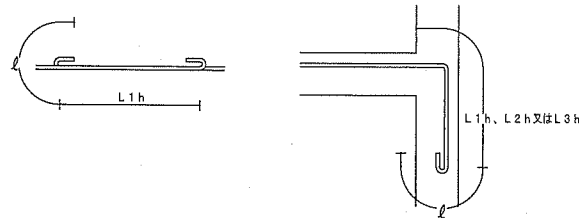
(注) 1. Dは、曲げ内のり直径

2. 片持ちスラブの先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。

(2) 鉄筋の継手及び定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (N/mm ²)	定着の長さ								設計定着長さ	
		フックなし				フックあり				La	Lb
		L1	L2	L3	L1h	L2h	L3h	L1h	L2h		
SD295A SD295B	18	45d	40d		35d	30d				20d	15d
	21	40d	35d		30d	25d				15d	15d
	24, 27	35d	30d		25d	20d				15d	15d
	30, 33, 36	35d	30d		25d	20d				15d	15d
SD345	18	50d	40d		35d	30d				20d	20d
	21	45d	35d	20d	30d	25d	10d			20d	20d
	24, 27	40d	35d		30d	25d				20d	15d
	30, 33, 36	35d	30d		25d	20d				15d	15d
SD390	21	50d	40d		35d	30d				20d	20d
	24, 27	45d	40d		35d	30d				20d	20d
	30, 33, 36	40d	35d		30d	25d				20d	15d
					30d	25d				20d	15d

- (注) 1. L1, L1h: 2.以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
2. L2, L2h: 割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着長さ。
3. L3: 小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。
ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁を除く。
4. L3h: 小梁の下端筋のフックあり定着の長さ。
5. フックあり定着の場合は、フック部分dを含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
6. 軽量コンクリートの場合は、表の数値に5dを加えたものとする。

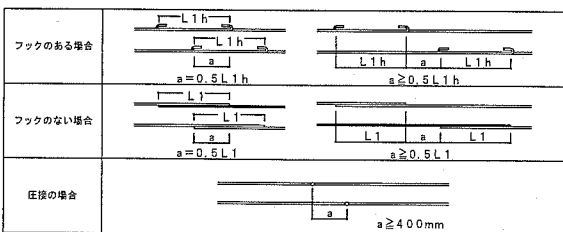


(3) 鉄筋の継手

1) 鉄筋の継手

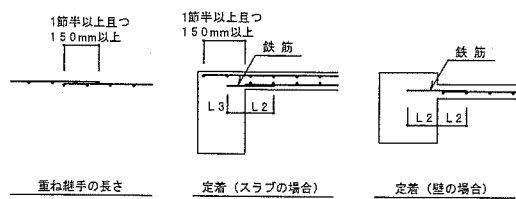
- 鉄筋の重ね継手の長さは(2)鉄筋の定着の長さの表におけるL1, L1hの値とする。
- 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない。
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする。
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない。
- 鉄筋径の差が5mmを超える場合は、圧接としてはならない。

2) 隣合う継手の位置



(注) 粗し、スラブ及び壁の場合でD16以下は除く。

3) 溶接金網の継手及び定着



(4) 鉄筋のかぶり

1) 鉄筋の最小かぶり厚さ

柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。

構造部分の種類	最小かぶり厚さ(mm)	
		スラブ
土に接しない部分	柱・はり	屋内 仕上げあり 30 仕上げなし 30 屋外 仕上げあり 30 仕上げなし 40
	耐力壁	40
	換気・耐圧スラブ	40
	土に接する部分	柱・はり・スラブ・耐力壁 40 基礎・換気・耐圧スラブ 60
煙突等高温を受ける部分	60	

- (注) 1. ※印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は、特記による。
2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、仕上げ塗料、吹付け又は塗装等の鉄筋の耐久上有効でない仕上げのものを除く。
3. 床版、梁、基礎及び換気壁で直接土に接する部分のかぶり厚さには、指コンクリートの厚さを含まない。
4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。
5. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所には、上表は適用しない。

(5) 鉄筋の主筋心間隔

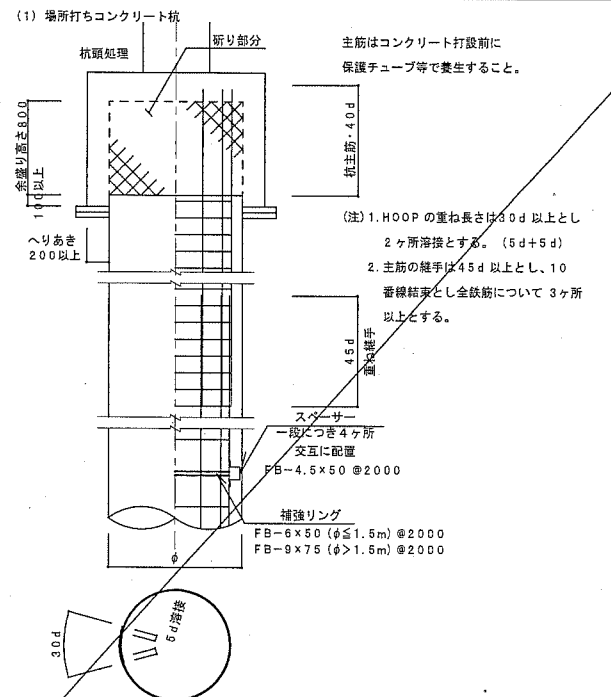
異形鉄筋	鉄筋径		主筋心間隔	
	φ	mm	φ	mm
丸鋼	D16	50	16φ	50
	D19	55	19φ	55
	D22	60	22φ	60
	D25	70	25φ	70
	D29	80		
網	D32	90		
	D35	95		

(注) 1. 梁、柱の二段筋は上表の主筋心間隔を厳守する。
(細骨材の最大寸法は25mm)

(6) 鉄筋の保護

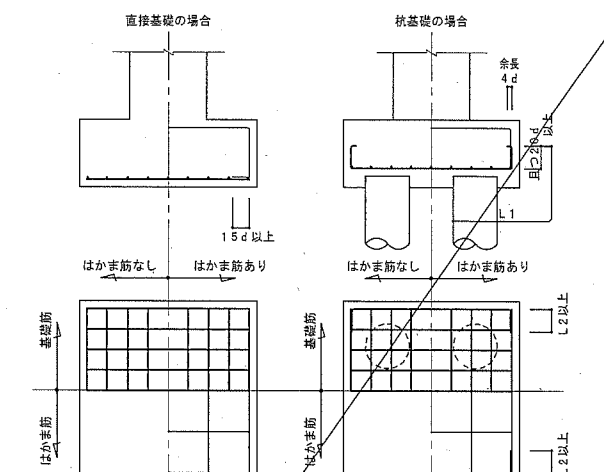
- 鉄筋の組立て後、スラブ、梁等には、歩み板を置き渡し、直接鉄筋の上を歩かないようにする。
- コンクリート打込みによる鉄筋の乱れは、なるべく少なくする。
特にかぶり厚さ及び間隔の保持に努める。

3. 杭



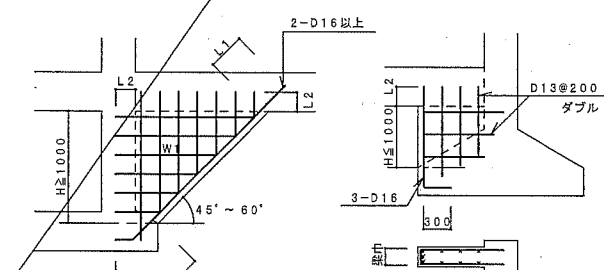
4. 基礎

(1) 基礎配筋要領



(注) 1. 基礎梁の下端筋と重なる基礎筋には立ち上がり部分をつけない。
2. 杭基礎で一本打ちの場合は左側による。

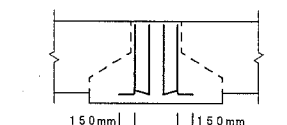
(2) 基礎接合部の補強



W1の三角壁厚さは250以上又は基礎梁巾とし配筋は、D13@200たてよこダブルとする。

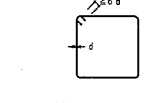
5. 柱脚

(1) 柱脚主筋の定着



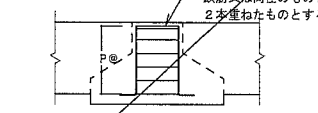
(注) 1. 柱脚天端が地中梁天端より突出する場合は柱脚主筋の四隅はフック付とする。

(2) 帯筋



帯筋はH型とし、フック及び継手の位置は交互とする。

(3) 帯筋の割付け



帯筋より1サイズ大きい鉄筋又は同径のものを2本重ねたものとする。

公共建築課長	主査	担当者

1. 穴あけ加工

(a) 穴あけ加工
穴あけ加工は下記の機械を用いて施工する。ただし、パンチングマシンによる正規穴の打抜きは原則として板厚13mm以下に適用する。
切削機械 ラジアルドリル・ガーダー形ラジアルドリル・直立ドリル・電気ドリル・エアドリル
せん断機械 パンチングマシン（機械式・油圧式）
ガス切断 コンパス形切断機
せん断穴あけを板厚13mmをこえる鋼材に適用する場合は、ドリルにより正規穴徑に繰り抜けるものとする。ただし、特殊の施工法により、ドリル穴と同等品質と認められる場合はこの限りではない。

(b) 高力ボルト・ボルト・アンカーボルトの公称径に対する穴徑と最小縁端距離 (単位: mm)

Table with columns for nominal diameter (公称径), hole diameter (ボルト穴径 D), and minimum edge distance (最小縁端距離). Rows include diameters from 10 to 30mm.

※もや、鋼線鋼の取り付け用ボルトの場合は、d+1.0とすることができる。

(備考) 1.せん断線・手動ガス切断線
2.圧延線・自動ガス切断線・のこ引き線・機械仕上げ線

(c) ボルトおよび高力ボルトのピッチ・ゲージの標準

1) 形鋼のゲージ (単位: mm)

Table showing standard pitch and gauge for steel shapes. Columns include A, B, g1, g2, g3, and maximum pitch (最大ピッチ).

2) ピッチ (単位: mm)

Table showing standard and minimum pitch (ピッチ P) for various hole diameters (d).

3) 千鳥打ちのゲージとピッチ (単位: mm)

Table showing gauge and pitch for staggered bolt patterns (千鳥打ち).

4) 形鋼に対する千鳥打ち (単位: mm)

Table showing staggered bolt patterns for steel shapes.

2. ボルト接合

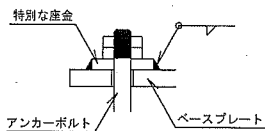
(a) 接合用ボルトは仕上ボルト (SS400, SM400, 中ボルト) とし、黒皮ボルト (並ボルト) は仮締め用とする。
(b) ボルト長さの選定は図のように締め付け長さに、座金の厚さ、ナットの高さに3ねじ山ピッチ程度の長さを加えたものとする。

Table showing bolt length selection based on bolt diameter (ボルト呼び径) and nut type (一重ナット, 二重ナット).

(c) ボルト穴の径は、1・(b)による。

3. アンカーボルト

(a) アンカーボルトの心出しは、形板を用いて基準面に正しく合わせ、適切な機器などで正確に行う
(b) ベースプレートのボルト穴の径は、ボルトの径に5mmを加えた大きき以下とする。
(c) ボルトは、二重ナット及び座金を用い、ボルトの先端は、ねじがナットの外に3山以上出ているようにする。但し、コンクリートに埋込まれる場合は、二重ナットとしないことができる。
(d) アンカーボルト穴がずれた場合、下図に示すような方法で特別な座金をつけて溶接で固定する。



4. 高力ボルト接合 (トルシア形)

(a) トルシア形高力ボルトの長さは首下寸法とし、締付け長さに下図の値を加えたものを標準長さとし、建築基準法に基づいて認定された標準寸法のうち、最も近い寸法とする。

Table showing standard length addition for high-strength bolts (トルシア形).

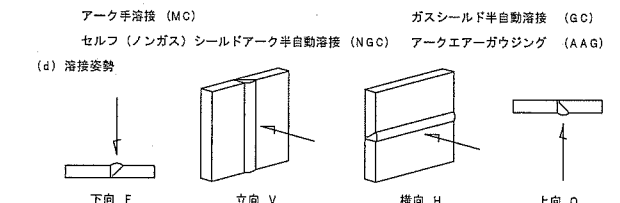
(b) ボルト穴の径は、1・(b)による。
(c) 摩擦面の性能及び処理
1) 摩擦面は、すべり係数値が0.45以上確保できるよう、ミルスケールを平グライダ掛け等により座金外径の2倍以上の幅を除去した後、一端にさびを発生させたものとする。
2) 摩擦面には、鋼材のまくれ、ひずみ、平グライダ掛けによるへこみ等がないものとする。
3) フィラ板は上記1)と同様に処理する。
4) ボルトの頭部又は座金の接触面に、鋼材のまくれ、ひずみ等がある場合は、平グライダ掛けにより取り除き、平らに仕上げする。
5) 摩擦面は、摩擦力を低減させるものが発生又は付着しないよう保護する。
浮きさび、油、塗料、じんあい等が発生又は付着した場合は、粗立にて先立ち取り除く。

Table showing standard bolt strength (標準ボルト張力) in kN for various grades (S10T, M16, M20, M22, M24, M27, M30).

(e) 張力確認試験を行う。確認試験の数量は、呼び径ごとに代表ロットを選び、その中から任意に取り出した5セットとする。

5. 溶接規準図

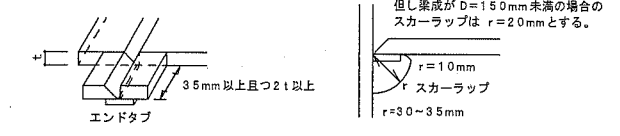
溶接接合
(a) 溶接工
溶接工は、施工する溶接に適合するJIS Z3801 (手溶接) 又は、JIS Z3841 (半自動溶接) の溶接技術検定試験に合格し、引き続き半年以上溶接に従事している者とする。
(b) 溶接機器
(イ) 交流アーク溶接機 300A~500A
(ロ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
(ハ) アークエアークラウジング機 (直流)
(ニ) 溶接電圧を測定する電圧計
(ヘ) サブマージアーク溶接機 1式
(ホ) 溶接棒乾燥機
(c) 溶接方法
アーク手溶接 (MC) ガスシールド半自動溶接 (GC)
セルフ (ノンガス) シールドアーク半自動溶接 (NGC) アークエアークラウジング (AAG)



(e) 仮付け溶接工は、原則として本工事に従事する者が行う。
(イ) 仮付け位置
仮付け溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける。
(ロ) 突合せ溶接部の仮付け溶接は必ず裏はつり側に行う。

(f) 溶接施工
(イ) エンドタブ
1) 突合せ溶接、部分溶け込み溶接の両端部に母材と同厚で両端先形状のエンドタブを取り付ける。
2) エンドタブの材質は、母材と同質とする。
3) エンドタブの長さは、MC: 35mm以上、NGC: 40mm以上とし、特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする。
4) プレス鋼板タブ、固形タブ等の使用については、資料を提出して設計者又は、工事監理者の承認を得る。

(ロ) 裏あて金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする。
(ハ) スカーラップ
半径は、30mm~35mmとする。
(ニ) 裏はつり
規準図の溶接において AAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を履行し、部材に確認マークをつける。
(ホ) 現場溶接の剛性面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。
又、開先部をいためない様に、養生を行う。



(e) その他
1. 設計図に特記の有る事項に関しては、本規準図は適用しない。

(1) スミ肉溶接
t ≤ 16mm
t 7以下 8~10 11~13 14~16
S 6 7 10 12
・但し片面溶接の場合はS=tとする
・tは1.1, 2の小さな方とする余盛は(1+0.1S)mm以下とする
・軸力が加わる場合のSは母材と同厚とすることが望ましい

(2) 部分溶け込み溶接 (使用箇所に注意)
D1 ≥ t/3 t/4 ≤ S ≤ 10mm
t ≤ t1
t t > 16mm
溶接姿勢 F・V
・両側に補強すみ肉溶接を付加する

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位: mm)

(3) 突合せ溶接 (平継手, T形継手)
f = t/4
t 6 < t < 19mm
溶接姿勢 F・V
・両側に補強すみ肉溶接を付加する AAG

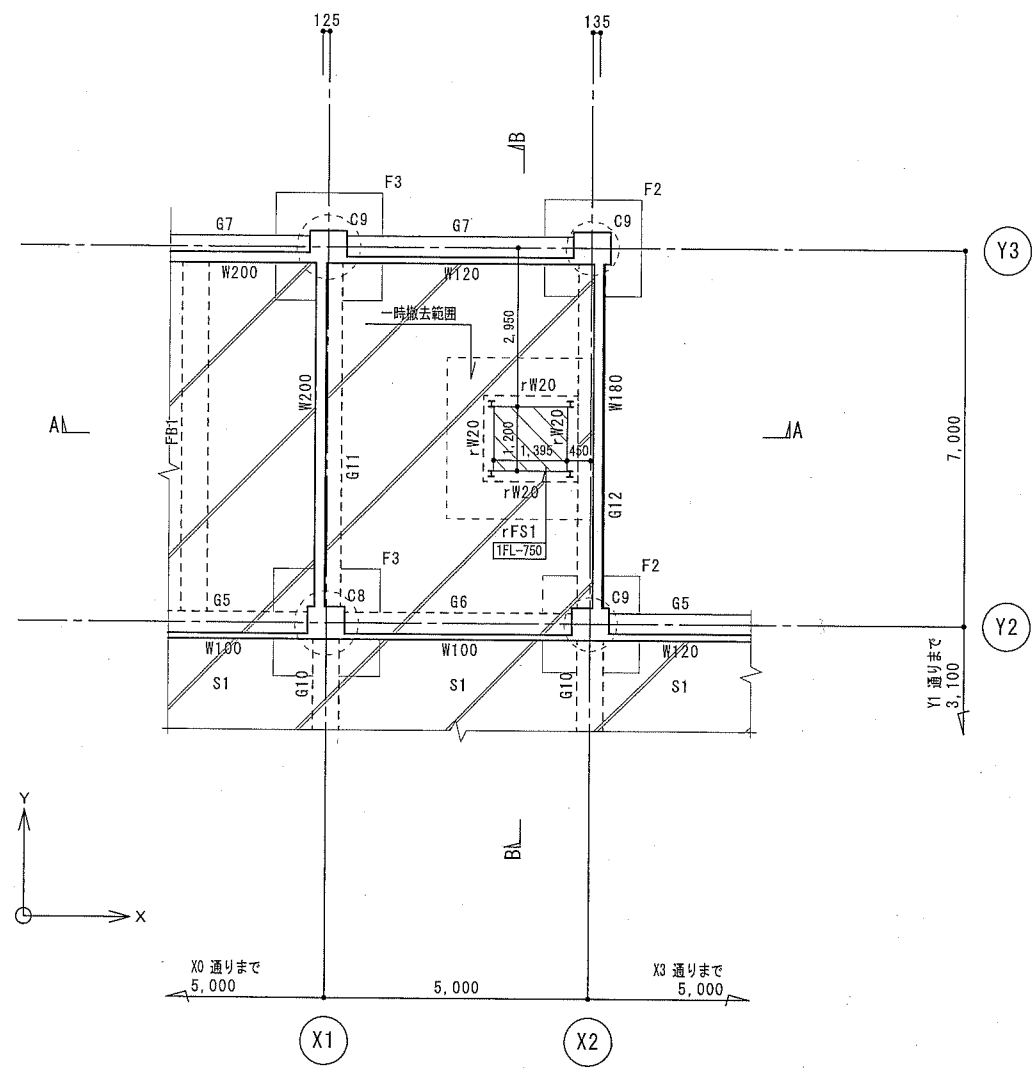
f = t/4
MC, NGC GC
t (mm) θ G t1 LL θ G t1 LL
6 ≤ t < 12 45° 6 6 5 45° 6 6 5
12 ≤ t < 16 35° 9 9 8 45° 6 9 8
16 ≤ t 35° 9 9 8 35° 9 9 8
溶接姿勢 F・V

f = t/4
T形突合せ継手余盛
のど厚 tmm 余盛の高さ mm
t ≤ 4 1
4 < t ≤ 12 2
12 < t ≤ 19 3
t > 19 4
t t ≥ 19
溶接姿勢 F・V

f ≥ 0.5mm (但し、t ≥ 15mm のとき4mmとする)
a > 4mmの場合
平継手で板厚が異なるとき
削り面 s=1
t t
溶接姿勢 F・V

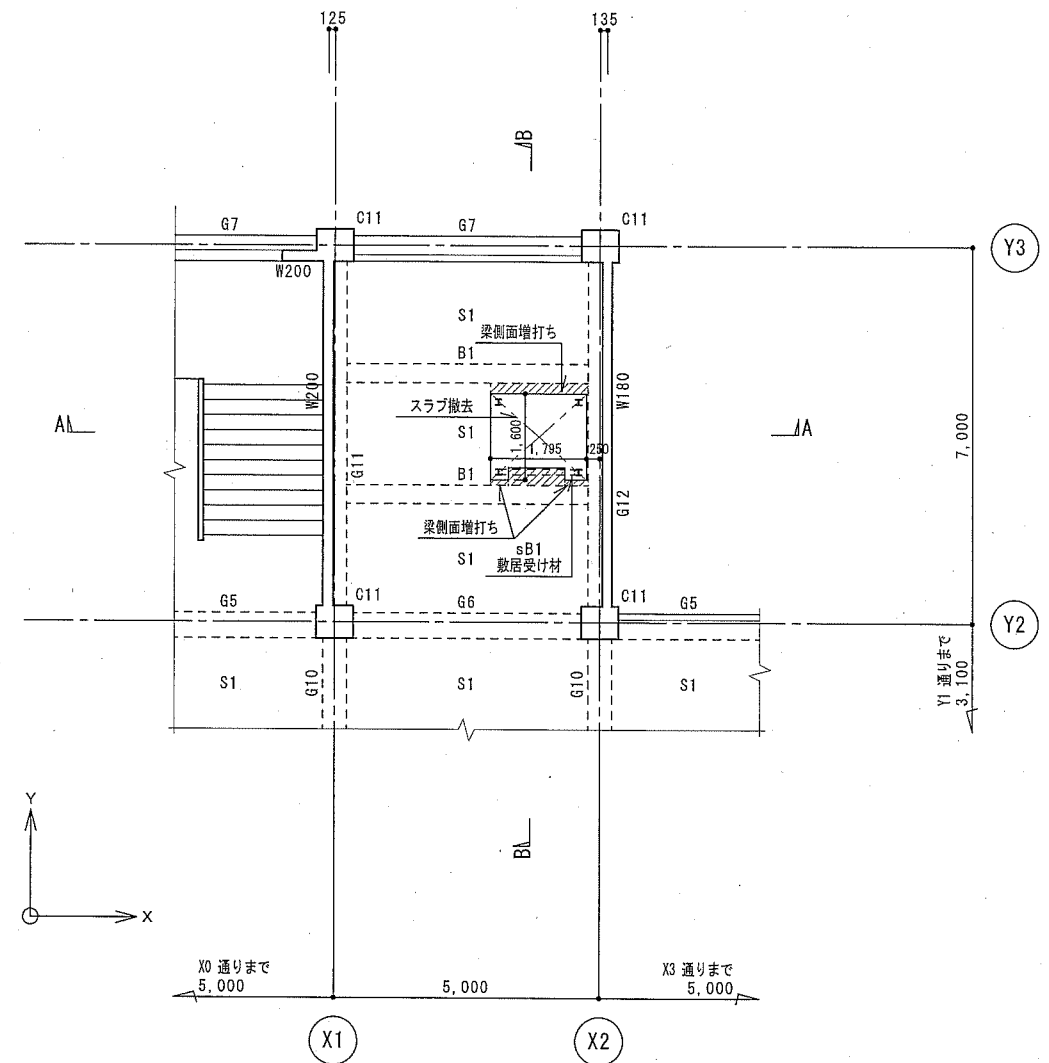
f = t/4
MC, NGC GC
t (mm) θ G t1 L θ G t1 L
6 < t < 12 45° 6 6 5 45° 6 6 5
12 ≤ t ≤ 19 35° 9 9 5 45° 6 9 5
t > 19 35° 9 9 8 35° 9 9 8
溶接姿勢 F・V

(4) フレア溶接
K形の場合
寸法 (mm)
φ B S
9 7 4
13 8 4.5
16 9 5
19 10 6
22 11 7
25 12 8
・フレア溶接長は、プレートに接する全長とする
・9mm~16mmは1パス以上19mm以上は2パス以上とする 溶接傾角θは30°~40°とする



1階床伏図 1/100

特記以外	
1FL	設計GL+500
—	腰壁
±	柱: sP1



2階床伏図 1/100

特記以外	
2FL	設計GL+4,100
—	腰壁
±	柱: sP1

公共建築課長	主査	担当者

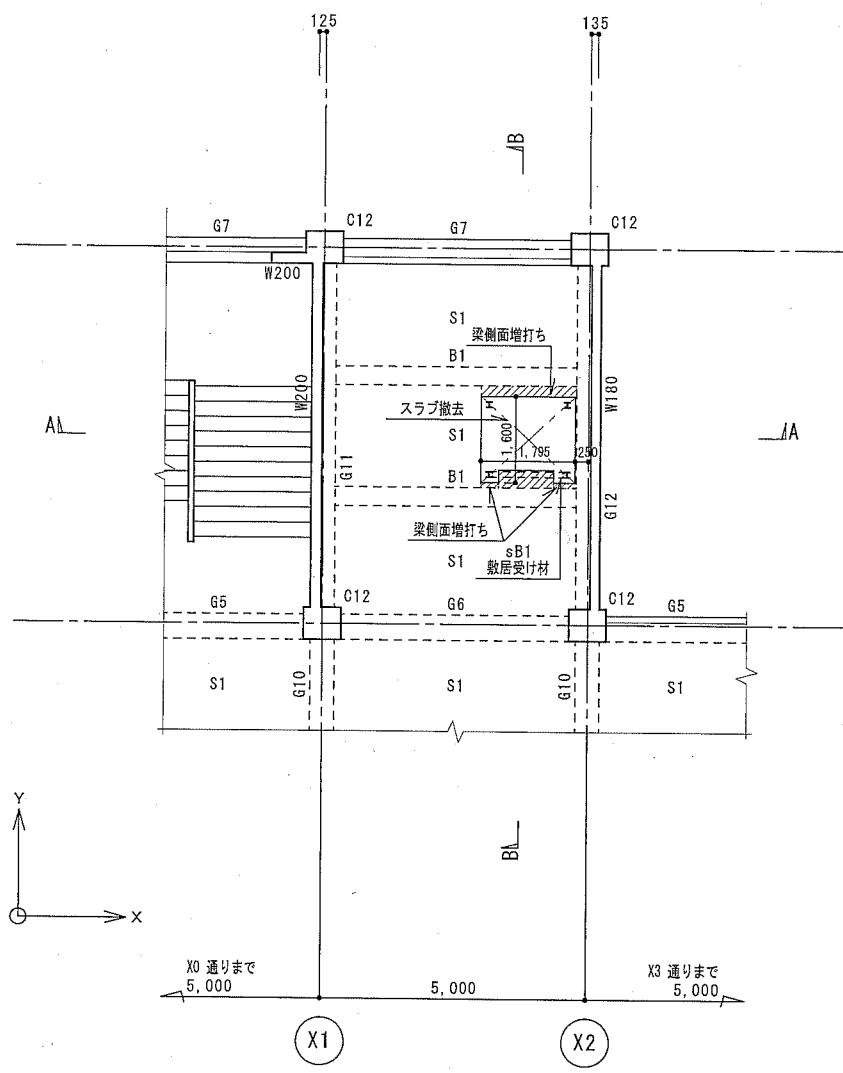
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

S - 04

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

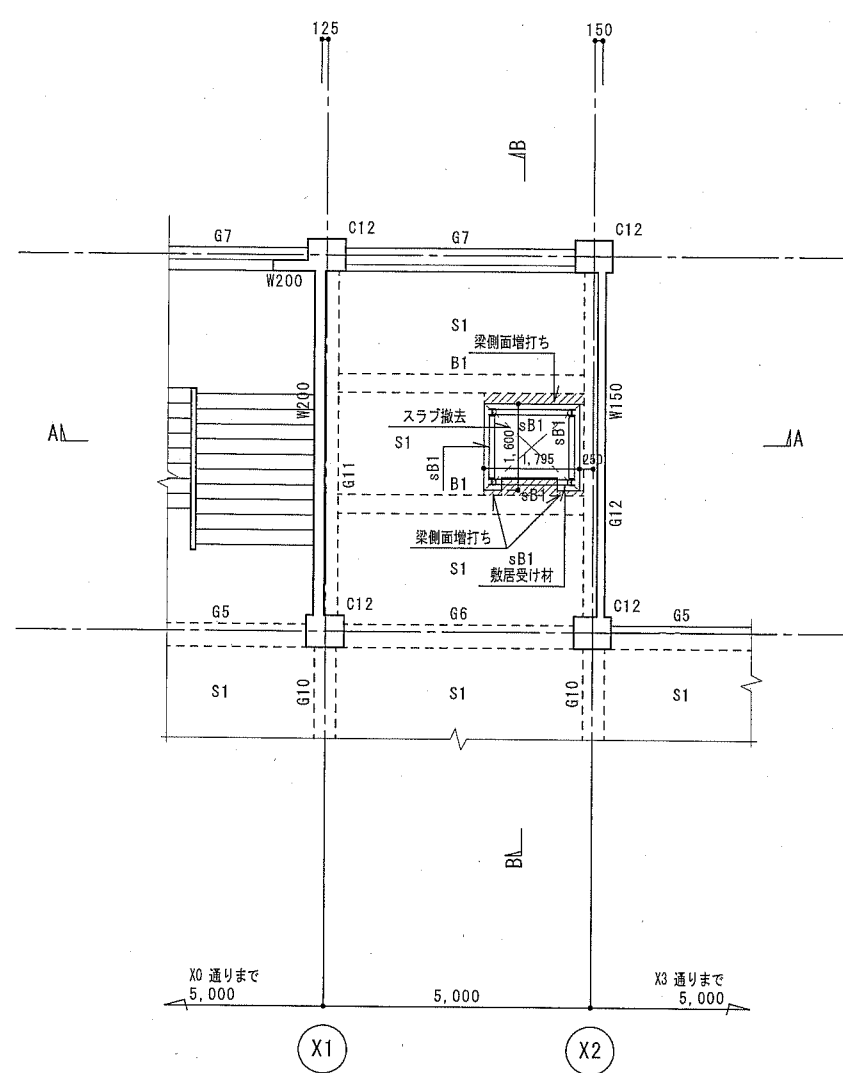
A棟 1階・2階床伏図

縮尺 1/100



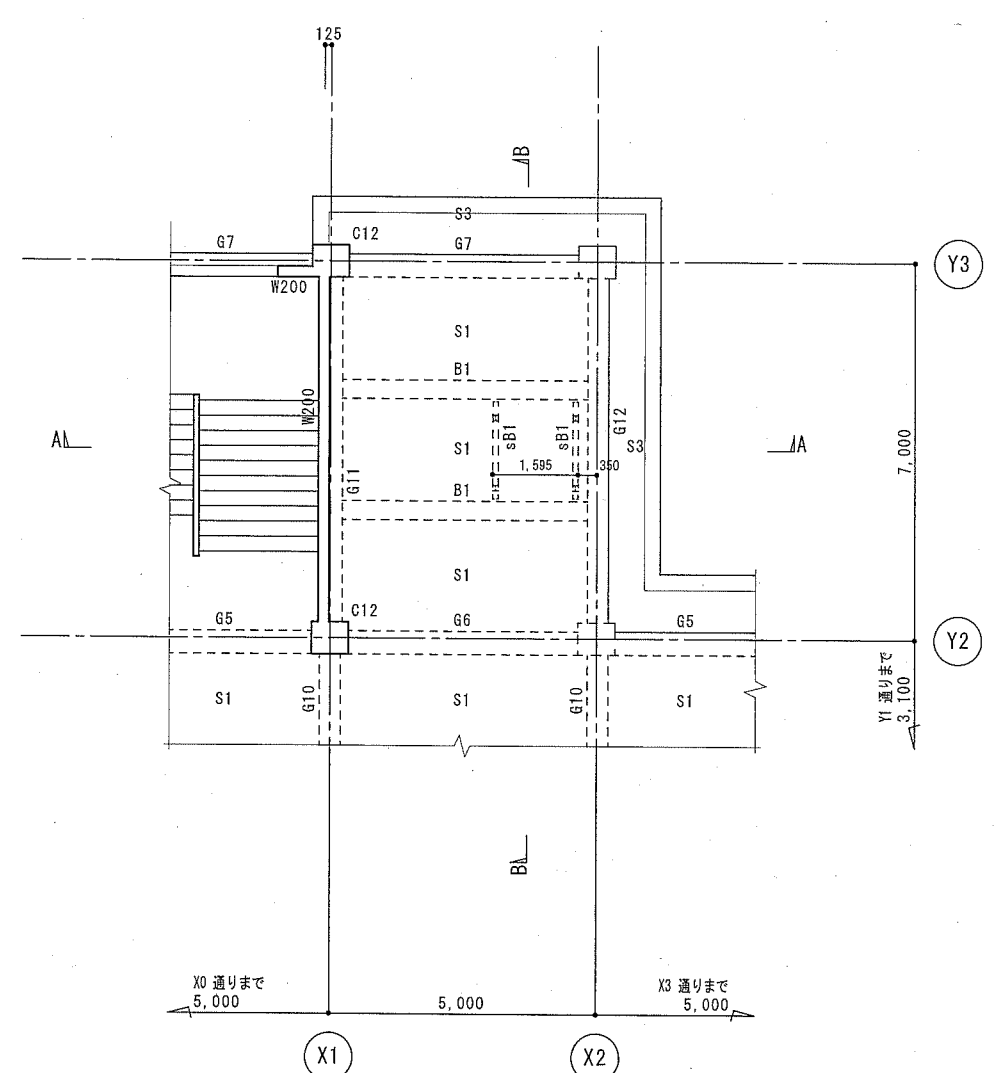
3階床伏図 1/100

特記以外	
3FL	設計GL+7,700
—	腰壁
⊕	柱:sP1



4階床伏図 1/100

特記以外	
4FL	設計GL+11,300
—	腰壁
⊕	柱:sP1
sB1	4FL+2,100



R階床伏図 1/100

特記以外	
RSL(水下)	設計GL+14,900

公共建築課長	主査	担当者

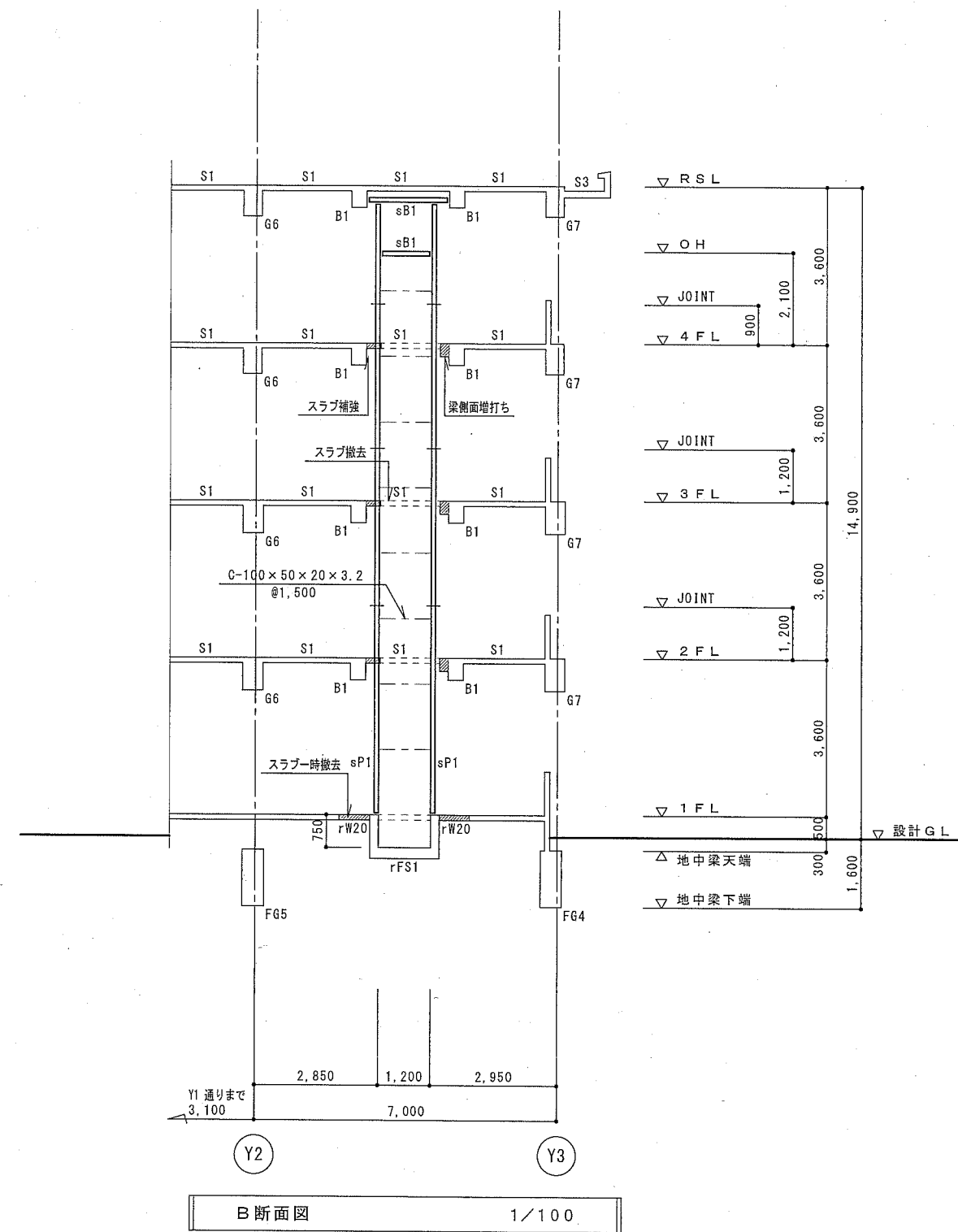
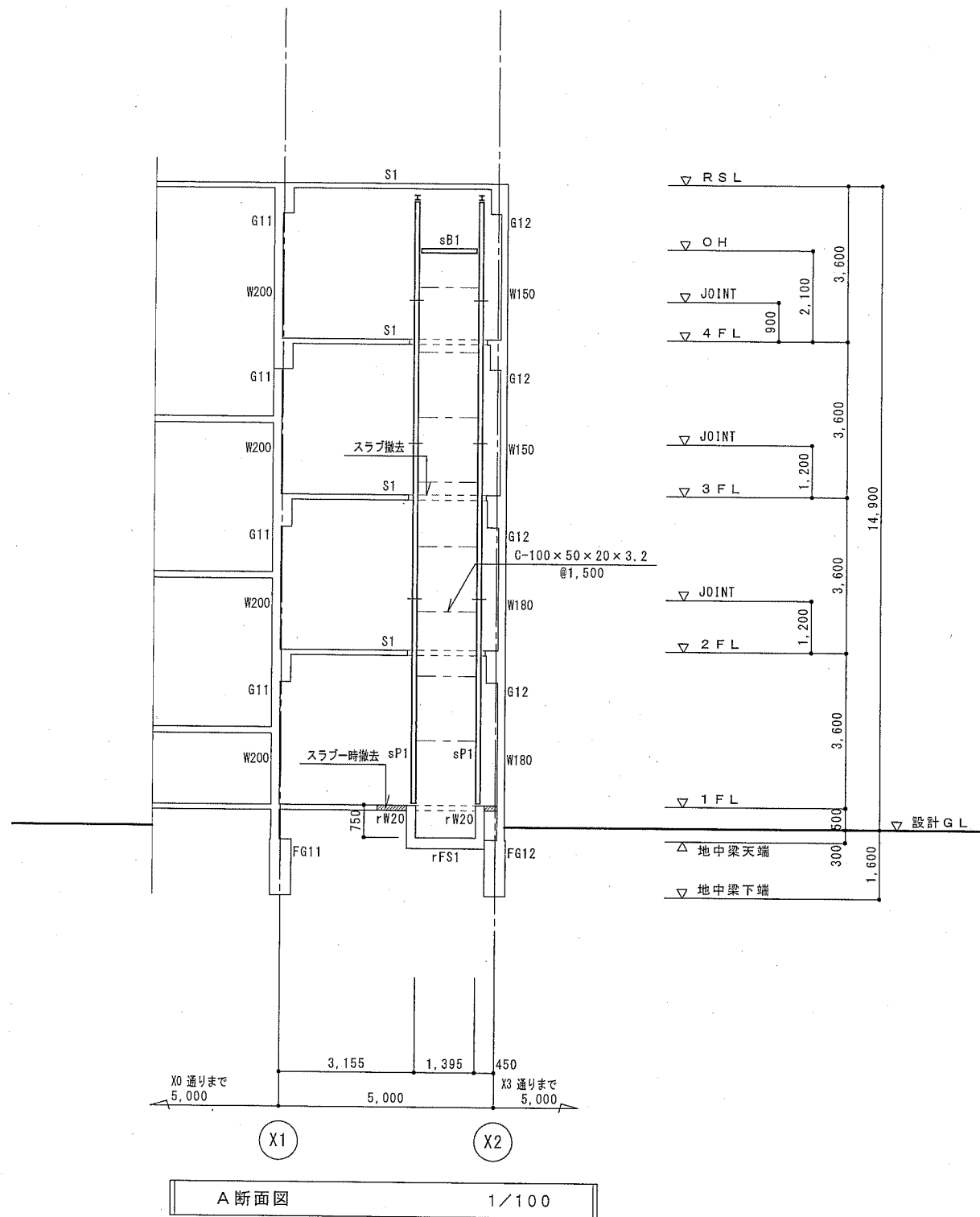
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

⑤ — 05

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

A棟 3階・4階・R階床伏図

縮尺 1/100



公共建築課長	主査	担当者
[Seal]		

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

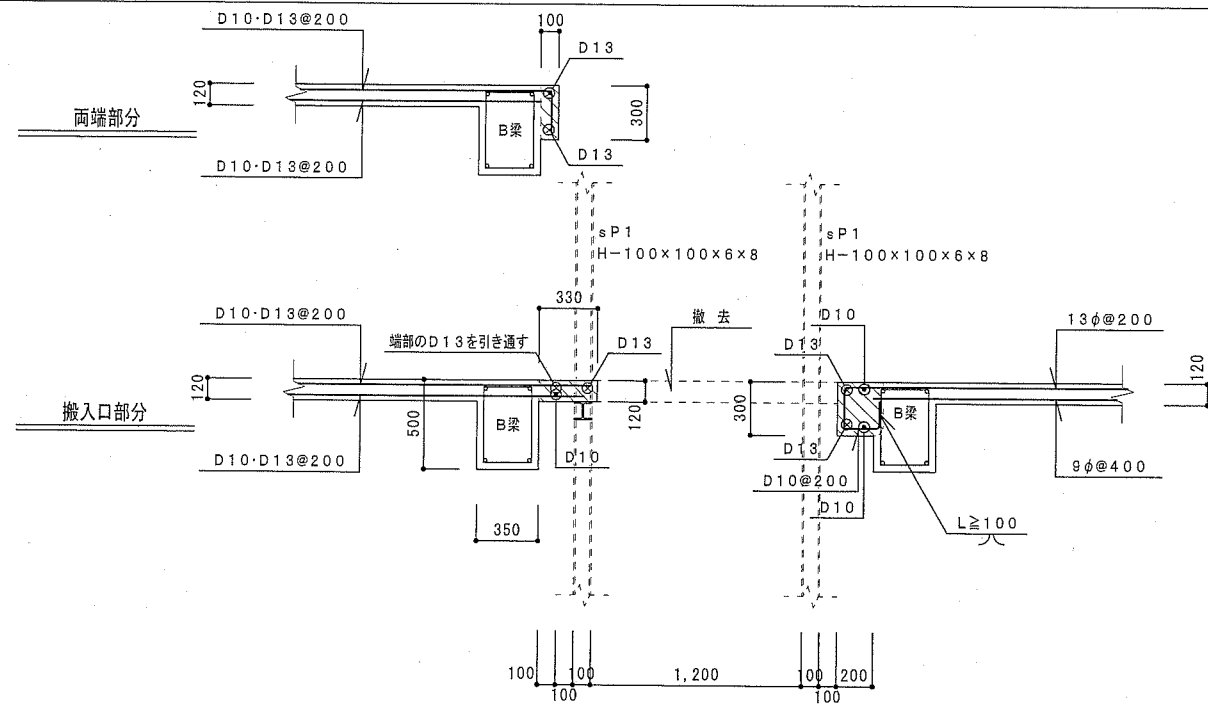
S — 06

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

A 棟 断面図

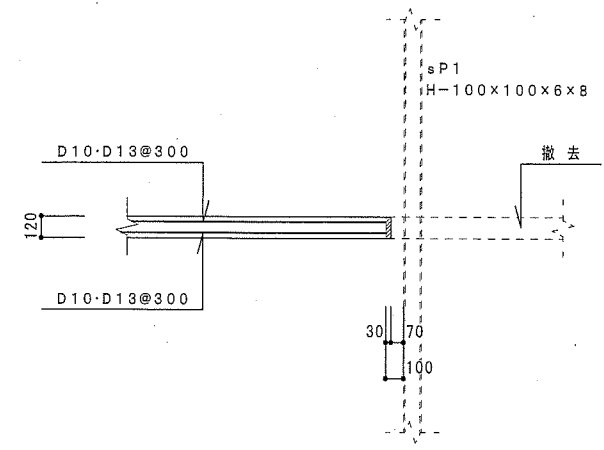
縮尺 1/100

B断面配筋詳細図



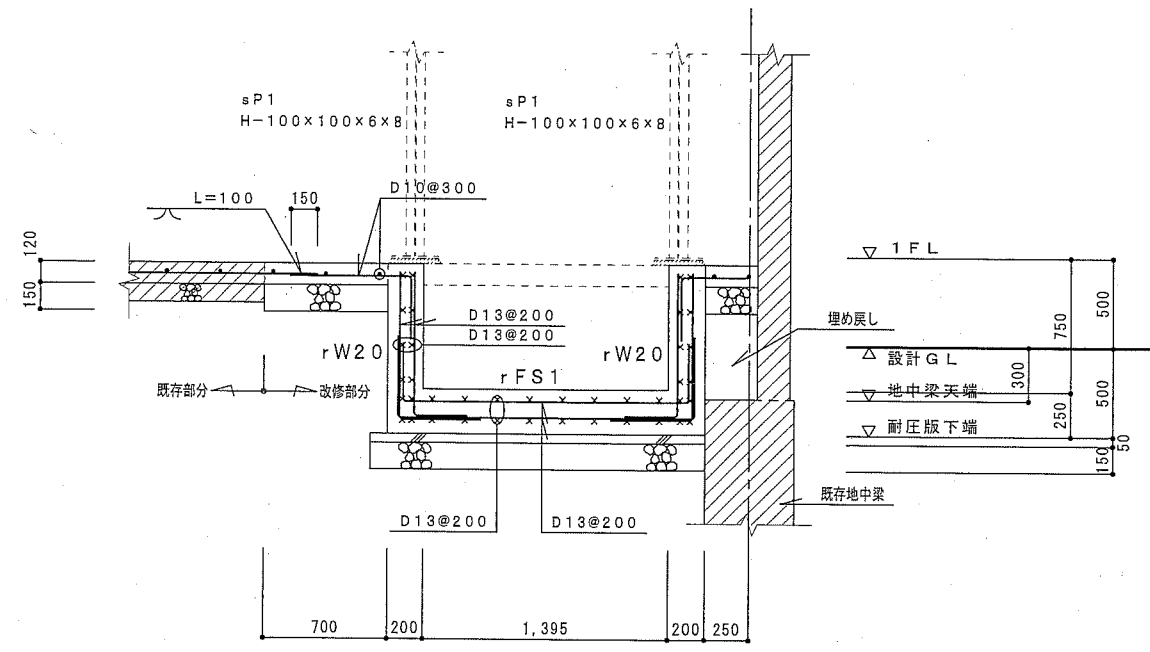
1. スラブ上端筋は切断せずに折曲げ、増打ち部に定着する。
2. スラブ下端筋は梁側面にて切断
3. 打ち継ぎ面は目荒らしを行うこと。
4. Y3通り側の増打ち補強の下端筋については梁あばら筋まで折り出し10d以上のフレア溶接とする。

スラブ長辺方向切断面

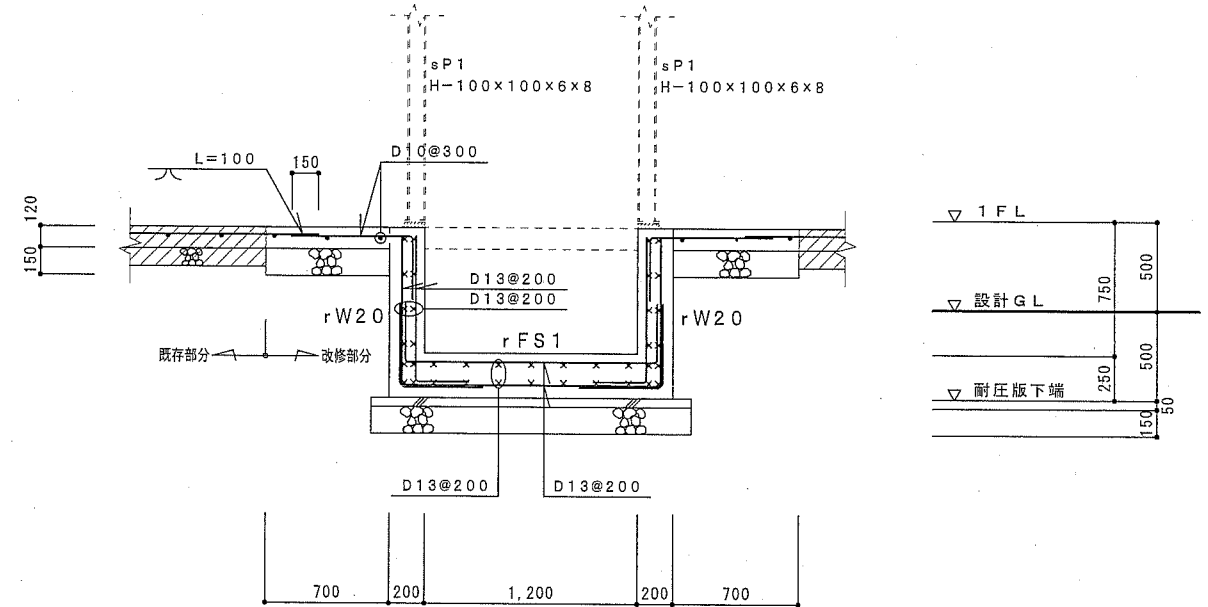


1. スラブ筋の被り厚さを確保するため、小口面を30mm以上多めに切断する。
2. 小口面に目荒らしを行い、ポリマーセメントモルタルを塗りつけるものとする。

ピット部分配筋詳細図



A断面配筋詳細図



B断面配筋詳細図

1. ピット外周 700 程度の範囲の土間コンクリートを一時撤去する。
2. 土間配筋は切断せずに溶接継ぎ手が可能な範囲を残すものとする。
3. ピット下及び再構築する土間コン下は十分に転圧すること。

公共建築課長	主査	担当者

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

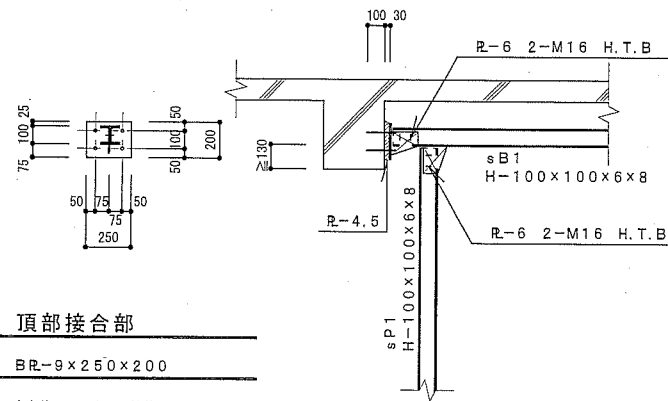
S - 07

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

A棟 配筋詳細図

縮尺 1/30

頂部接合部



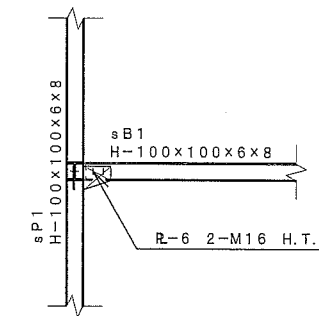
頂部接合部

BR-9x250x200

あと施工アンカー (接着系)

4-M12 L=100

オーバーヘッド材・敷居受け材接合部



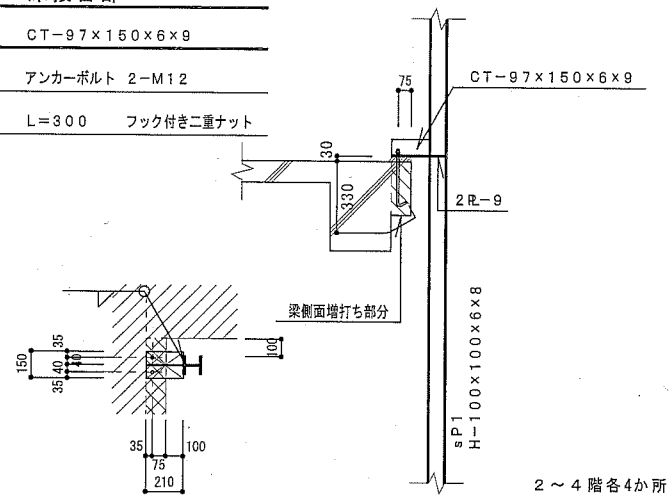
床面（梁）接合部

床接合部

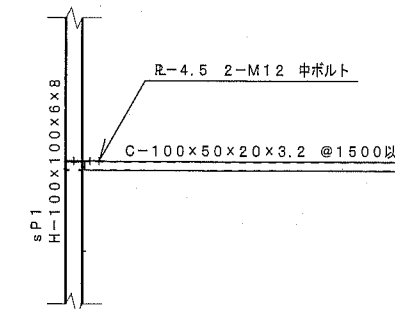
CT-97x150x6x9

アンカーボルト 2-M12

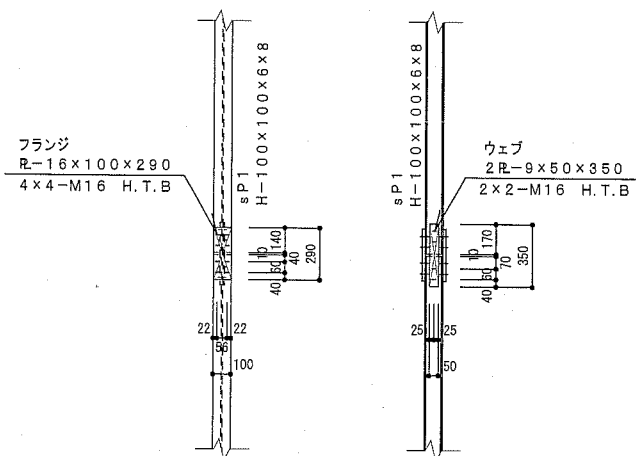
L=300 フック付き二重ナット



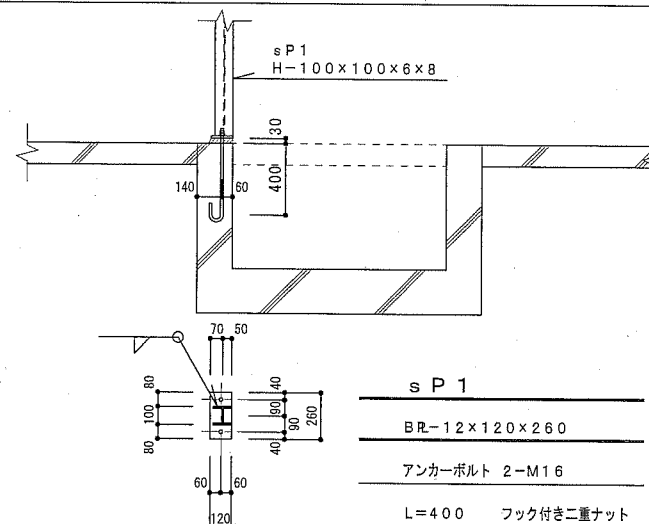
レール受け材接合部



柱継手



柱脚



公共建築課長	主査	担当者
(Stamp)		

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

S

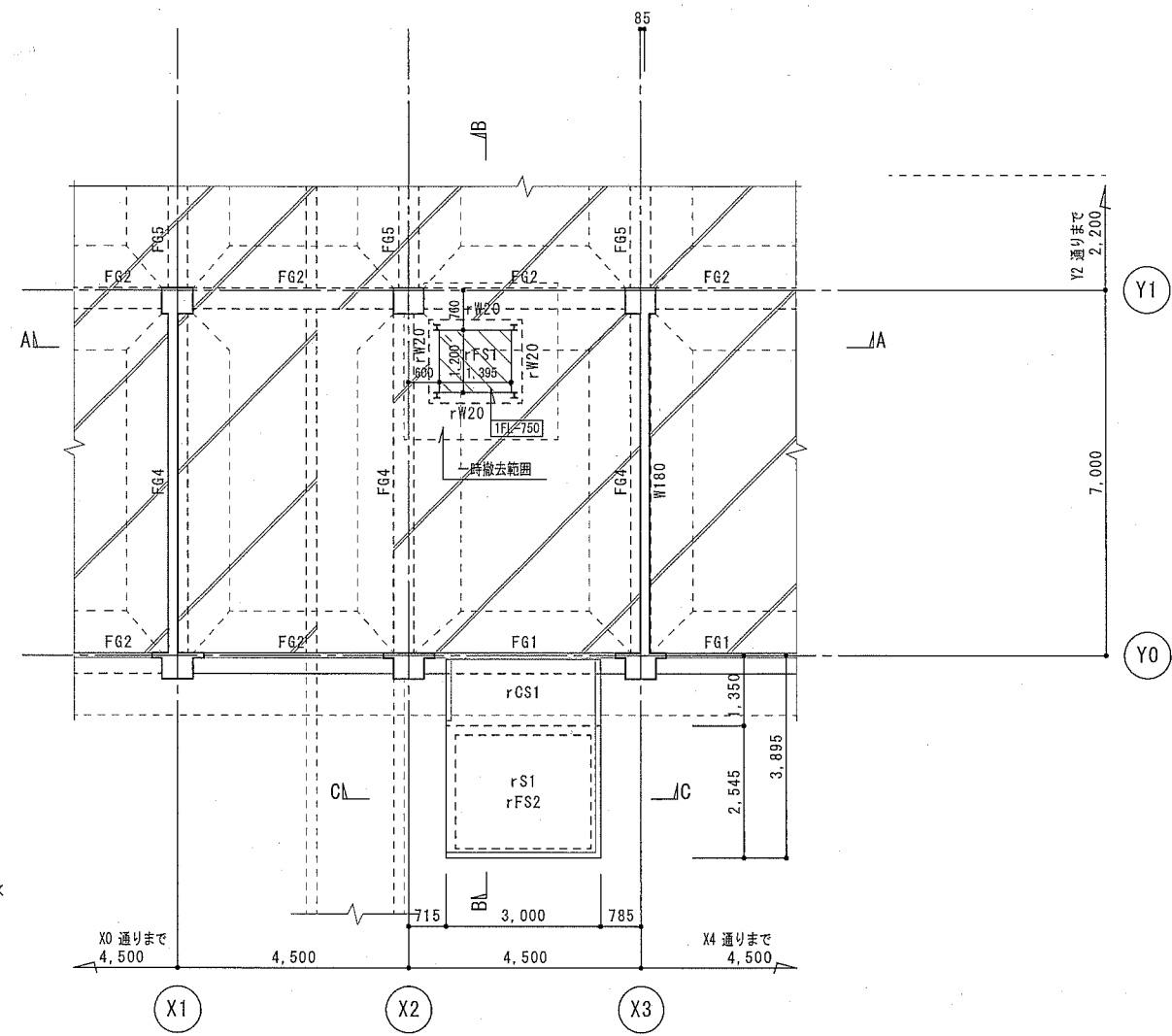
— 08

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

A棟 鉄骨詳細図

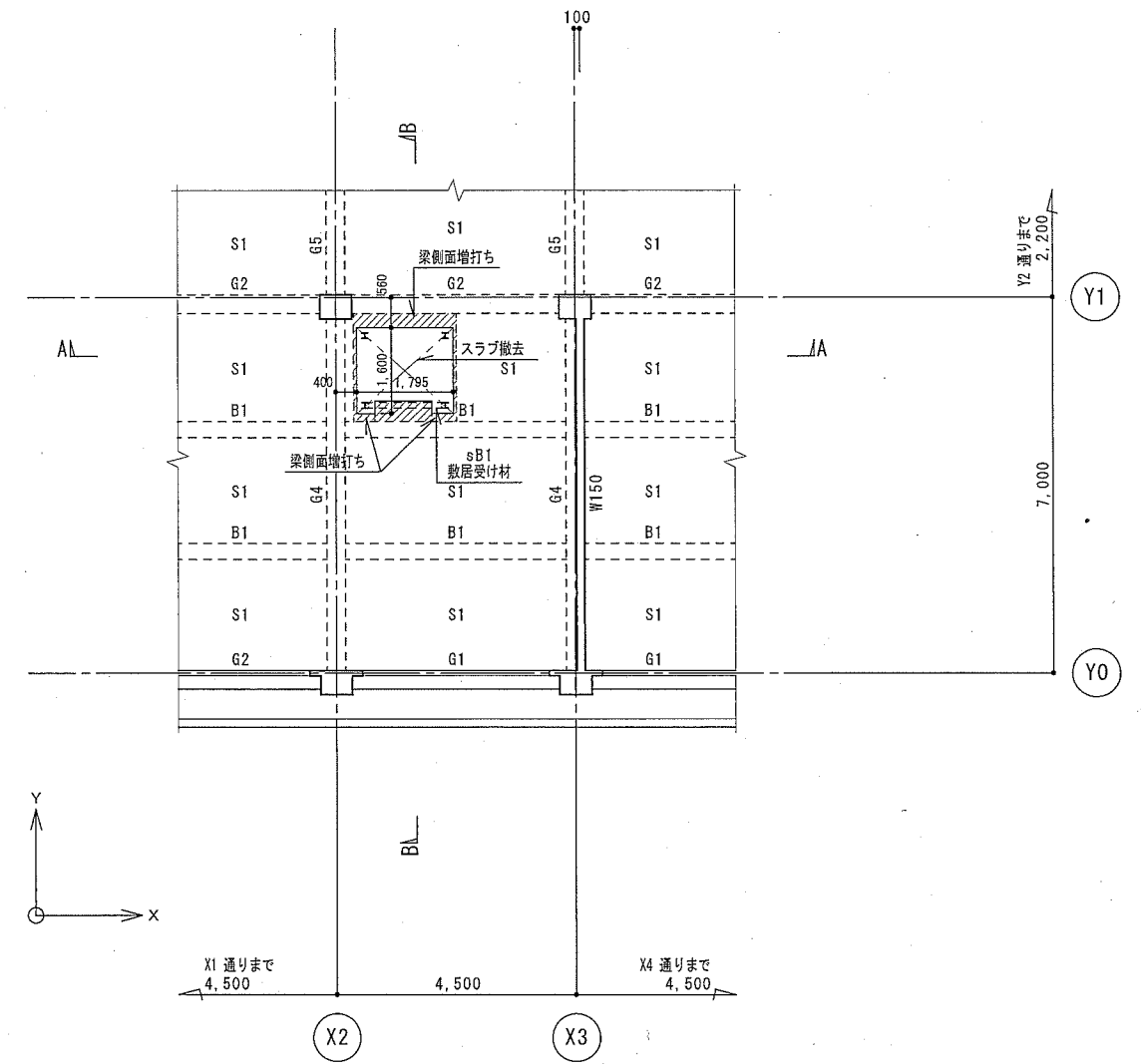
縮尺

1/30



1階床伏図 1/100

特記以外	
1FL	設計GL+600
	壁 W12
	腰壁
	柱: sP1



2階床伏図 1/100

特記以外	
2FL	設計GL+4,200
	壁 W12
	腰壁
	柱: sP1

公共建築課長	主査	担当者

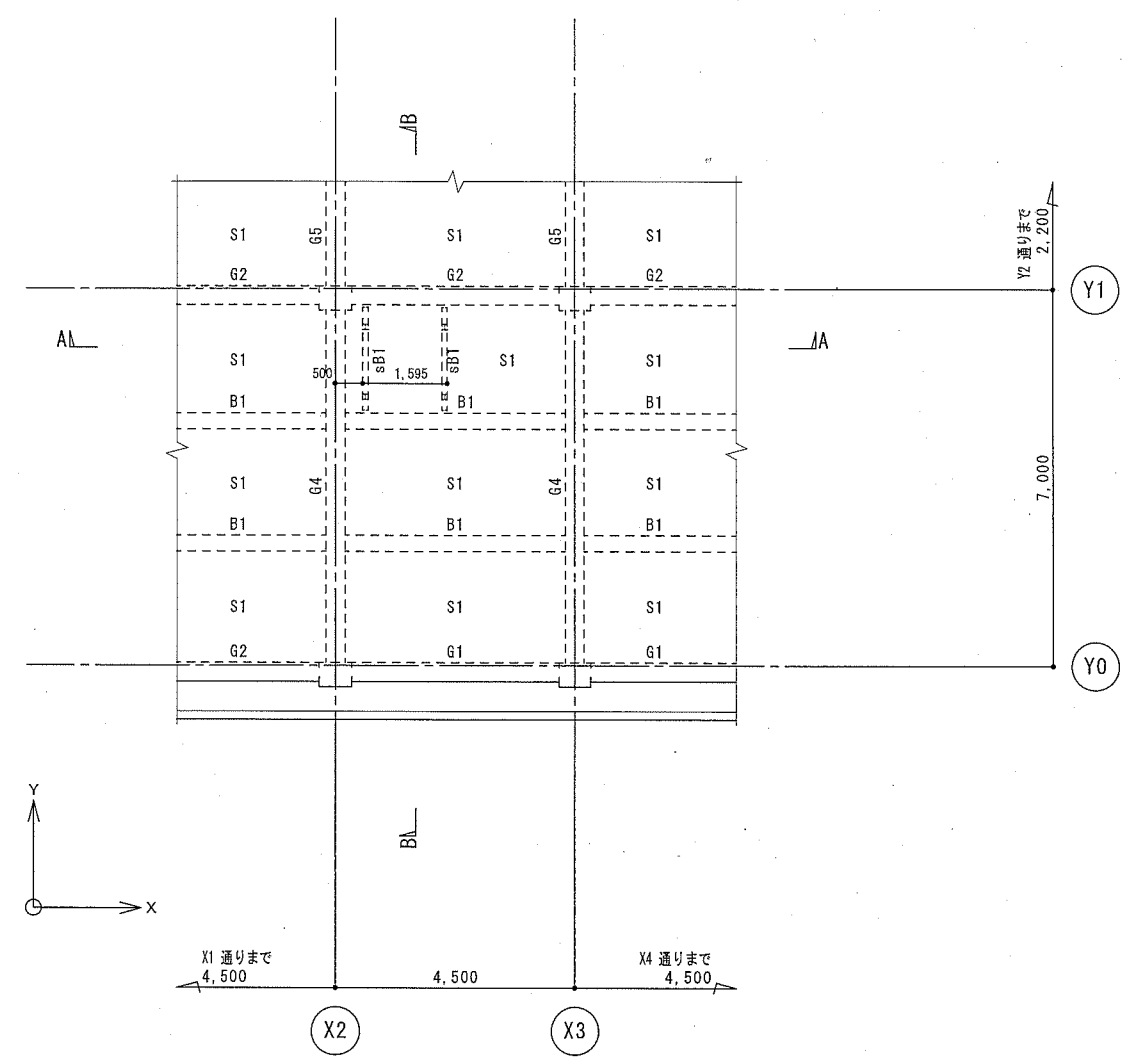
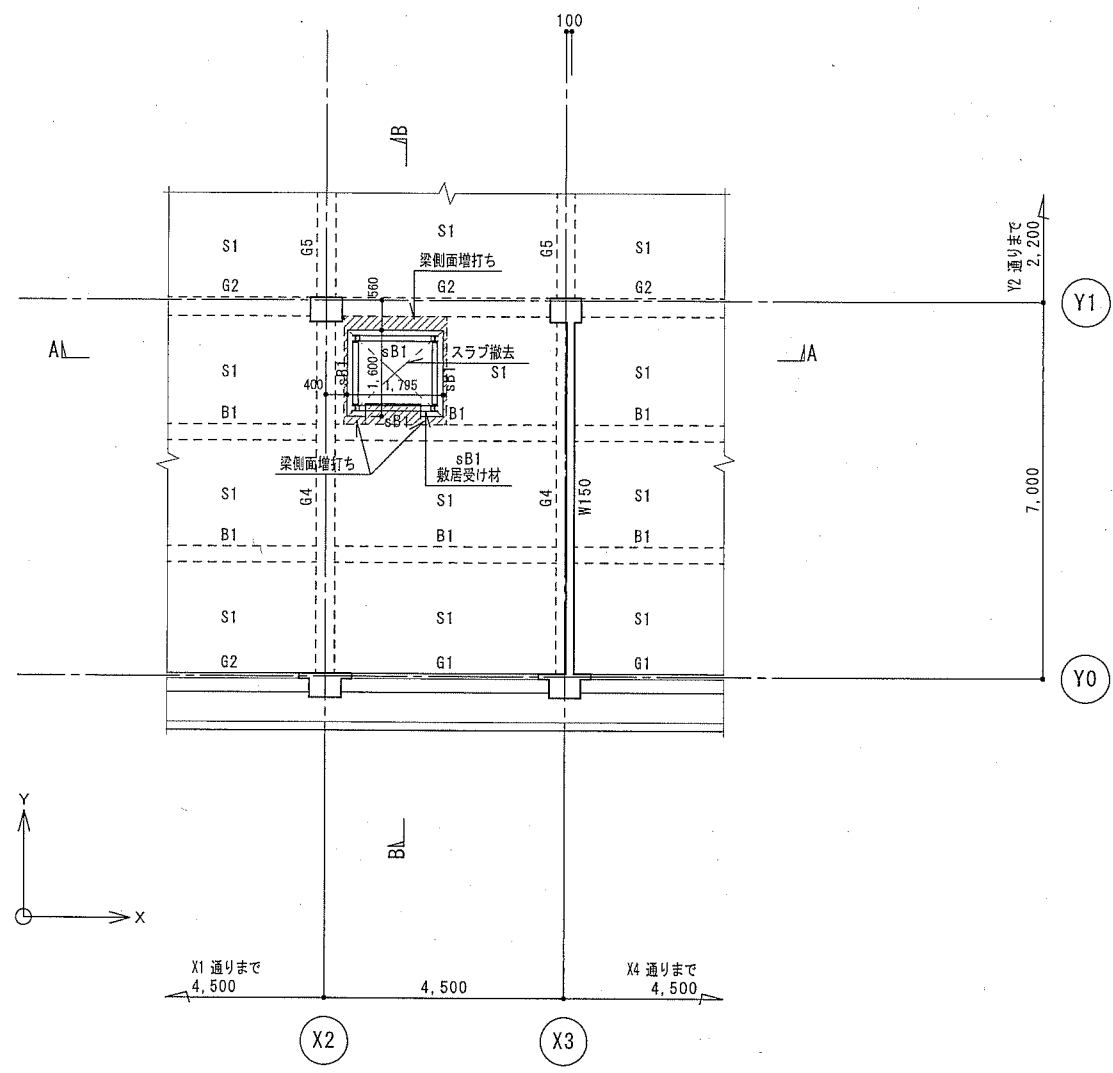
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

S - 09

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

B棟 1階・2階床伏図

縮尺 1/100



公共建築課長	主査	担当者

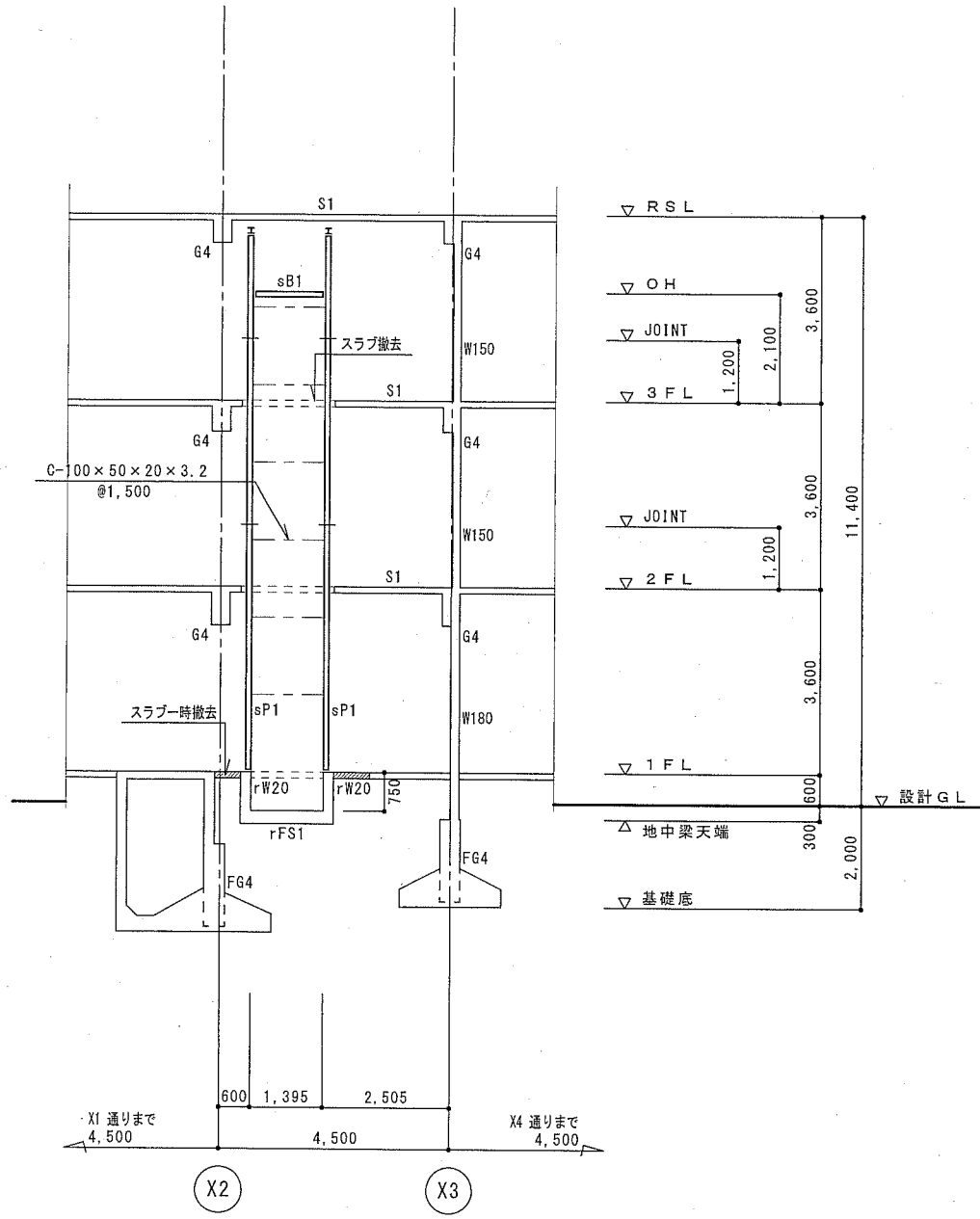
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

S — 10

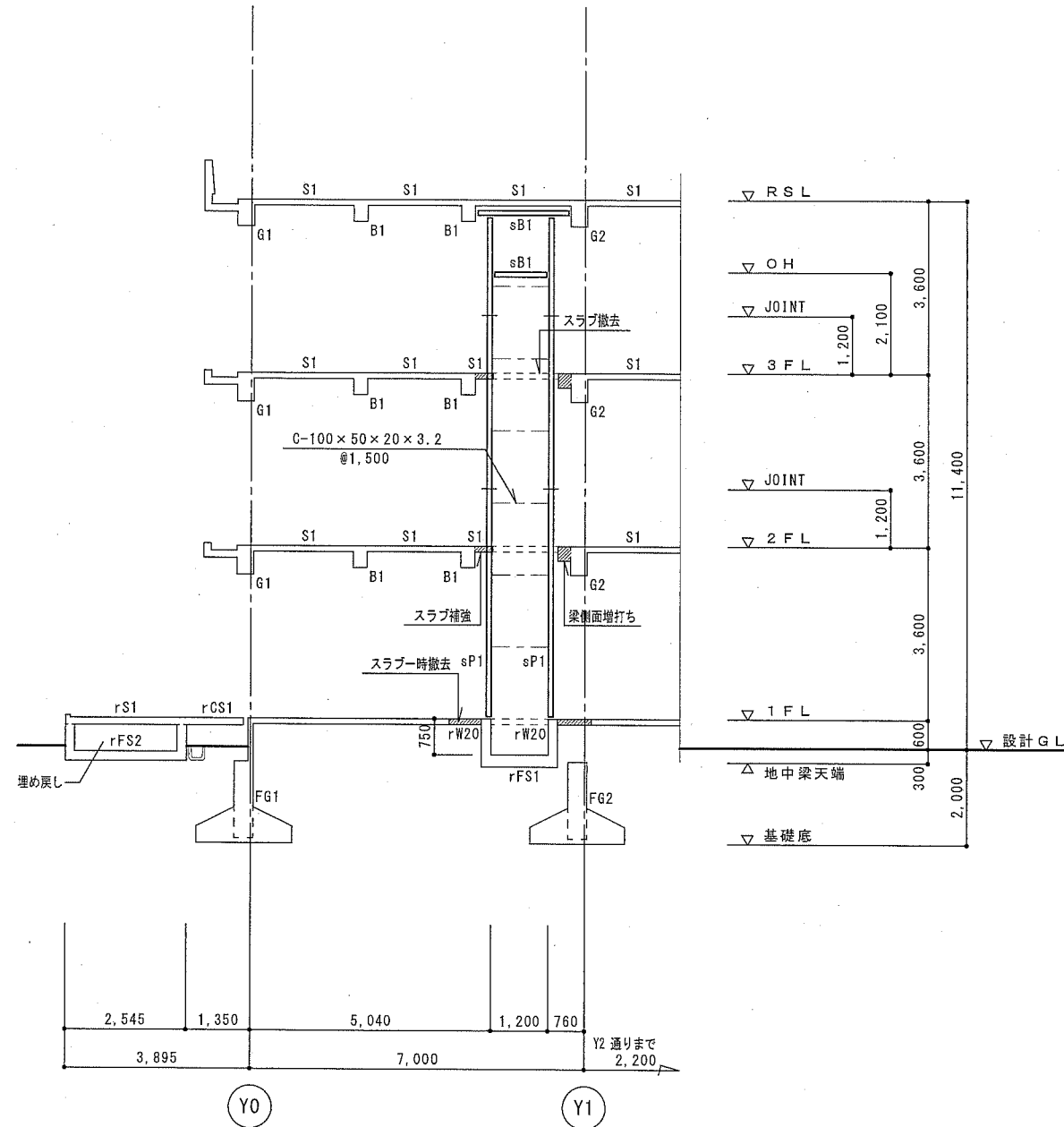
横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

B棟 3階・R階床伏図

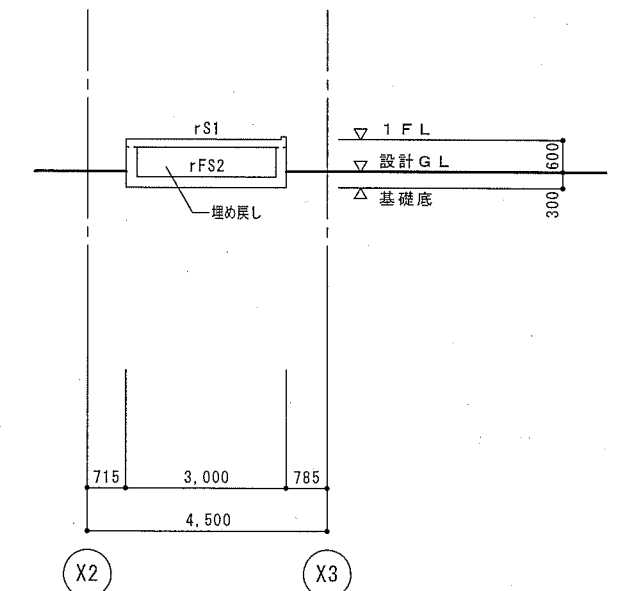
縮尺 1/100



A断面図 1/100



B断面図 1/100



C断面図 1/100

公共建築課長	主査	担当者

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

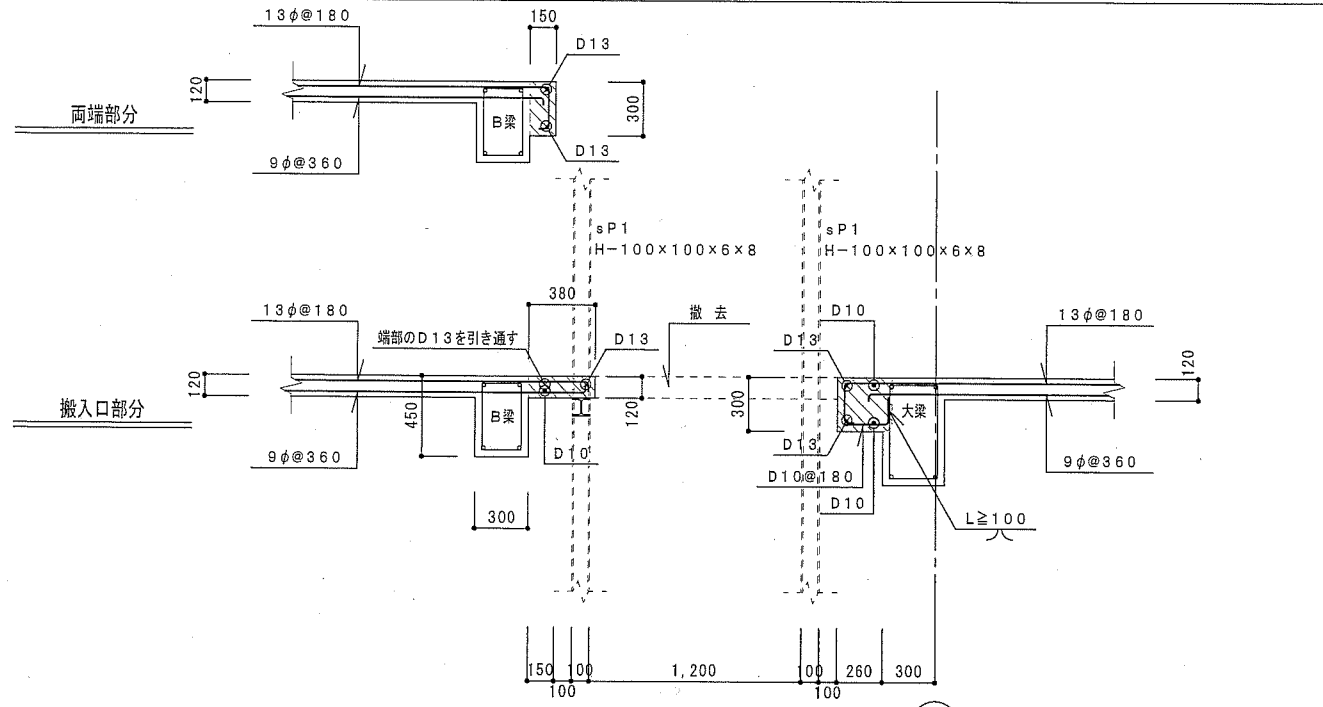
S - 11

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

B棟 断面図

縮尺 1/100

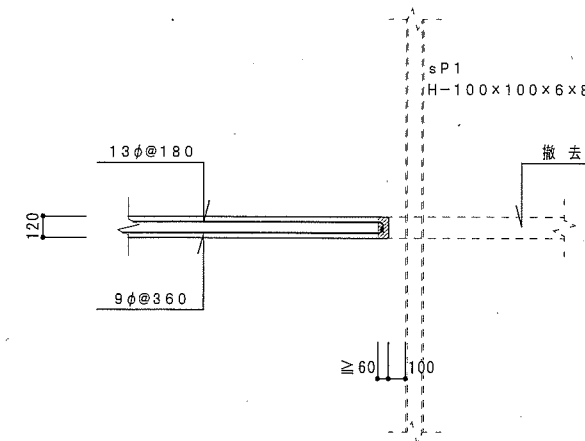
B断面配筋詳細図



1. スラブ上(下)端筋は定着長さを確保のうえ、フックを設けて増打ち部に定着する。
2. 定着長さは、上端4d、下端30dとする。(ともにフック部含まず)
3. スラブ筋は丸鋼のため端部には90°フックを設ける。フックの余長は4d以上とする。
4. 打ち継ぎ面は目荒らしを行うこと。
5. 表示の既存配筋は端部主筋を示す。

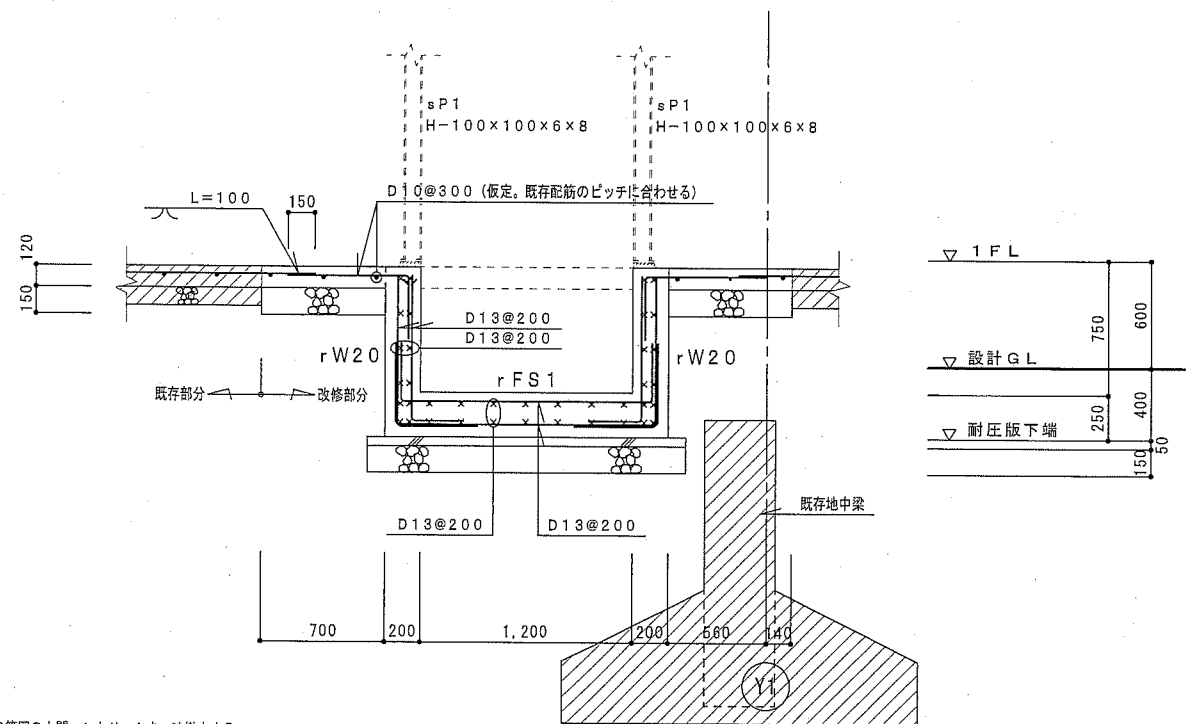
6. Y1通り製の増打ち補強の下端筋については梁あばら筋まで研り出し10d以上のフレア溶接とする。

スラブ長辺方向切断面



1. スラブ筋の依り厚さを確保するため、小口面を60mm程度多めに切断する。
2. スラブ筋にフックを設ける。フックは90°フック、余長4dとする。
3. 小口面に目荒らしを行い、ポリマーセメントモルタルを塗りつけるものとする。
4. 表示の既存配筋は端部配筋を示す。

ピット部分配筋詳細図



1. ピット外周 700 程度の範囲の土間コンクリートを一時撤去する。
2. 土間配筋は切断せずに溶接継ぎ手が可能な範囲を残すものとする。
3. ピット下及び再構築する土間コン下は十分に転圧すること。

公共建築課長	主査	担当者
--------	----	-----



市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

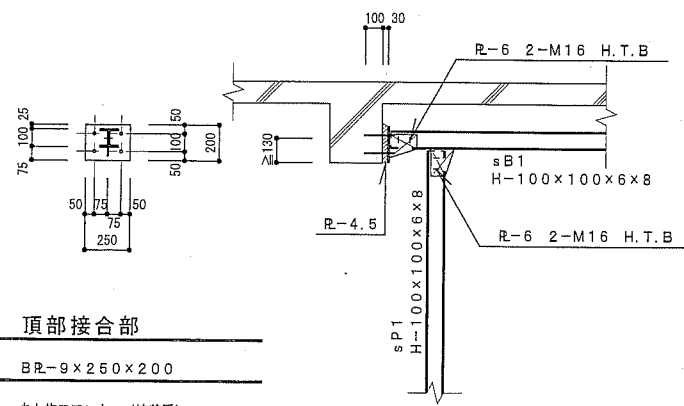
Ⓢ — 12

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

B棟 配筋詳細図

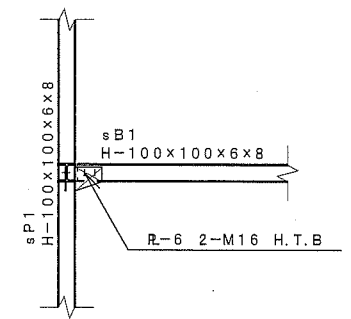
縮尺 1/30

頂部接合部

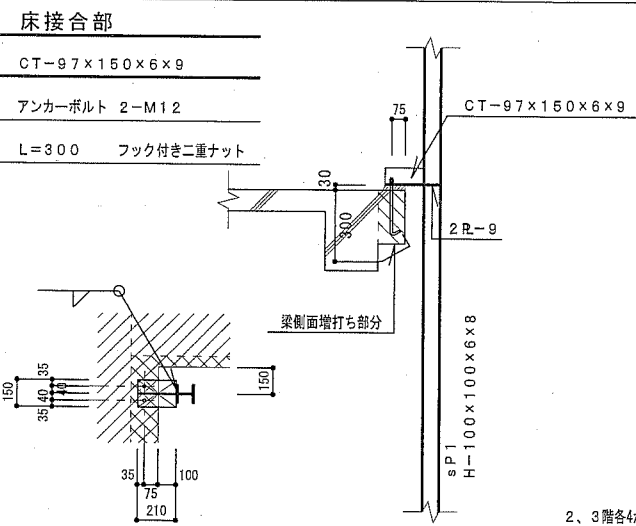


頂部接合部
BR-9x250x200
あと施工アンカー (接着系)
4-M12 L=100

オーバーヘッド材・敷居受け材接合部



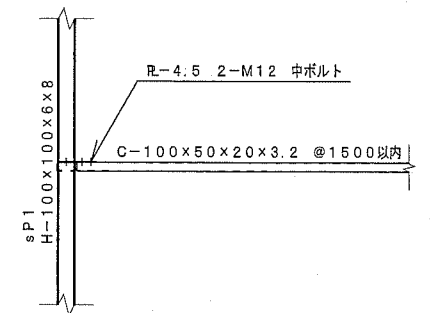
床面 (梁) 接合部



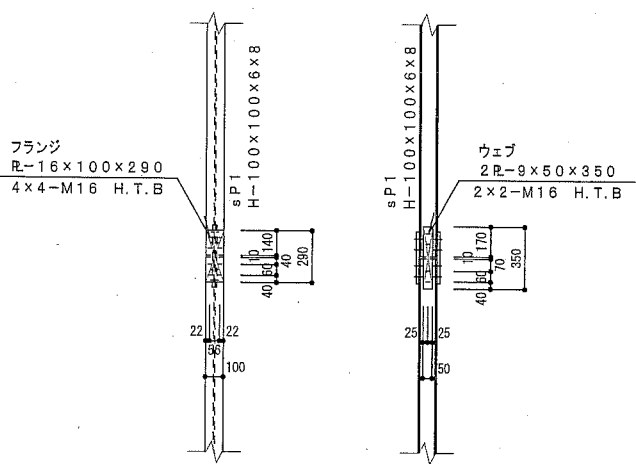
床接合部
CT-97x150x6x9
アンカーボルト 2-M12
L=300 フック付き二重ナット

2、3階各4か所

レール受け材接合部

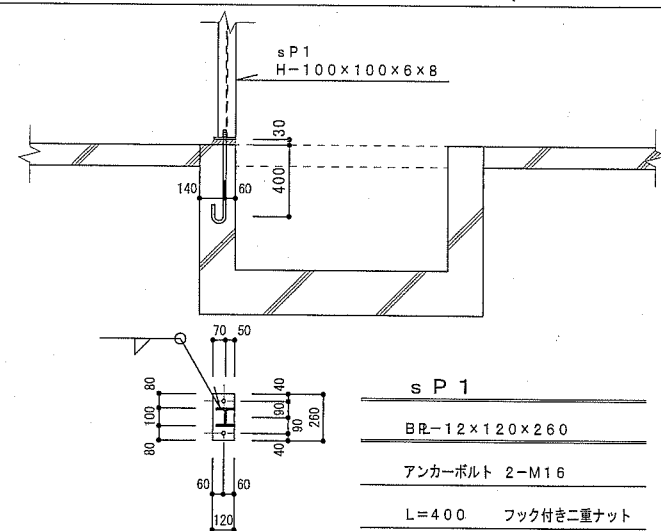


柱継手



フランジ R-16x100x290
4x4-M16 H.T.B
ウェブ 2R-9x50x350
2x2-M16 H.T.B

柱脚



s P 1
BR-12x120x260
アンカーボルト 2-M16
L=400 フック付き二重ナット

公共建築課長	主査	担当者

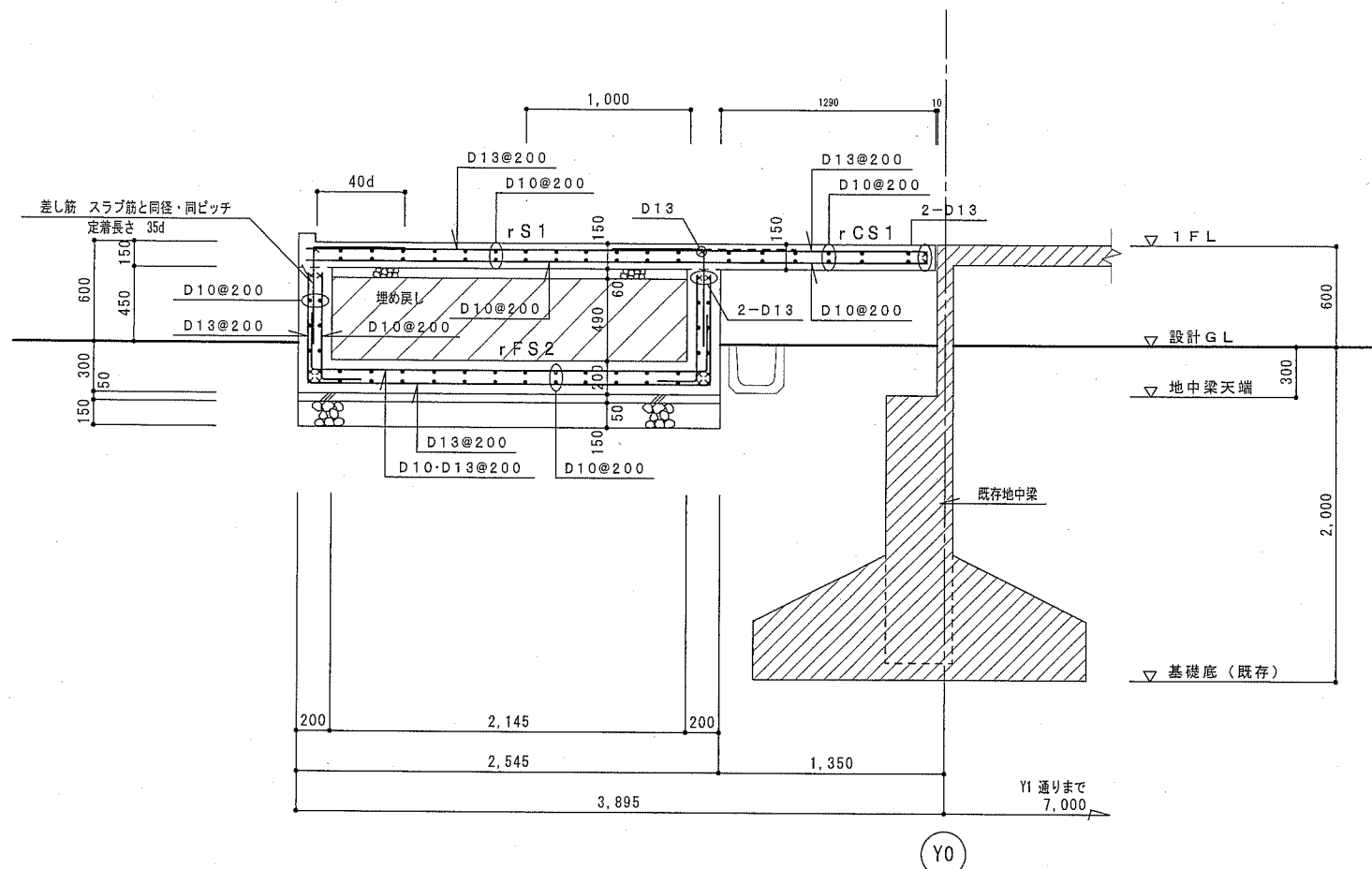
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

S — 13

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

B棟 鉄骨詳細図

縮尺 1/30



プラットフォーム配筋詳細図 1/30

公共建築課長	主査	担当者

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

S — 14

横須賀市 都市部 公共建築課
設計年月日 平成31年2月

B棟 プラットフォーム詳細図

縮尺 1/100・1/30

凡 例

名 称	記 号	材 質・備 考
給 水 管	— — — —	一 般：水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管〔SGP-VB〕 JWWA K 116
		地中埋設、土間：耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管〔HIVP〕 JIS K 6742
排 水 管	— — — —	一 般：硬質ポリ塩化ビニル管〔VP〕 JIS K 6741 ※防火区画貫通部は規定に適合する国土交通大臣認定品とする
		地中埋設、土間(第1層まで)：硬質ポリ塩化ビニル管〔VP〕 JIS K 6741
		屋外埋設：硬質ポリ塩化ビニル管〔VU〕 JIS K 6741
冷 媒 管	— R —	冷媒用断熱材被覆銅管〔Cu〕
空 調 ドレ ン 管	— D —	一般：保温付塩化ビニル管〔VP〕屋外：硬質ポリ塩化ビニル管〔VP〕 JIS K 6741

保温・塗装

	屋内露出	天井内	PS内	屋外露出
給水管	/	c2・(口)・Ⅶ		/
排水管	/	c2・(口)・Ⅶ		/
ドレン管	—	/	/	—
冷媒管	樹脂製カバー	/	/	SUSラッキガ

器具表 (新設)

器 具 名 称	参 考 型 番 (TOTO)	参 考 型 番 (LIXIL)	仕 様	A棟				B棟				合 計
				1階	2階	3階	4階	1階	2階	3階		
				荷受室兼配膳室	配膳室	配膳室	配膳室	荷受室兼配膳室	配膳室	配膳室		
洗面器	L210C	L-176UEC	壁掛洗面器 壁給水・自動単水栓 止水栓×1 壁排水トラップ	1				1				2
自在水栓	T131SUN13C	LF-16F-13	F10A スパウト(L=170mm)回転式泡沫付 節水型	1	1	1	1	1	1	1		7

器具表 (撤去)

器 具 名 称	型 番 参 考 型 番 (TOTO)	仕 様	A棟			B棟			合 計	
			1階	2階		1階	1階	2階		3階
			体育倉庫	女子更衣室		倉庫	パンコナー	普通教室		普通教室
横水栓	T200SNR13	吐水口回転式	2	2		3	2	3	3	15

公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

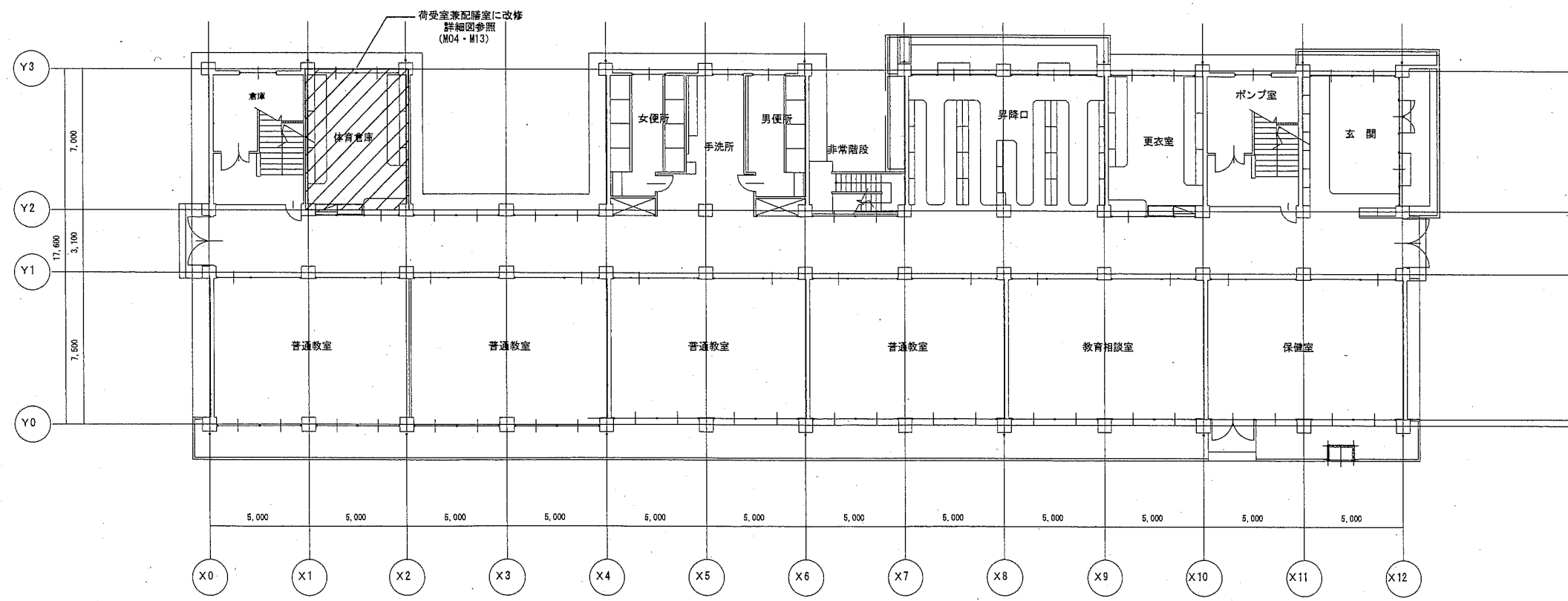
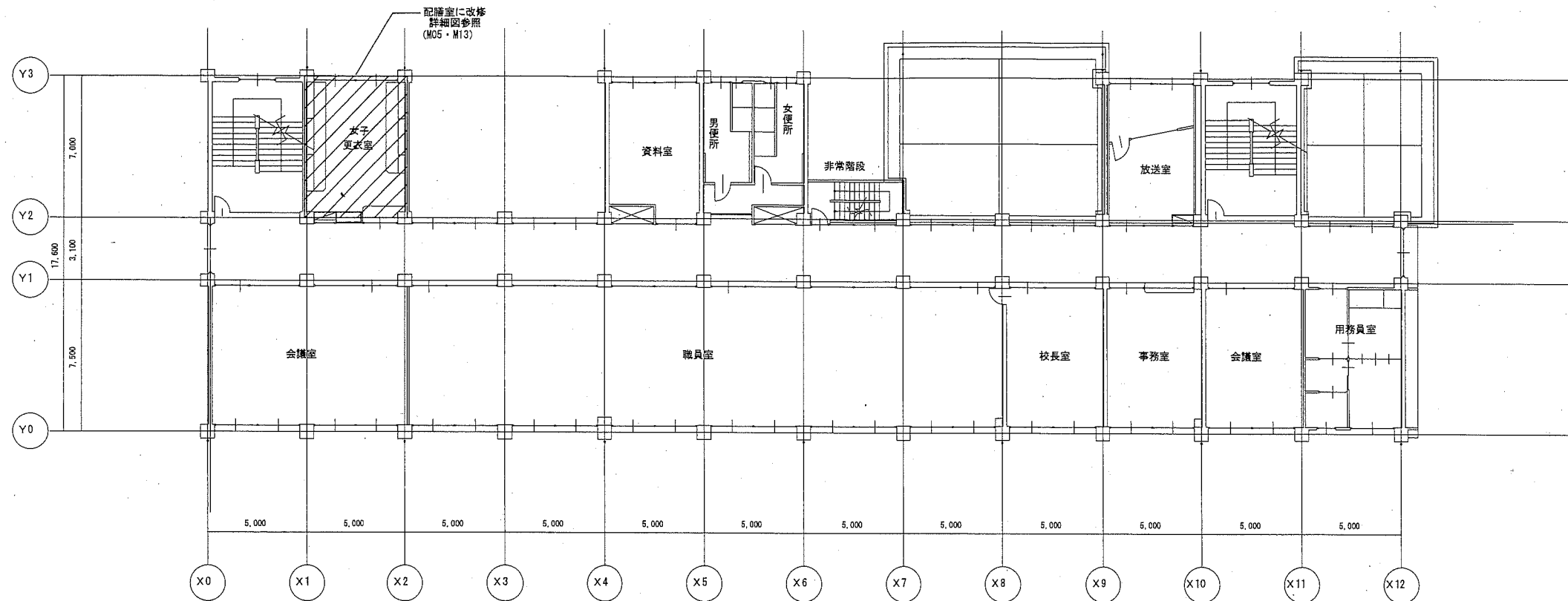
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

Ⓜ — 01

設計年月日 平成31年2月

凡例・器具表 (新設・撤去)

縮尺 N,S



公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

M

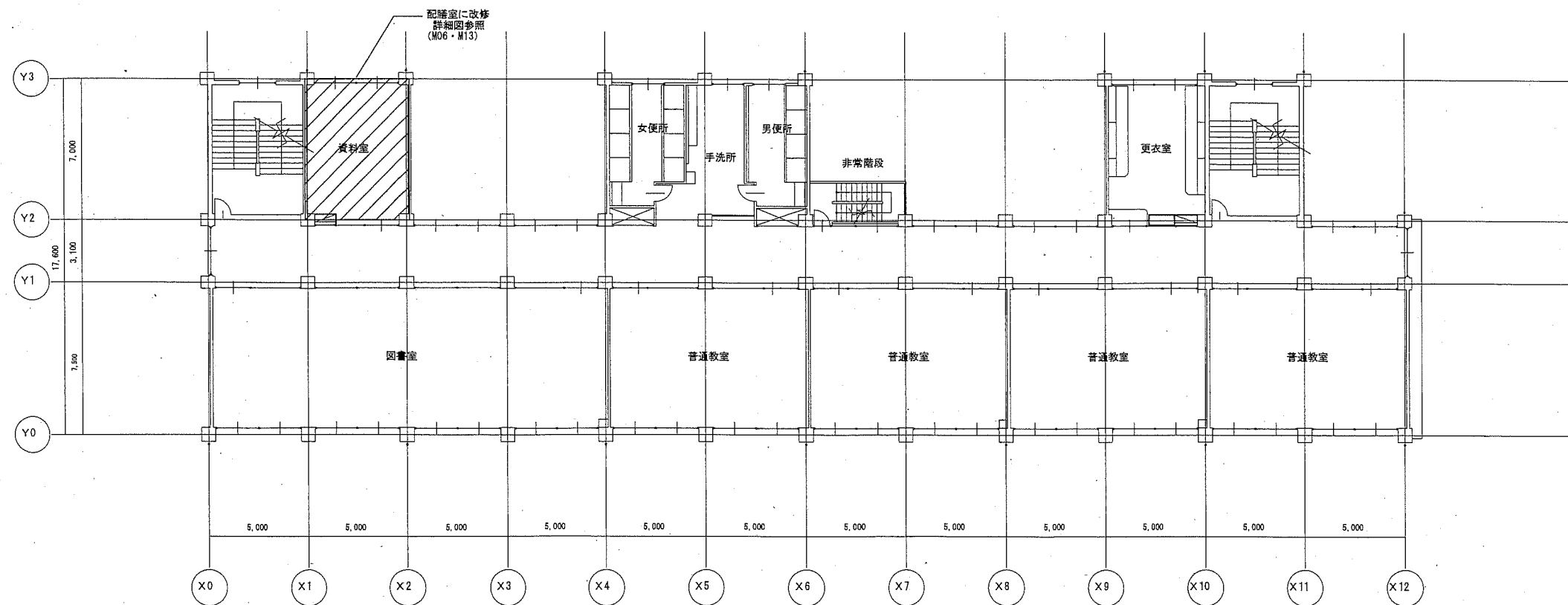
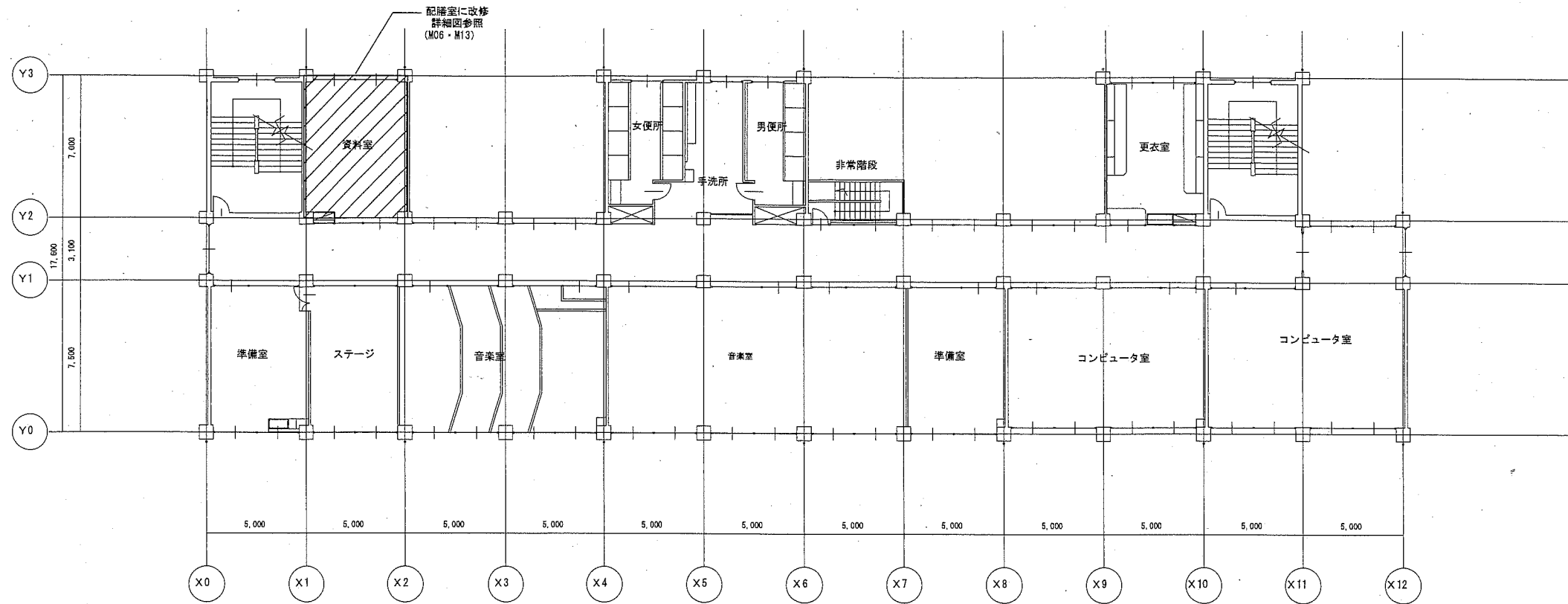
— 02

設計年月日 平成31年2月

A棟 1、2階 平面図

縮尺

1/200



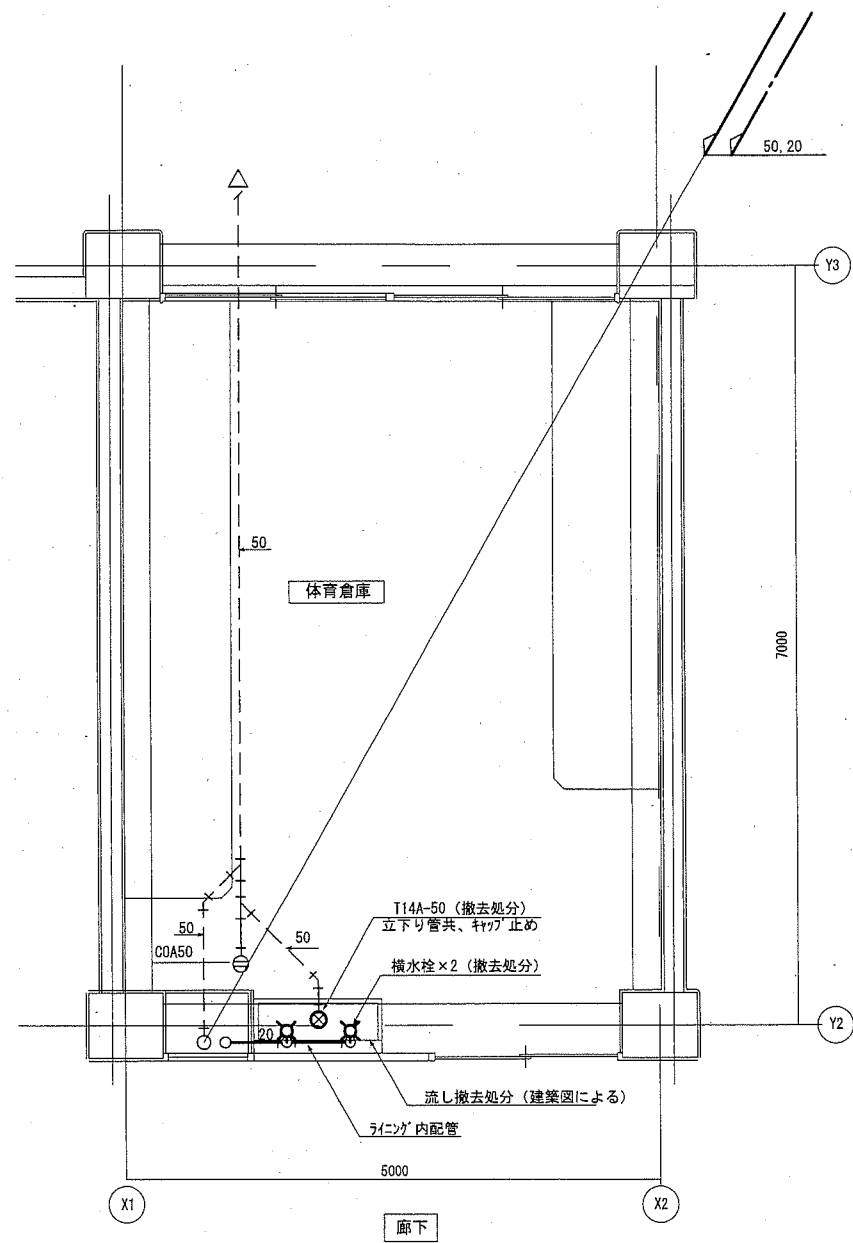
公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

M

— 03

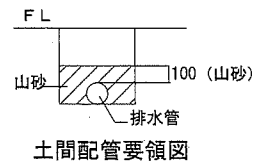
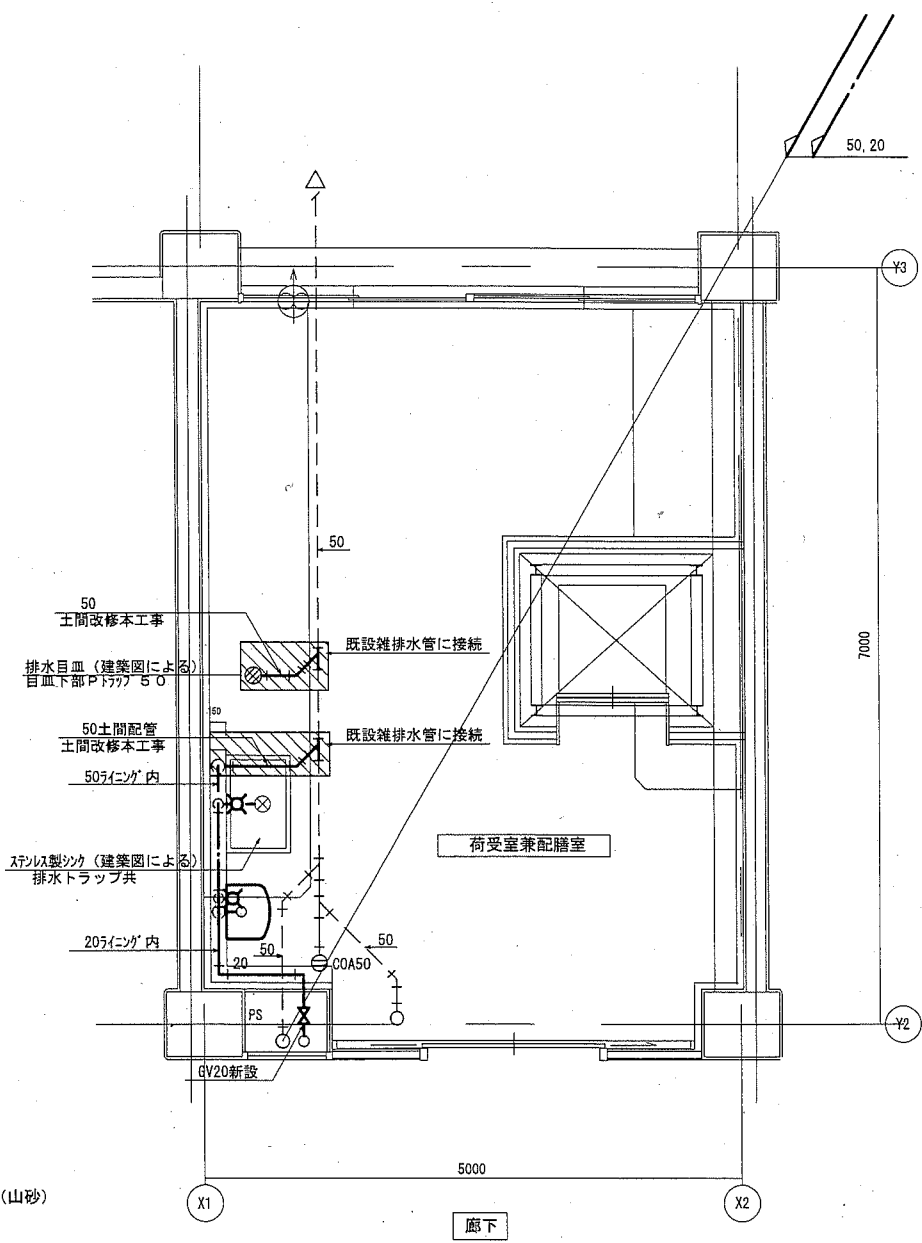


撤去凡例

- 印は既設配管を示す。
- 印は撤去配管を示す。

撤去注記

1. 明記無きは1階床下配管(土間)とする。
2. 設備配管撤去跡の開口閉鎖は建築図による。
3. 撤去管材は、下記による。
給水管: 硬質塩化ビニル管 SGP-VB (一般) HIVP (土間)
雑排水管: 硬質塩化ビニル管 VP (土間・一般)
4. 既設PS側壁改修は建築図による。
5. 天井解体は建築図による。



土間配管要領図

改修凡例

- 印は既設配管を示す。
- 印は新設配管を示す。
- || 印は既設配管に接続を示す。

改修注記

1. 明記無きは1階は床下配管(土間)とする。
2. 天井改修は建築図による。
3. 室内土間仕上げは建築図による。

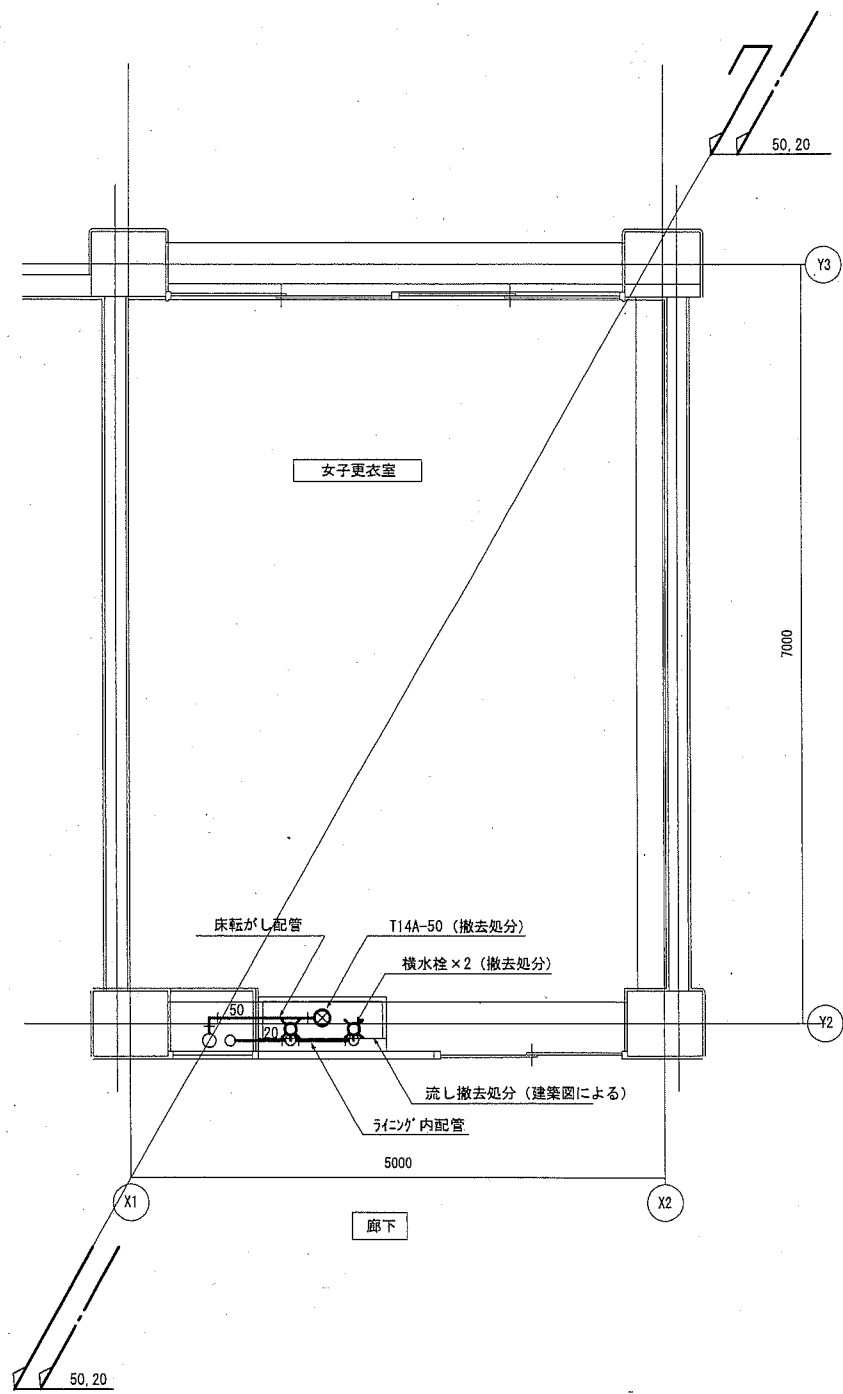
公共建築課長	主査等	担当者
--------	-----	-----



横須賀市 都市部 公共建築課

市立久里浜中学校昇降機設置その他機械設備工事

M — 04

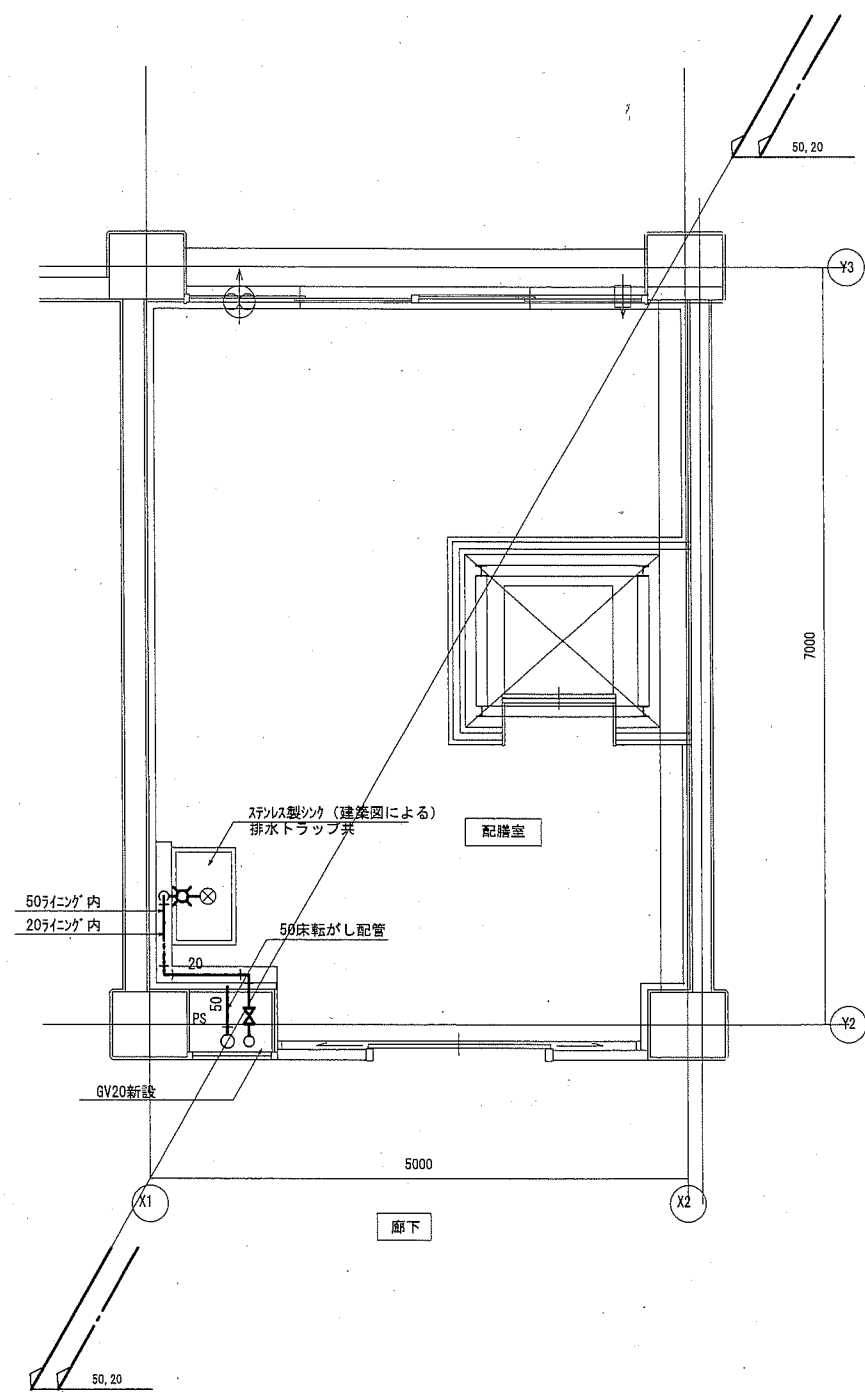


撤去凡例

---	印は既設配管を示す。
—	印は撤去配管を示す。
— —	印は配管切断を示す。

撤去注記

- 設備配管撤去跡の開口閉鎖は建築図による。
- 撤去管材は、下記による。
給水管：硬質塩化ビニル管 SGP-VB (一般)
雑排水管：硬質塩化ビニル管 VP (一般)
- 既設PS側壁改修は建築図による。
- 天井解体は建築図による。



改修凡例

---	印は既設配管を示す。
—	印は新設配管を示す。
— —	印は既設配管に接続を示す。

改修注記

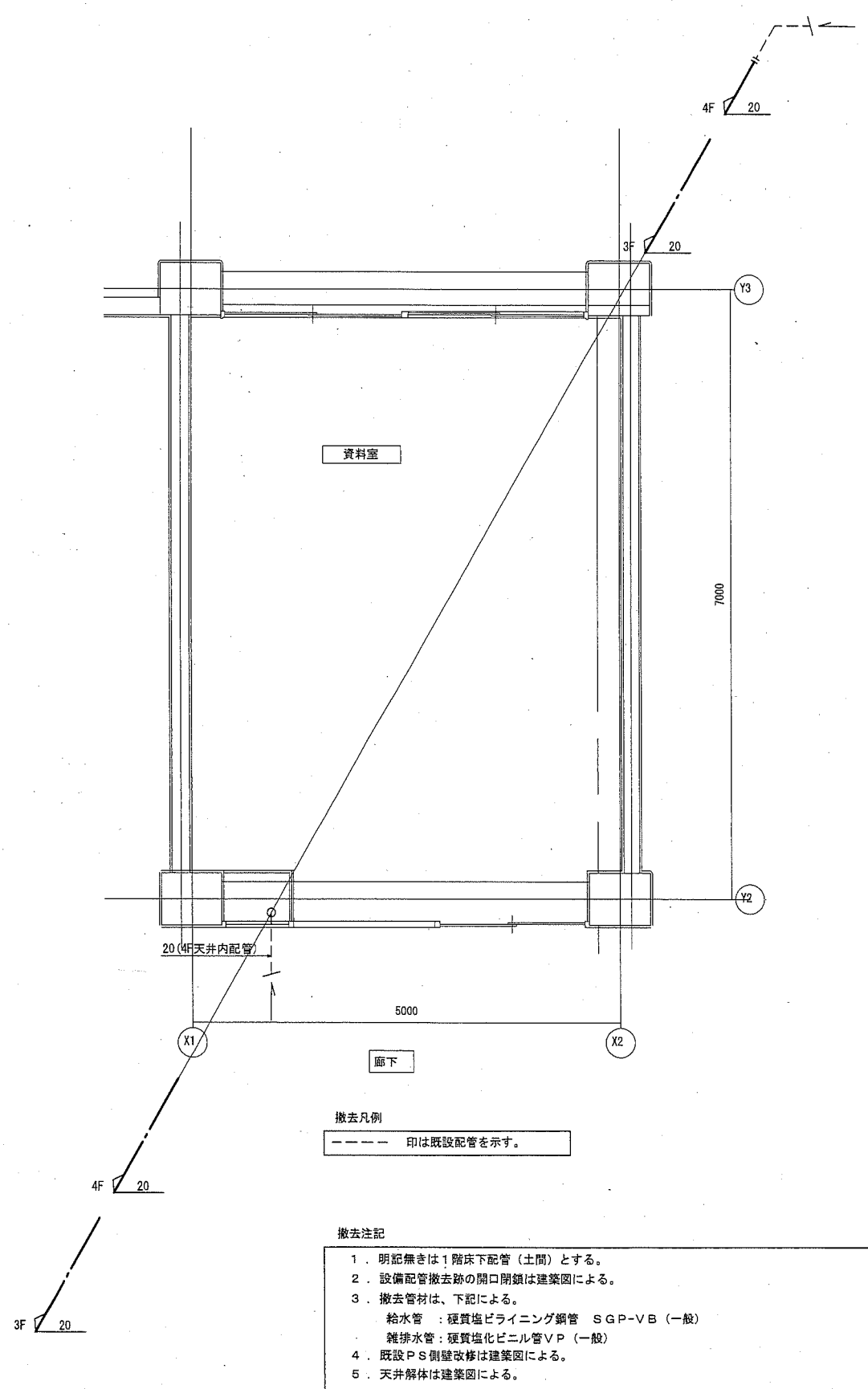
- 明記無きは1階は床下配管(土間)とする。
- 天井改修は建築図による。

公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

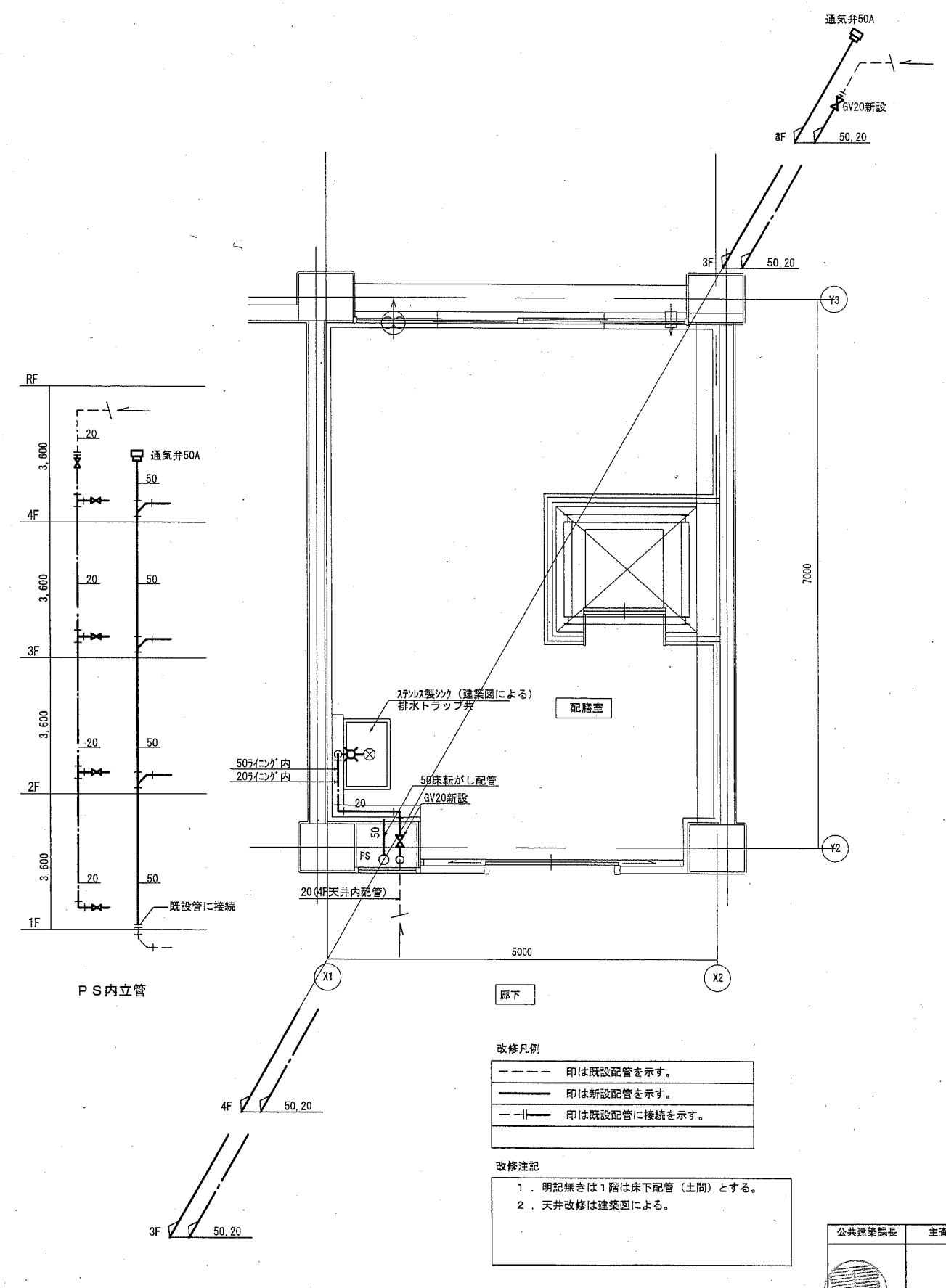
市立久里浜中学校昇降機設置その他機械設備工事

M — 05



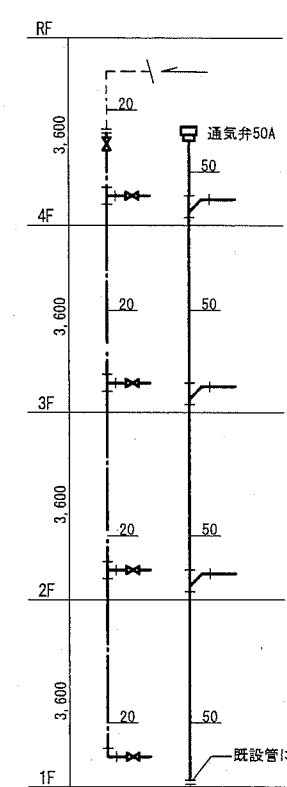
撤去凡例
 - - - 印は既設配管を示す。

- 撤去注記
1. 明記無きは1階床下配管(土間)とする。
 2. 設備配管撤去時の開口閉鎖は建築図による。
 3. 撤去管材は、下記による。
 給水管：硬質塩ビライニング鋼管 SGP-VB (一般)
 雑排水管：硬質塩化ビニル管VP (一般)
 4. 既設PS側壁改修は建築図による。
 5. 天井解体は建築図による。



改修凡例
 - - - 印は既設配管を示す。
 ——— 印は新設配管を示す。
 - - | — 印は既設配管に接続を示す。

- 改修注記
1. 明記無きは1階は床下配管(土間)とする。
 2. 天井改修は建築図による。

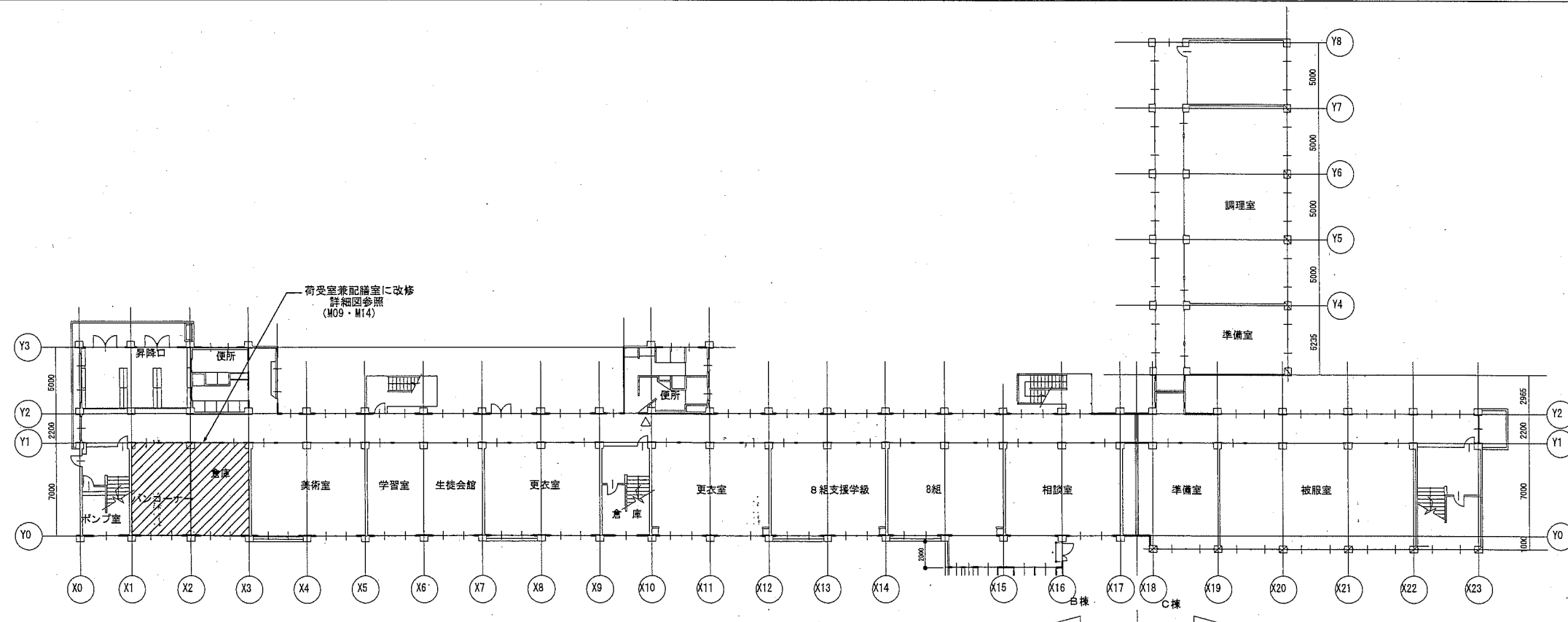
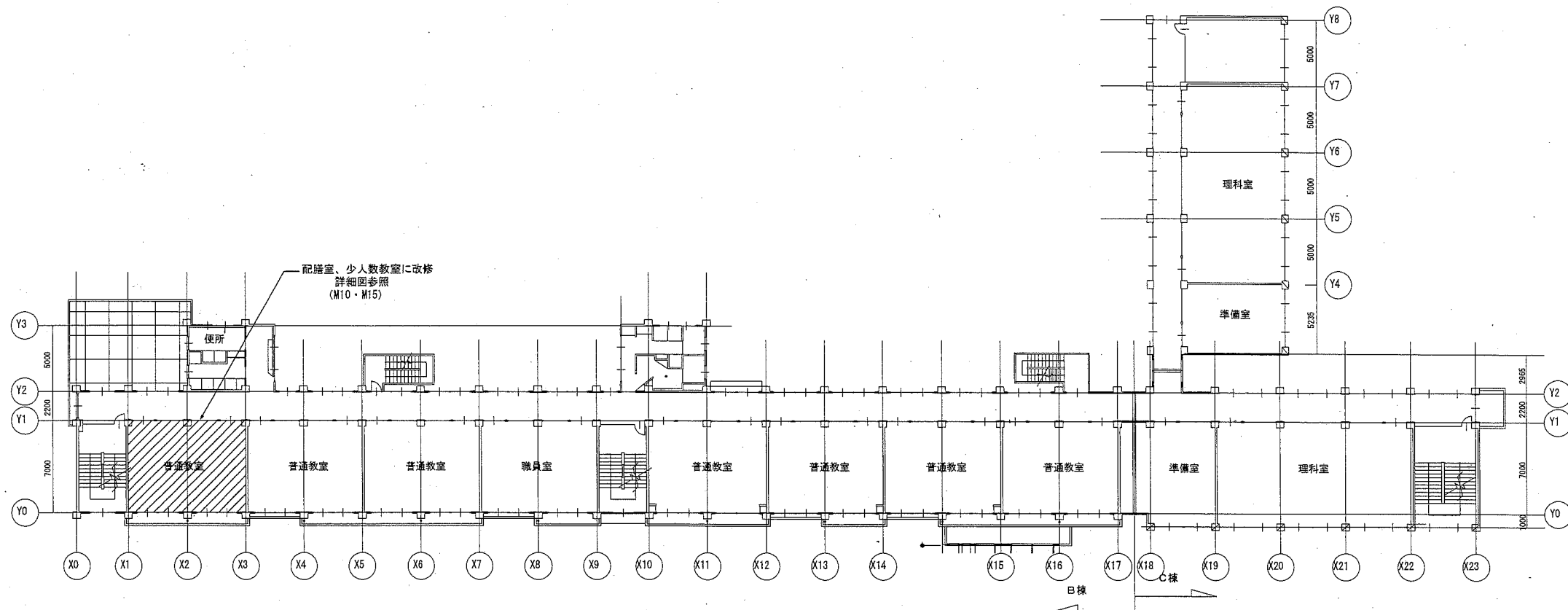


公共建築課長	主査等	担当者
--------	-----	-----

横須賀市 都市部 公共建築課

市立久里浜中学校昇降機設置その他機械設備工事

M — 06



公共建築課長	主査等	担当者
--------	-----	-----



横須賀市 都市部 公共建築課

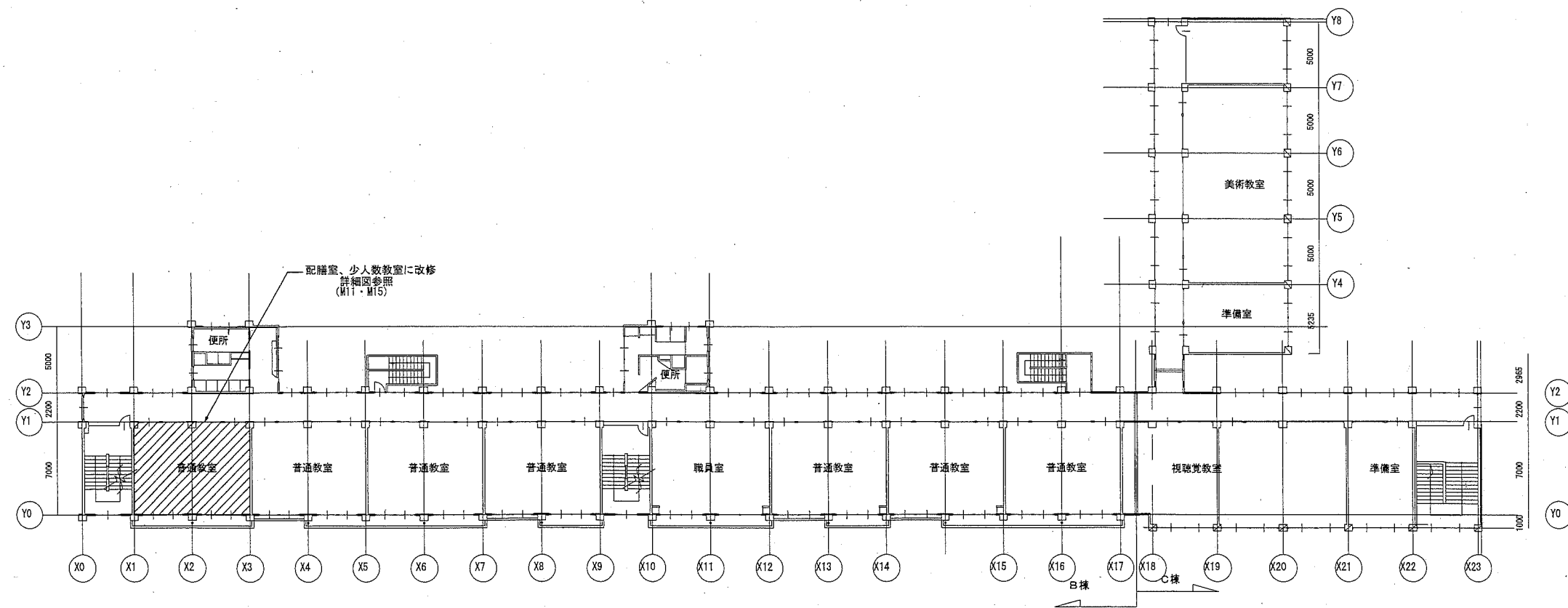
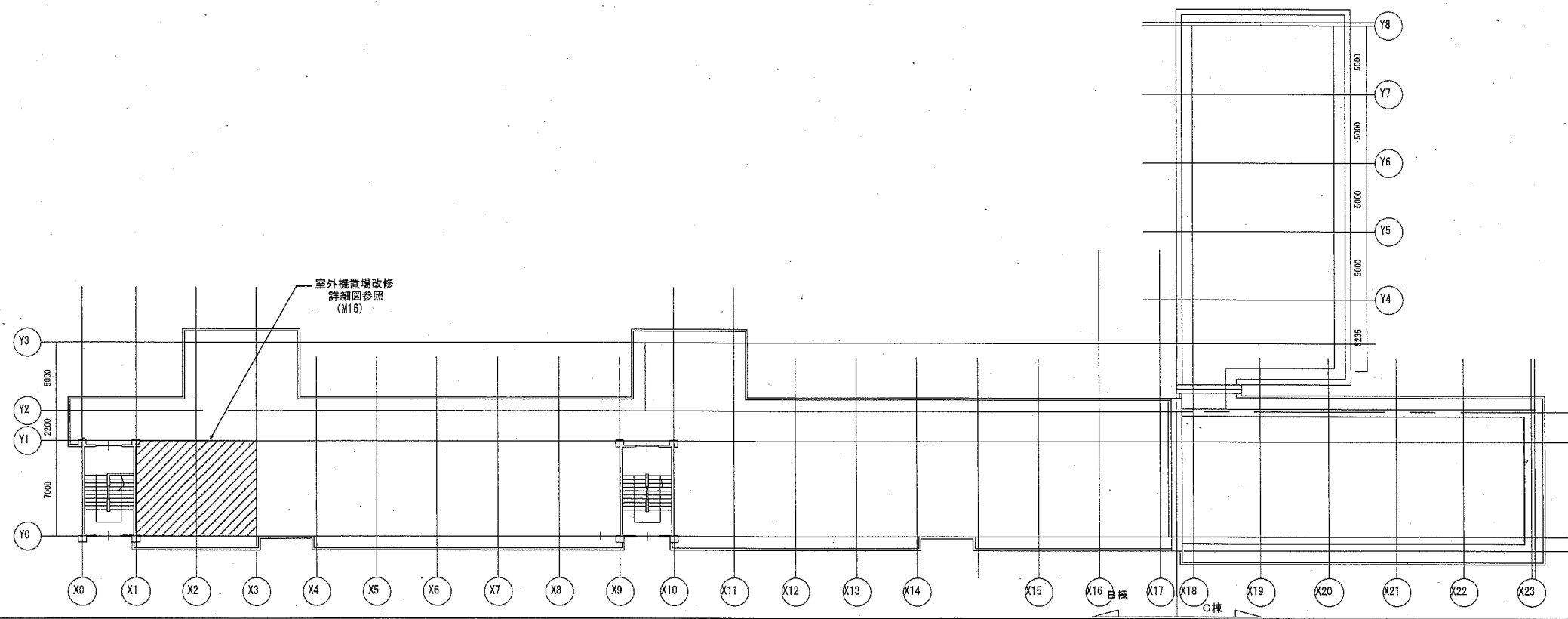
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

M — 07

設計年月日 平成31年2月

B棟 1, 2階平面図

縮尺 1/300



公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

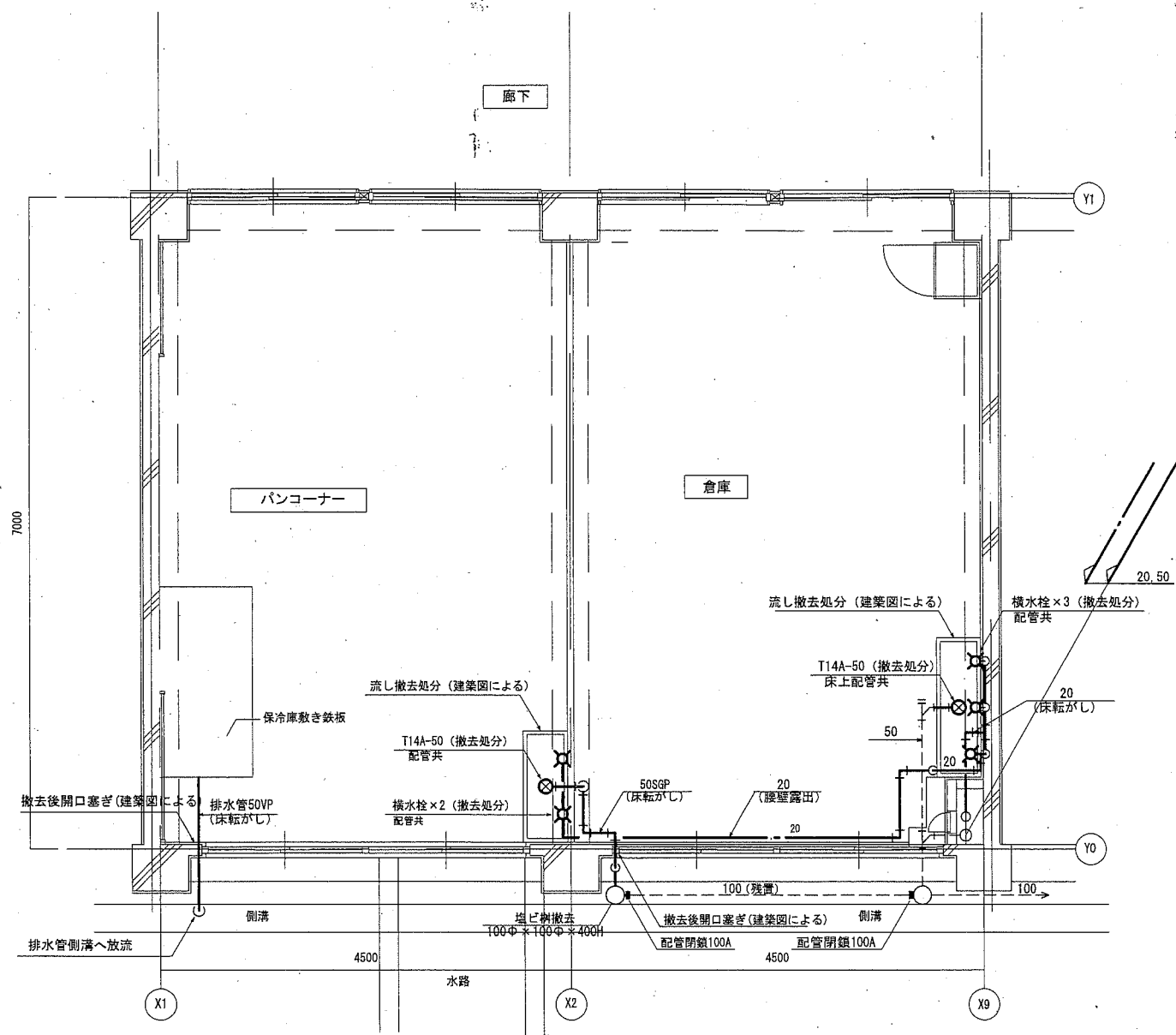
市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

M — 08

設計年月日 平成31年2月

B棟 3, 屋上階平面図

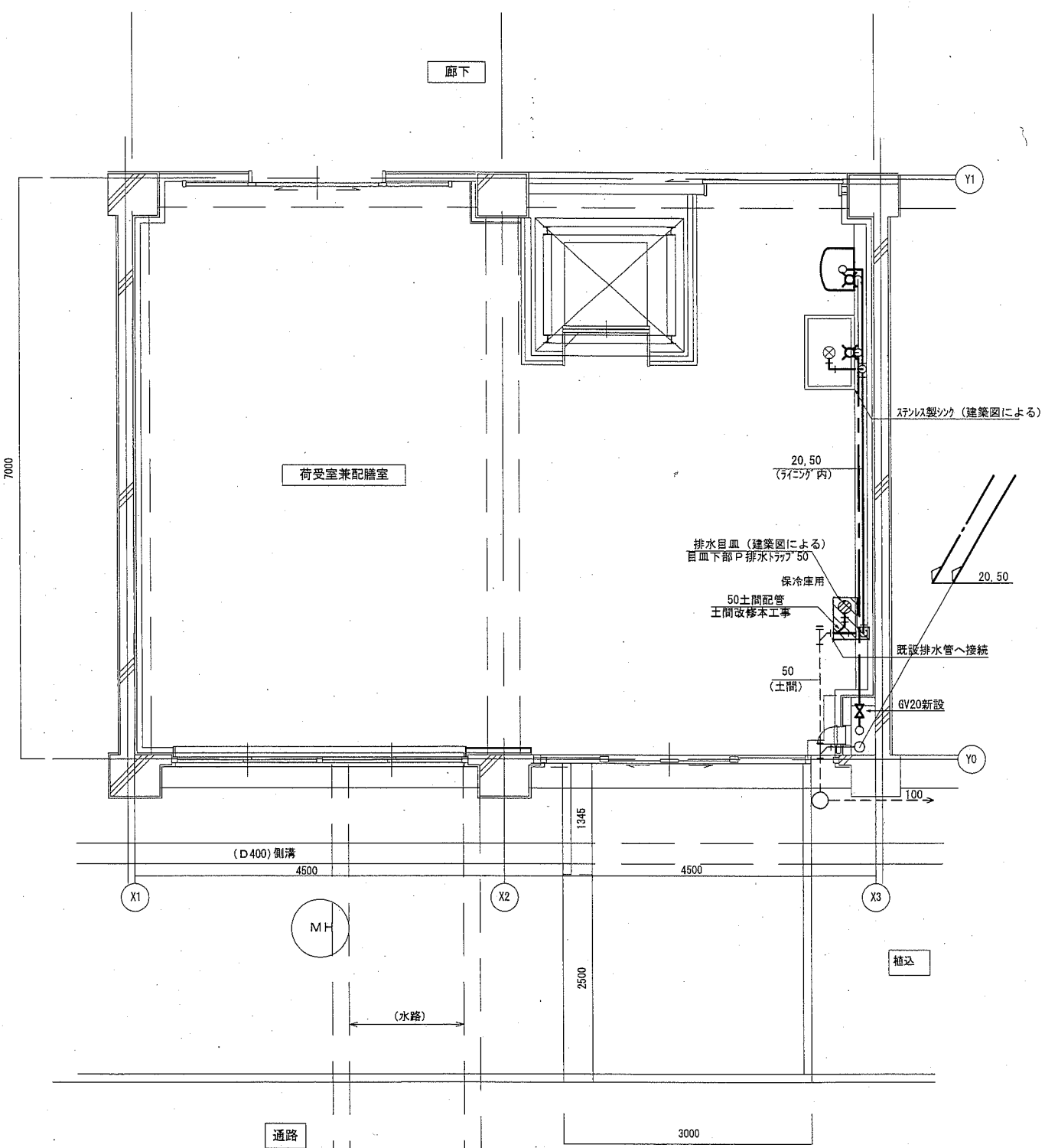
縮尺 1/300



撤去凡例

---	印は既設配管を示す。
—	印は撤去配管を示す。
-	印は配管切断を示す。
+	印は配管閉鎖を示す。

- 撤去注記
1. 明記無きは1階床下配管(土間)とする。
 2. 設備配管撤去跡の開口閉鎖は建築図による。
 3. 撤去管材は、下記による。
給水管: 硬質塩化ビニル管 SGP-VB (一般) HIVP (土間)
雑排水管: 硬質塩化ビニル管 VP (土間・一般)
 4. 既設PS側壁改修は建築図による。
 5. 天井解体は建築図による。



改修凡例

---	印は既設配管を示す。
—	印は新設配管を示す。
-	印は既設配管に接続を示す。

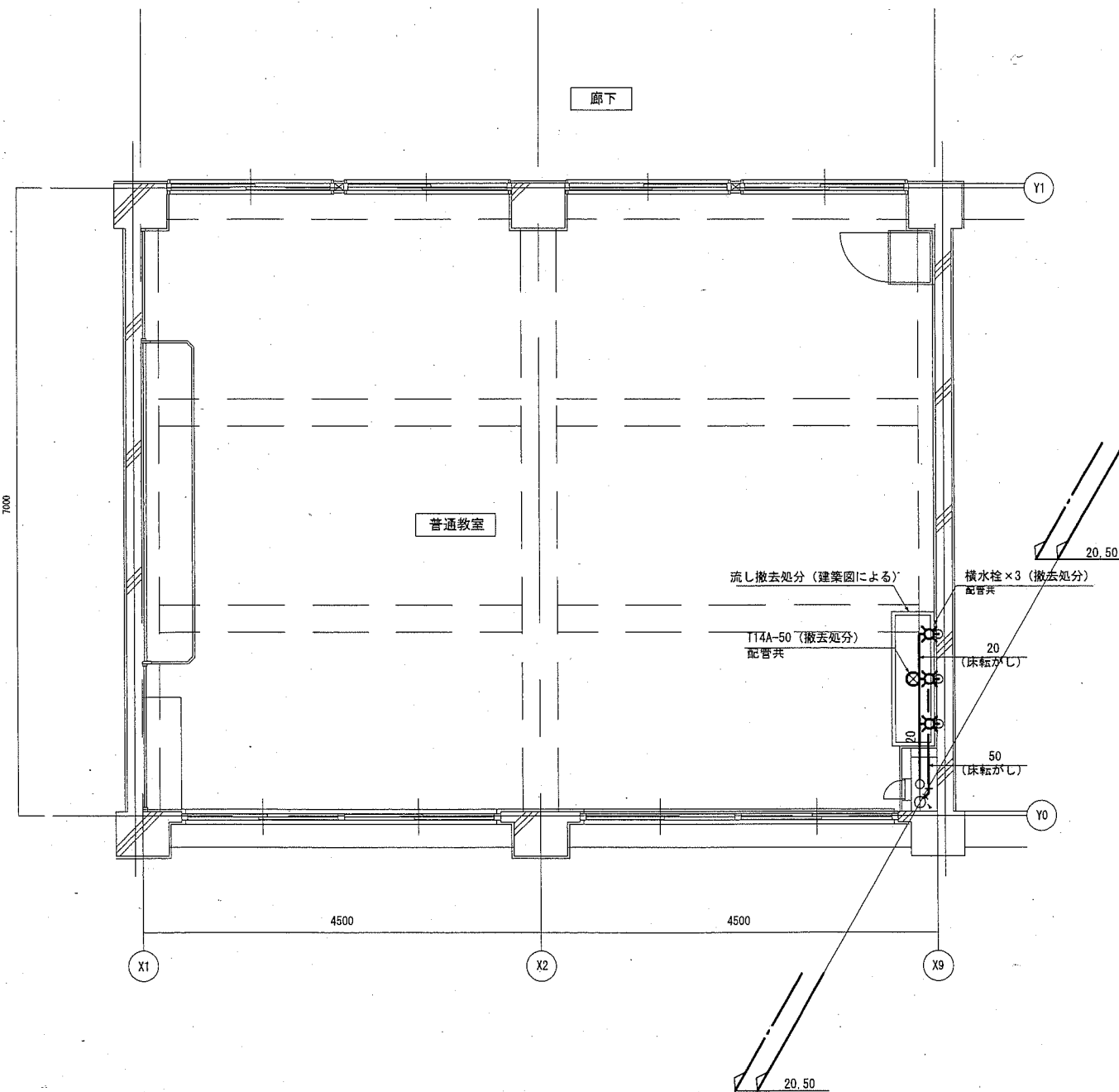
- 改修注記
1. 明記無きは1階は床下配管(土間)とする。
 2. 天井改修は建築図による。
 3. 室内土間仕上げは建築図による。

公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

M — 09

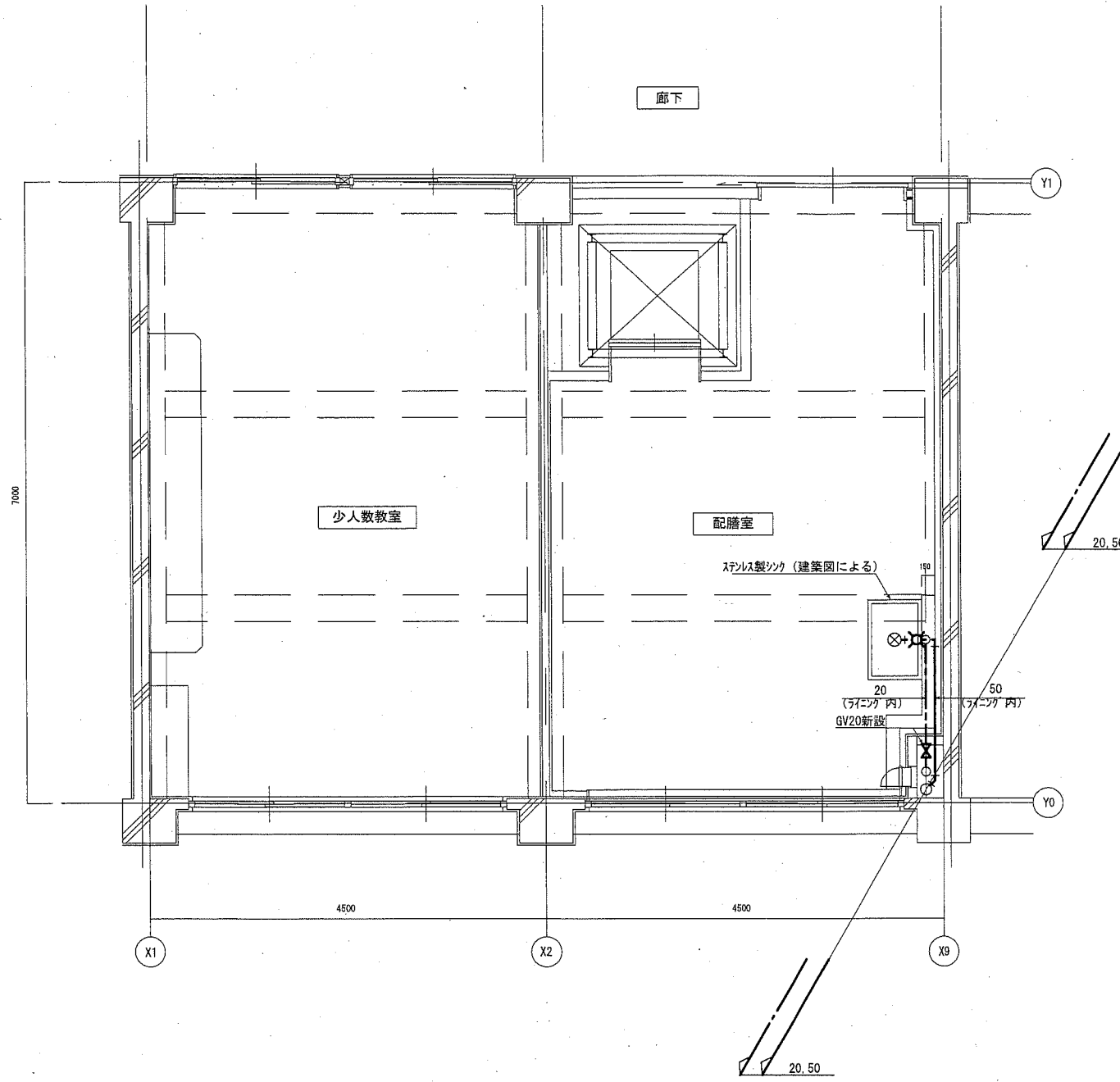


撤去凡例

---	印は既設配管を示す。
—	印は撤去配管を示す。
— —	印は配管切断を示す。

撤去注記

- 設備配管撤去跡の開口閉鎖は建築図による。
- 撤去管材は、下記による。
給水管：硬質塩ビライニング鋼管 SGP-VB (一般)
雑排水管：硬質塩化ビニル管VP (一般)
- 既設PS側壁改修は建築図による。



改修凡例

---	印は既設配管を示す。
—	印は新設配管を示す。
— —	印は既設配管に接続を示す。

改修注記

- 天井改修は建築図による。

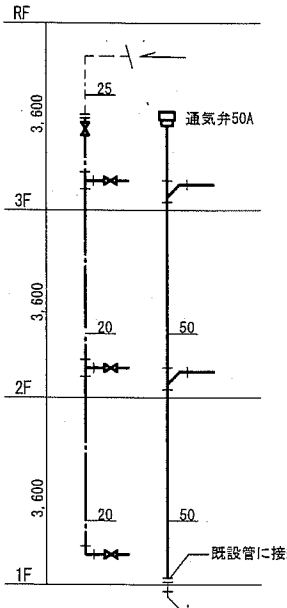
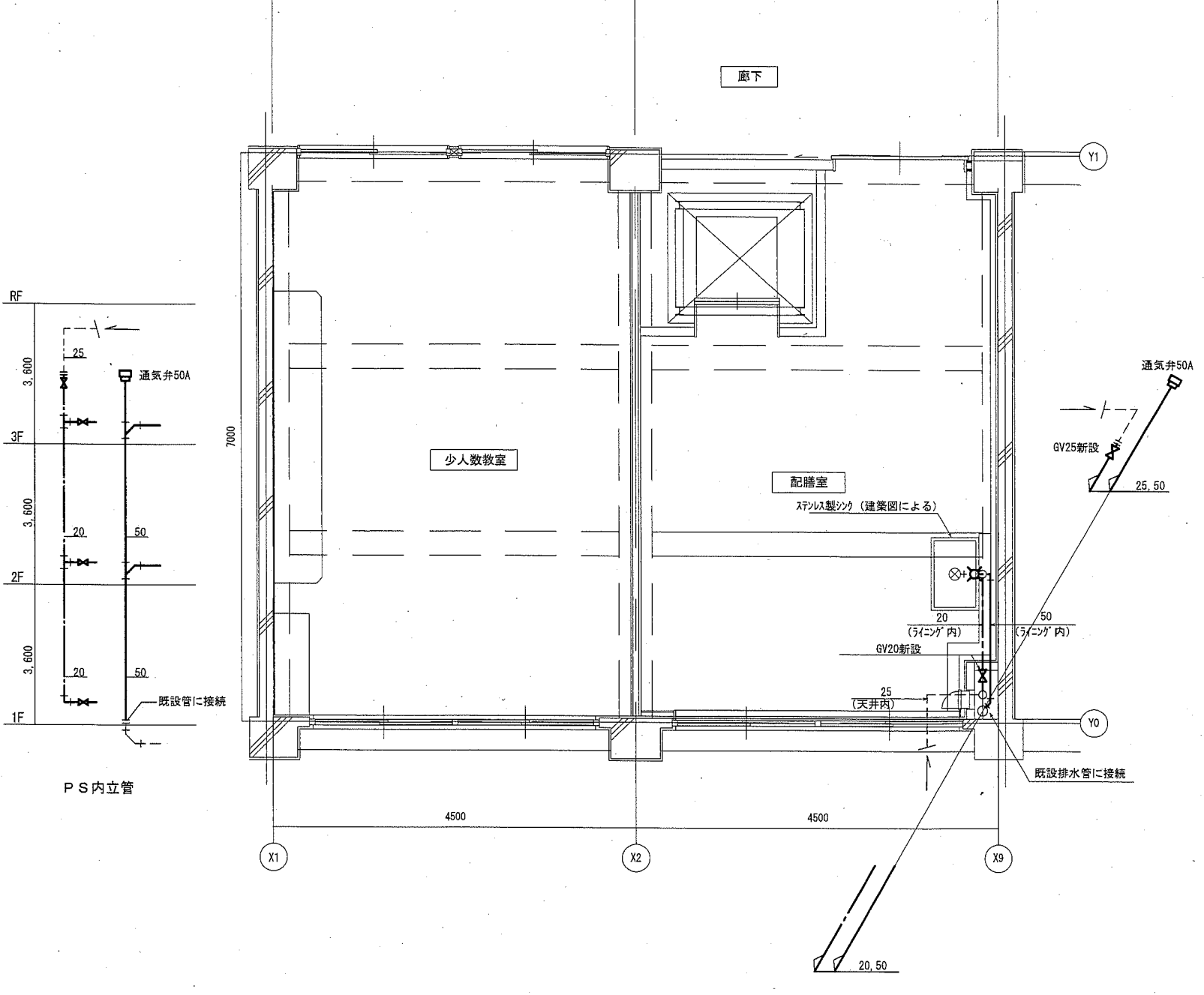
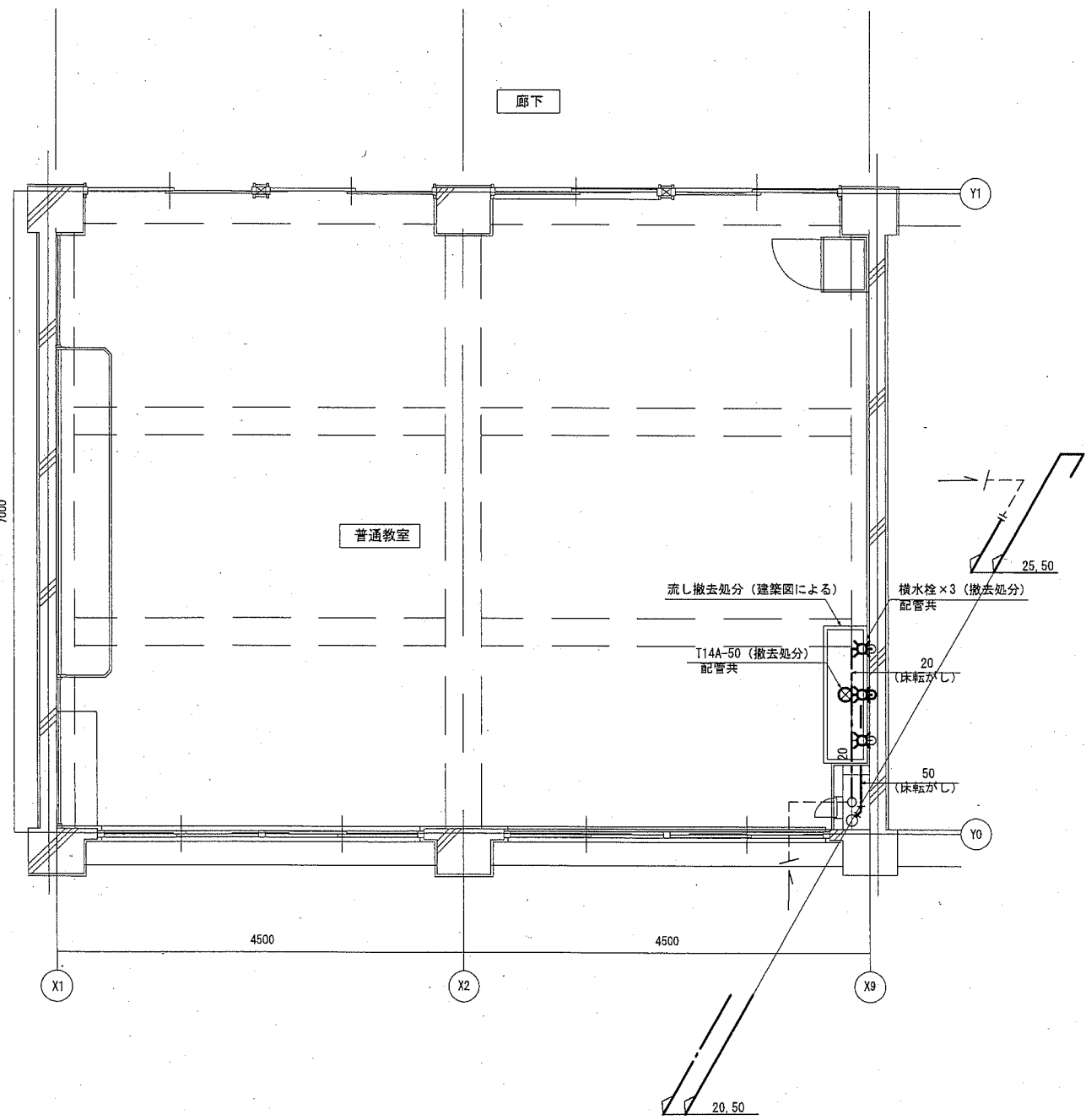
公共建築課長	主査等	担当者
--------	-----	-----



横須賀市 都市部 公共建築課

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

M — 10



撤去凡例

---	印は既設配管を示す。
—	印は撤去配管を示す。
— —	印は配管切断を示す。

撤去注記

1. 設備配管撤去の開口閉鎖は建築図による。
2. 撤去管材は、下記による。
給水管：硬質塩化ビニル管 SGP-VB (一般)
雑排水管：硬質塩化ビニル管 VP (一般)
3. 既設 PS 側壁改修は建築図による。

改修凡例

---	印は既設配管を示す。
—	印は新設配管を示す。
— —	印は既設配管に接続を示す。

改修注記

1. 天井改修は建築図による。

公共建築課長	主査等	担当者
--------	-----	-----



機器表 (改修後)

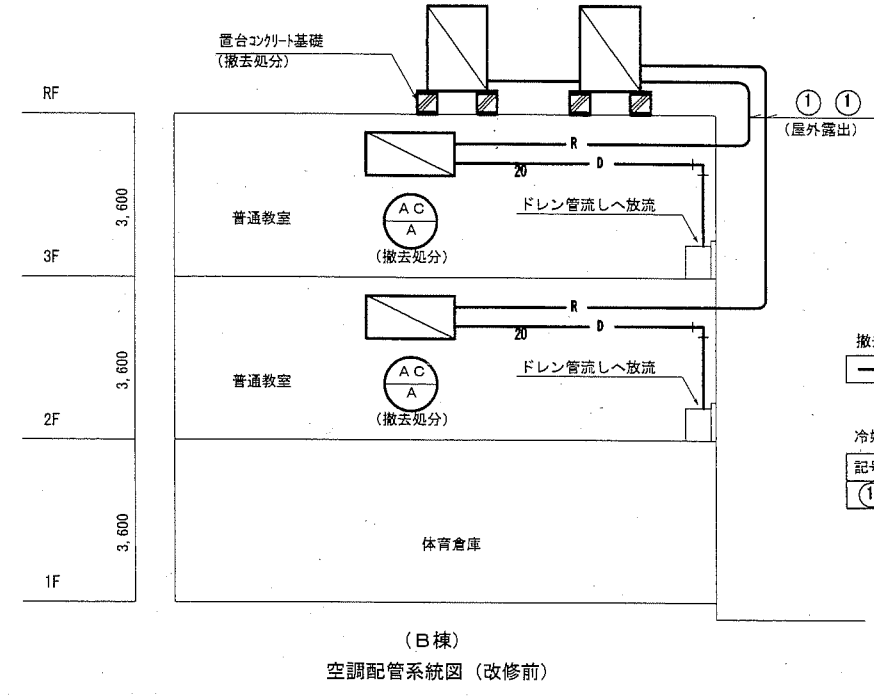
機器番号	機器名称	設置場所	台数	仕様	電源 50 Hz			付属品・備考		
					機器	相	電圧		容量	
					φ	V	kW			
AC-1	ヒートポンプエアコン	少人数教室 B棟 (2~3階)	2	型式: パッケージ形空調和機	消費電力 (冷房)	3	200		置台コンクリート基礎×2	
				屋内機: 天井形 屋外機: 耐塩害仕様	消費電力 (暖房)					9ヶ月以降コン・フィンガード不要
				冷房能力: 5.6kW (2.6~6.3kW)	圧縮機					
				暖房能力: 6.3kW (2.9~8.0kW)	送風機外					
				送風機内						
FE-1	排風機	荷受け室・配膳室 (A棟1~4階)	4	型式: 標準換気扇 格子タイプ				SUS製カバー付 (防鳥網付)		
				電気シャッター式						
				能力: 250φ×630m3/h	1	100				
FE-2	排風機	荷受け室兼配膳室 (B棟1階)	1	型式: 標準換気扇 格子タイプ				SUS製カバー付 (防鳥網付)		
				電気シャッター式						
				能力: 300φ×1,140m3/h	1	100				
FE-3	排風機	荷受け室・配膳室 (B棟2~3階)	2	型式: 標準換気扇 格子タイプ				SUS製カバー付 (防鳥網付)		
				電気シャッター式						
				能力: 250φ×530m3/h	1	100				
	給気用ウエザーカバー	荷受け室兼配膳室 (A棟1階)	1	型式: 250φSUS製 (防鳥網付)				SUS製1774Mユニット付		
	給気用ウエザーカバー	荷受け室兼配膳室 (B棟1階)	1	型式: 300φSUS製 (防鳥網付)				SUS製1774Mユニット付		

換気計算表 (改修後)

階	室名	面積 A f m ²	天井高 m	容積 m ³	建築基準法 V=20Af/N		換気回数		決定風量 m ³ /h	機器風量 m ³ /h	機器番号	備考
					N値	V	回数	風量				
(A棟)												
1	荷受け室兼配膳室	32.97	2.70	89.1	7	100	7	624	630	630	FE-1	
2	配膳室	32.97	2.70	89.1			7	624	630	630	FE-1	
3	配膳室	32.97	2.70	89.1			7	624	630	630	FE-1	
4	配膳室	32.97	2.70	89.1			7	624	630	630	FE-1	
(B棟)												
1	荷受け室兼配膳室	59.95	2.70	161.9	7	180	7	1,135	1,140	1,140	FE-2	
2	配膳室	27.85	2.70	75.2			7	527	530	530	FE-3	
3	配膳室	27.85	2.70	75.2			7	527	530	530	FE-3	

既設機器表 (撤去処分)

AC-A
空冷ヒートポンプエアコン 天井形
冷房能力: 12.5kW 暖房能力: 14.0kW

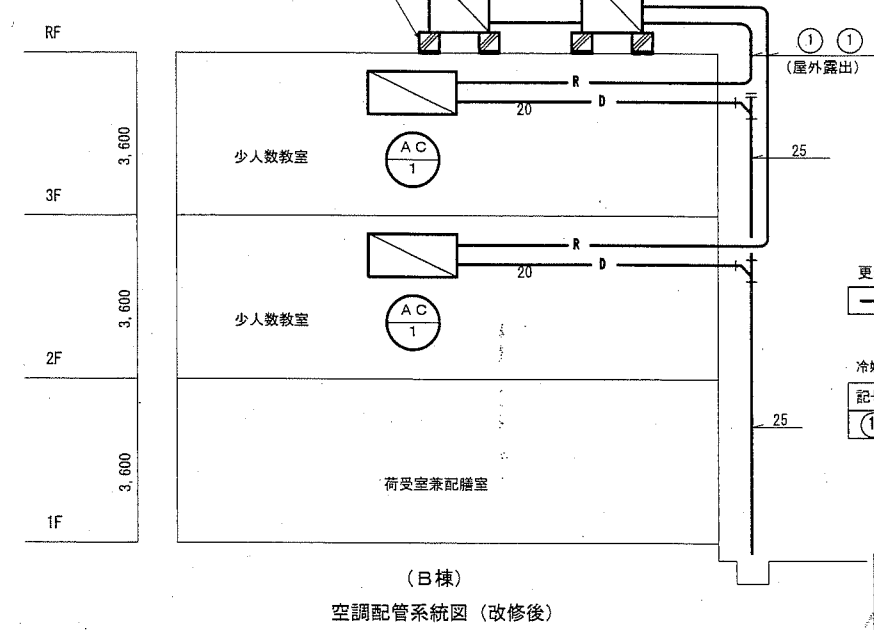


撤去凡例

印は撤去配管、機器を示す

冷媒管リスト (参考)

記号	液管 (φ)	ガス管 (φ)
①	9.5	15.9



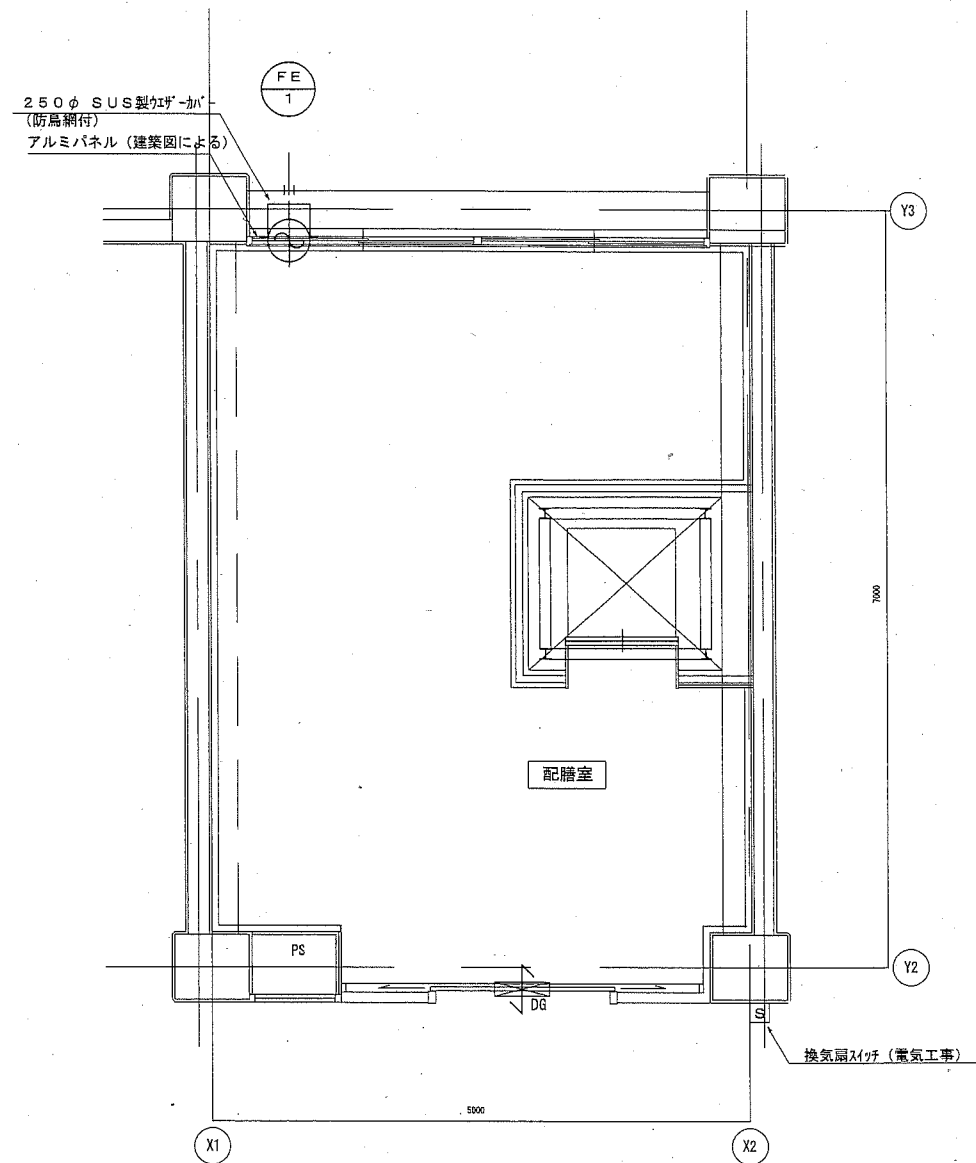
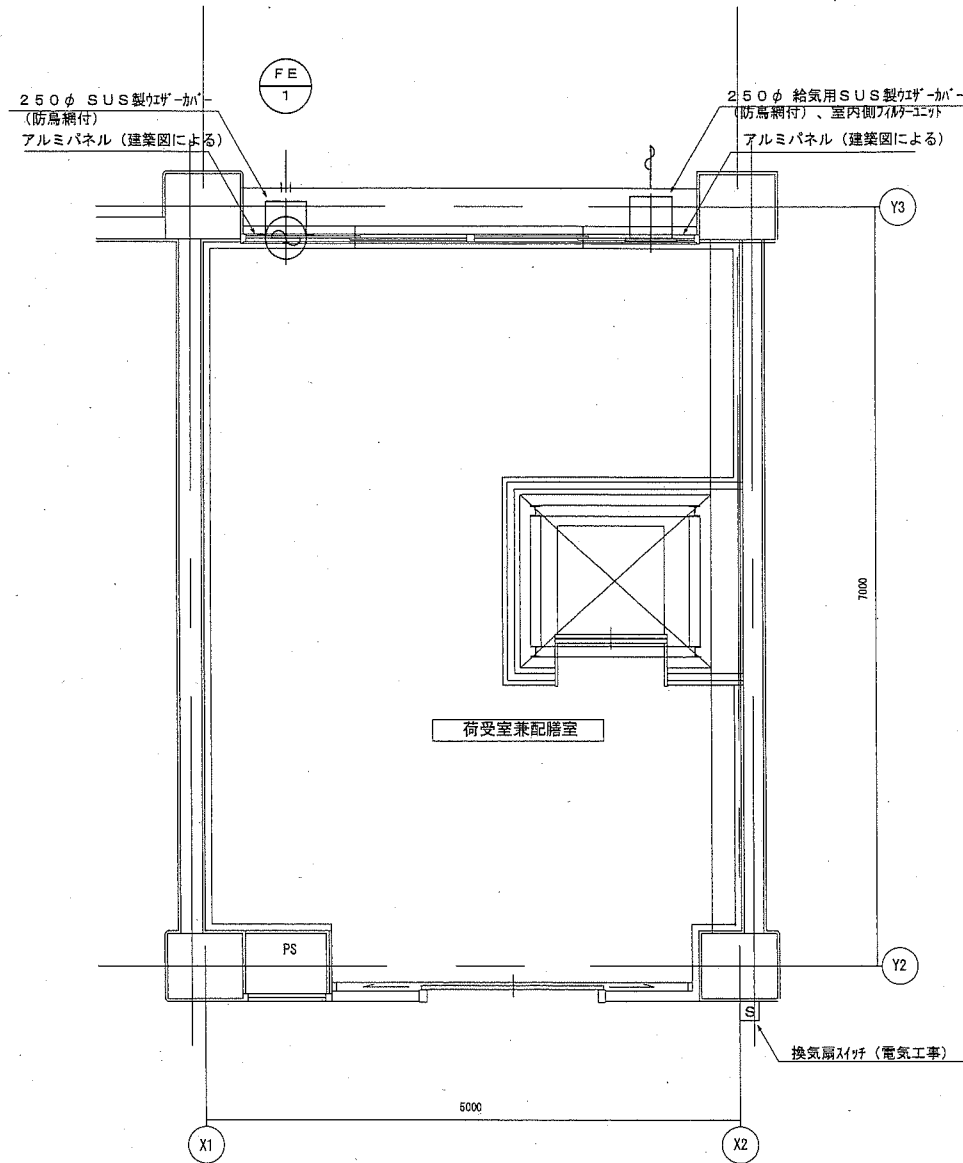
更新凡例

印は新設配管、機器を示す

冷媒管リスト (参考)

記号	液管 (φ)	ガス管 (φ)
①	6.4	12.7

公共建築課長 主査等 担当者



注記
 ※DGは建築図による。
 【開口面積0.25m²以上(面風速:2m/s、有効開口率0.35)】

公共建築課長	主査等	担当者
--------	-----	-----



横須賀市 都市部 公共建築課

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

M

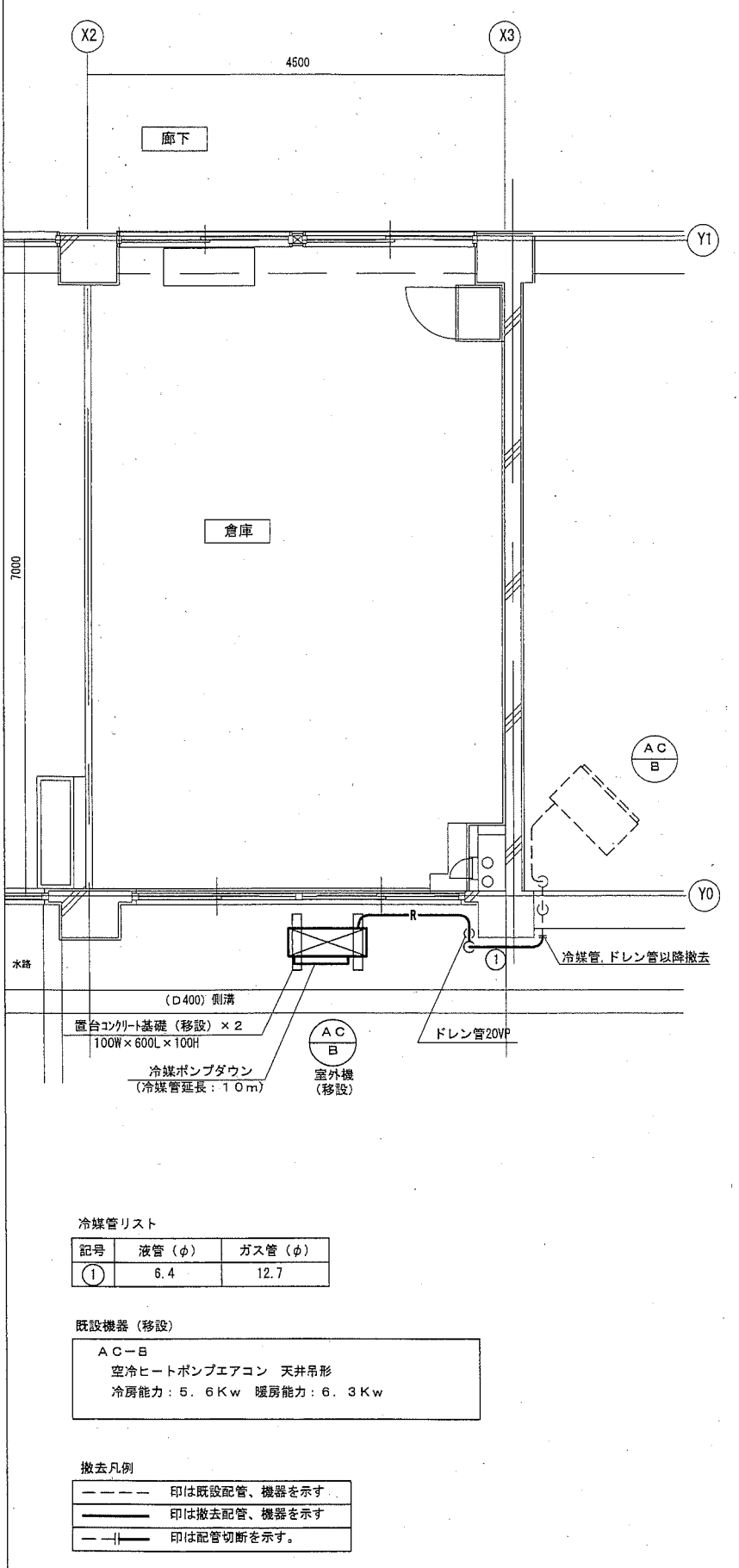
— 13

設計年月日 平成31年2月

空調換気設備 A棟 1階 荷受室兼配膳室平面詳細図(改修後)
 空調換気設備 A棟 2~4階 配膳室平面詳細図(改修後)

縮尺

1/50

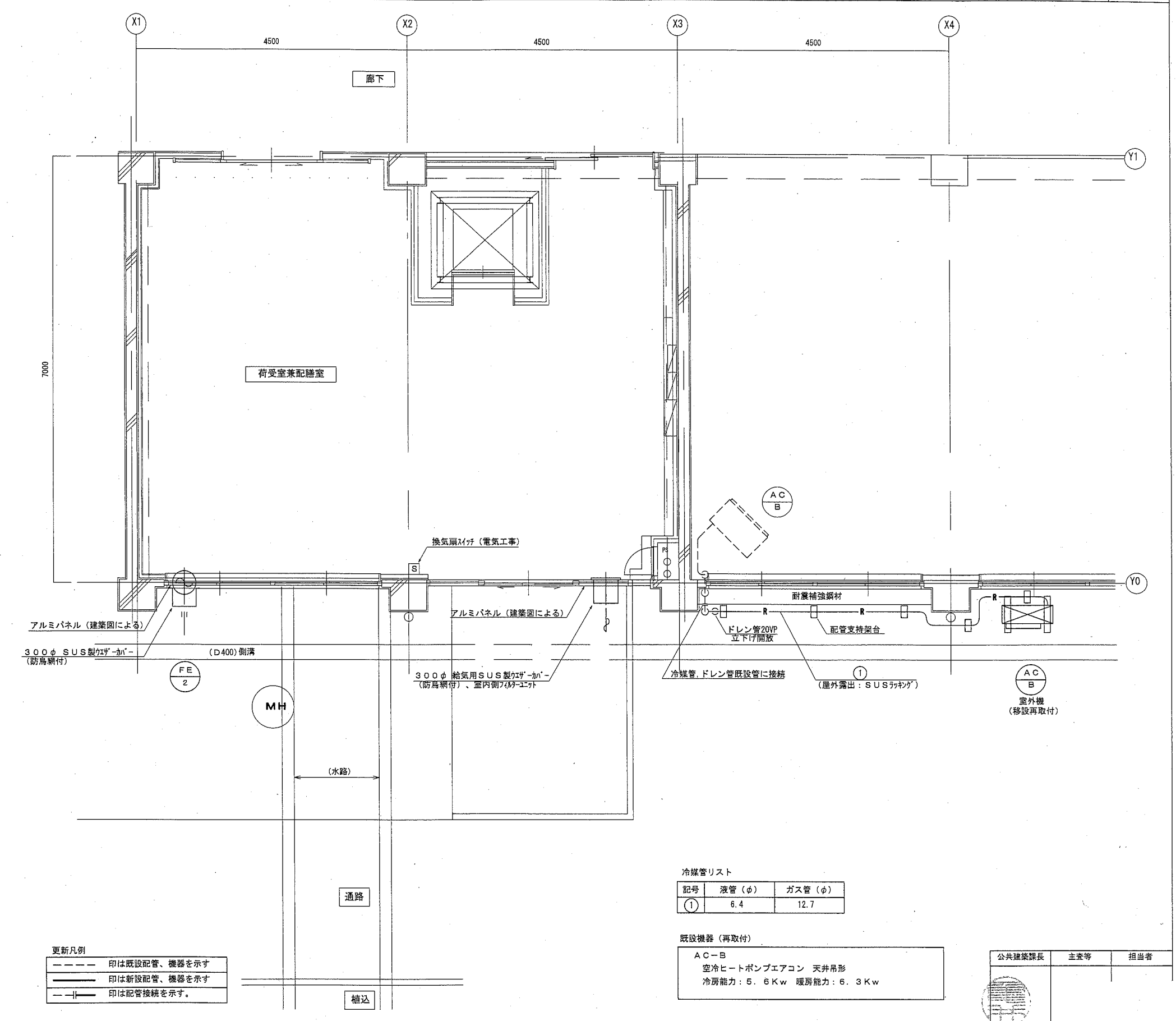


冷媒管リスト

記号	液管(φ)	ガス管(φ)
①	6.4	12.7

既設機器(移設)
 AC-B
 空冷ヒートポンプエアコン 天井吊形
 冷房能力: 5.6Kw 暖房能力: 6.3Kw

撤去凡例
 - - - 印は既設配管、機器を示す
 - - - 印は撤去配管、機器を示す
 - - - 印は配管切断を示す。



冷媒管リスト

記号	液管(φ)	ガス管(φ)
①	6.4	12.7

更新凡例
 - - - 印は既設配管、機器を示す
 - - - 印は新設配管、機器を示す
 - - - 印は配管接続を示す。

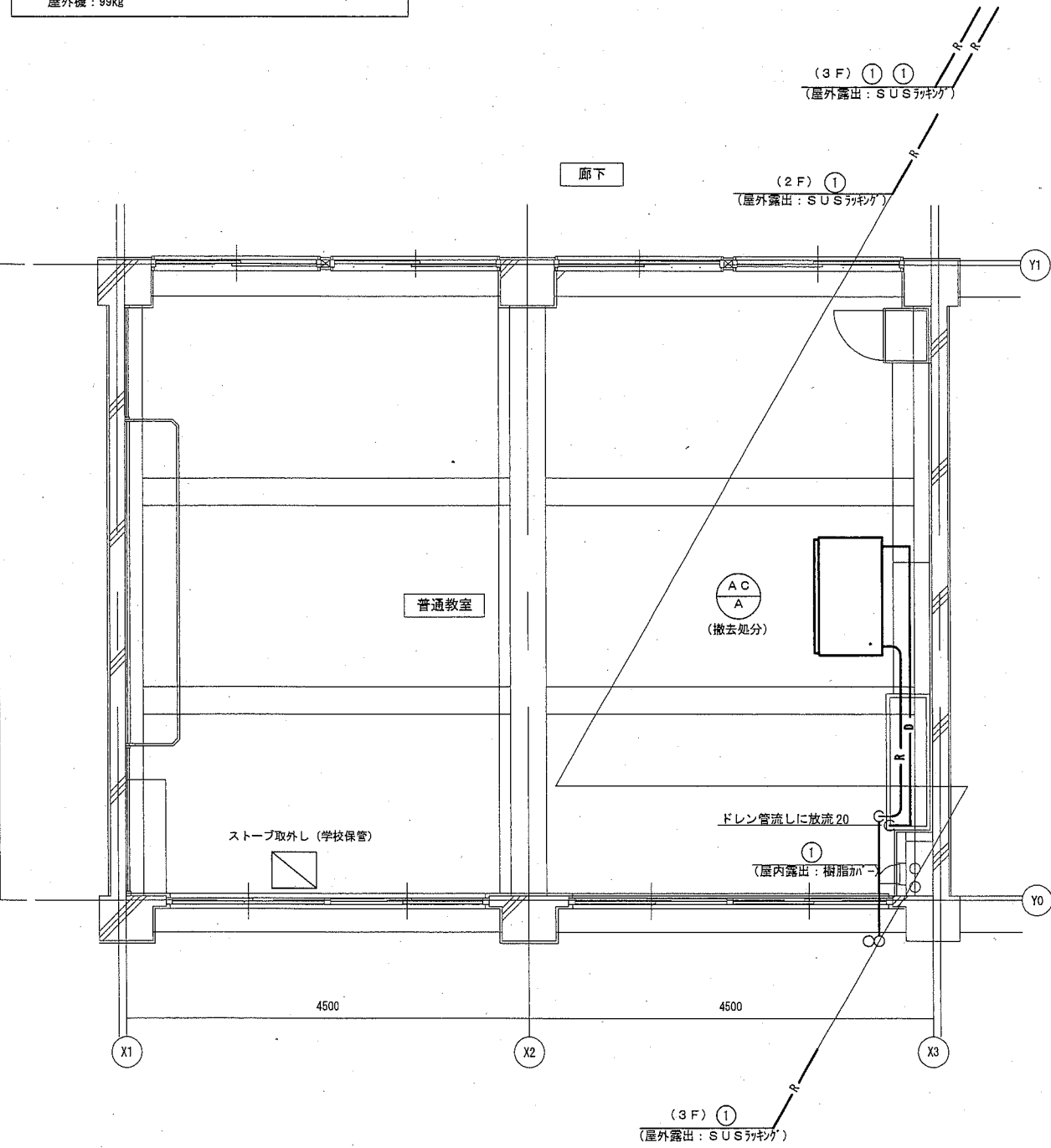
既設機器(再取付)
 AC-B
 空冷ヒートポンプエアコン 天井吊形
 冷房能力: 5.6Kw 暖房能力: 6.3Kw

公共建築課長	主査等	担当者

既設機器(撤去処分)
 AC-A
 空冷ヒートポンプエアコン 天井吊形
 冷房能力: 12.5 Kw 暖房能力: 14.0 Kw
 屋外機: 99kg

冷媒管リスト

記号	液管(φ)	ガス管(φ)
①	9.5	15.9



撤去凡例
 印は撤去配管、機器を示す

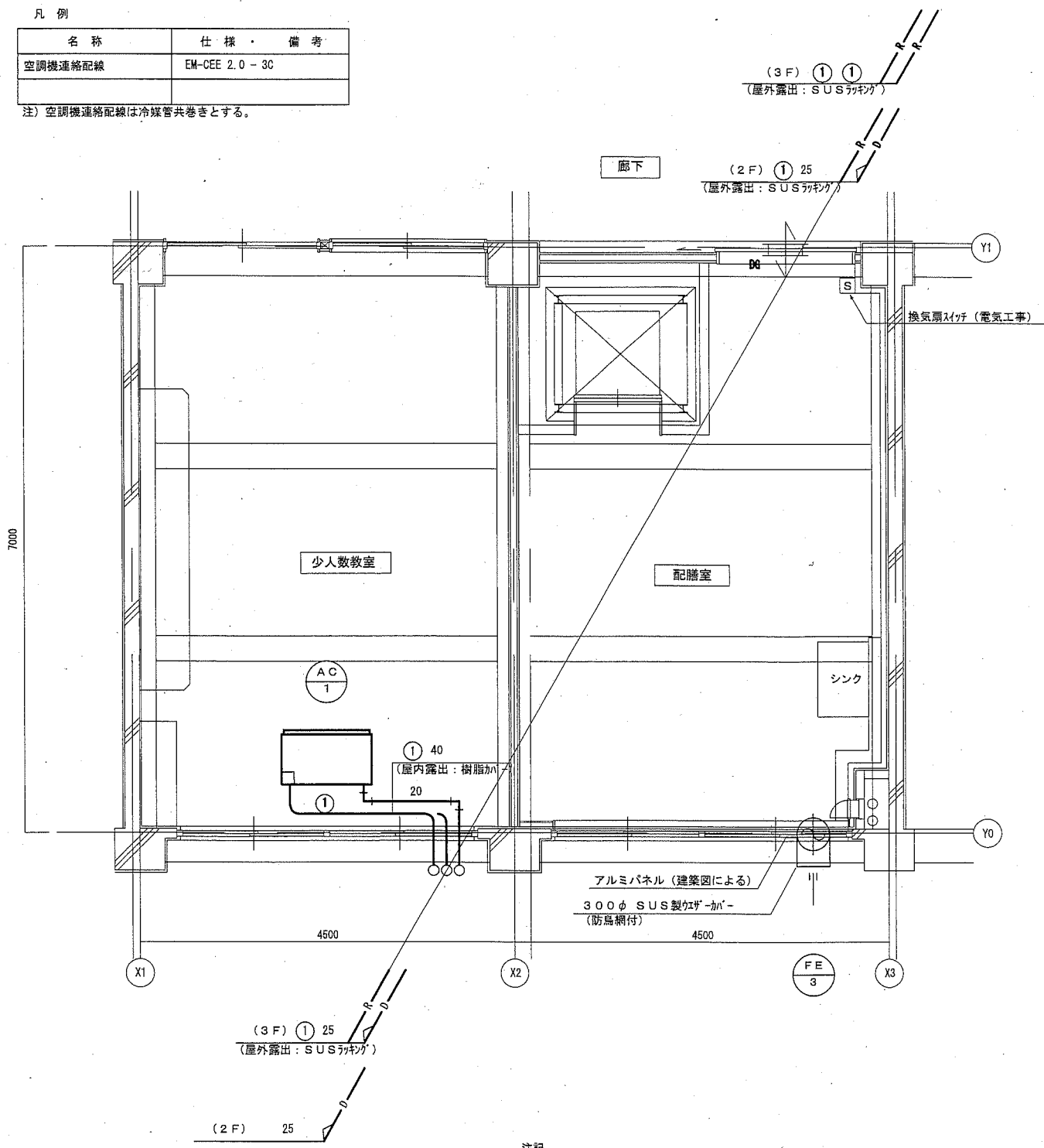
冷媒管リスト

記号	液管(φ)	ガス管(φ)
①	6.4	12.7

凡例

名称	仕様・備考
空調機連絡配線	EM-CEE 2.0-3C

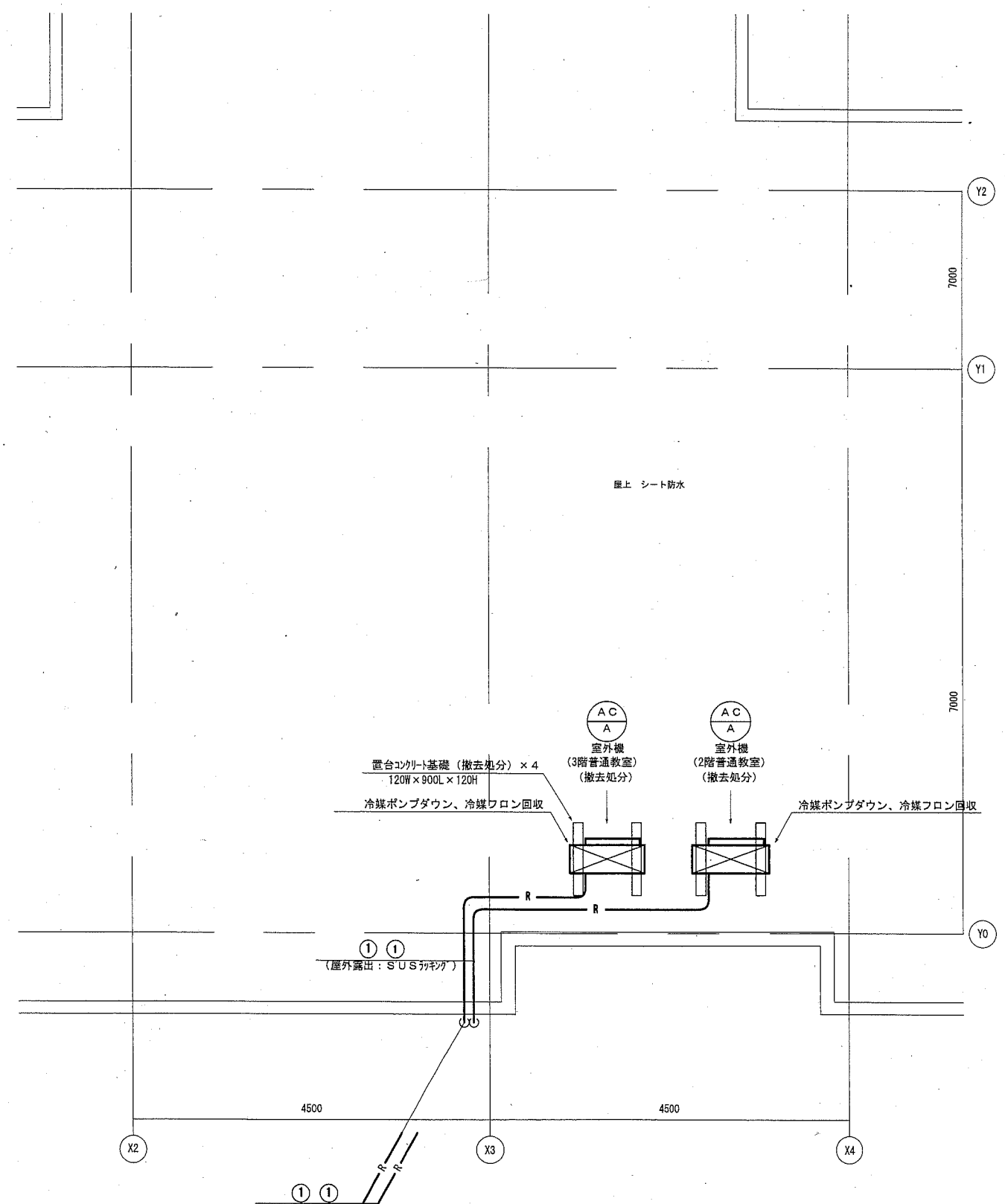
注) 空調機連絡配線は冷媒管共巻きとする。



更新凡例
 印は新設配管、機器を示す

注記
 ※DGは建築図による。
 [開口面積0.25m²以上(面風速: 2m/s、有効開口率0.35)]

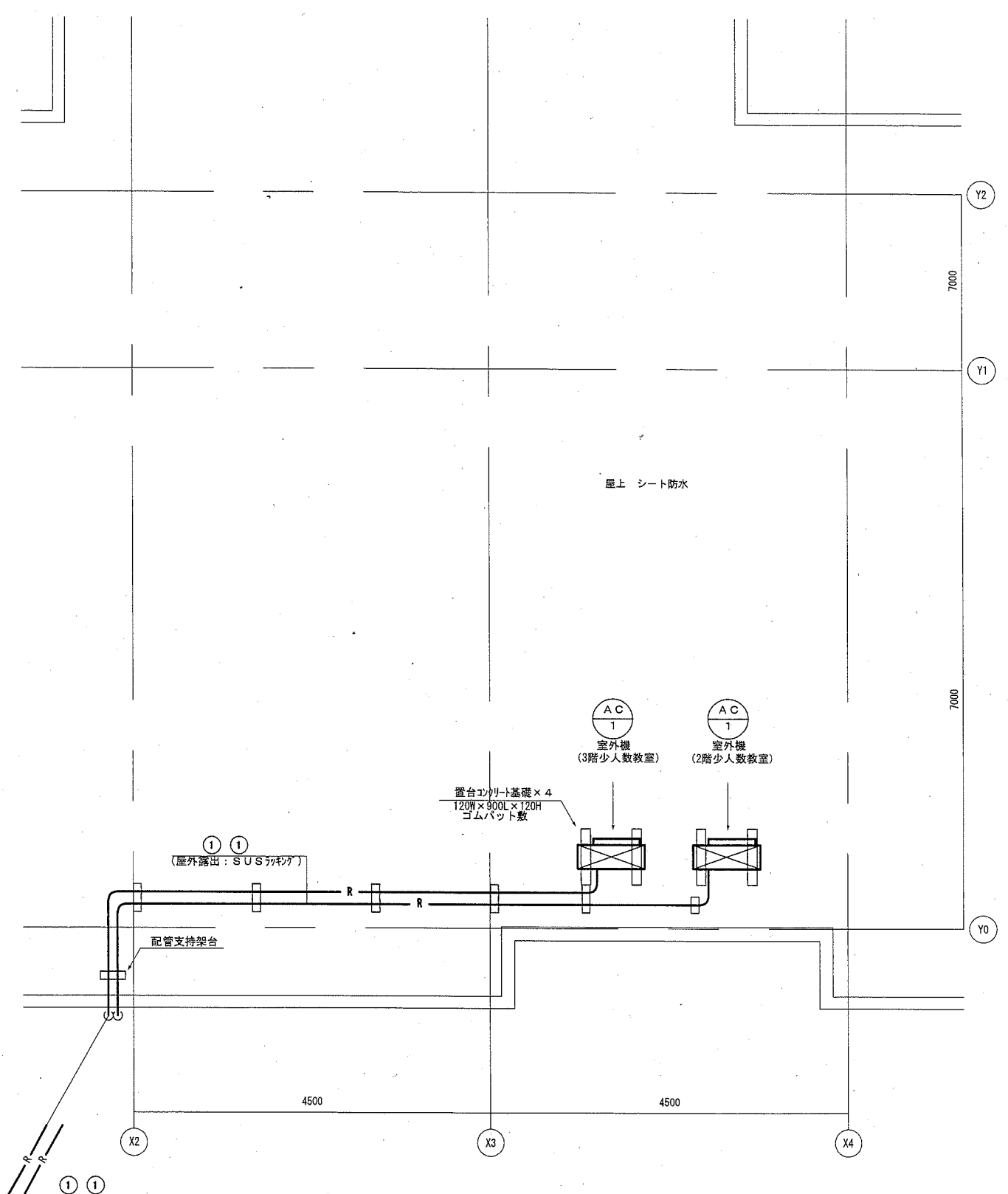
公共建築課長	主査等	担当者



撤去凡例
印は撤去配管、機器を示す

冷媒管リスト

記号	液管(φ)	ガス管(φ)
①	9.5	15.9



更新凡例
印は新設配管、機器を示す

冷媒管リスト

記号	液管(φ)	ガス管(φ)
①	6.4	12.7

公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

市立久里浜中学校昇降機設置建築その他工事

M — 16